

資料編

1. 歴代会長全国大会基調講演

あらゆる境界をひらき、持続可能な社会の礎を築く

第102代土木学会会長 磯部 雅彦

平成26年9月11日 大阪大学豊中キャンパス



講演では、まず、明治時代に始まる近代土木の歴史を辿り、社会・産業基盤の整備など、土木が果たしてきた役割について述べられた。河川、鉄道、港湾を中心とした明治時代に始まる近代土木の幕開けから、大正時代の基盤整備の高度化と関東大震災の復興事業、そして、昭和の時代、世界恐慌に襲われながらも近代国家としての産業基盤の整備を推進し、戦後の国土荒廃と経済混乱を越え、奇跡的な高度経済成長を経て日本を先進国に押し上げてきた、近代土木の歴史を豊富な資料を基にご説明された。

大正初期、1914年に設立された土木学会の初代会長である古市公威の第1回総会にける会長講演の言葉を引用され、今にも通じるその考えの重要性を説かれた。古市は、土木工学の総合性を表して「指揮者ヲ指揮スル人即所謂將ニ將タル人ヲ要スル場合ハ土木ニ於テ最多シトス」とし、そのために「本會ノ研究ハ土木ヲ中心トシテ八方ニ發展スルヲ要ス」と述べていた。

高度経済成長の一方で、深刻化した水質汚染や大気汚染などの環境問題、さらに近年は、高齢化問題やエネルギー問題も顕在化し、地球温暖化問題が現実のものとなりつつある。そして、1995年の阪神淡路大震災や2011年の東日本大震災の経験は、社会安全のあり方について、改めて大きな問題として私達に提起された。

このような問題に対して、土木は真摯な姿勢で取り組み、最大限の貢献をしなくてはならないと述べられた。東日本大震災は、最大クラスの津波に対してあらゆる手段をもって人命を守り、それよりも発生頻度の高い津波に対しては施設などによって人命とともに産業や生活を守るという方針を明確化した。我が国が抱える様々な自然災害や事故による危険性に対してこの考え方を援用し、リスクを適切に管理しながら、人的被害を限りなく抑え、生活や産業の継続性を確保していかなければならない。そして、人々がいきいきとした生活を送り、高齢者や女性を含むすべての人々が健康を維持し、社会のために快適に働くことができる環境を築くことが肝要であることを示された。また、エネルギー資源の持続的利用のために、省エネルギーのさらなる推進や再生可能エネルギーの導入、さらに化石エネルギーや原子力エネルギーの適切な利用が必要であり、顕在化しつつある地球温暖化問題に対しては、緩和策の推進とともに、適応策の準備も進め手遅れにならないうちに実行しなければならないとの決意を述べられた。そして、長期的に快適で安定的な社会の維持に向けて、未来の世代を見据えた社会の構築を忘れてはならない。これらを始めとする課題に取り組みながら、国際社会との協調を保ち、日本の経験をもって他国に貢献することは、国際社会の要請であり、日本の義務であることを強調された。

このような社会に対する貢献を土木学会が最大限に行っていくために、冒頭に示した初代会長の講演の趣旨を十分に理解し、土木分野の周辺にあるすべての境界をひらき、他分野の知識と知恵を吸収し、むしろ他分野の中に舞台を広げながら人材を育成し、目指すべき持続可能な社会を実現するための礎を築く必要があると説かれました。

土木学会誌 Vol.100 No.1 January 2015,付録 iv-v から転載

次代に繋ぐ土木技術者の「志」と「熱意」

第103代土木学会会長 廣瀬 典昭

平成27年9月17日 岡山プラザホテル



基調講演会では、^{ひろせのりあき}廣瀬典昭土木学会会長から、『次代に繋ぐ土木技術者の「志」と「熱意」』という演題で講演があった。講演内容の概要は、以下の通りである。

土木学会は、昨年、創立100周年を迎え、「社会と土木の100年ビジョン」と今後5年間の行動計画であるJSCE2015を策定した。今年は、新たな100年に向けて第一歩を踏み出すスタートの年であり、JSCE2015で注力すべき重点課題として挙げ

られた 10 項目を滞りなく着実に実行していく必要があることが強調された。これらの重点課題の中から、特に強靱で持続的な国土を形成していく上で、現在懸念されている「地球規模での気候変動」や、我が国に特有な自然環境に起因する「自然災害の質的变化」と、我が国が国際社会の一員としての役割を果たすべき海外の国々との開発協力において考慮すべき「国際展開の質的变化」について具体例をいくつか取り上げ、自然環境、社会環境、国際環境など様々な変化から生まれる新たな課題をも踏まえつつ、時代に即した土木学会としての役割を果たしていかなければならないと述べられた。

これらの課題に対処するためには、「志」と「熱意」を持った土木技術者の育成が重要であり、中でも次代に繋ぐ若手技術者を育てていくことに力を注いでいきたいとし、土木技術者に強く求められる素養としては、「問題を認識し、与えられた条件の中で最適解を見つけ出していくプロセスを、自ら考えて行動し遂行する」いわゆるエンジニアリングデザイン能力を身につけ、市民とともに活動する技術者であること、海外事業においては特にそうであるが、現地の状況や事情に即したインフラ整備のみならず地域・産業振興などに結びつくような包括的な視点が必要であり、技術力と共にリーダーシップやコミュニケーション能力、対処すべき問題の認識とそれを解決する能力などが、これまで以上に強く求められていることが指摘された。また、これらの素養を習得するための手段としては、市民の中に入って市民とともに考え行動する市民普請などの活動が良い参考になることや、日本の近代土木に貢献した数多くの逸材を育成した廣井勇や、海外開発事業を多く手がけ発展途上国に貢献した久保田豊など困難な事業を成し遂げてきた先達の生き方から学ぶことなどが具体例として説明された。

最後に、現在の私たちは、先輩土木技術者たちが築き上げた社会インフラ資産の恩恵により、ある程度安全が確保され、あまり不便を感じることなく日常生活を営むことができている。しかし、インフラのストックは、いまだ十分であるという状況ではなく、既存の施設の延命化や更新は喫緊の課題となってきた。さらに、近年の自然災害の質の変化などに見られるように新たな課題も顕在化してきている。これらの課題に立ち向かい、我々の先達がそうしてくれたように、我々もまた、より良い遺産を残していくこと、そして、その「志」と「熱意」を受け継いでいく次代を担う若手技術者を育てていくことが、土木学会の使命であると述べられた。

土木学会誌 Vol.101 No.1 January 2016,付録 iii-iv から転載

次世代に繋ぐ生産現場のイノベーション

第 104 代土木学会会長 田代 民治
平成 28 年 9 月 8 日 仙台国際センター



基調講演では、田代民治土木学会会長から、『次世代に繋ぐ生産現場のイノベーション』と題して講演があった。概要は以下の通りである。

一昨年、土木学会は 100 周年を迎えて「あらゆる境界をひらき、持続可能な社会の礎を築く」という 100 年ビジョンが宣言され、今後も「人々の暮らしの安全を守り豊かにするという土木技術者の役割は変わらない」と謳われた。その宣言にあるとおり、異常気象・巨大地震等に対応した強靱な国土の建設、地球温暖化対策、老朽化する社会資本対策、エネルギー安定供給、放射性廃棄物処分、廃炉技術の確立、国際貢献など、様々な役割が土木技術者に期待されている。

しかしながら、生産年齢人口の減少と就業環境改善の遅れから、土木界は技能労働者が不足しており、現状のままでは、そうした時代の期待に応えることが難しくなることが懸念される。その根底には最近の土木技術者に 4 つの勘違い：1) コストを削っても良いものが造れると思っていないか、2) 造るだけで終わりだと思っていないか、3) 書類を整えることで現場が進むと思っていないか、4) 働く人の安全を本気で考えているか、があるのではないかと。

コスト追求・工期短縮が大事なのではなく、役立つ・永く使えるインフラを造ることこそが本来の目的のはず。その達成のためには、次世代に残す・繋ぐという思いを込めることが重要であり、自然と対峙する現場でのそんな思いに支えられた試行錯誤こそが価値あるインフラを生むのである。そして、言うまでもなく、それら安全安心を担うインフラを作る場所で命が失われるようなことは決してあってはならない。

こうした想いから、今年 4 月、会長特別タスクフォース「現場イノベーションプロジェクト～次世代に繋ぐ生産現場のあり方～」を立ち上げた。

現場イノベーションプロジェクトは次の 3 つのテーマからなる。

第 1 は、コンクリート構造物の生産性・安全性向上技術 (PCa 化等) の導入促進である。コストパフォーマンスに優れ、自然界の材料で作るコンクリートの利用価値をさらに高めるため、施工性・品質を阻害する技術的要因と対応策を示す。

またプレキャストコンクリートの適用を促進する。具体的には、コンクリート委員会等参画の下、コンクリートライブラリーの発刊、コンクリート標準示方書への提案、耐久性・安全性の定量評価法の確立と応用を目指す。

第2は、ICT・ロボット等、次世代建設技術の実用化・普及を支える研究・教育の拡充である。バーチャルリアリティを使った設計から完成・維持管理に至る時間軸での工事運営、次現場へのデータ活用等、今の技術者が失いかけている先を見通す力を次世代技術で補い、かつての優れた技術者のスキルを取り戻し超えることを目指す。具体的には、土木情報学委員会等参画の下、「土木情報学」テキストの発刊、次世代技術の学際的研究、情報化施工等に関する教育素材の収集・作成、異業種との連携等を進める。

第3は、女性・若手・シニアを含めた担い手の確保、土木界の裾野拡大である。インフラの重要性、ものづくりの楽しさ等、土木の魅力を発信する。具体的には、教育企画・人材育成委員会等参画の下、見学会、ドボ博、インフラ健康診断、造った人に目を向ける試み、国際交流への若手参画、異業種（IT 企業、重機メーカー、産業競争力懇談会、情報処理学会等）交流活動を強化する。

そして、以上のようなお話があった後、現場イノベーションの実例として、ダムの生産性・安全性向上を目指し確立された RCD 工法、岩手・宮城の復興現場でスピーディーな復興に有効に機能している新しい事業運営方式である PPP および CM 方式、福島第一原子力発電所での廃炉への挑戦、担い手確保、安全・作業環境の確保、ロボット開発等の取り組みなどが紹介され、「各所で現場イノベーションが始まっており、これを拡大・継続することが重要である」との言葉で講演は締めくくられた。

土木学会誌 Vol.102 No.1 January 2017,付録 iv-v から転載

土木の「領域」を再考し、主張ある土木を構築しよう

第 105 代土木学会会長 大石 久和

平成 29 年 9 月 12 日 アクロス福岡福岡シンフォニーホール



基調講演では、大石久和土木学会会長から、『土木の「領域」を再考し、主張ある土木を構築しよう』と題して講演があった。

講演概要は次のとおりである。土木事業は、国民生活にもっとも直接的に関係し、国民の暮らしの安全性、効率性、快適性を保障する技術、産業、学問に関連する分野である。土木技術者は、土木事業に関する行政上の問題点や経済波及効果について常に気を配り、また事業の成果が国民生活に寄与できているかに関心を持たなければならない。さらに、土木事業の予算が国会で決まる以上、主権者である国民との対話、地域の皆様とのコミュニケーションができていないかを確認しなければならない。最後に、われわれは土木人としての矜持を持っているか心に問いかけなければならない。

以下に、講演の詳細について報告する。

各国の一般政府公的固定資本形成費を概観すると、日本を除く諸外国では右上がり伸びている一方、近年の日本では 1996 年の半分以上に減少している。財政改善のために消費増税の議論があり、一方で公共事業は削減すべきという意見がある。しかしながら、GDP が伸びなければ税収は伸びないことを理解しなければならない。GDP の構成要素の一つである公的資本形成が半減する中で、他の項目が伸びなければ GDP は増加しない。このことが税収減の大きな原因となっている。公的資本形成の減少は、国民が貧困化している原因であり、結果でもある。

アメリカにおいて公的資本形成が増加し、GDP が 3 倍に伸び、税収が 3 倍に伸びている期間において、日本は全く伸びていない。日本が経済成長していない原因の一つは、インフラ投資をしていないことにある。今後、わが国がとるべき施策が消費税を上げることなのか、総税収を上げる手を打つことなのか、どちらが重要かは明白である。ここで、わが国の首脳はインフラという言葉を使わず、公共事業という言葉を用いる。公共事業のフロー効果だけでなく、インフラのストックの効果について認識する必要がある。例えば、ドイツはすでに高い水準のインフラを整備しているが、競争力確保のためにさらなる交通インフラへの投資が必要であることが認識されている。われわれ土木人はこのような点について理解しておく必要がある。

昨今の人口減少下において、道路を造っている場合ではないという意見がある。しかし、総人口が減るのであれば、一人当たりの生産性をいかに高めていくかが重要となる。人口が減るからインフラ投資を削減するのではなく、むしろインフラストックを増大させて国民の安全性、効率性、快適性を上げることが経済成長にとって重要になる。インフラは社会を支える重要な基盤であり、利潤動機では整備されないため公共部門がしっかりと整備していかなければならない。

ここで、土木学会会長として 3 つのプロジェクトを立ち上げたので紹介する。安寧の公共学懇談会、レジリエンスの確

保に関する技術検討委員会、国土・土木と AI 懇談会である。

まず、安寧の公共学懇談会とは、「われわれは社会とのコミュニケーションを改善・工夫しなければならないこと、社会と土木の関係、社会に対する土木学の貢献を俯瞰的にみる視座を持たなければならないこと、われわれ土木人は、社会・経済と土木との関係を捉えなおし、新たな領域を土木学の本質として位置付けなければならないこと」を議論する場である。「土木とは、全体として何をするもので何にどう貢献するものか」を学ぶための「土木学概論」が必要といえる。

次に、レジリエンスの確保に関する技術検討委員会では、「わが国には将来のレジリエンス確保に関する具体的プロジェクトがなく全体計画が見えない」という課題を取り上げ議論している。諸外国の社会資本整備計画では、レジリエンス確保のための具体的な計画、金額、財源があり、それらを国民に提示する形ができています。しかしながら、わが国はそうになっておらず、海図なき航海の様相を呈している。ばらまきや無駄の印象があるのはこのためである。将来国家の存続が危くなるような事態に直面しても、そこから回復できるようなプロジェクトを計画、提示する必要がある。

国土・土木と AI 懇談会では、今後到来する、「公共物すべてにセンサが導入され AI が活用される時代」に備えている。われわれ土木技術者は、どのような場面でどのようなセンサが必要となり、どのようにビッグデータを構築するかを提示する必要がある。この 20 年間、わが国の第三次産業の IT 化は失敗したと言われる。各主体が IT を個別にカスタマイズして導入した結果、ビッグデータ化ができず、IT が本来の実力を発揮せず生産性向上につながらなかったためである。このような反省を踏まえ、センサと AI 技術を活用し重要なインフラ施設の破損の予兆を捉え、事故を未然防止するようなシステムをオープンなプラットフォーム上に構築していく必要がある。

ここで、土木とは何なのかを考えたい。土木とは、「偉大な自然の営みの中で人間の存在領域の確保するための知的生産のすべてであること、国土に働きかけて国土から恵みを得るための学問、技術、実践の体系であること、インフラの整備・管理を通じた公共による公共への貢献・奉仕であること」と捉えることができる。そう考えると、工学、経済学、法学、心理学、生物学などあらゆる分野がわれわれの関心領域であり、土木は最もオープンなシステムといえる。

最後に土木技術者の矜持について考えたい。弁護士法では、弁護士に教養、品性、使命感を求めている。その一方で、技術士法や医師法などの技術系の法律ではそのようなことを求めている点に問題がある。

以上のお話があった後、「非常に困難な壁が存在するが、それを突破することで土木人として誇りを取り戻すことができる環境整備をぜひやりたい。」という言葉で締めくくられた。

土木学会誌 Vol.103 No.1 January 2018, 付録 iv-v から転載

明治 150 周年を迎えて：この国の来し方行く末を考える

第 106 代土木学会会長 小林 潔司

平成 30 年 8 月 30 日 かでる 2・7 (北海道立道民活動センター) かでるホール



基調講演では、小林潔司土木学会会長から、「明治 150 周年を迎えて：この国の来し方行く末を考える」と題して講演があった。

以下に講演の詳細について報告する。

明治から最初の 75 年が、ある意味でいかに短かったかというのを、改めて思い知らされた。明治の維新のころ、日本は極東の小さな国で、農業が主であったために、輸出できるものはわずかなものしかなかった。ただ、当時として世界に誇れるものは一つあり、それは、武士のクラスは読み書きそろばんが全員できたことであり、町民、あるいは農民に至るまでも、非識字率が少なかったことである。すなわち、知識の基盤があったことは、当時の世界を見渡しても非常に特筆すべきことであった。また、独自感かもしれないが、司馬遼太郎の『坂の上の雲』には、明治の人間の楽天的で前向きな姿勢が描かれている。

明治、大正でつくられたインフラは、太平洋戦争で灰燼^{かいじん}に帰してしまうが、ジョン・ダワー著の『敗北を抱きしめて』には、占領軍と一緒にきた記者が戦後の日本、占領期の日本について描いており、日本人は確かに敗北を抱きしめたが、明るく抱きしめ、無気力感に陥るわけでもなく、戦争に負けたことの恨みばかりに明け暮れたわけではなかったと述べている。日本人がほとんど理解していなかった民主主義のような、新しい政治のありよう、国の形、これに自分たちの将来を託してみようという気になったとも述べている。それから、インフラの整備が行われ、国が豊かになり経済成長する過程において、多くについて国民の広い合意があったと述べている。

今日まで、高速道路網や新幹線網はまだ完成までには至っていないが、大方の路線のめどは立った。問題は、明治 150

周年を迎えて次の 75 年、われわれはどこを向いて、どちらの方向へ目指して動いていけばいいのか、明治の維新あるいは戦災復興のときのように、日本人が確信をした将来の姿が果たしてわれわれが持ち得るのが問われている。

土木工学、あるいはインフラは、われわれの生活の新しいフロンティアをつくり上げていく重要な要素である。インフラなくしてこの世のなかに社会システムはあり得ない。価値の多様化、ライフスタイルの多様化、人生 100 年時代におけるよい社会に向けて、一つのシナリオを提示し続けることが土木学会の使命である。道路は、土地に根差しており動かすことはできない。つまり、インフラはもともと場の技術であるが、つながることでネットワークになる。それによって、いろいろな選択のチャンスをつくりあげることができる。土地に根差した資源は、たとえば、農林業、観光、文化、スポーツであるが、土地に根差すとは一体どういうことなのか問われるわけである。北海道では、アイヌ文化もそうかもしれない。しかし、北海道開拓は、厳寒の荒々しい原野を切り開くことから始まったが、北米のような新大陸の開拓者精神、開拓者フロンティアとはずいぶん違い、日本の北海道開拓は、ある意味で上からの開拓だったと感じる。開拓を通じて得た技術が、北の大地の資源と結びつくことで、新しい文明、文化を創り上げることができる。1152 年、ボルドーの危機では、突然、ボルドーの人間がワイン造りに目覚め始める。これは、イギリス軍の占領において、フランス人としてのアイデンティティーのためにワイン造りが始まったのである。また、一つの事例として、熊本県の天草では、6 月 30 日に潜伏キリシタンの世界遺産の登録が認められた。天草は南蛮文化でまちづくりをしようとしている。地域に技術が根差すには、オーセンティシティー（ほんまもん）であることが重要である。“ほんまもん”をつくるということは、合意をはかりながら創意工夫をして、イノベーションすることが大切である。

場の技術と同様に時間配分の重要性を認識する必要がある。時間を効率的に使うために都市が生まれたが、ポストアーバン社会では世界中が新しい動き方をしている。都市がどんどんコンパクト化している一方で、都市と郊外の概念が消滅しつつある。多様な生き方において、E コマースやテレワークが発達すると都市の意味も変わり、アウトソーシングができない活動の場を提供する場が変わっていくのかもしれない。自動運転、AI、ビッグデータは、人間のアウトソーシング、家の活動のアウトソーシングに貢献することは確かであり、それ自体は素晴らしい技術である。しかし、社会全体を大きく変えるような技術ではない。つまり、一つ一つの技術だけをみるのではなく、その技術が結びつくことによって、結果的に大きなことにつながるのである。これを、“システムのシステム化”と考える。インフラも同様であり、単独ではなし得ることが小さいが、結びつけることによって大きなことにつながるようなシステムにすることが大切である。

最後に土木学会の役割として次のように締めくくられた。「よき時代とは何かということはなかなか難しいが、人間が忙しくなっていること、非常に都市がコンパクト化していることは事実である。将来の都市は、学ぶところ、遊ぶところになっていくと考えられるが、この時間をどれだけ活用できるかは、どれだけ多様で新しいライフスタイル、ライフパターンに対応できるか、そして人のありようによると思われる。こういう方向にインフラを高度化しながら進化していけばいい。土木学会が、大きなシナリオを描けるような場にしていきたいと思っている」。

土木学会誌 Vol.104 No.1 January 2019,付録 iv-v から転載

人口減少社会におけるインフラストラクチャーのあり方

第 107 代土木学会会長 林 康雄

令和元年 9 月 4 日 レクザムホール（香川県県民ホール）

基調講演では、林康雄土木学会会長から、「人口減少社会におけるインフラストラクチャーのあり方～レジリエントで活力ある社会の構築～」と題して講演があった（写真 3）。

以下に講演の詳細について報告する。

まず、時代認識をしておきたい。今から約 30 年後の 2050 年には 20% ぐらい人口が減少する社会を迎える。このことが土木業界にもさまざまな影響を及ぼす。建設投資の推移をみると、1990 年あたりがピークで 90 億円弱あったが、現在は 50 億円半ばの値になる。一方、国土維持管理・更新費については 30 年後に 1.3 倍となる。また、少し違った観点であるが、世界における日本の GDP シェアも減少の一途をたどっており、ここからの回復をどうしていくのかについても課題となっている。

激甚化する災害への防災減災対策

昨年、大阪北部地震、平成 30 年 7 月豪雨、台風 21 号、北海道胆振東部地震、令和元年 8 月豪雨が発生している。四国でも南海トラフ大規模地震への対応が喫緊の課題となる。土木学会においては東日本大震災以降、2016 年からの減



災・防災委員会やアメリカ土木学会との共同研究を実施しており、中期計画である JSCE2020 のプロジェクトとして複合災害への対応や長期的な防災・減災体制の検討を新たに進めていく予定である。南海トラフ地震対策としては、本四備讃線北浦港橋梁や大東川橋梁の耐震補強など、さまざまな対応を行っている。L1 津波に対しては、四国整備局を中心に概ね 15 年を目標に防潮堤の整備を進めている。L2 津波に対しては、減災を目的に避難タワーの整備を完成させている。ハード的な対策だけでは防ぎきれないものに対しては、津波でんでんこのように逃げるしかない。防災・避難訓練が大事になる。東日本大震災の際に常磐線の新地駅において車両が流されたが、乗客 40 名と車掌、運転手は何とか難を逃れた。ハード、ソフトを併せて災害対策の着実な推進が重要である。

建設後 50 年以上経過するインフラの適切なメンテナンス

戦後公共施設を建設したが、一斉に老朽化してきている。道路橋は 72 万橋梁あるが、市区町村管轄のものが半分以上を占めており、建設から平均 38 年経過している。河川施設や港湾施設の経年数も概ね 30 年前後となる。鉄道については、鉄道橋約 10 万橋のうち約 14%、鉄道トンネル約 4.7 千本のうち約 12%が供与期間 100 年を超過している。土木学会においてもインフラメンテナンス委員会をはじめ各種取り組みを行っており、国交省とも連携しながら広く国民にインフラ点検内容の周知を行っている。今年度からはインフラメンテナンス（鉄道）特別委員会を立ち上げ、民間事業者が管理の主体であった鉄道関連施設についても健全性の把握やより長い供与期間を持つ鉄道施設から得られる知見の整理を行う予定である。鉄道は代替輸送の確保が困難であるため、変状の早期発見、早期対策による長寿命化がメンテナンスの基本的な考え方となる。メンテナンスは、安定輸送の最重要課題であることから、必要な経費を投入し、メンテナンスの情報を設計・施工に反映させることで、100 年以上使えるような構造物の構築を目指している。たとえば、左沢線の最上川橋梁は 1986 年、東海道線の清水谷戸トンネルは 1987 年に完成したものを現在も利用している。

メンテナンスについて個人的な意見をまとめると、以下になる。基本的に、東海道新幹線のように長く使い続けることは可能である。メンテナンス実施の体制は対象となる地域を中心とすること、長期間の包括委託契約で体制を整えること、適切な試算を行い、自治体の財源を確保することが重要となる。

深刻な人口減少と急激な少子高齢化社会へ進展する中での担い手の確保

生産年齢人口が減少し、建設業就業者数に占める建設技能者が減少しつつあり、その中でも 65 歳以上が最も多く、それに比べて 20 歳代はかなり少ない。10 年たつと、単純計算で 50 万人ぐらゐ減少することになる。さらに 10 年たつとますます技能者数が減少していく。不足分は i-Construction 等による生産性向上と女性や外国人活用のダイバーシティでカバーしていくが必要になる。現在、女性技能者は 10 万人しかおらず、また技能実習で来られている外国人は 4.6 万人程度であり、このあたりを増やしていく努力が必要となる。

今後の日本の成長をけん引する社会基盤の構成

GDP のシェアの増大に向けては、国交省で検討しているスーパーメガリージョン構想が有望と考える。東海道新幹線や北陸新幹線に加え、リニア中央新幹線の整備を中心に、東京、名古屋、大阪の巨大都市圏を構築することで、東京一極集中のリスク分散もはかれると考える。併せて新東名や新名神などの道路インフラ、航空、海上インフラのさらなる整備が必要である。また、日本列島（4 島）のネットワーク強化も重要であり、四国への新幹線の導入、青函マルチトンネルの建設による人流・物流の強化、地方を結ぶ高速道路の幹線の整備、四車線化などは災害時のレジリエンスの向上の観点からも重要である。経済的効果を踏まえて、整備を進めていくべきである。地方創生の観点からは ICT を活用するスマートシティも 21 世紀の後半に向けた都市づくりにおいて有用な取り組みとなる。

土木学会誌 Vol.105 No.1 January 2020,付録 iii-v から転載

何を育み何を変えるか～土木の原点と組織文化の視点から～

第 108 代土木学会会長 家田 仁

令和 2 年 9 月 9 日 名古屋工業大学

基調講演会では、家田 仁土木学会会長から「何を育み何を変えるか ～土木の原点と組織文化の視点から～」と題する講演が行われた。日本社会、土木界における「三つの内在的危機」と、それを乗り越えるために何を強化し何を変革するか—土木の原点を再認識すること、組織文化を変革すること—について述べられた。当日は、名古屋工業大学をスタジオとして YouTube ライブ配信を行い、瞬間最大視聴者数は 727 名で



あった。基調講演の全文は、付録 xviii ページ以降に掲載している。

イントロダクション

初代会長の古市公威先生が 1914 年に講演されて以来、土木学会では、毎年、会長が格調高い講演を行ってきた。そのような連綿と続く、鎖の末端に連なって講演するというのは、誠に名誉なことだが、同時に私にとっては大変に気が重い。そこで、誰か講演を行わなかった会長はおられないものかと、歴代会長の講演をざっとレビューしてみた。そうしたところ 1 人だけおられた。1944 年-1945 年、他ならぬ太平洋戦争の終戦をまたぐ時期に務められた鈴木雅次第 32 代会長である。ちなみに、この方は内務省の港湾官僚（なおかつ初代土木計画学研究委員会委員長）であり、臨海工業地帯開発の先駆者という功績から文化勲章を受章された、今もって唯一の土木技術者である。これでは、私ごときが講演をしないという選択肢は持ちえない。やむなく本日は誠に拙い話を披露するが、ご寛恕いただきたい。

さて、昨年 6 月の次期会長就任から進めてきた事項がいくつかある。いずれも現在の種々の重要課題を踏まえ、土木学会が直ちに着手すべきと私が考えた五つの事項である。それらの進捗と今後については後ほど簡略に報告する。

そうした具体的な諸施策とは別に、私たちの組織文化とか体質といったもっと奥深いところで、土木界全体が原点に立ち戻って自己認識し、あるいは育成し、あるいは思い切った転換を図るべき点も少なくないのではないかと、これまで私は漠然と感じてきた。そこで、土木学会誌の鎌田敏郎・前編集委員長に無理を言って、今年の 7 月号から会長理事会特別シリーズをスタートした。1 年間にわたるこのシリーズは毎月、ゲストや理事の諸氏とともに土木界のファンダメンタルズについて種々論じていくものである。

現在は、来年 1 月号までの座談会を実施し、さらに先の企画をおおむね練り終えたところだが、それらを通じ、私自身、考えを縷々巡らせる機会を得た。人口減少や、温暖化に伴う災害の激甚化、インフラメンテナンスなどさまざまな重要課題に対する個々の施策はもちろん重要だが、現在の私たちに必要なのは、後述する「内在的な危機」に直面する今、メンタルなレベルでの自己転換を通じてそれを乗り越え、次なる飛躍につなげていくことではないかと思う。

歴代会長の講演には、大別して三つのジャンルがあるようである。一つは、ご自分の専門領域を反映した学術的・技術的な内容、二つ目は、時代認識を踏まえて土木界が何に取り組むべきか大所高所から論じるもの、さらにもう一つが土木に携わる人間の、ものの考え方や姿勢、組織のあり方である。古市初代会長の「将ニ将タル…」で有名な講演もこれに当たるが、その後も幾人もの会長が会員に向けて問い直している。本日の私の話もこれに相当するが、先輩方の言葉を紹介しながら述べる。

五つの重点ポイントのその後

先述した、6 月の会長就任挨拶で話した五つの重点ポイントについては、現在、種々の課題を念頭に置き、現在、理事会や各委員会の面々などと協力して取り組んでおり、その具体的進捗状況を簡単に報告する。冒頭で述べた通り、これらはいずれも、昨年の次期会長就任の頃から準備してきたものだが、実はその起源はさらにさかのぼる。東日本大震災のあった 2011 年度と、笹子トンネル天井板落下事故のあった 2012 年度という、クライシスの続いた 2 年間に私は学会の副会長を務めていたため、その頃の会長諸先輩と対話の機会を多く得た。重点ポイントも、災害対応や震災復興については阪田憲次第 98 代会長、メンテナンスは橋本鋼太郎第 101 代会長、市民との協働は山本卓朗第 99 代会長との対話の中で温めてきたものである。

第 1 のポイント「大災害への的確な対応と社会への発信」については、今回の新型コロナウイルス禍に際し、会長を委員長としさまざまな分野の専門家をメンバーとする「パンデミック特別検討会」を設置し、短期施策から長期的なインフラ整備の在り方まで幅広く検討し、7 月には土木学会としての声明を発表した。また、本年 7 月の九州豪雨の直後、近年の豪雨災害の激甚化と多発化を踏まえ、会長を委員長とし、水工学や土地利用制度などの専門家をメンバーとする「豪雨災害対策総合検討会」の常設を決定した。今後は、治水の新たな理念的枠組みと施策コンセプトを社会に提案していく予定である。さらに高位の課題としては、(防災性に限定するものではないが) わが国の国土とインフラの(国際的相場も視野においた)「実力評価」に取り組むことを考えている。

また、本年は 2011 年の東日本大震災復興 10 年という節目の年に当たり、「東日本大震災復興 10 年の総括と次なる大災害への備え」を第 2 のポイントとしている。これまで実施してきた復興活動の良き点と反省すべき点を総括し、今後予想される大災害への備えに積極的に生かすため、実行委員会(羽藤英二委員長)を設置し、来年夏まで 4 回にわたって「リレーションポジウム」を行う。その第 1 回は 7 月に仙台にて、ウェビナー方式で多数の視聴者が参加して行った。第 2 回は 9 月に南海トラフ地震もにらみ名古屋で実施する。

第 3 のポイントは、「海外インフラ展開の戦略的推進」であるが、国際的に視座に立ってわが国の土木界を振り返ると、その重要性には多言を要さない。6 月には、産官学の専門家をメンバーにして、「今後の海外インフラ展開に向けた変革

のあり方検討会」(森昌文委員長)を発足させた。逐次、社会に向けて提言を発信していく。学会誌の本年4月号からは、「日本インフラの強さとオリジナリティ」という長期シリーズを開始した。また、9月中旬からは、当会も協力団体となり、昨年に引き続き「海外インフラ展開人材養成プログラム」の第2回を実施する。

第4のポイントには、「インフラメンテナンスへの戦略的取り組み」を掲げている。メンテナンスは、片時も看過されてはならない必須の基礎的活動であり、土木学会にインフラメンテナンスを力強くかつ恒常的に位置付けるため、既存の関連委員会を発展的に統合し、会長を委員長とする「インフラメンテナンス総合委員会」を常設した。これについても9月の研究討論会で種々議論する。

第5のポイントの「JSCEの新たなパートナー展開」は意外に思われたかもしれない。しかし、本来、インフラや国土の整備あるいはマネジメントは、施設管理サイドに立つ者だけの一方的なものではなく、インフラや国土そして私たちの仕事に関心を寄せさまざまな活動をされている人たちとの密接な協力によって初めて充実させることができる。また、インフラメンテナンスや防災などの業務は、地方公共団体などの技術職員や地方の民間企業などが主な担い手となっている。土木学会とそうした人々や団体との間に、これまで以上に緊密な協力体制を築くため、いくつか具体的方策を進めつつある。

まず、自治体の人たちを主な対象に、出張や大きな金銭負担を要さないウェビナーを使った大規模なセミナーシリーズを、11月から開始する。これはインフラメンテナンス総合委員会・アクティビティ部会(岩城一郎部会長)を中心に実施する。また、大西精治副会長を中心に、インフラの協働活動などを行っている市民団体と土木学会でパートナー協定を結び、情報交換や広報活動などを互恵的に広げる新たな制度を創設すべく準備中である。さらに、こうした活動に必要な情報交換のツールとして、土木学会誌とは別途、地方支部をベースにした新たな情報メディアの創設についても検討を開始した。

三つの内在的危機

では、本日の本題に入る。日本社会も土木界も、人口減少・温暖化・グローバリゼーションのひずみ、あるいは今回のようなパンデミックなど多岐にわたる課題に直面している。諸課題に真摯に取り組むことの重要性は改めて述べるまでもない。しかし、それらとは別次元で、私たちは内在する深刻な三つの危機に直面している。

第1の危機は「日本の存在感への懸念」である。世界全体に対する日本のGDPのシェアは、この20年間で13%から6%へと半減し、1人当たりのGDPで見ても、かつての日本は世界2位であったが、現在では26位にまで低下した。人口減少の中、1人当たりの生産を上げなくては国力が低下してしまうが、状況は深刻である。株式時価総額で見た世界の企業のランキングでは、1989年にはトップ30社の中に日本企業が21社も占めていたが、今や1社たりとも入らない。こうした状況の中、寺島実郎氏は、近著の中で、「埋没の中での低迷を、『安定』と取り違え、あるいは自らにそう言い聞かせている人たちが多い」という趣旨を述べている。状況そのものよりも、むしろ危機を自認しないことの方が深刻かもしれない。

第2の危機は、「日本の技術やシステムの先進性への懸念」である。日本人の2000年以降のノーベル賞受賞者は13人で、米英に次ぎ、フランスとともに世界第3位となっている。しかし、これを人口当たり受賞者数にすると状況は一変する。英米、スイス、北欧諸国、フランスなどが高く、日本はドイツとともにかなり低くなってしまふ。その他、自然科学分野の論文数では、最近3年間について調べたものによると、日本は6万5000本であるのに対して、米国は28万本と人口比を考慮しても圧倒的に多く、また中国はついに米国を抜き30万6000本という勢いである。その中国のインフラを見ると、現在、高速道路延長は日本の10倍、高速鉄道の路線延長は日本の8倍となっている。技術というものは、たくさん仕事をする中でこそ進化していくので、中国も今後は、ICT分野ばかりでなく、多くの分野で少なからぬ成果を出していくだろう。先の五つの重点ポイントにも挙げたように、わが国も海外マーケットなどで、「多くの仕事」をする方向にビジネスのかじを切り、「活力」を増進していくことが不可欠だろう。

第3の危機は、「日本の勤労者のモチベーションへの懸念」だ。吉野太喜氏の「平成の通信簿」によると、海外の調査会社の行った勤労者の「やる気」に関する国際比較で、わが国は139カ国中、驚いたことに132位という低さという。技能オリンピックもかつては日本の独壇場だったが、このごろはスイスや韓国などが台頭し、日本は上位に入れない状況だ。近年の人口当たりの博士取得者数は先進国のほとんどの国々で年々増加してきたが、日本だけは逆に低下している。日本社会は、相対的にはいわば「低学歴化」しているわけである。

危機は飛躍のチャンスでもある

このような状況は、間違いなく危機と言えよう。しかし、日本人のメンタリティを考えると、こうした危機をおのおのが自認することによって起死回生し、新た発展のチャンスに転換する可能性がある。

第37代会長の吉田徳次郎先生は、1950年の会長講演で「日本の土木技術は、英米に比べて、少なくとも20年から30

年遅れてしまった」と述べている。それから約 30 年間たつて 1979 年になると、米国の社会学者エズラ・ヴォーゲルが「ジャパン・アズ・ナンバーワン」と、最頂の引き倒しのような本を書いたほどに、日本は立派な技術国に成長した。これは私たちの先輩が、実に多くの仕事と向き合い、科学や技術に挑戦し、それを果敢に実践してきた結果である。

同様に私たちもこれら三つの危機に対して、第 1 には、日本企業と行政のあり方の変革、第 2 には、技術進化への「挑戦力と実践力」の変革、そして第 3 には「働き方」に加えて「働きがい」の変革が必要ではないかと考える。

新型コロナウイルスのパンデミックは多くの発病者や死者、そして大きな経済被害をもたらしている。世界中が共通の災禍に見舞われた中で、各国における対応がメディアによって発信され、その差異が相互に比較可能になっている点は通常の自然災害や戦争の災禍と大きく異なっている。例えば、強制されなくても外出を自粛し、手洗いなどの衛生習慣も定着している個々の日本人の社会道徳観は国際的に見ても決して悪い方ではなかった一方で、日本の情報基盤や行政のデジタル化あるいはワークスタイル改善などの歴然とした遅れは多くの日本人が認識した。危機感を転換と飛躍のスタート点として、こうした弱点をスピード感をもって克服することができれば、相当な生産性向上につながっていくのではないかと思う。

前述の三つの危機も、私たちがそれを強く認識し、変革マインドをもって真摯に取り組むことで飛躍のチャンスに変えられるのではないだろうか。

土木の原点から考える

ただ、これら三つの内在的危機を乗り越えるには、制度や仕事のシステムといった上部構造の変革だけでは不十分だと思う。むしろ、自身のものの考え方や組織における価値認識といった、私たちの心を支配する内面的な部分、つまり下部構造に目を向け、自らのアイデンティティーの再認識と積極的な自己変革が重要なのではないかと思う。

大きな転換が要請されるという意味では、これまでの会長講演でも言及されることがあった。例えば、第 84 代会長の松尾稔先生は、1997 年に「歴史的転換期の渦中にある工学」と題して講演し、さまざまな不祥事や市民との合意形成におけるトラブルなどを契機にして、土木界の私たち自身の転換が必要であることを訴えた。この転換は、「外からの批判や環境変化に対してどう変わるか」という、主として外発的な動機に立ったものであった。しかし、私が今、特に提起したいのは、むしろ「内在的な危機感」に基づく、私たちの内面的な自己点検と自己変革である。

私たちのメンタルにとって重要な自己点検の一つの視座は、「土木の原点」すなわち私たちのアイデンティティーを再確認することではないだろうか。このテーマについては、冒頭で述べた土木学会誌の記事のため 7 月末に座談会を行った。登壇者から「土木の原点」とは何なのか、いろいろな意見が出された。それらを私なりに大まかにまとめると次のようになる。

「土木の原点」らしきもののまず第 1 は「目的論的原点」だ。土木学会の倫理綱領には、「国民及び国家の安寧と繁栄、人類の福利とその持続的発展に知徳をもって貢献する」と書かれているが、この社会的使命感がこれに当たる。

第 2 は「自然環境との近接性」である。自然の驚異から国民を守るという面でも、自然の恩恵を国民にもたらすという面でも、あるいは脆弱な自然環境や生態系を理解し保護するという面でも、土木分野の自然との近接性は極めて高い。

第 3 は「公衆との関係性すなわち政治性」である。土木は公衆との接点に立つ分野だ。公衆は利用者であり、納税者であり、地権者であり、また投票権者でもある。したがって、土木分野は、政治性を本質的に内包しているわけで、政治性もまた土木の原点の一面と言えよう。これら第 2 と第 3 の点もやはり土木学会倫理綱領が触れている。

総合アプローチ・ブリコラージュ能力・開放性と寛容性

これらに対して、より個々人のメンタルな面で「土木の原点」と思われるところを挙げてみたのが次の第 4 から第 6 である。

第 4 は「総合アプローチ」が求められる点である。これについては後述する。

第 5 は積極的な意味での「ブリコラージュ能力」だ。災害への対応などが典型ケースだが、情報や資源そして時間が限られる中で、取捨選択したり妥協したりしつつも、その都度、最善と思われる策を迅速に見いだし、果敢に実施しなければならない、そういう事態は土木の世界では極めて多く、土木屋の真の力が問われる局面である。ここで、「ブリコラージュ」（仏語）の原義は、「あり合わせ」を使った「おっつけ仕事」を指す。

第 6 は知的な意味での「開放性と寛容性」である。自らの外枠を規定しない知的な意味での開放性と、他の分野に対する寛容性は、第 4 の「総合アプローチ」と第 5 の「ブリコラージュ能力」を発揮するのに不可欠となる基礎的な要素となる。「どこまでが土木で、どこから先は土木ではない」という考えでは斬新でダイナミックな発想や活動につながらない。まして、自らの周囲に垣根を設けるような発想や、自分の専門分野のフレームワークに閉じこめることは本来の土木の発想ではない。

これらの中でも、特に第4の「総合アプローチ」の重要性は、初代会長の古市先生が、会長講演の中で強調している。引用すると、「文明の進歩に伴い、専門分業、いわゆるスペシャリゼーションの必要を感じるは、一般の法則である。しかし専門分業の文字に束縛せられ、萎縮する如きは、大いに戒むべきことなり」とある。そして、同様の趣旨をその後の歴代会長もしばしば訴えている。これが繰り返し強調されてきたという事実は、「土木の原点」の一局面とも言える「総合アプローチ」が、ただ漫然としていては達成し難く、その理想の実現が容易ならぬということでもあろう。

私は、この「総合アプローチ」「ブリコラージュ能力」、そして「開放性と寛容性」の3項目をセットにして、その総体を個々人のメンタルな面での「土木の原点」として捉えることが重要だと考える。「総合アプローチ」を主として平時における原点として、それと対になるのが非常時の「ブリコラージュ能力」であり、それらを「開放性と寛容性」が基礎として支えているというわけである。

土木界の組織文化の視点から

この「開放性と寛容性」を確保する上で、一つの「鍵」となるのは私たち各個人の「好奇心と教養力」だが、もう一つの鍵は組織や社会における「価値観の多様性」ではないか。

そこで、私たちがよって立つところの土木界の「組織文化」に目を向けなければならない。これは私たちが組織の中で何に価値を置き、どのように行動するかを暗黙に規定する価値体系ではないかと思う。では、私たち土木界を取り巻く、わが国の組織文化とはどのようなものなのだろうか。

これに関して、まず思い出されるのは、中村元氏の「日本人の思惟方法」（大作「東洋人の思惟方法」の一冊）だ。その後1960年代から70年代にかけて、中根千枝氏や土居健夫氏、あるいは山本七平氏らが、「タテ社会」「甘えの構造」「日本教」「空気」といったシンボリックかつ少々センセーショナルな用語を用いて、日本社会の組織文化の特徴を鮮明に描き出した。最近では小熊英二氏が「日本社会のしくみ」の中で「メンバーシップ型雇用」と呼んでいるような組織文化である。これらの著作群から、その基本的特徴をステレオタイプに記述すれば、個人の行動の規範が、正義とか倫理とか合理性といった、組織を越えて存在する（と思われる）普遍的な価値基準に準拠するのではなく、帰属する組織でオーソライズされた事項や利害、あるいは組織内におけるタテ方向の人間関係への忠誠心に置かれているような組織文化ということになる。細かな説明は省略するが、そこでは内と外の使い分けとか、組織として一枚岩性とか、集団主義などが特徴とされる。

他の学問分野や産業界などと比較しながら省みると、私たち土木界の組織文化は、こうした日本の伝統的な組織文化の特性がかなり濃厚のように思える。先に挙げた吉田徳次郎先生は、1950年の会長講演で、「土木技術者は、相寄り相扶けて仕事をするところが他の分野と異なる美点である」と述べているが、この言葉は、私たちの組織文化が日本社会の伝統的組織文化を強く志向してきたことを表している。

このような組織文化にはもちろん優れた面もある。吉田先生の講演の後に続く、高度成長期における「欧米に追いつけ、追い越せ」といった、はっきりした目標に向かって皆が全速力で突っ走るといふ時代には、集団主義的組織文化は大いに功を奏し、成果を上げたことだろう。

現代でも、例えば、一度災害が発生すると、地元の建設業の人々が行政と一体になって労苦を惜しまずに復旧活動にいそしんでくれる。そうした精神は私たちの組織文化のたまものである。また、危機感を共有して変革に取り組む際にも当然有効だ。2012年に笹子トンネルの天井板崩落事故が起こり、インフラメンテナンスに関する危機感が強く共有され、「メンテナンス元年」という旗印の下に、その後5年間かけて全国で一斉に構造物の点検が行われた。これなどもその一つの表れであり、こうした長所は今後も大事にしなければならないだろう。

価値観の多様性と組織文化

しかし、その一方で、変革すべき要素も少なくない。先の「土木の原点」を考察した際には、「開放性と寛容性」が重要であり、その鍵となるのが社会や組織における「価値観の多様性」なのではないかと述べた。では、私たちの組織文化は、組織内の「価値観の多様性」を増進し、私たちの価値空間をより豊饒なものへと育成するのに適したものなのか、私は大いに変革の余地があると考えている。

栢原英郎第96代会長は、2008年の会長講演で、「誰がこれを造ったのか」と題し、曾野綾子氏の小説「無名碑」に象徴される、無名の集団美学から脱皮し、技術者個々人の存在と成果にもっと光を当てるべきだ、という趣旨を述べている。全く同感だ。

「価値観の多様性」が、私たちの「開放性と寛容性」を確保し、活力ある発展の肝であるとするならば、私たちの組織文化を過度の「集団主義」や「一枚岩性」に陥ることのないよう常に内省し、思い切って変革していくことがとりわけ重要ではないかと思う。

以上、土木の原点と、そして土木の組織文化という二つの側面から述べてきた。では、前述の三つの内在的危機を乗り越えるために、私たち個人や個人を包む組織の内面において、育むべきもの・変えるべきものについて話を進めたいと思う。

戦後のインフラプロジェクトから

その前に少々脇道に入る。ご存じの方々も多いと思うが、第82代会長の中村英夫先生の発案で、建設コンサルタンツ協会がちょうど2年前から実施している「インフラ整備70年」という講演シリーズがある。第1回の黒四ダムに始まり、これまで17回にわたって、東海道新幹線や東名高速、佐久間ダム、鹿島港をはじめ、戦後日本を代表するインフラプロジェクトが次々と紹介されてきた。いずれも素晴らしいもので、現在の日本の社会と経済が、これらの礎の上に成り立っていることを改めて痛感させられる。同時に、これらは私たちを深く感動させ、また強く励ましてくれる。一体、私たちは、これらのプロジェクトの何に感動し、何に励まされるのだろうか。巨大さ?長さ?速さ?もちろんそういった要素もあるだろう。しかし、私は、それとは別にもっと本質的な感動の源泉が潜んでいるように思う。

戦後のわが国の土木界は、限られた国力と、吉田徳次郎先生の言うように、欧米からかなり遅れてしまった技術環境の中で、それまでの制度や経験や習慣を果敢に乗り越え、革新的な事業を創案し、そして技術的にも事業的にも多くの困難に挑戦し、合理的工夫を凝らして実践してきた。私たちが感動する源泉は、この迫力ある「挑戦力と実践力」なのではないだろうか。

もちろん、私たちがこれから挑戦すべき困難は、こうした従来のプロジェクトの時代と同じではない。しかし、私たちもまた、現状に安住せず、新たな困難に対して、新たな挑戦と実践をすることによって、初めて次の時代を切り開くことができる。これらのプロジェクトを成し遂げた「挑戦力と実践力」から現代の私たちが学ぶべきことは多い。

何を育み何を変えるか

以上のように考えてくると、最も重要なことは、何といても、土木界全体の「挑戦力と実践力」を育み、現状に拘泥せず、次の時代を切り開く活力を増進することだと考える。

では、どうやって挑戦力と実践力を高めるか?その基本は、当然だが個人の資質にある。特に、個々人の想像力・工夫力・独創力、さらに私は孔子が論語の中で「之を楽しむものに如かず（不如楽之者）」と言っているとおり、「楽しむ力」を加えたい。私たちの分野にそうした有為の人材をもっと引き付け育てていかななくてはならないだろう。

そして、有為の個々人が十分な活力を発揮するためには、私たちの組織の価値観においても、標準化と集団主義の世界から、個別性と個々人を重視する世界へと、勇気を奮って転換していくことが不可欠に思う。その際に最も重要なことは、画一的な人事評価や業績評価から脱却して、ユニークで面白いことを考える、多様な価値観をもった人たたちを引き付け、そういう多様な人たちがもたらす雑多な刺激を通じて、私たち全体の価値空間を、もっと多様で豊饒なものにしていくことだと思う。

新型コロナウイルス災禍によって、土木界の働き方も見直しと改善を余儀なくされた。そうした外発的な組織文化の変革に加えて、私たち自身が内発的に自己の組織文化を改革していくことができるか否か、精神的な視座からみると、土木界の将来はまさにそこにかかっているのではないだろうか。

そして、そうした変革を通じて、自らを相対視する土壌と「内なる開国」を進める度量が育まればと期待する。ここで言う「内なる開国」とは、私たちが真の国際競争力を強化していくために、国内における契約の仕組みとか人事運用とか、ものの考え方などについて過度に日本独自の方式に固執せず、適切に国際標準に合わせていくことを指している。

このような体質改善を通じて、皆が、土木の原点の一つとも言える、「俯瞰的総合力」を思う存分に発揮するようになればと思う。

蛇足：俯瞰的総合力～私的体験から～

蛇足となるが、最後にこの「俯瞰的総合力」について、私のささやかな体験談を含めて、少々付け加える。

ここでいう「俯瞰的総合力」とは、「俯瞰力」と「総合力」とを合体させた私の造語である。実行パワーに富んだ総合力を欠く、評論家的俯瞰力のみでは何の足しにもならないし、逆に、教養に富んだ俯瞰力を欠く、貧困な総合力のみでは、もたらされる結果に将来性が期待できない。したがって、俯瞰力と総合力は一体的でなくてはならないと考え、「俯瞰的総合力」としてみたわけである。

この俯瞰的総合力のうち、「俯瞰力」の方の重要性を初めて意識するようになったのは、今から35年くらい前に私が東大の助教授になった頃のことだ。もう亡くなられて13年になるが、応用力学がご専門で、当時国際開発の分野開拓に取り組んでおられた、西野文雄先生の所へ挨拶にいったところ、先生が「土木の教員たるものは、少なくとも学部レベルの土木の専門科目くらいは、全て講義できるようでなくてはいけないぞ!」とハッパをかけてくださった。ありがたい一言

だったと思う。それ以来、いろいろな分野の優れた方々に教えていただきながら、私なりに努力してきたが、残念ながら全てを講義できるような域には到達していない。

今になって振り返ってみると、俯瞰力の糸口をつけるのに役立ったのは、学校教育に限っていえば、専門教育よりもむしろさまざまな教養科目、とりわけ何の役にも立ちそうもない科目群であったように思う。不思議なことに、そういう何の役にも立たない基礎学問の知識が、ものの考え方といったベシクなところで、あちらとこちらがつながり合ったり、何かのヒントになったりして、ずっと後になって、いわばボディブローのようにもしくは漢方薬のように効いてくるような気がする。

俯瞰的総合力の内の、もう一つのパーツである「総合力」の方も、私自身は未熟でこれからも鍛錬が必要だ。しかし、それでも何がしか身に付けることができたとするならば、私の場合、それはかなりのところ事故や災害の調査と、それに伴う方策や提言づくり、といった「危機」に関わる活動が大きく寄与しているように思う。

例えば、2000年の地下鉄日比谷線の脱線事故では、運輸省に事故調査委員会（委員長：井口雅一先生）が臨時に設けられ、私はその幹事長を務めた。さまざまな分野の専門家が集まって、ああだ、こうだとかんかんがくがくの議論を毎晩のように行い、せめぎ合ったり、助け合ったりしながら、真相の究明や再発防止策を一刻も早く出さなくてはならない、いやが応でも総合力を磨くことになった。

さらにさかのぼると、1995年の阪神淡路大震災の土木学会調査に至る。会長の中村英夫先生が、現在の言葉で言えば「総合調査団」を、間髪いれず設置し、さまざまな分野の専門家を入れて、自ら団長となって指揮された。私もその一員として加わり、コンクリートや鋼構造などの専門家たちと現地を回り、破壊された現物を目にしながら、破壊現象の理解と今後の設計や補強の方針に関する議論の末席に参加することができた。恥ずかしい話だが、「土木工学総体」を自分の射程に入っているべきものと認識するようになったのは、この調査団に参加した時からだったように思う。

それ以来、中越地震や東日本大震災、熊本地震、広島や伊豆大島の土砂災害、西日本豪雨や昨年の東日本豪雨、今年の九州豪雨、等々、大災害に際しては、できる限り学会の総合調査の場を作ったり参加したりしてきた。また、時には有志の分野混成チームを独自に作って現地に入ったこともある。例えば、昨年10月の東日本豪雨では、林康雄前会長を団長として、種々の分野の専門家をメンバーに総合調査団を設置し、現地視察を行った他、はたから見ればまるでけんかをしているかのような激しい突っ込んだ議論を何度も行い、本年1月には従前の治水の止揚の変革を求める、革新的な政策提言レポートを発表することができた。これは、広い知識を持った参加メンバーそれぞれが高い「俯瞰的総合力」を発揮したたまものだ。

こうした総合調査における私自身の寄与は、実に微々たるものだが、活動を通じて私自身が得たものは極めて大きかったと思う。そうした機会を通じて、水工学の福岡捷二先生や構造工学の三木千壽先生のような、見識に富んだ方々の知己を得て多くを習い、わずかでも自分の知見を広げ、俯瞰力と総合力を鍛える、得難い糧とすることができたように思う。

その契機となった阪神淡路大震災の調査団に、私を加えてくださった中村英夫先生には、いくら感謝してもしきれものではない。

災害というのは痛ましいものだ。また、私たち土木の専門家が復旧や復興あるいは対策策定などに、知識や能力の全力を挙げて真剣に取り組むべきことはいまでもない。しかし、こうした災害はいろいろな分野の専門家が、それぞれの分野を超えて総合的に協力し知恵を結集する、「俯瞰的総合力」を鍛錬し発揮する、またとない機会でもある。意欲ある若い方々には、自分の現在の専門分野に拘泥せず積極的に災害調査や復興に関わり、社会や被災地に貢献するとともに自分を磨く機会にされることをぜひお勧めしたい。

土木学会誌 Vol.106 No.1 January 2021,付録 iii-iv, xvii-xxiv から転載

これからの暮らし、経済とインフラのビッグ・ピクチャー

第109代土木学会会長 谷口 博昭

令和3年9月8日 東海大学

基調講演では、谷口博昭第109代土木学会会長から「これからの暮らし、経済とインフラのビッグ・ピクチャー ～開かれた魅力溢れる土木学会を目指して～」と題して以下の七つの切り口で講演が行われた。



継往開来の精神で

これまでの JSCE の長年の成果と JSCE2020 や各調査委員会の幅広い活動を踏まえ、「継往開来」の精神で、総合的な土木技術等の視点に立ち、未来を切り開く転換、再構築の時としたいという気持ちでビッグ・ピクチャーをまとめた。

未来を切り開く転換、再構築の時

「失われた 30 年」という停滞状況にあり、公共事業削減と軌を一にする。少子高齢化・人口減少、グローバル化・IT・DX の進展、気候変動・エネルギー問題の深刻化等大きな潮流に加え、コロナ感染拡大の危機となっている。コロナ後の持続的繁栄のため、政治・経済の両制度と公共事業・インフラの在り方を転換、再構築することが肝要である。歴史と米英中に学び、インフラの戦略と長期計画の策定が日本に求められている。

土木、公共事業、インフラとは

公共事業は無駄が多いなどの悪いイメージが先行しているが、歴史的にも暮らしや経済活動を支えるのに必要不可欠な「公共」の事業である。インフラ・ストラクチャーは、暮らしや産業を支える「下部構造」の意味である。これからも暮らしや産業の上部構造とともに進化・高度化することが肝要であり、質、コト・サービス、線・面・都市・流域、安全・安心・快適性、多様性・個性に対応する必要がある。

ビッグ・ピクチャー（全体俯瞰図）

将来への備えを万全にするためには、皆が信頼し共有し得る暮らしや経済のビッグ・ピクチャー（全体俯瞰図）が必要不可欠である。①対立から協調へ②経済効率優先の転換③集中から分散へ④内部留保から投資へ、貯蓄から消費への転換、⑤インフラ重視への転換が求められる。リスク分散型国土と自然、歴史文化を尊重する国・まちとし、これらの将来像に基づくインフラの計画的、効率的かつ先行的な整備・保全が肝要であり、大小軽重を判断し取捨選択したプロジェクトと財源の裏付けと投資額を明示した“インフラのビッグ・ピクチャー”を提言したい。

開かれた魅力溢れる土木学会へ

土木学会の定款には記載がない土木技術者の社会的地位の向上を目指していきたい。社会資本に関するインターネット意識調査を 5 月連休に調査した。国民が期待する我が国の姿・プロジェクトの意見募集、note コンテスト実施を 9 月 8 日（水）募集開始し、11 月土木の日にグランプリ作品を発表する予定である。学会関係者の意見募集は支部に期待している。インフラの長期計画の推移と過去の投資額を調査している。

技術と経営

単なる技術だけでなく、経営と不連続にならないよう強調しながら Win-Win の関係になるように心掛ける必要がある。特に Cost, Price, Value（価値）の違いの認識が必要である。土木学会誌デジタルアーカイブを見てほしい。中村英夫氏の設計・施工・維持管理までトータルでの技術体系をつくるなど、最近の DX や i-construction に活用されればと思う。

大きな価値観の共有

其生^{ともいき}の精神が必要であり、高い志を土木技術者が持つ必要がある。青山士氏は Civil Engineering を文化技術と訳しており、文化的な視点も必要である。琵琶湖疎水は大学卒業直後の田辺朔朗氏が苦勞しながら成し遂げた。若い人に活躍のチャンスを与えてほしい。政治家の責任は、国民の責任である。支部の活動も含め、ビッグ・ピクチャーの議論をしながら、環境整備をして、政治に提言していくことにつながればいい。支部の活動でも国民、住民と意見交換しながらビッグ・ピクチャーをまとめてほしい。

土木学会誌 Vol.107 No.1 January 2022,付録 iii-v から転載

グローバルな課題・視点と土木技術・技術者

第 110 代土木学会会長 上田 多門
令和 4 年 9 月 14 日 国立京都国際会館



基調講演会では、上田多門土木学会会長から標記のタイトルで講演があった（写真）。主な内容は以下のとおりである。

グローバルな課題というときに、まず留意しなければならないのは、持続可能な開発目標（SDGs）である。2030 年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標が、17 のゴール、169 のターゲットにまとめられている。17 の目標のうち、インフラ・産業化・イノベーションや、持続可能な都市といった目標は、土木分野が直接貢献すべきものである。SDGs の実現に向かって取り組むべきグローバルな課題としては、脱炭素、気候変動対応、人口問題、食料問題、自然災害があ

り、いずれも土木分野が積極的に貢献していかなければならない。例えば、インフラストラクチャはSDGsのターゲットの72%に、気候変動ターゲットの80%に関係する。また、産業分野が脱炭素を達成するために必要な要素の一つがインフラストラクチャであることにも注意しなければならない。土木学会では、脱炭素に関する研究活動を各常置委員会が適宜実施している。土木学会誌2021年10月号では「カーボンニュートラルと土木」というタイトルの特集を組んだ。

土木学会は、国内的には、日本工学会からの分離が遅かったことからわかるように、工学全般を見渡すという性格があり、国際的には、土木のすべての分野を包含し、産官学からの会員が集い、技術活動を活発に行っている数少ない学会である。そのため、グローバルな課題への対応を行える世界で数少ない集団であり、土木の国際学会をリードすべき集団と言える。

一方で、日本の土木の現状を見ると、土木技術・事業という観点からは、世界が認める耐震・耐津波技術の他は、海外への情報発信が弱いという側面がある。また、研究・人材といった観点からは、研究予算の政府比率が低いということや、博士課程学生の支援が限定的であることその他、日本人研究者の指向が内向きであることを指摘しなければならない。国内学会活動が他国に比べて活発である一方、国際学会では参加が主体で活動は少ない。こうした点を踏まえ、土木学会誌では、Let's Go Abroad というタイトルで、海外で仕事をしている人々を紹介する記事を連載している。

土木学会では、日本の土木（インフラ）の現状を正しく認識し、目指す姿を明示するために、インフラ体力診断を進めるとともに、土木のビッグピクチャーを描くプロジェクトを進めてきた。そして、現在、「日本の土木をグローバルに」と題して、グローバルな研究者育成、グローバルな技術者育成、世界が選ぶ土木プロジェクトの創成という三つの観点から検討を進めるとともに、日本建築学会とも協働する取り組みを展開している。こうした取り組みを、グローバルな視点を持ちグローバルな課題に対処できる土木人材、特に、若手、女性、外国人が育つ仕組みにつなげていきたいと考えている次第である。

土木学会誌 Vol.108 No.2 February 2023,付録 2-iii-2-iv から転載

土木の魅力を伝える～次世代に向けてイノベーションを起こす～

第111代土木学会会長 田中 茂義

令和5年9月13日 広島国際会議場



基調講演会では、田中茂義土木学会会長から「土木の魅力を伝える ～次世代に向けてイノベーションを起こす～」と題して講演があった

以下に講演の内容について報告する。

会長特別プロジェクトである「土木の魅力向上プロジェクト」は、土木分野が世の中から十分に評価されていないと感じ、土木の魅力が正しく理解されていないという課題に対応するために立ち上げました。プロジェクトの目標は、土木の魅力を広め、ステータスを向上させることです。このプロジェクトは、魅力ある土木の世界発信小委員会と土木のステータスアップ小委員会の二つの小委員会が、それぞれ異なる取り組みを行っています。魅力ある土木の世界発信小委員会では、土木の魅力を伝えるためにアンバサダー制度の創設やインフルエンサー活動、プロモーション活動、コンセプト映像の制作などが行われています。土木のステータスアップ小委員会では、土木技術者のステータス向上の戦略を策定し、土木技術者の社会的地位の向上を目指しています。また、次世代人材発掘にも取り組み、地域の学校で土木の魅力をPRする活動などが行われています。さらに、最先端の土木研究を紹介するワークショップも開催され、高校生や高専生が実験や実習を通じて土木分野の魅力を体験する機会が提供されています。

会長就任後に作成したコンセプト動画では、相鉄東急新横浜線の開業や土木工事に携わる人々に焦点を当てており、新横浜線の便益とトンネル工事に関わった中島裕樹さんが、土木工事の社会への影響力や土木技師の仕事の重要性についても触れられており、自己主張と発信の重要性が強調されています。また、会長自身の初めての現場経験として、瀬戸大橋の下部構造に携わった経験から、その難しさと重要性について言及し、プラントバージの製作と運搬について説明しています。最後に、過去のプロジェクトのアーカイブと、プロジェクトに関する語り部の重要性に触れています。

黒部川発電プロジェクトでは、大町市の観光協会のウェブサイトで紹介されており、60周年を記念した観光キャンペーンが行われています。このプロジェクトは、地下に巨大な発電所を建設することを主要な目的としており、そのために巨大な施設が造られました。しかし、一般の人々にはその魅力があまり伝わっていないと感じています。プロジェクトには黒部ダムやトンネルが関連しています。特に高熱隧道と呼ばれるトンネルの建設は非常に過酷な条件下で行われまし

た。さらに、発電所の建設に伴い、インクラインや水路鉄管も作られました。地元の専門家や技術者がプロジェクトに携わり、その過程で多くの苦労と努力がありました。現在でも地下発電所を訪れることができる観光ルートが整備され、プロジェクトの歴史や技術に触れることができます。このプロジェクトは、その規模や技術的な挑戦から、当時の技術と資源を駆使して成功させた驚異的な建設プロジェクトであることが強調され、今後のイノベーションに向けたインスピレーションを提供するものとして位置付けられています。

最後に、トンネル工事における自動化と建設現場の未来に焦点を当てます。トンネル工事では、最先端の部分（切羽）が危険であるため、自動化の導入が検討されています。この自動化により、人手不足の解消や工事の効率向上が期待されています。未来のトンネル工事では AI と機械が活用され、作業計画から発破作業、土砂の運搬まで全て自動化されています。また、ドローンやスマートグラスを使用して、安全な状況や作業進捗をリアルタイムで監視し、デジタルデータをクラウド上で共有しています。未来の建設現場では、AI によるオンラインの山の判定や、デジタルモデルを用いた施工データの管理が行われ、作業者はオフサイトでデータの分析や打ち合わせを行います。これにより、作業の効率化や安全性の向上が実現されています。最終的に、この自動化の導入により、土木技術の発展と技術者の働き方の変革が実現され、未来の建設現場はより効率的で持続可能なものとなるでしょう。このようなイノベーションが土木分野の魅力を高め、次世代に継承されることが期待されています。

土木学会誌 Vol.109 No.2 February 2024,付録 1- iv-1-v から転載

2. 土木学会名誉会員推挙者一覧（1933－2024）

推挙年月	名誉会員
1933 年 1 月	古市公威
1941 年 2 月	野村龍太郎, 田辺朔郎, 古川阪次郎
1943 年 2 月	丹羽鋤彦, 名井九介, 那波光雄
1945 年	岡野 昇, 真田秀吉, 国沢新兵衛
1946 年 5 月	吉町太郎一, 牧 彦七, 生野団六
1950 年 5 月	安芸杏一, 前川貫一, 君島八郎, 大河戸宗治, 青山 土, 八田嘉明
1951 年 5 月	G.A.Hathaway, 久保田敬一, 島 重治, 松島寛三郎
1952 年 5 月	草間 偉, 丹治経三
1953 年 5 月	J.L.Savage, 鶴見一之
1954 年 5 月	辰馬鎌蔵, 黒河内四郎, 米元普一
1956 年 5 月	谷口三郎, 島崎孝彦
1957 年 5 月	平井喜久松, 永井専三, 小野諒兄
1958 年 5 月	福留並喜, 橋本敬之, 牧野雅楽之丞, 田中 豊
1959 年 5 月	鈴木雅次, 黒田武定, 吉田徳次郎, 平山復二郎, 堀越清六, 高西敬義
1960 年 5 月	池田嘉六, 菊池英彦, 斉藤静脩, 田中九一, 高橋基也, 永田民也, 村山喜一郎, 山田隆二
1961 年 5 月	内田黍郎, 内海清温, 近藤博夫, 田淵寿郎, 荻原俊一, 花井又太郎, 原口忠次郎, 藤井真透, 山崎匡輔
1962 年 5 月	池辺稲生, 岩崎雄治, 小野基樹, 大蔵公房, 筧 斌治, 金子源一郎, 佐藤忠三郎, 高橋三郎, 中村廉次, 三輪周蔵
1963 年 5 月	阿部一郎, 青木楠男, 岩沢忠恭, 泉谷平次郎, 佐伯利吉, 鈴木角一郎, 鷹部屋福平, 富永正義, 林 千秋, 松尾守治
1964 年 5 月	稲浦鹿蔵, 小川敬次郎, 岡部三郎, 坂上丈三郎, 鮫島 茂, 高橋嘉一郎, 武居高四郎, 沼田政矩, 星野茂樹, 三浦義男, 鷺尾蟄龍
1965 年 5 月	A.T.Ippen, 菊地 明, 久保田豊, 近藤泰夫, L.Escande, 永田 年, 野田誠三, 岡田信次
1966 年 5 月	大島大郎, 田中吉郎, 成瀬勝武
1967 年 5 月	内林達一, 大坪喜久太郎, 福田武雄, 宮本 保
1968 年 5 月	大塩政治郎, 下間仲都, 徳善義光
1969 年 5 月	A.Grzywienski, J.W.Daily, 佐々木 銑, 末森猛雄, 西松三好, 藤井松太郎, 堀 威夫, 水谷当起
1970 年 5 月	石田二郎, 井関正雄, 浦上衛門, 田中茂美, 當山道三, 松本金吾, 三池鎮浪, 米田正文
1971 年 5 月	富樫凱一, 松尾春雄, 真井耕象, 柳沢米吉
1972 年 5 月	安藝皎一, 篠原武司, 平井弥之助
1973 年 5 月	伊藤 信, 大石 勇, 大石重成, 加藤伴平, 羽田 巖
1974 年 5 月	伊藤令二, 飯吉精一, 石原藤次郎, 大林勇治, 叶 磯, 今 俊三, 杉戸 清, 樋浦大三
1975 年 5 月	稲垣茂樹, 岩本常次, 江口 馨, 岡本舜三, 高野 務, 堀越一三, 山本三郎
1976 年 5 月	R.K.Linsley, 上戸斌司, 上野省二, 末松 栄, 田中寛二, 瀧山 養, 藤村久四郎, 前田一三
1977 年 3 月	伊藤 剛, 上山鉄之助, 大野台助, 近藤 勇, 酒井忠明, 立花次郎, 西村俊男, 本間 仁, 渡辺寛治
1978 年 3 月	江藤 智, 熊川信之, 黒田静夫, 高津俊久, 中谷茂一, 星 治雄, 松井達夫, 松見三郎, 水野高明, 村上 正, 最上武雄
1979 年 3 月	石田 聖, 板倉忠三, 河村重俊, 鈴木清一, 平井 敦, 水越達雄
1980 年 3 月	井上幸太郎, 太田尾廣治, 佐藤寛政, 山崎 博, 横道英雄, 米元卓介
1981 年 3 月	猪瀬寧雄, 北村市太郎, 高坂紫郎, 國分正胤, 佐藤 豪, 庄司 光, 鈴木信孝, 友永和夫, 仁杉 巖, 野瀬正儀, 星埜 和
1982 年 3 月	小西一郎, 小林嘉道, 米谷栄二, 坂本貞雄, 城塚孝雄, 扇田彦一, 田代信雄, 田中五郎, 比田 正, 三浦文次郎
1983 年 3 月	安藤道夫, 荒木謙一, 今岡鶴吉, 奥田教朝, 尾之内由紀夫, 小林二郎, 篠原謹爾, 好井宏海, 吉田 登, 渡部時也
1984 年 3 月	石上立夫, 小野竹之助, 加賀美一二三, 片平信貴, 河上房義, 小池 誉, 後藤正司, 佐藤 肇, 中村 稔, 福山眞一郎, 藤田博愛, 横田周平, 渡辺新三
1985 年 3 月	荒井 力, 市原松平, 大橋康次, 奥村敏恵, 倉田宗章, 佐島秀夫, 斎藤義治, 坂本信雄, 田中 茂, 田原保二, 谷藤正三, 中安米蔵, 長谷川盛一, 丸安隆和, 八十島義之助, 山内一郎

1986 年 3 月	市浦 繁，小林重一，高畑政信，村瀬 清
1987 年 3 月	岡本考平，菊池三男，小林元椽，高橋国一郎，竹ヶ原輔之夫，長濱正雄，畑谷正實，村田清逸，柳瀬珠郎，渡辺 豊
1988 年 3 月	足立 力，井口昌平，石川 豊，小田英一，岡部 保，久保慶三郎，後藤幸正，堺 毅，下村 肇，杉尾捨三郎，鈴紀喜久，福岡正巳，南 俊次，M.P.O'Brien
1989 年 3 月	伊藤直行，石井興良，市田 洋，上田 稔，内田一郎，大串満馬，岡田政三，佐々木正久，佐藤 康，田邊義亮，高橋浩二，成岡昌夫，比留間豊，廣瀬可一，森下卓也，吉開正文，吉村虎蔵
1990 年 3 月	内田隆滋，尾崎 晃，大地羊三，大橋健一，岡田光雄，佐藤清一，佐藤 史，豊田栄一，土方大貳，細田和男，三木五三郎
1991 年 3 月	伊藤富雄，石川六郎，岩井重久，岩崎敏夫，神田九思男，北郷 繁，左合正雄，佐久間 啓，林 泰造，牧野文雄，山岡 勲，J.W.Johnson
1991 年 5 月	堂垣内尚弘，村上永一
1992 年 3 月	浅井新一郎，粟津清蔵，神谷 洋，近藤和夫，佐用泰司，椿東一郎，戸谷松司，熊町純雄，八田晃夫，前田幸雄，耳野 慎，山門明雄，山内豊聰，山本有三，山家義雄，G.W.Housner
1993 年 3 月	井島武士，井上 孝，岡田 清，片山英吉，吉川秀夫，小松定夫，後藤 績，坂野重信，瀬良 茂，多田尚夫，長尾義三，樋口芳朗，平嶋政治，堀川清司，町田利武，松本順一郎，八木鐵男
1994 年 3 月	安藝恒夫，岩垣雄一，岩佐義朗，勝田悦之，川越達雄，小坪清真，丹羽義次，沼田 實，濱 健介，藤井敏夫，村山朔郎，森 麟，吉田俊彌
1995 年 3 月	網干壽夫，青木謙三，浅間 隆，伊吹山四郎，井上 孝，鈴木忠義，竹内良夫，谷本喜一，西田正之，林 正道，日永善雄，藤田圭一，村田二郎，村山 保，百島祐信，山田照一，山之内繁夫
1996 年 3 月	栗谷陽一，Robert L. WIEGEL，上田年 比古，大久保喜一，久野悟郎，河野文弘，定井喜明，杉山孝雄，千秋信一，長尾 満，長沢不二男，西村俊夫，花房 保，半谷哲夫，松村恭二，三浦孝雄，三露嘉郎，山内利彦，吉村 恒，渡邊隆二
1997 年 3 月	赤井浩一，大塚勝美，岸 力，小坂 忠，近藤信昭，菅原 操，関 厚，那智俊雄，畑中昭吾，久田安夫，町田美治，村上省一
1998 年 3 月	茨木龍雄，大原資生，岡本成之，角田和夫，佐武正雄，菅原照雄，戸田守二，平岡治郎，藤堂 定，堀井 昇，渡辺 昇
1998 年 5 月	高橋 裕
1999 年 3 月	芦田和男，天野光三，金丸昭治，川本眇万，佐藤敦久，武田 宏，藤田嘉夫，富士野昭典，宮崎 明，森 忠次，八木純一，山田善一
1999 年 5 月	加藤 晃，三谷 健
2000 年 3 月	赤尾親助，井上龍介，上林達郎，大橋雄六，岡田 宏，鎌田文明，加納次郎，金馬昭郎，椎野佐昌，高橋準一，高橋由巳，高秀秀信，竹山 喬，寺坂 勝，中瀬明男，長本隆夫，鍋山 晃，新谷洋二，二宮敏明，野口 功，藤本 廣，星野晴彦，本多 博，Orville Tyler Magoon，三善康平，三輪利英，甕 哲司，門田博知，柳田真司，山根 孟，山本 稔，吉川和広，渡部 基
2000 年 5 月	小林一輔
2001 年 3 月	阿部英彦，伊集院 敏，伊藤 學，尾坂芳夫，小野寺駿一，片瀬貴文，木村喜代治，倉西 茂，栗原和夫，James W. Poirot，堤 一，中島重旗，中村英夫，原 欽五，松本嘉司，三浦一郎，吉田正吾，渡邊重幸
2002 年 3 月	荒川利輝，植下 協，内田敏久，金子 晃，北松治男，佐藤幸夫，榎木 亨，柴田 徹，鈴木道雄，永井重光，中川博次，中村五郎，松尾 稔，松山 巖，渡部 威
2002 年 5 月	廣瀬利雄
2003 年 3 月	阿部 壽，五十嵐日出夫，岩橋洋一，奥山文雄，小笹太郎，北野 章，河野 清，小林幸蔵，志水茂明，白石成人，菅原 濟，杉山好信，丹保憲仁，戸田隆志，永尾勝義，西林信藏，野沢太三，黄 鶴周，福本嘔土，藤野慎吾，松浦 聖，吉田喜七郎，芳村 仁
2003 年 5 月	合田良實
2004 年 3 月	赤木俊允，網野定三，石井晃一，大崎本一，岡村 甫，岡本堯生，奥村威俊，岸 清，小堀為雄，須田 熙，清野茂次，高棹琢馬，長 尚，土居則夫，橋本龍男，藤井 浩，藤本順一，町田富士夫，松村駿一郎，山田清臣，横内利治，渡邊修自
2004 年 5 月	玉光弘明，田村重四郎
2005 年 3 月	青山 健，石井 清，内田聰吉，金 光鑑，近藤淑郎，齋藤 隆，坂本健次，首藤伸夫，千田壽一，成田信之，野島廣紀，野田英明，萩原 浩，福田 正，藤田賢二，布施洋一，御巫清泰，三井 宏，吉越治雄，吉田彌智
2005 年 5 月	飯田隆一，木村 孟
2006 年 3 月	大久保禎二，大根義男，尾崎 昶，小林治郎，小柳 治，近藤 徹，櫻井春輔，清水正貴，蛇川雄司，

	高橋陽一，津田義和，西野文雄，帆足建八，光易 恒，村岡浩爾，村本嘉雄，山口甚郎
2006 年 3 月	足立紀尚，石原研而，長瀧重義
2007 年 3 月	池田尚治，犬束洋志，久保 宏，高柳義隆，田澤榮一，長尾正志，名川穀助，伯野元彦，葉山莞児，平野宗夫，廣田良輔，三谷 浩，南 旭，森本裕士
2008 年 3 月	會田忠義，赤塚雄三，板倉忠興，上原 忠，江見 晋，大島達治，大島 弘，太田 規，岡崎義則，小澤良夫，佐々木茂範，武富一三，玉田博亮，土岐憲三，藤井崇弘，三宅文男，柳川捷夫
2008 年 5 月	片山恒雄
2009 年 3 月	石井弓夫，伊藤喜栄，岩崎敏男，太田利隆，小野和日児，柿沼忠男，金盛 弥，川合 勝，川井 優，神田徹，工藤 智明，鮭川 登，朴 慶智，高木不折，高松良晴，樗木 武，都丸徳治，中村良夫，濱田政則，平峯 悠，星野鐘雄，松尾友矩，森 康男，森地 茂
2010 年 3 月	伊佐治敏，大飼隆一，瓜生喜久雄，栢原英郎，坂本眞一，進藤義郎，多田省一郎，田宮芳彦，中洞好博，西川肇，富士岡務，藤川寛之，松岡健一，室 達朗，渡邊英一
2010 年 5 月	曾野綾子
2011 年 3 月	宇野尚雄，大林成行，大林芳久，小笠原常資，尾島 勝，角田與史雄，河上省吾，小森 博，多賀谷宏三，田村喜子，朴 慶夫，橋本鋼太郎，馬場亮介，藤田睦博，増本治夫，町田篤彦，松井 保，三浦 尚，三浦哲彦，道上正規，柳澤栄司
2012 年 3 月	稲田善紀，岩田好一朗，大塚浩司，川谷 健，金 國一，佐伯 昇，佐伯 浩，阪田憲次，高橋 修，田邊忠顕，藤間 聡，富岡征一郎，中川浩二，南部邦彦，新山 惇，西村宣男，速水昭正，平尾 潔，彦坂 熙，福岡捷二，松井 寛，村上仁士
2013 年 3 月	青柳征夫，宇佐美 勉，楠田哲也，齊藤和夫，塩井幸武，辻 靖三，手塚昌信，名合宏之，古川公毅，北條紘次，増田光男，松井繁之，溝畑靖雄，山本卓朗，米倉亜州夫
2014 年 3 月	磯島茂男，薄本征三，小方武雄，落合英俊，小野武彦，嘉門雅史，岸野佑次，草柳俊二，坂本忠彦，玉井信行，古木守靖，星野 満，松岡 元，村田秀一，森杉壽芳，李 東郁
2015 年 3 月	青山俊樹，池田駿介，池淵周一，井上啓一，大石久和，亀田弘行，川嶋康宏，佐藤馨一，佐藤信彦，四俣正俊，高田至郎，水口裕之，森光康夫，大和竹史，吉田紘一
2016 年 3 月	家村浩和，稲村肇，今木甚一郎，大西有三，大沼博志，川島 毅，國井義彦，久保喜延，小谷健一，杉晟，鈴木輝之，龍岡文夫，部田哲雄，中島裕之，中山隆弘，野池達也，Zeki Hasgür，平野道夫，廣谷彰彦
2017 年 3 月	魚本健人，江崎哲郎，大島一哉，大島俊之，加賀屋誠一，金澤 寛，神山 眞，川上 洵，河田恵昭，熊谷恒一郎，小松利光，鈴木幸一，高橋喜一，武山正人，田崎忠行，橋口誠之，廣瀬典昭，堀 正幸，三木千壽，宮池克人，山本正明，依田照彦
2018 年 3 月	青野捷人，磯部雅彦，井上正一，江頭和彦，恵谷舜吾，大塚久哲，門松 武，金井 誠，金澤義輝，鬼頭平三，木村洋行，熊谷浩二，佐藤信秋，佐藤良一，関口龍一，善 功企，十河茂幸，鶴巻榮光，中村興一，正木啓子，三浦清一，安田 進，李 徳河
2019 年 3 月	大村達夫，小河保之，柿堺 至，日下部 治，白木 渡，鈴木史朗，田代民治，谷口博昭，野田豊範，古土井光昭，丸山久一，水田洋司
2020 年 3 月	甲斐総治郎，柿谷達雄，河内 清，岸 徳光，後藤芳顯，霜上民生，中尾成邦，林川俊郎，藤野陽三，古田均，吉野伸一，六郷恵哲
2021 年 3 月	遠藤孝夫，御坊田裕己，鈴木基行，高橋和雄，中島威夫，長谷川伸一，林 康雄，宮川豊章，山田 正
2022 年 3 月	石田東生，茅野正恭，川谷充郎，関 雅樹，土屋光博，中川 一，西垣 誠，花木啓祐，福本勝司，三浦房紀，宮本 裕，村田和夫
2023 年 3 月	家田 仁，岡田正之，菊川 滋，岸井隆幸，小林潔司，佐藤直良，清水 茂，南荘 淳，日野伸一，村上和史，森下忠司，渡邊政広
2024 年 3 月	天野玲子，伊藤義人，上田多門，久保田勝，熊谷守晃，下保 修，田中愼一郎，田中清剛，新田保次，林 良嗣，藤井 堅，前野詩朗，松島 学，松原雄平，道奥康治，渡邊 清

3. 土木学会受賞者一覧

2014	功績賞	池田駿介	(株)建設技術研究所研究顧問, 東京工業大学名誉教授
	〃	大西有三	関西大学環境都市工学部特任教授, 京都大学名誉教授
	〃	大林成行	(公財)香川成人医学研究所専務理事
	〃	落合英俊	九州大学名誉教授
	〃	小野武彦	清水建設(株)特別顧問
	〃	川嶋康宏	日本港湾空港建設協会連合会会長
	〃	後藤洋三	開発虎ノ門コンサルタント(株)特別技術顧問
	〃	佐藤馨一	北海商科大学教授
	〃	篠原 修	NPO法人GSデザイン会議代表, エンジニア・アーキテクト協会会長
	〃	橋本鋼太郎	(株)NIPPO顧問
2014	技術賞		
	I グループ	中部電力(株)発電本部土木建築部	浜岡原子力発電所津波対策 防波壁の設計・建設－総延長 1.6km に亘る天端高さ海拔 22m の津波防護施設
	〃	首都高速道路(株), (株)安藤・間	先進的な地中拡幅工法による大断面シールドトンネル分岐・合流部の建設－首都高速中央環状品川線大橋連結路工事
	〃	国土交通省北陸地方整備局, 国土交通省北陸地方整備局富山河川国道事務所, 中央大学研究開発機構福岡ユニット	急流河川における治水と環境の調和した新たな河岸防護技術－巨石付き盛土砂州を用いた河岸防護工
	〃	東日本高速道路(株), (株)大林組	自由断面分割施工による小土盛り・高速道路横断トンネルの構築－谷津船橋インターチェンジ工事のうちオフランプトンネル工事
	〃	東京都建設局, 京王電鉄(株), 大成・京王建設共同企業体	府中3・4・7号線と京王線との立体交差化事業－先行地中底版にハーモニカ工法を採用したアンダーパス構築
	〃	清水建設(株), 西松建設(株), 東電設計(株)	マレー半島を貫く全長 44.6km, 東南アジア最長の水路トンネルの建設－パハン・セラングール導水トンネル
	〃	東日本旅客鉄道(株)東京工事事務所, 東日本高速道路(株)関東支社千葉工事事務所, 鉄建・オリエンタル白石建設共同企業体, ジェイアール東日本コンサルタンツ(株)	我が国初の既設 RC 高架橋を長スパン化して受替える函体構築技術－JR 総武線市川・本八幡間外環こ道橋新設工事
	II グループ	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構, 大林・大成・安藤ハザマ特定建設工事共同企業体, 清水・鹿島・前田特定建設工事共同企業体	花崗岩を対象とした深度 500m に及ぶ我が国初の「深地層の研究施設」の建設－高レベル放射性廃棄物の地層処分技術に関する基盤研究プロジェクトである瑞浪超深地層研究所における研究坑道掘削と地層科学研究
	〃	神戸市水道局	大容量送水管整備事業－着手から 20 年, 阪神・淡路大震災復興プロジェクトが完成
	〃	岩手県, 三陸鉄道(株), (独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構	東日本大震災で被災した三陸鉄道の復旧
	〃	北海道電力(株), 京極発電所新設土木本工事第1工区(鹿島・大林・飛島・伊藤組)共同企業体, 京極発電所新設土木本工事第2工区(大成・佐藤・北電興業・三井住友)共同企業体, 京極発電所新設土木本工事第3工区(熊谷・清水・岩田地崎)共同企業体, 京極発電所新設土木本工事第4工区(前田・西松・戸田・荒井)	京極発電所の建設－豪雪・積雪寒冷を克服して建設し, 道民の生活を支えていく北海道初の純揚水式発電所

		共同企業体, 川崎重工業(株), 北電総合設計(株), 北電興業(株)	
	〃	国土交通省中国地方整備局	斐伊川放水路事業－神話の国出雲の治水安全度を向上させる平成のおろち退治
	〃	首都高速道路(株), 東京都建設局	中央環状線 山手トンネル(湾岸線～3号渋谷線)の建設－首都圏3環状道路で最初的全線開通
	〃	宮城県, 鹿島・清水・西松・佐藤・飛鳥・竹中土木・若築・橋本・遠藤特定共同企業体	宮城県石巻市・東松島市・女川町の東日本大震災からの復興への第一歩－石巻ブロック災害廃棄物処理業務での3年間の取組
	〃	東日本高速道路(株)	常磐自動車道の常磐富岡～山元間の整備事業－建設史上経験のない原子力災害など困難を克服した整備事業
	〃	国土交通省関東地方整備局京浜港湾事務所, 横浜港埠頭(株)	横浜港南本牧ふ頭MC3コンテナターミナル整備事業
2014	環境賞		
	I グループ	鹿島建設株式会社	サンゴ礁環境評価に基づくサンゴ群集の再生基盤「コーラルネット」の開発と実用化
	〃	大成建設株式会社, 国立研究開発法人土木研究所	産業副産物である高炉スラグを極限まで結合材に使用した環境配慮コンクリートの開発
	II グループ	清水建設株式会社	リサイクル率98%を達成する「災害廃棄物処理スマート・リサイクル・システム」の開発と実用化
	〃	大成建設株式会社, クボタ環境サービス株式会社	環境に配慮した国内最大の被覆型最終処分場エコパークかごしまの建設
	〃	北陸地方におけるコンクリートへのフライアッシュの有効利用促進検討委員会	北陸地域における高品質フライアッシュを用いたコンクリートの普及のための技術開発
	〃	釧路湿原自然再生協議会	釧路湿原自然再生事業 茅沼地区旧川復元
	〃	鹿島建設株式会社	バイオディーゼル燃料の現場活用によるCO ₂ 排出量削減と資源循環型社会への貢献
2014	研究業績賞	大村達夫	水中の病原微生物のリスク評価とその管理に関する研究
2014	論文賞	香月 智, 渋谷 一, 大隅 久, 國領 ひろし, 石川 信隆	個別要素法による透過型砂防堰堤の流木混じり土石流捕捉解析
	〃	椎葉 充晴, 立川 康人	総合確率法の数学的解釈
	〃	吉中 龍之進, 岩田 直樹, 佐々木 猛	岩盤の不連続性を考慮した大型構造物基礎の地震応答解析-東北地方太平洋沖地震を基本事例として-
	〃	赤松 隆, 大澤 実, 長江 剛志, 山口裕通	3.11 震災時の東北地域で生じたガソリン需給ギャップの時空間分析
	〃	鎌田 敏郎, 内田 慎哉, 角田 蛭, 佐藤 浩二	実橋梁PC桁での非破壊試験によるPCグラウト充填評価方法に関する研究
	〃	加藤 絵万, 川端 雄一郎, 岩波 光保	実態調査に基づく係留施設の機能低下評価手法の提案
	〃	岸田 直裕, 原本 英司, 今野 祥顕, 泉山 信司, 浅見 真理, 秋葉 道宏	水中のクリプトスポリジウム・ジアルジア検査における遺伝子検査法の実用性に関する検討
2014	論文奨励賞	堀口 俊行	回転円筒による混合球形粒子の偏析実験と個別要素法解析
	〃	岩崎 理樹	二次流モデルが自由砂州計算に与える影響
	〃	原 弘行	海水に曝露したセメント処理土の劣化機構に関する基礎的研究
	〃	羽鳥 剛史	討議理論と公的討論の規範的評価
	〃	鈴木 三馨	塩害による腐食劣化予測に対する構造・鋼材腐食連成解析手法の構築
	〃	嶋本 敬介	建設時の影響を考慮した山岳トンネルの路盤隆起現象とその対策工に関する研究
	〃	西村 直貴	アルミニウムイオンに親和性を持つ Microcystis aeruginosa 莢膜由来有機物の組成分析
2014	吉田賞		

	研究業績部門	六郷 恵哲	繊維補強セメント系材料の開発と実構造物への適用に関する総合的研究
	〃	宮川 豊章	コンクリート中における鉄筋の腐食度評価および防食方法に関する研究
	論文部門	中田 裕喜, 渡辺 健, 渡邊 忠朋, 谷村 幸裕	せん断スパン比に対する連続性を考慮した RC 棒部材の設計せん断耐力算定法
	吉田研究奨励賞	佐々木 謙二	空隙構造の貫通・連続性に着目したセメント系硬化体の物質移動特性評価
	〃	小松 怜史	若材齢でひび割れが生じる C P C 部材の引張応力下における時間依存変形挙動の分析
	〃	皆川 浩	鉄筋カソード分極抵抗評価手法とそれを実装した数値解析によるコンクリート構造物の電気防食工法の補修効果定量化手法の検証
2014	田中賞		
	研究業績部門	依田 照彦 (早稲田大学)	鋼・合成構造物の設計基準の性能規定化に関する研究
	〃	池田 尚治 (株式会社複合研究機構, 横浜国立大学名誉教授)	橋梁の耐震性向上および複合技術の開発
	〃	則久 芳行 (三井住友建設株式会社)	我が国のコンクリート橋の普及・発展, 産業振興等の広範な業績
	〃	尾下 里治 (株式会社ワイ・シー・イー)	設計の標準化ならびに新形式合理化橋梁の提案・普及に関する研究業績
	論文部門	吉田 善紀 (公益財団法人鉄道総合技術研究所), 小林 裕介 (公益財団法人鉄道総合技術研究所), 内村 太郎 (東京大学)	鋼鉄道橋の振動発電を利用したモニタリングシステムの開発
	〃	美島 雄士 (日立造船株式会社), 小野 潔 (早稲田大学), 西村 宣男 (大阪大学名誉教授)	鋼製ラーメン橋脚隅角部の弾塑性挙動およびフィレットの効果を考慮した設計法の提案
	〃	下里 哲弘 (琉球大学), 玉城 喜章 (一般社団法人沖縄しまて協会), 有住 康則 (琉球大学), 矢吹 哲哉 (琉球大学), 小野 秀一 (一般社団法人日本建設機械施工協会施工技術総合研究所), 三木 千壽 (東京都市大学)	実腐食減厚分布を有する鋼プレートガーダー腹板のせん断強度特性に関する実験的研究
	作品部門(新築)	ニャッタン橋(日越友好橋) ベトナム社会主義共和国ハノイ市	上部構造: 床版構造, 6 径間連続合成 2 主 I 桁斜張橋プレキャスト床版+現場打ちコンクリート合成桁, 下部構造: A 型コンクリート製主塔構造+鋼管矢板井筒基礎, 橋長: 1,500m
	〃	三陸鉄道ハイベ沢橋梁 岩手県下閉伊郡田野畑村	上部構造: 2 径間連続下路 S R C 補強盛土一体橋梁床版構造: S R C 床版, 下部構造: 補強土橋台 (2 基), 直接基礎橋脚 (1 基), 橋長: 60.0m
	〃	太田川大橋 広島県広島市西区観音新町 4 丁目～庚午南 1 丁目及び扇町 1 丁目	上部構造: 6 径間連続鋼・コンクリート複合アーチ橋, 下部構造: 逆 T 式橋台 (場所打ち杭基礎) 壁式橋脚 (P 1～P 4: 鋼管矢板基礎, P 5: 鋼管杭基礎), 橋長: 412m
	〃	伊良部大橋 宮古島市平良字久貝～宮古島市伊良部字池間添	上部構造: P C 32 径間連続箱桁橋, 鋼 3 径間連続箱桁橋 (鋼床版) P C 14 径間連続箱桁橋, 下部構造: P C 壁式橋脚, 逆 T 式橋台 (基礎工) 直接基礎, 鋼管杭基礎, 鋼管矢板基礎, 橋長: 3,540m
	〃 (改築)	拡幅と耐荷性向上による源太橋の再生 鳥取県鳥取市源太～国安	上部構造: 16 径間連続鋼・コンクリート混合ゲルバー橋, 下部構造: 壁式橋脚, 橋長: 357.9m
2014	技術開発賞	櫻井 裕一, 石橋 正博, 中川 雅由, 森田 大介, 三室 恵史	仮設支保工部材を省略する非開削工法(パイプルーファーチ工法)の開発
	〃	福井 真男, 野村 敏雄, 谷村 幸裕,	薄型高靱性セメントボードを用いたコンクリート

		早川 智浩, 人見 祥徳	補修工法(スモースボード工法)の開発
	〃	進藤 彰久, 本島 貴之, 井尻 裕二, 安部 章正	高圧・高止水性セメントグラウト注入装置の開発
	〃	白井 達哉, 宮原 茂禎, 坂本 淳, 丸屋 剛, 岸 利治	排水・湿潤連続養生によるコンクリートの耐久性向上技術(Wキュアリング)の開発
	〃	久保 昌史, 前田 敏也, 天野 勲, 中山 聡子, 二村 孝房	強制加熱不要のパッシブ方式による赤外線熱画像とデジタル画像を用いたコンパクトなハイブリッド型画像診断技術(H I V I D A S (ヒビダス))の開発
2014	出版文化賞	ビジネス・インフラの明治 ―白石直治と土木の世界―	前田裕子 著, 名古屋大学出版会 2014 年刊
2014	国際貢献賞		
	日本人	上田 寛	(株)大本組東京本社顧問
	〃	辰巳 正明	(株)オリエンタルコンサルタンツグローバル顧問
	〃	宮田 年耕	首都高速道路(株)代表取締役専務執行役員
	外国人	Tauch Chankosal	Secretary of State, Ministry of Public Works and Transport, Cambodia (公共事業運輸省長官)
2014	国際活動奨励賞	浅野 誠	関西電力(株)北陸支社次長
	〃	今里 敏也	(株)大林組 SP ケーブルトンネル EW 1 工事事務所副所長
	〃	岡原 義典	大成建設(株)国際支店土木部積算室次長
	〃	片桐 冬樹	鹿島建設(株)海外土木支店台湾・新竹電力シールド出張所所長
	〃	加藤 孝弘	電源開発(株)国際営業部プロジェクト開発室水力タスク総括マネージャー
	〃	川原 俊太郎	国土交通省国土政策局広域地方政策課調整室長
	〃	國枝 達郎	(独)水資源機構荒川ダム総合管理所滝沢ダム管理所長
	〃	紺屋 健一	(独)国際協力機構社会基盤・平和構築部計画・調整課課長
	〃	中村 智樹	清水建設(株)国際支店土木生産計画部施工支援グループ長
	〃	西宮 宏信	日本工営(株)コンサルタント海外事業本部プサンガン水力開発事務所所長代理
	〃	吉見 昌宏	(独)国際協力機構社会基盤・平和構築部技術審議役
2014	国際活動協力賞	金 哲佑	京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻教授
	〃	Kyaw Linn (チョウ リン)	Managing Director, Public Works, Ministry of Construction
	〃	Stephen Nyaribo Mogere (ステイーブン ニャリボ モグレ)	Infrastructure and Evaluation Advisor JICA Kenya Office
2014	技術功労賞	稲葉 武史(鹿島建設 ((株)技術研究所岩盤・地下水グループ専任次長)	調査・計画
	〃	河北 勝己 ((独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構鉄道建設本部北陸新幹線第二建設局次長)	設計・監理
	〃	黒谷 武晴 ((株)大蔵組常務取締役)	施工・検査
	〃	相根 正和 (清水建設(株)土木東京支店工事長)	施工・検査
	〃	千代谷 朝男 ((株)大林組札幌支店千歳平和 JV 工事事務所所長)	施工・検査
	〃	徳光 洋助 (ジェイアール東日本コンサルタンツ(株)本社測量調査部次長)	設計・監理
	〃	畑中 恒夫 (佐藤工業(株)浜岡原子力 3 号 FV 設置設備工事作業所総合所長)	施工・検査
	〃	古川 幸司 ((株)安部日鋼工業取締役工事本部長兼技術工務本部長)	施工・検査

	〃	松本 泰孝（飛島建設(株)首都圏土木支店東京空港 25 作業所所長）	施工・検査
	〃	山川 豊治郎（元 兵庫県公立学校教員）	教育・研究・啓発
2015	功績賞	家村 浩和	京都大学名誉教授
	〃	稲村 肇	政策研究大学院大学客員教授
	〃	川島 毅	一般財団法人沿岸技術研究センター理事長
	〃	河田 恵昭	関西大学社会安全学部 特別任命教授
	〃	草柳 俊二	高知工科大学名誉教授，東京都市大学客員教授，NPO 高知社会基盤システムセンター理事長
	〃	小松 利光	九州大学名誉教授
	〃	津野 洋	大阪産業大学人間環境学部特任教授，京都大学名誉教授
	〃	依田 照彦	早稲田大学理工学術院創造理工学部社会環境工学科教授
2015	技術賞		
	I グループ	国土交通省近畿地方整備局大阪国道事務所，大成・五洋特定建設工事共同企業体	御堂筋共同溝事業－上向きシールド工法と RSF セグメント等を採用した設計施工事業
	〃	国土交通省関東地方整備局大宮国道事務所，大成・三井住友・大豊特定建設工事共同企業体	圏央道桶川北本地区函渠その 1 工事－ハーモニカ工法マルチタイプを採用したアンダーパスの築造
	〃	国土交通省関東地方整備局大宮国道事務所，埼玉県北本県土整備事務所，東日本旅客鉄道(株)上信越工事事務所，鉄建建設(株) 関越支店，鹿島建設(株) 関東支店，佐藤工業(株) 東京支店，ジェイアール東日本コンサルタンツ(株)上信越支店	列車運行時間帯における地盤変状リスクを低減した新しい非開削線路下横断工法－圏央道・JR 高崎線交差部二ツ家こ道橋新設工事 地盤切削 JES 工法
	〃	国土交通省東北地方整備局，鹿島・清水・大本特定建設工事共同企業体	CIM 時代の先駆けとなるフィルダムの ICT 施工による建設と管理 ー胆沢ダム建設事業ー
	〃	阪神高速道路(株)建設・更新事業本部堺建設部，鹿島建設(株)関西支店，(株)横河ブリッジ大阪支店	臨海都市部の液状化が懸念される地域における既設改築を伴うジャンクションの建設－阪神高速大和川線 三宝ジャンクション建設工事ー
	〃	独立行政法人都市再生機構，鹿島・オオバ女川町震災復興事業共同企業体，女川町	東日本大震災で被災した市街地復興プロジェクトを支える復興版 CM 方式－女川駅周辺地区の早期復興を実現したチーム女川からの発信
	〃	横浜高速鉄道株式会社，日本シビックコンサルタント(株)，清水・東急建設共同企業体	荷重増による鉄道シールドトンネルの変状に対する恒久的な対策工事－高島トンネル補強工事ー
	〃	大阪ガス(株)，(株)大林組	スリップフォーム工法による世界最大容量 LNG 地上式貯槽の建設－大阪ガス泉北製造所第一工場 5 号 LNG タンク設置（土木）工事ー
	II グループ	京都市	人と公共交通優先の歩いて楽しいまちづくり「四条通歩道拡幅事業」
	〃	東日本旅客鉄道株式会社	首都圏の鉄道輸送サービスを飛躍的に改善する上野東京ライン開業－都心部で数多くの設備改良を行うことにより実現した鉄道ネットワークの再構築ー
	〃	独立行政法人 国際協力機構，ネパール国 公共インフラ交通省 道路局，日本工営株式会社，間組・大成建設共同企業体，株式会社安藤・間	ネパール国シンズリ道路建設事業（計画から 30 年の時をかけて高低差 1,300m，全長 160km の山岳道路を完成
	〃	東日本旅客鉄道株式会社，宮城県，仙台市，石巻市，東松島市，独立行政法人 都市再生機構	津波により被災した JR 仙石線復旧ならびに仙石・東北本線接続線整備の計画・設計・施工－まちづくりと一体とした早期の復旧に向けた取り組み
	〃	独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構，東日本旅客鉄道株式	北陸新幹線（長野・金沢間）開業－北信越地域と首都圏・関西圏との連携・交流の画期的な促進ー

		会社，西日本旅客鉄道株式会社	
	〃	独立行政法人水資源機構	生まれ変わる武蔵水路－首都圏の「水の大動脈」の機能を発揮しつつ，施設の長寿命化を実現した改築工事
2015	環境賞		
	I グループ	大成建設株式会社，並木 禎尚，DO WA エレクトロニクス株式会社	ナノ磁性除染剤を用いた放射性セシウム汚染焼却飛灰の減容化技術に関する実用化研究
	II グループ	東京都港湾局，五洋建設株式会社	沈下促進工法による東京港新海面処分場 C ブロックの延命化事業
	〃	清水建設株式会社，広野町	町民の早期帰還を目指す広野町クリーンプロジェクト
	〃	宮崎県県土整備部河川課，九州電力株式会社耳川水力整備事務所	耳川水系総合土砂管理「耳川をいい川にする～森林とダムと川と海のつながり～」
2015	研究業績賞	橋口 公一	弾塑性論の新体系－下負荷面モデル－の創出
2015	論文賞	中島 章典，NGUYEN MINH HAI	孔あき鋼板ジベルの貫通鉄筋のひずみ挙動とせん断耐力評価
	〃	林 敬大，立川 康人，椎葉 充晴	時変母数による非定常水文頻度解析手法のモデル選択に関する考察
	〃	小谷 仁務，横松 宗太	アーティファクトとしての地域資産と住民のアイデンティティ形成：カテゴリー選択モデルアプローチ
	〃	小林 孝一，鹿野 裕，六郷 恵哲	山間寒冷地における RC 床版の ASR と凍害による複合劣化の事例とその検証実験
	〃	福林 良典，本庄 由紀，木村 亮	土のう工法の普及活動を通じた未舗装道路整備の BOP ビジネス化
	〃	杉村 佳寿，村上 進亮，鶴飼 隆広	小型家電リサイクル制度創設における費用対効果分析の意義
2015	論文奨励賞	田村 洋	修正ワイブル応力に基づく鋼部材の地震時脆性破壊発生限界の評価
	〃	辰巳 大介	即時的津波浸水予測手法の開発と適用
	〃	青柳 和平	幌延深地層研究所の 250m 調査坑道における掘削損傷領域の経時変化に関する検討
	〃	小谷 仁務	災害による環境変化と共同実践の変容過程に関する基礎的研究
	〃	前島 拓	塩害による鉄筋腐食が道路橋 RC 床版の耐疲労性に及ぼす影響
	〃	清家 美帆	煙流動 CFD を用いた避難行動シミュレーションによる道路トンネル火災安全性の評価方法
	〃	鈴木 亮介	A 2 O-O ₃ 処理水の土壌浸透処理過程における水質変換特性に関する研究
2015	吉田賞		
	研究業績部門	鈴木 基行（東北大学）	コンクリート構造物の維持管理に関する研究
	〃	大津 政康（熊本大学）	AE 法と関連する弾性波法を適用したコンクリートの非破壊試験法の確立
	〃	佐藤 良一（広島大学）	鉄筋コンクリート部材の時間依存性挙動に関する研究
	論文部門	堀口 賢一，山口 明伸，丸屋 剛，武若 耕司	腐食発生限界塩化物イオン濃度の測定方法とその定量化に関する研究
	吉田研究奨励賞	川崎 佑磨（立命館大学）	電気化学的特性と AE 技術をハイブリッドした RC 内部の鉄筋腐食進展モニタリング手法の構築
	〃	江口 康平（東京理科大学）	pH に着目した既設コンクリート構造物の劣化状況の簡易診断方法に関する検討
2015	田中賞		
	業績部門	長井 正嗣（（株）ネクスコ東日本エンジニアリング）	鋼橋の構造・設計合理化の推進と性能照査型設計基準の整備および橋梁工学の国際展開
	〃	加島 聡（一般財団法人橋梁調査会）	大水深・強潮流下での海中基礎の建設 世界の道路橋維持管理に関する課題の取り纏め
	〃	越後 滋（川田テクノロジーズ(株)）	設計計算と架設管理のモダニゼーションと合理化

			橋および可動橋の普及に関する業績
	論文部門	青木 圭一(中日本高速道路(株)), 渡邊 晋也(一社)施工技術総合研究所), 三加 崇(三井住友建設(株)), 宮永 憲一(西日本高速道路(株)), 睦好 宏史(埼玉大学)	供用後 40 年経過した PC 桁の性状から推定される PC 橋の性能評価
	〃	山崎 伸介(新日鉄住金エンジニアリング(株)), 加藤 弘務(大日本コンサルタント(株) 中部支社), 宇佐美 勉(名城大学総合研究所), 森 翔吾((株) 竹中土木), 野呂 直以(新日鉄住金エンジニアリング(株)), 葛 漢彬(名城大学)	実物大 BRRP 制震ダンパー開発のための基礎的研究
	〃	原田 哲夫(長崎大学), 生田 泰清((株) 大島造船所), 佐々木 謙二(長崎大学), 大畑 裕志(宇部興産(株)), 徳山 ミョーキン(第一工業大学)	定着用膨張材による CFRP より線と PC 鋼より線の定着機構に関する研究
	〃	武田 健太(長岡技術科学大学), 田中 泰司(東京大学), 下村 匠(長岡技術科学大学), 山口 貴幸(長岡技術科学大学), 陸 賢(八千代エンジニアリング(株)), 井林 康(長岡工業高等専門学校), 村上 祐貴(長岡工業高等専門学校)	塩害劣化したプレテンション式 PC 桁の載荷試験と解析による耐力評価手法の検討
	作品部門	つばさ橋 カンボジア国 カンダル州／プレイベン州(ネアックルン)	上部構造：(斜張橋)3 径間連続 PC 斜張橋(エッジガーダー) (アプローチ橋) 5 径間連続 PC コンポ橋, 下部構造：(斜張橋) 場所打ち杭基礎(主塔 φ 2.5m, 端橋脚(西) φ 2.5m, (東) φ 1.2m) (アプローチ橋) 場所打ち杭基礎(φ 1.0~2.0m), 橋長：2,215m
	〃	横浜環状北線トラス橋 (大熊川トラス橋) 神奈川県横浜市港北区新羽町	上部構造：単径間鋼床版ダブルデッキートラス橋, 下部構造：RC 橋脚 2 基(ケーソン基礎 1 基, 杭基礎 1 基), 橋長：158.0m
	〃	桶川高架橋 埼玉県桶川市～久喜市	上部構造：桶川高架橋(第 2), PC13 径間連続箱桁橋 (外回り), PC13 径間連続箱桁橋 (内回り), 桶川高架橋(第 4), PC5 径間連続箱桁橋 (外回り), PC5 径間連続箱桁橋 (内回り), 栢間桃梨橋(第 1), PC12 径間連続箱桁橋 (外回り, PC11 径間連続箱桁橋 (内回り), 栢間桃梨橋(第 2), PC6 径間連続箱桁橋 (外回り), PC6 径間連続箱桁橋 (内回り), 下部構造：鉄筋コンクリート橋脚, 鋼管ソイルセメント杭, 橋長：桶川高架橋(第 2), 585m (外回り), 585m (内回り), 桶川高架橋(第 4), 217m (外回り), 217m (内回り), 栢間桃梨橋(第 1), 519.5m (外回り), 470m (内回り), 栢間桃梨橋(第 2), 237.5m (外回り), 258m (内回り)
2015	技術開発賞	中村 泰介, 清水 正巳, 八重田 義博, 三浦 久, 末吉 常彦	シャフト式遠隔操縦水中作業機 (T-iROBO UW) の開発
	〃	坂田 昇, 渡邊 賢三, 温品 達也, 藤岡 彩永佳, 石田 哲也	高撥水性シートを用いた超長期養生によるコンクリートの表層品質向上技術(美シール工法)の開発
	〃	鎌田 敏郎, 後藤 清, 石堂 暁, 山崎 尊志, 浅野 雅則	弾性波による下水道用鉄筋コンクリート管の劣化診断技術(衝撃弾性波検査法)の開発
	〃	清宮 理, 間瀬 肇, 仲保 京一, 八尋 明彦, 佐野 正佳	無動力・人的操作不要で自動閉塞を可能とした津波・高潮用フラップゲート式陸閘の開発
	〃	磐田 吾郎, 伊藤 哲, 斎藤 有佐, 木野村 有亮, 東芝 崇	先端駆動型水圧ハンマを用いたトンネル切羽前方探査技術の開発
2015	出版文化賞	道路の日本史 古代駅路から高速	武部健一 著, 中央公論新社 2015 年

		道路へ	
	〃	ようこそドボク学科へ！都市・環境・デザイン・まちづくりと土木の学び方	佐々木葉 監修, 真田純子・中村晋一郎・仲村成貴・福井恒明 編著, 学芸出版社 2015 年
2015	国際貢献賞		
	日本人	穴戸 達行	一般財団法人国際臨海開発研究センター 首席研究員
	〃	竹村 公太郎	特定非営利活動法人日本水フォーラム 代表理事兼事務局長
	〃	福本 勝司	(株)大林組 常務執行役員海外支店副支店長
	外国人	Romeo S. Momo	Philippine Institute of Civil Engineers, Inc. 2012, 2013 National President
2015	国際活動奨励賞	赤池 広康	PT. Bhimasena Power Indonesia, Chief Technical Officer
	〃	芦田 雅秀	(株)鴻池組海外支店土木部タボラ州水供給計画(タボラ給水)工事事務所副所長
	〃	池田 哲郎	国土交通省港湾局付 JICA 長期派遣専門家
	〃	木村 隆之	(株)大林組海外支店ナムニアップ工事事務所工事長
	〃	齋藤 正浩	八千代エンジニアリング(株)ベトナム国ハイフォン作業所所長
	〃	瀬岡 正彦	関西電力(株)(出向：ナムニアップ 1 パワーカンパニーマネジャー)
	〃	高橋 徹	鹿島建設(株)海外土木支店インドネシア・タンジュンブリョク道路 E2 工区構築工事事務所所長
	〃	高橋 宏明	五洋建設(株)国際部門国際土木本部土木事業部グループ長(海上土木)兼シンガポール営業所パシルパンジャンターミナル第 3,4 期埋立工事事務所所長
	〃	中野 穰治	国土交通省道路局企画課国際室長
	〃	南條 大助	(株)オリエンタルコンサルタンツグローバル
	〃	西野 滋博	清水建設(株)国際支店マニラ営業所プラリデルバイパス作業所所長
	〃	林 泰正	大成建設(株)国際支店土木部工事管理室課長
	〃	松野 憲司	(株)IHI インフラシステム海外プロジェクト室アジアプロジェクト部部長
	〃	丸二 信彦	三井住友建設(株)国際支店タンザニア連合共和国タザラ作業所所長
	〃	山村 直史	(独)国際協力機構(JICA)企画部参事役
	〃	吉田 剛	日本工営(株)コンサルタント海外事業本部開発事業部道路橋梁部次長兼ミャンマー国新タケタ橋建設開発事務所所長
2015	国際活動協力賞	WONG KUOK HUNG (黄 國鳳) (ウォン コック ホン)	(株)オリエンタルコンサルタンツグローバル建築開発部部長
	〃	Dr.PHAN HUU DUY QUOC (ファン・ハウ・ユイ ウォック)	清水建設(株)国際支店営業部営業課長
	〃	曾我 健一	ケンブリッジ大学工学部教授, カリフォルニア大学バークレー校土木工学科教授
2015	技術功労賞	石渡 和彦 (ジェイアール東日本コンサルタンツ(株)技術本部施工計画部長)	調査・計画
	〃	大石 立美 (JR 九州コンサルタンツ(株)技術本部副本部長)	設計・監理
	〃	尾畑 喜代和 (清水建設(株)名古屋支店土木部工事長)	施工・検査
	〃	佐々木 裕 ((独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構鉄道建設本部北海道新幹線建設局参事)	設計・監理
	〃	立石 義孝 (西日本工業大学研究センター客員教授地盤工学研究所(元	教育・研究・啓発

		大分県立中津東高等学校初代校長))	
	〃	花田 則昭 (鹿島建設(株)中部支店金木戸発電所工事事務所所長)	施工・検査
	〃	林下 敏則 (株)大林組大阪本店新北陸トンネルJV工事事務所所長)	施工・検査
	〃	藤田 定吉 (株)フジタ建設コンサルタント代表取締役社長)	調査・計画
	〃	堀田 哲夫 (株)建設技術研究所技術本部顧問)	調査・計画
	〃	吉富 幸雄 (大成建設(株)土木本部土木技術部)	施工・検査
2016	功績賞	青山 俊樹	一般財団法人建設業技術者センター理事長
	〃	岡田 憲夫	京都大学名誉教授, 関西学院大学災害復興制度研究所顧問, 持続的発展学・国際高等研究所(IASS)シニアフェロー(ドイツ・ポツダム)
	〃	金澤 寛	一般社団法人ウォーターフロント協会 会長
	〃	川島 一彦	東京工業大学名誉教授
	〃	小林 昭一	京都大学名誉教授
	〃	小山 幸則	立命館大学総合科学技術研究機構客員教授
	〃	善 功企	九州大学名誉教授
	〃	高山 知司	京都大学名誉教授, 一般財団法人沿岸技術研究センター参与兼沿岸防災技術研究所長
	〃	三浦 清一	北海道大学名誉教授
	〃	虫明 功臣	日本工営株式会社 顧問
2016	技術賞		
	I グループ	東京地下鉄(株), 佐藤・熊谷・大日本建設工事共同企業体, 熊谷・佐藤・大日本土木建設工事共同企業体, 清水・前田建設工事共同企業体	日本初の地下鉄営業線の平面交差解消事業－鉄道7路線の安定輸送を可能にした東京メトロ有楽町線・副都心線連絡線設置工事－
	〃	東京都下水道局, 大林・大本建設共同企業体(特)	世界初2函体同時沈設による大型ニューマチックケーソン施工－千住関屋ポンプ所建設工事－
	〃	東京電力ホールディングス(株), 鹿島建設(株)	福島第一原子力発電所汚染水対策工事－海水配管トレンチ, スクリーンポンプ室閉塞工事－
	〃	(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構	最小限のインフラで最大級の効果を発揮する雪害対策の確立－北陸新幹線, 富山・石川県内－
	〃	国土交通省九州地方整備局, (株)熊谷組	高度な無人化施工技術を核とした総合的な i-Construction による緊急災害対応－阿蘇大橋地区斜面防災対策(直轄砂防災害関連緊急事業)－
	〃	神戸市建設局, 大成建設(株)	「外ボルト締結型コンクリート中詰鋼製セグメント」の気中組立工法による3次元複合曲線管渠の構築－中突堤ポンプ場放流渠築造工事－
	〃	首都高速道路(株), 大林・奥村・西武特定建設工事共同企業体	新たなシールドトンネル拡幅技術を用いた分合流部の建設－横浜北トンネル馬場出入口分合流部－
	〃	中日本高速道路(株)東京支社南アルプス工事事務所, 清水建設(株)・岩田地崎建設(株)特定建設工事共同企業体	全断面機械掘削早期閉合工法による脆弱地山への挑戦－中部横断道・八之尻トンネル－
	〃	東海旅客鉄道(株)建設工事部, 大成・鹿島特定建設工事共同企業体	超高層ビル建設における営業線鉄道函体アンダーピングと透し掘り連壁－リニア名古屋駅の一部となるJRゲートタワー新設－
	〃	東京都下水道局建設部, 東京都下水道局第二基幹施設再構築事務所, 東京都下水道局中部下水道事務所	首都中枢部の浸水軽減と皇居内濠の水質改善に寄与する第二溜池幹線の建設
	〃	(独)水資源機構, 東日本旅客鉄道(株), 東鉄工業(株), (株)技研製作所	鉄道橋りょう下部の狭隘空間における水中鋼矢板圧入工法の開発
	〃	国土交通省東北地方整備局, (株)大	東北地方における高耐久RC床版の施工

		林組, 三井造船鉄構エンジニアリング(株), (株) I H I インフラ建設, (株)横河ブリッジ, 東京大学, 日本大学, 横浜国立大学, 前橋工科大学	
	II グループ	(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構北海道新幹線建設局, (独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構青森工事事務所, 北海道旅客鉄道(株), 東日本旅客鉄道(株)東北工事事務所	北海道新幹線(新青森・新函館北斗間)開業ー津軽海峡線開通より 28 年, 本州と北海道を結ぶ高速鉄道新時代ー
	〃	国土交通省中国地方整備局岡山河川事務所	百間川河口水門増築事業ー治水・歴史・環境の調和を目指した最新技術ー日本最大のライジングセクターゲートー
	〃	東日本旅客鉄道(株), 宮城県, 福島県, 山元町, 新地町	津波により被災した JR 常磐線駒ヶ嶺ー浜吉田間の内陸移設復旧ーまちづくりと一体となって運転再開前倒しを実現した復旧の取組みー
	〃	国土交通省関東地方整備局東京国道事務所, 東日本旅客鉄道(株)東京工事事務所	新宿駅南口地区基盤整備事業ー三層の人工地盤からなる交通結節点を民間ビルと一体で実現へー
	〃	首都高速道路(株)	高速神奈川 7 号横浜北線の建設ー周辺環境の保全に配慮した都市高速道路ー
	〃	在タジキスタン日本国大使館, (独)国際協力機構, タジキスタン国住宅サービス公社, 大日本土木(株), (株)エイト日本技術開発	タジキスタン国ハトロン州ピアンジ県給水改善計画
2016	環境賞		
	I グループ	鹿島建設(株), (株)MS エンジニアリング	超電導磁気分離と鉄粉による重金属汚染土の浄化技術の開発と実用化
	〃	大成建設(株), 福田雅夫, 江崎孝行, 野尻秀昭, (国研)産業技術総合研究所, (独)製品評価技術基盤機構	VOCs 汚染地下水の有用微生物による早期浄化技術とその安全性評価手法の開発
	〃	(株)大林組	木片コンクリートによる斜面の緑化対策技術の研究
	II グループ	福島県, 応用地質(株), 西松建設(株), 佐藤工業(株), (国研)産業技術総合研究所, 早稲田大学	住民合意を踏まえた道路維持管理に伴う放射性物質汚染土砂の環境影響低減プロジェクト
	〃	清水建設(株), (株)ユーグレナ	オマーン油田地帯における環境保全技術からのサステイナブル都市創出プロジェクト
	〃	(公財)熊本県環境整備事業団, 鹿島建設(株)	熊本県の県北の環境拠点として地域と調和し, 地域に貢献する公共関与最終処分場「エコあくもと」の建設と運営
2016	論文賞	竿本 英貴, 加瀬 祐子, 森 宏, 吉見雅行, 堀川 晴央, 阿部 信太郎	位相最適化に基づく断層形状推定手法の開発
	〃	内田 龍彦, 福岡 捷二	非平衡粗面抵抗則を用いた一般底面流速解析法の導出と局所三次元流れへの適用
	〃	高井 敦史, 川島 光博, 勝見 武, 乾徹, 岩下 信一, 大河原 正文	東日本大震災で発生した岩手県の災害廃棄物分別土砂の品質とその変化
	〃	清水 英範	明治政府の官庁集中計画におけるベックマン条約に関する研究
	〃	前島 拓, 子田 康弘, 岩城 一郎, 内藤 英樹, 岸良 竜, 鈴木 康範, 大田孝二, 鈴木 基行	アルカリシリカ反応が道路橋 RC 床版の耐疲労性に及ぼす影響
	〃	山崎 崇央, 石田 哲也	生存時間解析を用いた東北地方における橋梁コンクリート部材の劣化定量分析
	〃	田中 周平, 辻 直亨, 水谷 沙織, 西川 博章, 藤井 滋穂	北上川河口部ヨシ群落の植生分布および植物種構成に及ぼす地盤沈下および津波の影響
2016	論文奨励賞	廣部 紗也子	乾燥破壊現象における亀裂パターン形成の数値解析
	〃	田中 智大	降雨継続時間に応じた総降雨量の条件付き分布関

			数による総合確率法の改良
	〃	河野 哲也	圧密沈下が生じる軟弱地盤に用いる斜杭基礎の設計法の提案
	〃	大澤 実	Harris&Wilson (1978) モデル再考：集積の経済を考慮した商業立地 モデル分岐解析
	〃	小倉 大季	鉄筋補強した繊維補強セメント系複合材料の引張破壊解析と架橋力に着目した破壊挙動評価
	〃	水谷 大二郎	準モンテカルロ法を用いた多段階ワイブル劣化ハザードモデルのベイズ推定
	〃	吉田 彩乃	水中病原体の許容感染リスクに基づいた水質衛生基準候補値の算出方法に関する提案
2016	吉田賞		
	研究業績部門	大即信明 (東京工業大学)	コンクリートの劣化機構の解明と耐久性向上に関する研究
	論文部門	佐藤 英明 ((株)熊谷組), 宮澤 伸吾 (足利工業大学)	ダムコンクリートにおける自己収縮ひずみの評価方法に関する研究
	吉田研究奨励賞	西村 和朗(東京理科大学)	振動下のスランプフローを用いた粘性の算出方法の構築
	〃	直町 聡子(東京理科大学)	海水中の多種イオンを考慮したコンクリートの塩分浸透性状と細孔溶液組成変化の統一的検討
	〃	橋本 永手(東京理科大学)	セメント硬化体中鉄筋の電位と内在する電流密度の関係
	〃	田中 豊((国研)海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所)	空間統計学を用いた海洋コンクリート構造物における劣化因子の空間分布モデルの構築
2016	田中賞		
	業績部門	宮田 利雄 (横浜国立大学名誉教授)	長大橋の耐風設計技術の高度化と体系化および国際展開
	〃	森安 宏	鋼橋における品質保証への取組み推進と「橋の相談室」活動による発注者等への技術支援
	〃	辰巳 正明 ((株)オリエンタルコンサルタンツグローバル技術顧問)	耐風安定性に優れた長大吊形式橋梁の実現への貢献と海外橋梁技術者の育成
	論文部門	阪上 隆英(神戸大学), 和泉 遊以(滋賀県立大学), 水野 浩(川田工業(株))	赤外線サーモグラフィを用いた鋼・コンクリート合成床版の疲労損傷の検出および評価に関する研究
	〃	舘石 和雄(名古屋大学), 早田 直広(電力中央研究所), 判治 剛(名古屋大学), 清水 優(名古屋大学)	すみ肉溶接継手のルートき裂に対する変位基準の疲労強度評価法
	作品部門(新設)	オスマン・ガーズィー橋 (俗称：イズミット湾横断橋) トルコ・コジャエリ県ディロワスイ～ヤロワ県アルティノワ	上部構造：鋼 3 径間連続 6 角扁平箱桁吊橋，下部構造：重力式 RC アンカレッジ，設置ケーソン(RC 及び鋼・コンクリート合成)，RC 橋脚，橋長：2,682 m
	〃	新名神武庫川橋 兵庫県神戸市北区道場町生野	上部構造：PRC5 径間連続エクストラードボタフライウェブ箱桁橋 (主塔構造) 鋼・コンクリート複合構造，下部構造：RC 中空断面式橋脚 4 基，基礎構造：深礎杭基礎 3 基，直接基礎 1 基，橋長：442.2m
	〃	朝明川橋 三重県四日市市小牧町	上部構造：鋼・PC 混合 3 径間連続アーチ補剛鋼床版箱橋(上下線一体)，下部構造：RC2 柱式橋脚 (鋼管回転杭)，RC 壁式橋脚 (鋼管矢板基礎)，V 型剛結橋脚 (鋼管矢板基礎)，RC 箱式橋台 (鋼管回転杭)，橋長：325m
	〃 (改築)	首都高速 1 号羽田線 勝島地区橋梁 (PC ゲルバー橋の連続化) 東京都品川区勝島 1 丁目	上部構造：既 設：3 径間連続 PC ゲルバー箱桁橋×12 連 (上下線)，改築後：9 径間連続 PC 箱桁橋×4 連 (上下線) 下部構造：(橋脚) RC 橋脚+PC 横梁，(基礎) 場所打ち杭 橋長：476.5m
	〃	片品川橋の耐震補強	上部構造：鋼 3 径間連続上路トラス橋 3 連，鉄筋

		群馬県利根郡昭和村～群馬県沼田市	コンクリート床板 下部構造：箱式橋台、鉄筋コンクリート壁式橋脚、 深礎基礎（A1、P1）、ケーソン基礎（P2、P3、 P4、P5、P6、P7）、直接基礎（P8、A2） 橋長：1,033.9m
2016	技術開発賞	平田 隆祥((株)大林組)、野村 敏雄 ((株)大林組)、佐々木 一成((株)大 林組)、吉田 浩一郎(宇部興産(株))、 玉滝 浩司(宇部興産(株))	常温硬化型 超高強度繊維補強コンクリート(スリ ムクリート) 工法の開発
	〃	浜田 文年(西日本高速道路(株))、足 達 康軌(大成建設(株))、天野 元輝 (大成建設(株))、若山 真則(大成建 設(株))、松尾 陽介((株)三井三池製 作所)	硬岩トンネル掘削機 TM-100 の開発
	〃	宮川 豊章(京都大学)、青木 圭一 (中日本高速道路(株))、萩原 直樹 ((株)高速道路総合技術研究所)、廣 瀬 誠((株)四国総合研究所)、木村 美紀((株)四国総合研究所)	漏洩磁束法による PC 鋼材破断の非破壊検査技術 の開発
	〃	大木 智明(清水建設(株))、浦島 理 (清水建設(株))、尾形 伸一郎(清水 建設(株))、小西 真(アクティブリン ク(株))、本保 裕文((株)エスシー・ マシーナリ)	重量鉄筋配筋作業支援ロボット（配筋アシストロ ボ）の開発
	〃	三浦 悟(鹿島建設(株))、林 健二(鹿 島建設(株))、菅原 俊幸(九州地方整 備局大分川ダム建設 JV 工事事務 所)、浜本 研一(鹿島建設(株))、嶋 田 健二郎((株)小松製作所)	建設機械の自動化を核とした自動化施工システム （A ⁴ CSEL(R)：クワッドアクセル）の開発
2016	出版文化賞	バルトン先生、明治の日本を駆ける！ ～近代化に献身したスコットランド人の物語～	稲場紀久雄 著 / 平凡社 2016 年
	〃	地震との戦い なぜ橋は地震に弱 かったのか	川島一彦 著 / 鹿島出版会 2014 年
2016	国際貢献賞		
	日本人	菊川 滋	(株)I H I 常任顧問
	〃	都甲 明彦	五洋建設(株) 取締役兼専務執行役員国際部門長
	〃	土肥 穰	鹿島建設(株) 執行役員アルジェリア東西高速道 路建設工事総合事務所長
	外国人	Dr. Ir Mochamad Basoeki Hadimoeljono	インドネシア公共事業・国民住宅大臣
2016	国際活動奨励賞	大塚 洋一	(株)鴻池組海外支店土木部ナロック給水拡張計画 工事事務所所長
	〃	小川 智之	鹿島建設(株)海外土木支店エチオピア・幹線道路フ ェーズ 4（2 期）工事事務所所長
	〃	梶原 良治	大成建設(株)国際支店パキスタン・N70 号線道路建 設工事作業所課長
	〃	亀廻井 寿明	東急建設(株)国際事業部プロジェクト統括部次長
	〃	川崎 隆	(株)大林組海外支店ダッカ 3 橋 JV 工事事務所副 所長
	〃	小泉 幸弘	(独)国際協力機構(JICA)資金協力業務部参事役兼 実施監理第一課課長
	〃	下山 和彦	三井住友建設(株)国際支店ベトナム社会主義共和 国ホーチミン都市鉄道（1 号線）CP1a 作業所工事 課長
	〃	園部 直明	日本工営(株)コンサルタント海外事業本部鉄道事 業部鉄道技術部次長兼エジプト国カイロ地下鉄 4 号線開発事務所所長

	〃	綱川 浩太	電源開発(株)国際営業部技術室土木タスク総括マネージャー
	〃	中川 康之	(国研)海上・港湾・航空技術研究所港湾空港技術研究所沿岸環境研究領域領域長
	〃	藤熊 昌孝	(株)オリエンタルコンサルタンツグローバル道路交通事業部道路技術部部長
	〃	松木 洋忠	国土交通省水管理・国土保全局河川計画課国際室長
	〃	松本 高之	清水建設(株)国際支店マレーシア営業所長
	〃	三輪 恭久	JFE エンジニアリング(株)海外統括本部ヤンゴン支店長
2016	国際活動協力賞	HASSAN AMMAR (ハサン アンマール)	大成建設(株)国際支店土木部積算室課長
	〃	趙 勝川 (ちょう しょうせん)	大連理工大学教授,交通運輸学院長,国際協力センター長
	〃	Somnuk Tangtermsirikul	Sirindhorn International Institute of Technology (SIIT), Thammasat University Director
	〃	Tuenjai FUKUDA	Asian Transportation Research Society (ATRANS) Secretary-General
	〃	A.F.M. SAIFUL AMIN	Department of Civil Engineering Bangladesh University of Engineering and Technology(BUET) Professor
2016	技術功労賞	佐藤 勇樹 (第一建設工業(株)取締役常務執行役員土木本部長)	施工・検査
	〃	島峰 徹夫 (ジェイアール東日本コンサルタンツ(株)上信越支店副支店長)	設計・監理
	〃	清水 幸一 (三井住友建設(株)中部支店土木部担当部長)	施工・検査
	〃	須藤 英明 (鹿島建設(株)東京土木支店外環市川中 J V 工事事務所次長)	施工・検査
	〃	高橋 広行 (東京都立田無工業高等学校専修実習助手)	教育・研究・啓発
	〃	武内 正博 (八千代エンジニアリング(株)国際事業本部フェロー)	調査・計画
	〃	立石 和秀 ((独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構鉄道建設本部東京支社工事第二部長)	設計・監理
	〃	登坂 弘光 ((株)大林組名古屋支店名古屋駅中央西 J V 工事事務所所長)	施工・検査
	〃	中村 隆良 (大成建設(株)土木本部土木技術部)	施工・検査
	〃	古山 章一 (ジェイアール東日本コンサルタンツ(株)東北支店理事副支店長兼鉄道 CIM 推進 PT 部長)	設計・監理
2017	功績賞	石橋 忠良	JR 東日本コンサルタンツ(株) 取締役技術統括
	〃	魚本 健人	土木新技術研究調査会代表, (国研) 土木研究所顧問
	〃	江頭 和彦	(一財) 沿岸技術研究センター 顧問
	〃	大村 達夫	東北大学 未来科学技術共同研究センター 教授
	〃	小河 保之	(特非) 環境防災総合政策研究機構 理事
	〃	清宮 理	早稲田大学理工学部社会環境工学科 教授
	〃	國島 正彦	東京大学名誉教授/高知工科大学 技術顧問・客員教授
	〃	小泉 淳	早稲田大学 理工学術院 教授
	〃	砂田 憲吾	山梨大学特任教授

	〃	竹村 公太郎	(特非) 日本水フォーラム代表理事
	〃	田崎 忠行	(一社) 日本建設機械施工協会 会長
	〃	當麻 純一	(株)電力計算センター 代表取締役社長
	〃	三木 千壽	東京都市大学 学長
	〃	山田 正	中央大学 理工学部 教授
2017	技術賞		
	I グループ	中村 哲	アフガニスタン・クナール川下流域の灌漑事業
	〃	大阪市建設局下水道河川部, 大成建設(株)	地下埋設物の影響を受けずに連絡立坑を構築する「坑内回収型上向きシールド工法」
	〃	東日本高速道路(株)関東支社千葉工事事務所, 京成電鉄(株), 清水・京成・東急建設共同企業体	外環自動車道京成菅野アンダーパス工事～世界最大級断面の R&C 工法による鉄道営業線直下の函体けん引工事～
	〃	西日本高速道路(株)関西支社新名神大阪西事務所, 鹿島建設(株)関西支店, 大成建設(株)関西支店	長大山岳トンネルにおける国内最大規模の環境保全対策－新名神高速道路 箕面トンネル工事－
	〃	(独)水資源機構琵琶湖開発総合管理所	琵琶湖開発施設管理における i-Construction & Management～広域的に多数点在する施設群の管理を高度化する ICT 技術の導入～
	〃	東京都第四建設事務所, 大成・佐藤・銭高建設工事共同企業体	大深度シールドの掘進技術と到達技術および大深度立坑の構築技術の確立(高水圧下の砂礫層の長距離掘進および仮壁切削工法と水中到達工法とを用いた到達)
	〃	山口県, 田村隆弘(徳山工業高等専門学校教授), 二宮純(徳山工業高等専門学校客員教授), 中村秀明(山口大学教授), 細田暁(横浜国立大学准教授)	山口県によるひび割れ抑制・品質確保システムの構築と展開
	〃	東日本高速道路(株)関東支社千葉工事事務所, 大成・戸田・大豊特定建設工事共同企業体	東京外環自動車道 京葉ジャンクションにおける小土被りランプ構築工事(ハーモニカ工法による上床版先行構築およびアンダービニングによるランプの構築, 大断面シールド小土被り対策工事)
	〃	(株)大林組, 大林ウインドパワー三種, (株)巴技研	日本初!「ウインドリフト工法」による巨大風車の組立－三種浜田風力発電所建設工事－
	〃	鹿児島県土木部道路建設課, 熊谷・西武・渡辺・鎌田特定建設工事共同企業体, 熊谷・渡辺特定建設工事共同企業体	山岳トンネルの大量湧水を減水する RPG (Ring-Post-Grouting) 工法の開発
	〃	国土交通省近畿地方整備局和歌山河川国道事務所, 西日本高速道路(株)関西支社和歌山工事事務所, 鹿島建設(株)関西支店, (株)大林組大阪本店, 川田建設(株)大阪支店, 佐藤工業(株)大阪支店, 三井住友建設(株)大阪支店	近畿圏の産業振興のためのミッシングリンクの解消－京奈和自動車道 紀北西道路 和歌山ジャンクションの建設－
	〃	東日本旅客鉄道(株)東京工事事務所, 首都高速道路会社(株)神奈川建設局, 横浜市道路局, 鹿島建設(株)・前田建設工業(株)・京急建設(株)JV, JR東日本コンサルタンツ(株)	10 線路上空における 7 つの急曲線桁の短時間架設－高速神奈川 7 号横浜北線 鉄道交差部－
	II グループ	国土交通省東北地方整備局岩木川ダム統合管理事務所, 安藤ハザマ・西松建設特定建設工事共同企業体	「津軽ダムの建設」－合理化施工によるダム再開発事業と地域・環境に配慮した社会資本整備－
	〃	国土交通省九州地方整備局	鶴田ダム再開発事業 ～ダム再生リーディングプロジェクト～
	〃	国土交通省北海道開発局室蘭開発建設部日高道路事務所, 国土交通省北海道開発局帯広開発建設部帯広	国道 274 号日勝峠災害復旧及び道東自動車道の早期交通確保 (平成 28 年 8 月北海道の大雨災害)

		道路事務所, 東日本高速道路(株)北海道支社帯広管理事務所, R 2 7 4 日勝峠災害復旧関連工事推進協議会, 日勝峠復旧工事連絡協議会	
	〃	西日本旅客鉄道(株), 広島市	JR 可部線電化延伸と広島市域公共交通ネットワークの発展～廃線からの路線復活～
	〃	東京都, (独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構, 小田急電鉄(株), 大林・鉄建・五洋建設共同企業体, 戸田・東急・フジタ建設共同企業体, 大成・前田・西松・銭高・三井住友建設共同企業体, 清水・鴻池・大豊建設共同企業体, 鹿島・奥村・フジタ建設共同企業体	日本初の営業線直下における 4 線地下式での線増連立事業～都市高速鉄道第 9 号線の完遂～
	〃	首都高速道路(株)	首都高中央環状線機能強化事業(板橋熊野町 JCT 間改良, 堀切小菅 JCT 間改良)
	〃	東日本旅客鉄道(株), 東京都	東京駅丸の内駅前広場整備 ～東京駅丸の内駅舎から皇居に至る一体的な都市空間整備～
2017	環境賞		
	I グループ	鹿島建設(株)	高機能選別補助材を用いた高含水・高粘性の農地除去土壌の改質・異物除去システムの実証
	〃	日建工学(株), 徳島大学, 味の素(株)	"防災"と一体となった"環境配慮"を実現する「アミノ酸混和コンクリート」の開発と実用化
	II グループ	北海道電力(株), 北電総合設計(株), 北電興業(株)	京極発電所建設工事における生物多様性に配慮した環境保全対策
2017	研究業績賞	小泉 淳	都市トンネルの設計法・施工法の体系化研究にもとづく都市部大深度地下空間利用技術の社会実装
	〃	山口 隆司	微生物を活用した低コスト・創エネルギー型廃水処理システムの開発
	〃	藤井 聡	土木とシティズンシップの学校教育に資する交通・防災・まちづくり・くにづくりの実践研究
2017	論文賞	佐藤 太裕, 谷垣 俊行, 佐藤 諭佳, 島 弘幸, 井上 昭夫	竹の節・組織構造が織り成す円筒体としての合理的な構造特性の理論的解明
	〃	田中 俊行, 遠藤 徹, 筏 紀晶, 矢持 進	大阪南港野鳥園北池塩性湿地における高水温期の CO ₂ 吸排出特性
	〃	中島 進, 渡邊 健治, 神田 政幸, 藤原 寅士良, 高崎 秀明, 池本 宏文	崩壊防止ネットと地山補強材による既設石積み壁の補強方法の開発
	〃	大平 悠季, 織田澤 利守	社会ネットワークを通じた相互作用と混雑を考慮した最適交通料金政策の進化的遂行
	〃	小林 潔司, 水谷 大二郎, 松島 格也, 山本 浩司, 貝戸 清之, 坂口 創	2次元混合ワイブル劣化ハザードモデル
	〃	三浦 尚之, 風間 しのぶ, 今田 義光, 真砂 佳史, 当廣 謙太郎, 真中 太佳史, 劉 曉芳, 齊藤 繭子, 押谷 仁, 大村 達夫	感染性胃腸炎流行の早期検知を目的とした下水中ノロウイルスモニタリングの有用性
	〃	赤松 良久, 河野 誉仁, 乾 隆帝, 神谷 大介, 高田 一樹	AR 技術と 3D 模型を用いた河川流域環境に関する教育ツールの開発
2017	論文奨励賞	森山 達哉	都市ガス供給システムにおける地震時供給停止判断の性能評価
	〃	高島 知行	津波による管路溢水・陸域氾濫連成解析手法の構築
	〃	木戸 隆之祐	三軸圧縮下の不飽和砂の進行的なせん断帯発達過程における間隙水の微視的特性
	〃	八尾 修司	戦前期大阪における公園道路網計画と桃ヶ池・田邊公園道路の形成
	〃	山田 雄太	引張主鉄筋に沿う人工損傷の長さがせん断補強筋の無い RC はりの疲労耐荷機構に及ぼす影響
	〃	張 文君	中国における建設契約ガバナンスの構造:FIDIC との比較分析を通じて

	〃	小川 翔平	非破壊での鉍物定量による不飽和条件下におけるリン資材不溶化処理土の鉛の安定鉍物形成と移動抑制の定量関係
	〃	菊 雅美	LMS を利用した効果的な水理実験実施のための教材開発に関する研究
2017	吉田賞		
	研究業績部門	坂井 悦郎 (東京工業大学)	無機系混和材の活用によるコンクリートの高性能化と環境負荷軽減
	〃	鳥居 和之 (金沢大学)	コンクリート骨材のアルカリシリカ反応性の評価に関する研究
	吉田研究奨励賞	中村 文則 (長岡技術科学大学)	環境作用に応じたコンクリート構造物表面の劣化促進物質の移動・再配分の予測モデルの開発
	〃	中村 拓郎 (東京工業大学)	T 形 RC はりのせん断耐力の評価方法に関する研究
	〃	高橋 佑弥 (東京大学)	ASR ゲルの化学組成－物理特性に基づくコンクリート構造の力学性能評価
	〃	宮本 慎太郎 (東北大学)	相平衡物質移行モデルにより劣化予測を行う際の最適な相の定義に関する検討
2017	田中賞		
	業績部門	恵谷 舜吾 ((一財)首都高速道路技術センター理事長)	都市内高速道路における高架橋の計画・設計・施工・管理を実践した指導的業績
	〃	西川 和廣 ((国研)土木研究所理事長)	道路橋長寿命化の提唱とその実現のための技術開発および点検・診断技術の普及への貢献
	〃	松本 勝 (京都大学名誉教授)	橋梁の耐風性に関連した各種空力現象の解明と長大橋建設に対する風工学からの貢献
	〃	石井 孝 (JFE エンジニアリング(株)) 社友 (前代表取締役副社長)	国内外の超長大橋他鋼構造物事業における優れた実践, および, その国際展開への貢献
	〃	杉本 武司 ((株)ピース三菱特別顧問)	コンクリート橋梁・複合橋梁における建設技術および更新技術の開発と発展への貢献
	論文部門	塩畑 英俊(東日本高速道路(株)), 三田村 浩((株)サンブリッジ), 渡辺 忠朋(北武コンサルタント(株)), 下村 匠(長岡技術科学大学), 丸山 久一(長岡技術科学大学名誉教授)	連続繊維ロープを用いた既設鉄筋コンクリート橋脚の耐震補強法の補強効果算定式の提案
	作品部門(新設)	出島表門橋 長崎県長崎市出島町	上部構造: 2 径間鋼連続版桁橋, 下部構造: カウンターウェイト型杭基礎, 橋長: 38.5m
	〃	ディンブーカットハイ橋 ベトナム社会主義共和国 ハイフォン市	上部構造: ハイアン側取付け橋 PC5 径間連続箱桁橋 15 連, 主橋 PC4 径間連続 V 脚ラーメン箱桁橋, カットハイ側取付け橋 PC4,5 径間連続箱桁橋, 下部構造: RC 橋脚(場所打ち杭基礎, 鋼管杭基礎, 鋼管矢板井筒基礎), 橋長: 5,443m
	〃	気仙沼大島大橋 宮城県気仙沼市三ノ浜・磯草 地内	上部構造: 鋼中路式アーチ橋(床板形式: 鋼床版), 下部構造: 逆 T 式橋台, 壁式橋脚, 橋長: 356m
	〃	高速神奈川 7 号横浜北線 生麦ジャンクション高架橋 神奈川県横浜市鶴見区生麦	上部構造: 3 径間連続鋼床版箱桁橋(2 連), 4 径間連続鋼床版箱桁橋(2 連), 5 径間連続鋼床版箱桁橋(6 連), 3 径間連続鋼床版桁橋(4 連), 3 径間連続 RC 床版桁橋, 5 径間連続 RC 床版桁橋, 6 径間単純 PCI 桁橋(2 連), 単純合成桁橋(3 連), 単純鋼床版箱桁橋, 単純鋼床版桁橋, 5 径間連続非合成箱桁橋, 5 径間連続 PC 箱桁橋, 10 径間単純 PCI 桁橋 下部構造: 鋼橋脚 48 基, RC 橋脚 27 基, 場所打ち杭基礎 55 基, ニューマチックケーソン基礎 13 基, 深礎基礎 7 基, 橋長: 4,509m
	〃	小名浜マリナブリッジ 福島県いわき市(小名浜港)	上部構造: 5 径間連続 PC エクストラードード橋 下部構造: RC 壁式橋脚(2 柱式)(P4: 場所打ち杭基礎, P5~P6: ケーソン基礎, P7~P8: 鋼管矢板基礎, P9: 鋼管杭基礎, 橋長: 510m (橋梁全長 927m)

	〃（改築）	阿蘇長陽大橋の補修 熊本県阿蘇郡南阿蘇村大字立野地内	上部構造：PC4 径間連続ラーメン箱桁橋 下部構造：5 連 RC ラーメン橋(直接基礎)，RC 逆 T 式橋台(直接基礎)，壁式橋脚(直接基礎，深礎杭基礎)，橋長：276 m
	〃	追分橋の耐震補強 滋賀県大津市追分町	上部構造：鋼 3 径間連続非合成箱桁橋・RC 床板(下面鋼板補強)上下線 2 連 下部構造：RC 逆 T 式橋台(鋼管杭基礎)4 基，鋼コンクリート複合構造橋脚(大口径深礎)4 基 橋長：上り線 101.734 m，下り線 111.394 m
2017	技術開発賞	伊原 茂(首都高速道路(株))，中野博文(首都高速道路(株))，加藤 敏明((株)大林組)，齋藤 隆((株)大林組)，斉藤 成彦(山梨大学大学院)	鋼製橋脚の定着深さを低減できる平面格子形鋼を埋設した合成構造フーチングの開発
	〃	森 直樹((株)大林組)，古屋 弘((株)大林組)，上條 宏明((株)大林組)，野村 光寛(大裕(株))	汎用遠隔操縦装置「サロゲート」の開発
	〃	溝上 善昭(本州四国連絡高速道路(株))，小林 義弘(本州四国連絡高速道路(株))，阪上 隆英(神戸大学大学院)，和泉 遊以(滋賀県立大学)，大藤 時秀((株)ブリッジエンジニアリング)	U リブ鋼床版の亀裂検出システム(赤外線サーモグラフィを用いた温度ギャップ法によるビード進展亀裂検出システム)
	〃	笠倉 亮太((公財)鉄道総合技術研究所)，岡本 大((公財)鉄道総合技術研究所)，前原 聡(東急建設(株))，鈴木 将充(東急建設(株))，白崎 能生((株)ホクコン)	プレキャストパネルと高強度繊維補強モルタルを用いた耐震補強工法（CB パネル工法）の開発
	〃	興石 正己(清水建設(株))，井出 一直(三井化学産資(株))，竹上 雅彦(清水建設(株))，浅香 貴俊(清水建設(株))，久保 昌史(清水建設(株))	ポリウレア樹脂を用いたコンクリート構造物の機能保持・向上技術（タフネスコート）の開発
2017	出版文化賞	橋を透して見た風景	紅林章央 著 / 都政新報社 2016 年
2017	国際貢献賞		
	日本人	上田 多門	北海道大学大学院工学研究院教授
	〃	勝田 穂積	元運輸省港湾局技術課技術指導官，元（独）国際協力機構国際協力専門員
	〃	栗城 稔	（一財）河川情報センター審議役
	外国人	Kyaw Linn	ミャンマー建設省副大臣
2017	国際活動奨励賞	内田 裕之	大成建設(株)国際支店土木部積算室次長
	〃	大縄 泰平	佐藤工業(株)シンガポール支店土木部部長
	〃	越智 克夫	清水建設(株)国際支店土木生産計画部主査
	〃	垣下 禎裕	山梨県県土整備部長
	〃	神村 英明	(株)大林組海外支店土木営業部副部長
	〃	小林 俊幸	東京電力ホールディングス(株)渉外・広報ユニット 国際室海外コンサルティング開発グループ課長
	〃	佐々木 昭彦	前田建設工業(株)国際支店ホーチミン地下鉄(作)作業所長
	〃	鮫島 義明	日本工営(株)コンサルタント海外事業本部水資源エネルギー部次長
	〃	杉村 誠	(株)IHI インフラシステム海外プロジェクト室トルコプロジェクト部部長
	〃	高橋 亮司	(株)オリエンタルコンサルタンツグローバル都市地域開発・防災部副部長
	〃	谷口 正昭	(株)鴻池組海外支店ケニア事務所事務所長
	〃	土田 貴之	(株)建設技研インターナショナル道路・交通部部長
	〃	野村 泰由	東急建設(株)国際事業部プロジェクト第二統括部ジャカルタ MRT 作業所所長

	〃	藤井 真	(株)フジタ国際支社香港部香港空港 P568 作業所次長
	〃	蓬萊 晃文	鹿島建設(株)海外土木事業部生産計画管理グループ担当部長
	〃	藪中 克一	(独)国際協力機構社会基盤・平和構築部技術審議役
2017	国際活動協力賞	SHRESTHA ROBINSON	(株)建設技研インターナショナル道路・交通部次長
	〃	何 海明	大成建設(株)関東支店土木部土木室課長代理
	〃	安 雪暉	中国・清華大学・土木水利学院教授
	〃	NGUYEN THI TUYET TRINH	ベトナム国 交通運輸大学, 都市交通海岸工学科長, 国際教育学部長, 准教授
	〃	PHAM HOANG KIEN	ベトナム国 交通運輸大学准教授
2017	技術功労賞	五井 仁 (中日本高速道路(株)名古屋支社保全・サービス事業部道路管制 センター統括司令)	用地・補償
	〃	齊木 正 (清水建設(株)土木東京支店工事長)	施工・検査
	〃	高木 利光 (八千代エンジニアリング(株)総合事業本部河川部フェロー)	調査・計画
	〃	立石 久弥 (飛島建設(株)首都圏土木支店土木部施工 G 工事部長)	施工・検査
	〃	谷端 勇 (和歌山県立和歌山工業高等学校実習助手)	教育・研究・啓発
	〃	玉井 修二 (愛媛県立伊予農業高等学校教諭)	教育・研究・啓発
	〃	楡井 一昭 ((株)建設技術研究所東京本社フェロー)	設計・監理
	〃	前田 武俊 ((株)小島組開発統括兼開発部長)	教育・研究・啓発
	〃	宮副 一之 ((株)九州構造設計専務取締役(CM))	教育・研究・啓発
	〃	三好 英一 (国立研究開発法人海上・港湾・航空技術研究所港湾空港技術研究所沿岸環境研究領域沿岸環境研究グループ専門研究員)	教育・研究・啓発
	〃	吉清 孝 (鹿島建設(株)IT ソリューション部専任部長)	施工・検査
2018	功績賞	飯田 廣臣	(株)奥村組専務執行役員
	〃	大石 久和	(一社)全日本建設技術協会会長
	〃	大塚 久哲	九州大学名誉教授, (株)大塚社会基盤総合研究所代表取締役
	〃	加賀屋 誠一	北海道大学名誉教授, (株)北電総合設計アドバイザー
	〃	日下部 治	国際圧入学会会長, 東京工業大学名誉教授
	〃	小長井 一男	東京大学名誉教授, (特非) 国際斜面災害研究機構学術代表
	〃	霜上 民生	(一社)近畿建設協会理事長
	〃	田代 民治	鹿島建設(株)代表取締役副社長執行役員
	〃	野池 達也	東北大学名誉教授
	〃	橋口 誠之	鉄建建設(株)相談役
	〃	廣瀬 典昭	日本工営(株)相談役
	〃	藤野 陽三	横浜国立大学先端科学高等研究院上席特別教授
	〃	古田 均	大阪市立大学特任教授
	〃	丸山 久一	長岡技術科学大学名誉教授
2018	技術賞		
	I グループ	阪神高速道路(株)建設・更新事業本	大断面シールドトンネルにおける超近接・長距離掘

		部堺建設部, 鹿島建設(株)関西支店	進～同時施工掘進技術実績-阪神高速道路 大和川線シールドトンネル工事-
	〃	首都高速道路(株)	高耐震性パイルベント橋脚の開発及び全面的なプレキャスト化による迂回路高架橋の急速施工-首都高速 1 号羽田線東品川栈橋・鮫洲埋立部更新事業-
	〃	東京都下水道局第一基幹施設再構築事務所, 東急建設(株)	下水道工事における国内最大規模の凍結工法を用いたシールドトンネルの拡幅と地中接合工事-隅田川幹線工事-
	〃	東日本旅客鉄道(株), (株)日本線路技術, (公財)鉄道総合技術研究所, 川崎重工業(株), (株)日立ハイテクファインシステムズ, (株) J R 東日本情報システム	保線におけるモニタリング技術の実用化と維持管理への応用
	〃	東京電力ホールディングス(株), 鹿島建設(株)	福島第一原子力発電所陸側遮水壁における世界最大級の凍土壁の造成と運用
	〃	東日本旅客鉄道(株)上信越工事事務所, 新潟生コンクリート協同組合, 大成・大日本土木共同企業体, 鉄建・前田・東亜・加賀田組共同企業体, 鹿島・西松・福田共同企業体, 第一建設工業(株)新潟支店, 東鉄工業(株)新潟支店新潟軌道工事所	地産骨材に対し実効性の高い ASR 抑制対策を用いた鉄道高架橋の構築技術
	〃	東日本高速道路(株)関東支社千葉工事事務所, 清水・前田・東洋特定建設工事共同企業体	ハイブリッドハーフプレキャスト構造による大断面ボックスカルバートの省人化・省力化-東京外環自動車道 京葉ジャンクション A ランプ-
	〃	東京都交通局, 大成・佐藤・大豊建設共同企業体	営業地下鉄駅の大規模改良工事における機械化とプレキャスト化による施工合理化の取り組み(大江戸線勝どき駅改良土木工事)
	〃	東日本高速道路(株), 鹿島・大林・鉄建特定建設工事共同企業体, パシフィックコンサルタンツ(株)	複雑な函体構造と多様な交差物件を有する極めて大規模な開削道路トンネル工事における, 供用時期の確保に向けた取組み(東京外環自動車道市川中工事)
	〃	東日本旅客鉄道(株)東京工事事務所, 国土交通省東京国道事務所, 鹿島建設・清水建設共同企業体, 鉄建・東急・東鉄建設共同企業体, 交通建設東京支店新宿第 2 工事所, J R 東日本コンサルタンツ(株)	都心ターミナル駅において極めて複雑かつ困難な制約条件を克服した大規模線路切換(列車を止めての 46 時間連続工事-JR 渋谷駅改良 第 1 回線路切換-)
	〃	東日本旅客鉄道(株)東京工事事務所, 大成建設(株), 鉄建建設(株), J R 東日本コンサルタンツ(株)	大規模駅構内における活線下での大口径場所打ち杭施工-千葉駅改良・駅ビル建替工事-
	II グループ	国土交通省東北地方整備局金石港湾事務所	湾口防波堤災害復旧事業 (金石・大船渡)
	〃	福岡県	五ヶ山ダム建設事業～生産性向上を目指したダム建設に最新土木技術で挑む～
	〃	北海道電力(株)	石狩湾新港発電所 1 号機新設工事(新技術の導入による積雪寒冷地における工程の制約の克服と環境負荷低減の実現)
	〃	国土交通省関東地方整備局首都国道事務所, 東日本高速道路(株)関東支社さいたま工事事務所, 東日本高速道路(株)関東支社千葉工事事務所	東京外かく環状道路 三郷南 IC～高谷 JCT 間の整備事業
	〃	(国研)日本原子力研究開発機構, 大成・大林・三井住友特定建設工事共同企業体	堆積岩中の高レベル放射性廃棄物地層処分施設建設の建設と研究事業 (幌延深地層研究計画事業)
	〃	東日本旅客鉄道(株), 国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所, 岩手	津波で被災した山田線宮古・釜石間鉄道復旧 (まちづくりと一体となって鉄道復旧を実現した取組み)

		県, 宮古市, 釜石市, 大槌町, 山田町, 三陸鉄道(株)	
2018	環境賞		
	I グループ	鹿島建設(株), ホーチキ(株)	帯電ミストによる新発想の浮遊粉塵除去システム「マイクロ EC ミスト」の開発と実用化
	〃	大成建設(株)	小型磁選機と鉄粉再生技術を用いた重金属汚染泥水の浄化技術の開発
	II グループ	霧島酒造(株), 鹿島建設(株)	廃棄物を完全資源化利用～焼酎粕リサイクルプラントの建設と運転
2018	研究業績賞	森 猛	鋼 I 断面橋梁主桁・横桁交差部の疲労強度評価法の構築と補修方法の確立
	〃	中北 英一	最新型気象レーダーの高度利用研究と土木工学・気象学の融合
	〃	本城 勇介	体系的な地盤構造物信頼性解析法の開発と設計の観点からみた地盤工学の課題提起
2018	論文賞	能島 暢呂, 加古 涼介, 加藤 宏紀	わが国の全地震活動モデルを用いた震度曝露人口による地震リスク評価
	〃	泉宮 尊司, 篠原 頼人	津波高分布の相似性および類似性指標を用いた地震断層の位置および規模の推定法
	〃	磯部 公一, 澤村 康生, 杉山 裕樹, 篠原 聖二, 曾我 恭匡, 小林 寛, 木村 亮	振動台模型実験による杭基礎一体型鋼管集成橋脚の耐震性能評価
	〃	水谷 大二郎	健全度推移の不連続性を考慮したマルコフ推移確率の非集計的推定方法
	〃	宇津野 伸二, 山路 徹, 与那嶺 一秀, 審良 善和, 小林 浩之, 渡部 要一, 吉田 倫夫, 前薗 優一, 川瀬 義行, 松本 茂	港湾鋼構造物の海底土中部の電気防食特性および土壌抵抗率を考慮した電気防食設計に関する検討
	〃	長尾 達児, 小泉 淳, 石橋 忠良, 栗栖 基彰, 岩瀬 隆	継手を有する鋼製角形エレメント掘進工法における姿勢制御方法に関する実験的研究
	〃	勝見 武, 大塚 義一, 三方 浩允, 切川 卓也	情報通信技術に基づき蓄積された災害廃棄物処理実績の検証と分別係数の提案
2018	論文奨励賞	羽場 一基	スペクトル展開を用いた確率リターンマッピングアルゴリズムの基礎的検討
	〃	大平 幸一郎	湾湖でのスロッシング現象と影響評価
	〃	平岡 伸隆	斜面掘削中の動態モニタリングによる退避判定の検討
	〃	和田 健太郎	動的配分理論による道路ネットワークの交通性能解析
	〃	中村 麻美	せん断スパン比とせん断補強鉄筋比の異なる T 形 RC はりのせん断耐荷機構
	〃	宋 政樹	ターゲットコスト契約におけるペインゲイン方式導入の効果に関する理論分析
	〃	斎藤 健志	温度変化が堆積物からのホウ素およびヒ素の溶出量とその存在形態に及ぼす影響
2018	吉田賞		
	研究業績部門	梅原 秀哲 (名古屋工業大学)	コンクリートの若材齢時の体積変化に関する研究
	〃	睦好 宏史 (埼玉大学)	コンクリート橋梁の耐震および新橋梁の開発に関する研究
	論文部門	河村 精一, 中村 光, 白鳥 洋平	高強度プレストレストコンクリート杭の引張および低圧縮軸力下における終局せん断耐力に関する研究
	吉田研究奨励賞	小倉 大季(清水建設(株))	3D プリンティング技術を用いたコンクリート自動化施工に関する研究
2018	田中賞		
	業績部門	阿部 允 ((株) BMC 技師長, NPO 橋守支援センター理事長 橋守塾塾長)	鋼鉄道橋長寿命化の実現, 橋梁維持管理に係わる技術支援およびビジネス化への貢献

	〃	高木 録郎(技術士事務所 HART 代表(元瀧上工業(株)代表取締役社長))	本四架橋等の長大橋の設計や架橋計画を通じての鋼橋技術の進歩や鋼橋事業の発展への貢献
	〃	長尾 徳博((株)富士ピー・エス顧問(元同社代表取締役会長))	機械化施工の研究・開発によるコンクリート橋梁建設技術の近代化への貢献
	論文部門	清川 昇悟((株)横河ブリッジ), 館石和雄(名古屋大学), 判治 剛(名古屋大学), 清水 優(名古屋大学), 中山裕哉(名古屋大学)	当て板によるストップホール部の応力集中低減効果
	〃	松岡 弘大((公財)鉄道総合技術研究所), Andrea COLLINA(ミラノ工科大学), 曾我部 正道((公財)鉄道総合技術研究所), 渡辺 勉((公財)鉄道総合技術研究所)	欧州高速鉄道における合成箱桁橋床版部材の高次共振挙動と加速度評価
	〃	貝沼 重信(九州大学), 藤本 拓史(メタウォータープロダクトセンター), 杜 錦軒(九州大学), 楊 沐野(九州大学), 武藤 和好(富士技建), 宮田 弘和(西日本高速道路)	Al-5Mg 合金溶射と重防食塗装の取合部における耐食・防食特性に関する基礎的研究
	〃	横田 敏広(埼玉大学), Isuru WIJAYAWARDANE(埼玉大学), 睦好宏史(埼玉大学)	腐食した PC 鋼材を有する PC 梁の耐荷力特性と解析的性能評価手法の検討
	作品部門(新設)	生野大橋 兵庫県神戸市北区道場町生野字東山	上部構造: PRC7 径間連続波形鋼板ウェブエクストラード箱桁橋, 下部構造: 逆 T 式橋台, 柱式橋脚, 橋長: 606m
	〃	天龍峡大橋(仮称) 長野県飯田市川路～長野県飯田市千代	上部構造: 上部工: 鋼上路式アーチ橋(バスケットハンドル型固定アーチ)床版: プレキャスト PC 床版, 下部構造: 箱式橋台, 段差式拱台(場所打ち杭), 段差式拱台(直接基礎), 逆 T 式橋台, 橋長: 280m
	〃	築地大橋 東京都中央区勝どき 5 丁目～築地 5 丁目地内	上部構造: 鋼 3 径間連続中路式アーチ橋, 下部構造: (橋脚)壁式橋脚: 鋼殻ケーソン, (A2 橋台)壁式橋脚: 場所打ち杭, 橋長: 245m
	〃	天城橋 熊本県上天草市大矢野町登立～熊本県宇城市三角町三角浦 地内	上部構造: 鋼 PC 複合中路式アーチ橋(鋼桁部床版形式: 鋼床版) 下部構造: 逆 T 式橋台, RC 壁式橋脚(全て直接基礎), 橋長: 463m
	〃(改築)	ボスボラス橋の大規模補修 トルコ共和国イスタンブール県	上部構造・第 1, 第 2: 鋼単径間偏平箱桁吊橋(鋼床版), 下部構造・第 1, 第 2: 重力式アンカレッジ, 直接基礎 下部構造: 5 連 RC ラーメン橋(直接基礎), RC 逆 T 式橋台(直接基礎), 壁式橋脚(直接基礎, 深礎杭基礎), 橋長: 第 1: 1074m 第 2: 1090m
	〃	中央環状線板橋・熊野町ジャンクション間 拡幅高架橋 東京都板橋区大山東町～熊野町	上部構造・改築前: 単純 RC 床版合成鈑桁 24 連, 3 径間連続鋼床版箱桁 2 連(上下線)改築後: 単純 RC 床版合成鈑桁 4 連, 2 径間連続 RC 床版合成鈑桁 4 連, 3 径間連続 RC 床版合成鈑桁 4 連, 3 径間連続鋼床版箱桁 2 連(上下線) 下部構造: 改築前: ラケット型 SRC 橋脚, ラケット型鋼製橋脚, フーチング, 場所打ち杭改築後: ダブルラケット型鋼製橋脚, 合成構造フーチング, RC フーチング拡幅, 新設 RC フーチング, 場所打ち杭 橋長: 521 m
	〃	宮益架道橋架替(埼京上り線) 東京都渋谷区渋谷 2 丁目 24-26	上部構造・既設: 鋼床版下路プレートガーター(単純桁, 支間 28.6m, 2 線 3 主桁), 改築: 鋼床版下路プレートガーター(単純桁, 支間 28.7m, 1 線 2 主桁) 下部構造・既設: RC ラーメン式橋台(杭基礎)改築(拡幅): RC ラーメン式橋台(杭基礎), 橋長: 29.6 m

	〃	都市高速道路の拡幅技術（西船場JCT） 大阪市西区西本町 3 丁目～江戸堀 1 丁目	上部構造：鋼単純鈑桁、鋼単純鋼床版箱桁、鋼 3 径間連続鈑桁、鋼 7 径間連続鈑桁、鋼単純鋼床版箱桁、鋼 2 径間連続鈑桁、鋼 4 径間連続鈑桁 下部構造：RC 梁拡幅+PC 外ケーブル補強、RC 梁再構築、鋼製梁拡幅、鋼管集成橋脚（新設） 橋長：35.1m, 58.6m, 89m, 214m, 74.5m, 85m, 135m
	技術部門	吊橋ケーブル送気乾燥システム 東京都港区海岸～東京都港区台場	上部構造：3 径間 2 ヒンジ補剛トラス吊橋（ダブルデッキ）、下部構造：ニューマチックケーソン（主塔基礎、アンカレイジ基礎）
	〃	平板型 UFC 床版を用いた床版取替え技術 大阪府大阪市	上部構造：鋼合成単純鈑桁橋、平板型 UFC 床版 下部構造：鉄筋コンクリート橋脚（杭基礎）
2018	技術開発賞	三木 浩（清水建設（株））、岡本 修（茨城工業高等専門学校）、北尾 秀光（清水建設（株））、西村 晋一（清水建設（株））、石田 新二（（株）菱友システムズ）	地下埋設物可視化システム（Shimz AR Eye 埋設ビュー）の開発
	〃	鈴木 博人（東日本旅客鉄道（株））、楠研一（気象研究所）、藤原 忠誠（東日本旅客鉄道（株））、植村 昌一（東日本旅客鉄道（株））、島村 誠（防災科学技術研究所）	ドップラーレーダーを用いた突風に対する列車運転規制方法の開発
	〃	舘山 勝（（公財）鉄道総合技術研究所）、神田 政幸（（公財）鉄道総合技術研究所）、玉井 真一（鉄道建設・運輸施設整備支援機構）、西岡 英俊（（公財）鉄道総合技術研究所）、龍岡 文夫（東京大学名誉教授）	補強土技術と橋梁技術を融合させた GRS 一体橋梁の開発
	〃	平澤 匡介（（国研）土木研究所）、石川 昌克（鋼製防護柵協会）、江原 豊（（株）高速道路総合技術研究所）	非分離暫定 2 車線区間に適用するワイヤロープの開発
	〃	山本 拓治（鹿島建設（株））、宮嶋 保幸（鹿島建設（株））、白鷺 卓（鹿島建設（株））、戸邊 勇人（鹿島建設（株））、福島 大介（鹿島建設（株））	ICT を活用した山岳トンネルの地質評価技術（スマート切羽ウォッチャー）の開発
	〃	宮原 茂禎（大成建設（株））、大脇 英司（大成建設（株））、新藤 竹文（大成建設（株））、佐々木 彰（宇部興産（株））、藤野 由隆（宇部興産（株））	通常の 10 倍の耐硫酸性を有する耐硫酸コンクリートの開発
2018	出版文化賞	未来をひらく道 ネパール・シンズリ道路 40 年の歴史をたどる	亀井温子 著 / 佐伯印刷株式会社 2016 年
	〃	河川工学者三代は川をどう見てきたのか 安藝皎一、高橋裕、大熊孝と近代河川行政一五〇年	篠原修 著 / 株式会社 農文協プロダクション 2018 年
	〃	そこで液状化が起きる理由 被害の実態と土地条件から探る	若松加寿江 著 / 東京大学出版会 2018 年
2018	国際貢献賞		
	日本人	東 俊夫	（一社）水底質浄化技術協会 専務理事
	〃	高津 俊司	日本コンサルタンツ（株）取締役副社長
	〃	徳山 日出男	（株）電通 顧問
	外国人	Nguyen Ngoc Dong	ベトナム社会主義共和国 交通運輸省副大臣
2018	国際活動奨励賞	稲葉 洋介	鹿島建設（株）海外土木事業部 台湾大安シールド JV 工事事務所 副所長
	〃	石見 和久	ミャンマー・コーエイ・インターナショナル（株）取締役社長、日本工営（株）コンサルタント海外事業本部ヤンゴン港開発事務所所長
	〃	岡田 智幸	国土交通省水管理・国土保全局河川計画課 国際室 国際河川技術調整官

	〃	金澤 賢次	前田建設工業（株）国際支店土木部 マネージャー
	〃	黒川 和浩	国土交通省鉄道局国際課 国際協力室長
	〃	坂井 恵一	五洋建設（株）トアマシナ港拡張 1 期工事事務所 工事所長
	〃	坂本 雅信	清水建設（株）国際支店ジャカルタ営業所 ジャカルタ地下鉄建設所 所長
	〃	高野 辰雄	東日本高速道路（株）経営企画本部海外事業部 調査役
	〃	高山 喜一	（株）鴻池組海外支店 カーボデルガード州国道 380 号橋梁整備計画副所長
	〃	立山 洋幸	（株）オリエンタルコンサルタンツグローバル総合開発事業部港湾部 プロジェクト部長
	〃	前場 洋之	（株）安藤・間国際事業本部インドネシア共和国ソロ・ウォノギリ作業所
	〃	松尾 伸之	日本コンサルタンツ（株）技術本部 副部長
	〃	松下 剛	（株）建設技研インターナショナル防災部 部長代理
	〃	松本 重行	（独）国際協力機構 地球環境部 次長兼水資源グループ長
	〃	村井 大介	大成建設（株）国際支店マレーシア・ジマ火力発電所 3,4 号機建設工事課長
	〃	山根 三弘	（株）IHI インフラシステム海外プロジェクト室エンジニアリング部
2018	国際活動協力賞	THI HA	日本工営（株）コンサルタント海外事業本部 交通・都市事業部 港湾・空港部 副参事
	〃	Hakan Yuksel	Oriental Consultants Global Co., Ltd. Transport Planning & ICT Department Planning Division IT Specialist
	〃	Nakhorn Poovarodom	Thammasat University, Faculty of Engineering, Department of Civil Engineering, Head of Department, Associate Professor
	〃	REX G. LEGARIO	大成建設（株）国際支店 キャリア採用（グローバル人材）社員
2018	技術功労賞	大庭 光商（JR 東日本コンサルタンツ（株）本社技術本部 取締役副本部長）	設計・監理
	〃	鎌城 隆（鹿島建設（株）関東支店中央新幹線南アルプストンネル（長野工区）工事事務所 所長）	施工・検査
	〃	高見澤 計夫（大成建設（株）土木本部 土木技術部）	施工・検査
	〃	筒井 隆規（飛鳥建設（株）札幌支店北海道新幹線ニセコトンネル作業所長）	施工・検査
	〃	中島 賢（清水建設（株）北陸支店 土木部 工事長（嘱託））	施工・検査
	〃	原 幹夫（（株）日本ピーエス 顧問）	教育・研究・啓発
	〃	光中 博彦（四国開発建設（株） 監査役）	設計・監理
	〃	森本 浩行（京都市立伏見工業高等学校（工業技術科土木系）教諭）	教育・研究・啓発
	〃	山口 保幸（JR 東日本コンサルタンツ（株） 常務取締役）	調査・計画
	〃	米澤 豊司（（独）鉄道建設・運輸施設整備支援機構 大阪支社 計画部 担当部長）	設計・監理
2019	功績賞	磯部 雅彦	高知工科大学学長
	〃	大町 達夫	東京工業大学名誉教授

	〃	岸井 隆幸	(一財)計量計画研究所代表理事, 日本大学理工学部特任教授
	〃	鬼頭 平三	(特非) 港湾保安対策機構会長
	〃	崎元 達郎	(学) 銀杏学園理事長
	〃	鈴木 基行	東北大学名誉教授
	〃	清治 真人	(株) 東京建設コンサルタント相談役
	〃	高橋 和雄	長崎大学名誉教授, 長崎大学特任研究員
	〃	田中 正典	東日本旅客鉄道(株)国際事業本部インド高速鉄道部門顧問
	〃	辻本 哲郎	(一財)河川情報センター河川情報研究所長, 名古屋大学名誉教授
	〃	宮川 豊章	京都大学学際融合教育研究推進センターインフラシステムマネジメント研究拠点ユニット特任教授
	〃	六郷 恵哲	岐阜大学特任教授(名誉教授)
2019	技術賞		
	I グループ	阪神高速道路(株)建設事業本部堺建設部, 鹿島建設(株)関西支店	矩形シールド工法など高度非開削技術を駆使した住宅密集地での高速道路建設ー阪神高速道路大和川線 常磐工区開削トンネル工事ー
	〃	西日本高速道路(株)関西支社, (株)大林組大阪本店	大都市間のネットワーク強化に向けてー新名神高速道路 神戸ジャンクションの建設ー
	〃	鹿島建設(株)東北支店	海上の大規模鋼管矢板基礎における支保工構造のトラス化とその生産性向上効果および橋脚躯体の高品質化
	〃	東日本旅客鉄道(株), J R東日本コンサルタンツ(株), 鉄建建設(株), (株) J R東日本建築設計	BIM/CIM を最大限に活用した生産性の高い鉄道建設工事の実現ーJRE-BIM の導入ー
	〃	首都高速道路(株), 清水・東急 J V	市街地における急勾配・急曲線・小土被りの大断面シールドトンネルの建設ー横浜北線馬場出入口ー
	〃	森ビル(株), メトロ開発(株), (株)大林組	過去に例をみない小土被り超軟弱地盤での大断面矩形シールド施工ー虎ノ門地下通路建設工事ー
	〃	鉄道・運輸機構, 横浜市交通局, 鹿島ー鉄建ー不動テトラー N B 建設共同企業体	駅前交差点直下における大規模アンダーピニング技術と工程短縮に向けた取り組みー相鉄東急直通線新横浜駅地下鉄交差部土木工事ー
	〃	国土交通省関東地方整備局八ッ場ダム工事事務所, 清水・鉄建・I H I 異工種建設工事共同企業体, 日本工営(株)	八ッ場ダム本体建設工事ー堤体積 100 万 m ³ のダムを高速施工して台風 19 号の洪水を約 7,500 万 m ³ 貯留ー
	〃	国土交通省四国地方整備局山鳥坂ダム工事事務所, 清水・安藤ハザマ特定建設工事共同企業体, 日本工営(株)	鹿野川ダムトンネル洪水吐新設工事ー大水深下での立坑構築と大断面トンネルの施工ー
	〃	東京都下水道局第二基幹施設再構築事務所, 清水建設(株)	世界初, H&V シールド工法によるトンネルのスパイラル掘進
	〃	国土交通省九州地方整備局, 鹿島・竹中土木・三井住友特定建設工事共同企業体	フィルダム建設への ICT 実装による i-Construction 推進加速ー大分川ダム建設事業ー
	II グループ	Ministry of Transport Vietnam Government, 国際協力機構(JICA), 国土交通省港湾局, 日本工営(株), (株)日本港湾コンサルタント, (株)オリエンタルコンサルタンツ, (株)パデコ, 五洋建設(株), 東亜建設工業(株), 東洋建設(株), りんかい日産建設(株), Hai Phong International Container Terminal Co.Ltd.	我が国の沿岸技術を総合的に駆使したインフラシステム輸出の開発協力援助ーラックフェン国際港建設事業ー
	〃	広島県土木建築局, 廿日市市建設部	宮島口のみなとまちづくりー地方におけるインバウンドに対応した広域観光拠点の形成ー
	〃	東日本旅客鉄道(株)	東日本大震災で被災した常磐線の復旧・復興(高い

			放射線量下における鉄道復旧と自治体と連携した復興の取組み)
	〃	東日本旅客鉄道(株)	品川駅改良(車両基地整備, 高輪ゲートウェイ駅新設)
	〃	PT.MRT JAKARTA, 国際協力機構(JICA), 国土交通省鉄道局, (株) オリエンタルコンサルタンツグローバル, 日本工営・長大・電気技術開発・交建 JV, オリエンタルコンサルタンツグローバル・日本コンサルタンツ・パシフィックコンサルタンツ JV, PADECO・オリエンタルコンサルタンツグローバル JV, 日本コンサルタンツ・日本工営・オリエンタルコンサルタンツグローバル・PADECO JV, 東急建設 JO, 大林組・清水建設 JV, 清水建設・大林組 JV, 三井住友建設 JV, 三井物産(株), (株) 神戸製鋼所, 東洋エンジニアリング(株)他, 住友商事(株), 日本車輛製造(株)	ジャカルタ都市高速鉄道事業(MRT 南北線フェーズ 1)(マスタープラン策定から建設・人材育成まで上流段階からオールジャパンによる取り組みで完成させた初の海外都市鉄道事業)
	〃	(独)鉄道・運輸機構, 相模鉄道(株), 東日本旅客鉄道(株)	神奈川東部方面線(相鉄・JR 直通線)の建設ー既存ストックの有効活用を目指した都市鉄道等利便増進法の適用第 1 号事業ー
	〃	西日本高速道路(株)関西支社	タンカー船の衝突による大破からの復旧ー関西国際空港連絡橋ー
	〃	(独)国際協力機構, パキスタン・国道公団, (株)建設技研インターナショナル, 大成建設(株)	パキスタン・東西道路改修事業(国道 70 号線)
	〃	環境省福島地方環境事務所, (株) 安藤・間, (株)大林組, (株)奥村組, 鹿島建設(株), 清水建設(株), 大成建設(株), 前田建設工業(株), (株)熊谷組, 青木あすなろ建設(株), あおみ建設(株), (株) 浅沼組, 岩田地崎建設(株), (株) 鴻池組, 五洋建設(株), 佐藤工業(株), 西武建設(株), (株) 竹中土木, 田中建設(株), 大日本土木(株), 大豊建設(株), 鉄建建設(株), 東亜建設工業(株), 東急建設(株), 東京パワーテクノロジー(株), 東武建設(株), 東洋建設(株), 戸田建設(株), 飛島建設(株), 西松建設(株), 日本国土開発(株), (株)日立製作所, (株)フジタ, (株) 不動テトラ, (株) 本間組, 三井住友建設(株), 三菱マテリアル(株), 村本建設(株), (株)森本組, りんかい日産建設(株)	東京電力福島第一原子力発電所事故により放出された放射性物質汚染の除染事業
	〃	国土交通省四国地方整備局	長安口ダム再開発事業～Front Runner～
		西日本旅客鉄道(株), 大阪外環状鉄道(株), 大阪府, 大阪市, 吹田市, 東大阪市, 八尾市	おおさか東線建設～大阪東部から関西全域へ鉄道ネットワークが充実～
2019	環境賞		
	I グループ	東京都下水道局, 東京都下水道サービス(株), 日本工営(株)	水環境改善に貢献する下水道技術「水面制御装置」の開発と国内外への展開
	〃	鹿島建設(株), 東京工業大学, (株) 竹中工務店, 日鉄高炉セメント	CO ₂ 排出量を削減しながら高い耐久性を確保できる低炭素型コンクリート「ECM(エネルギー・CO ₂

		(株), (株)デイ・シイ, 太平洋セメント(株), 日鉄セメント(株), 竹本油脂(株)	ミニマム) コンクリート」の開発
	〃	関西電力(株), 三菱重工サマルシステムズ(株), (株)森川鑿泉工業所, 大阪市立大学, 大阪市	帯水層蓄熱のための低コスト高性能熱源井とヒートポンプのシステム化に関する技術開発
	II グループ	ヤマダイインフラテクノス(株), (一社)日本鋼構造物循環式ブラスト技術協会, 循環式エコクリーンブラスト研究会, 山田健太郎(名古屋大学), 木下幸治(岐阜大学)	ゴミを減らして世界を変える～環境配慮型ブラスト工法の全国普及と標準工法化をめざして～
	〃	エア・ウォーター(株), 鹿島建設(株), 日鉄パイプライン&エンジニアリング(株), 日本エアプロダクツ(株)	家畜ふん尿由来低炭素水素を活用した水素サプライチェーン実証事業～北海道・農業地域における持続可能な地域づくり～
2019	研究業績賞	清水 英範	明治期・官庁集中計画の経緯と計画思想に関する研究
	〃	川村 彰	路面プロファイルの多面的評価と特徴抽出
2019	論文賞	西尾 真由子, 三浦 正樹, 珠玖 隆行	スパースモデリングによる既存橋梁の構造信頼性計算のための代替モデル構築
	〃	立川 康人, 宮脇 航平, 田中 智大, 萬 和明, 加藤 雅也, 市川 温, キム スンミン	超多数アンサンブル気候予測実験データを用いた極値河川流量の将来変化の分析
	〃	浅野 翔也, 成田 浩明, 中島 進, 篠田 昌弘, 中村 晋	グラウンドアンカーの抵抗・破壊メカニズムを考慮した斜面の地震時残留変位量評価法の提案
	〃	出村 嘉史	木曽川上流支派川改修と土地改良一近代水系基盤形成のための連携構築プロセス
	〃	西澤 辰男, 若林 由弥, 内田 雅隆, 藪 雅行	コンクリート舗装横目地の劣化過程を考慮した逆解析による健全度評価手法の開発
	〃	水谷 大二郎, 小濱 健吾, 貝戸 清之, 田中 晶大	集計的劣化過程モデルによる高速道路橋 RC 床版の劣化総合評価
2019	論文奨励賞	徳永 宗正	鉄道 RC 高架橋相互の地震時繰り返し衝突を考慮した耐震設計法
	〃	緒方 奨	損傷理論を導入した多孔質岩盤における熱・水・応力・化学連成解析
	〃	瀬木 俊輔	都市内道路とフランチャイズ小売企業の物流センター立地戦略の関係
	〃	河村 直哉	アスファルトコンクリートの偏光顕微鏡用薄片の作製
	〃	保田 尚俊	レーザーを用いたコンクリート構造物の非接触健全性評価
	〃	高田 知紀	妖怪伝承を知的資源として活用した防災教育プログラムに関する一考察
2019	吉田賞		
	研究業績部門	河野 広隆(京都大学)	土木のコンクリート技術の標準化
	論文部門	中村 文則, 下村 匠, 大原 涼平, 細山田 得三	飛来塩分の予測シミュレーション技術の開発と構造物の長期的な塩害環境作用の評価への適用
	〃	金澤 健, 佐藤 靖彦, 高橋 良輔	凍結融解作用による RC はりの損傷と損傷後の静的破壊挙動の解析の評価
	吉田研究奨励賞	大野 元寛(東京大学)	メタマテリアル技術にもとづくセメント系材料の新たな機能および価値の創出
	〃	金光 俊徳((一財)電力中央研究所)	完全非破壊の検査法を用いたコンクリート内部鉄筋の腐食速度評価法の開発
	〃	王 眺(東京大学)	Reliability assessment of cracked reinforced concrete structures by considering the coupled effects of crack development and corrosion initiation and progression mechanisms

2019	田中賞		
	業績部門	五十畑 弘 (道路文化研究所特別顧問)	国内外の鋼橋建設技術の変遷や補修補強に関する調査研究による歴史的鋼橋保全への貢献
	〃	高木 千太郎 ((一財)首都高速道路技術センター上席研究員)	道路橋のアセットマネジメントによる戦略的予防保全管理の提唱と実現への貢献
	〃	本田 秀行 (金沢工業大学・教授)	橋梁の動的特性の解明および近代木橋の設計・維持管理手法の構築
	〃	井岡 隆雄 (オリエンタル白石(株)特別顧問 (前同社代表取締役社長))	コンクリート橋梁における建設技術および合理化施工の開発と発展への貢献
	論文部門	宇佐美 勉(名城大学総合研究所), 鈴木 元哉(西尾市役所建設部公園緑地課), 葛 漢彬(名城大学)	ブレース材付き鋼フレーム構造の座屈・耐震解析への初期横荷重法 (ILLM) の適用性
	〃	森山 仁志(熊本大学), 杉山 裕樹(阪神高速道路(株)), 山口 隆司(大阪市立大学), 郎 宇(大阪市立大学)	板幅および板厚が高力ボルト摩擦接合継手の支圧限界状態に与える影響
	作品部門(新設)	横浜港北ジャンクション高架橋 神奈川県横浜市都筑区川向町	上部構造：4 径間連続鋼床版箱桁橋(2 連), 4 径間連続細幅箱桁橋(4 連), 3 径間連続細幅箱桁橋(2 連), 4 径間連続鋼床版箱桁橋(2 連), 4 径間連続箱桁橋(2 連), 2 径間連続細幅箱桁橋, 3 径間連続細幅箱桁橋, 4 径間連続鋼床版箱桁橋(2 連), 5 径間連続 RC 床版箱桁橋, 4 径間連続 RC 床版箱桁橋, 3 径間連続 RC 床版箱桁橋(2 連), 4 径間連続鋼床版箱桁橋, 単純 RC 床版箱桁橋(2 連), 下部構造：鋼橋脚 26 基, RC 橋脚 18 基, 場所打ち杭基礎 13 基, ケーソン基礎 8 基, 鋼管杭基礎 7 基, 鋼管ソイルセメント杭基礎 15 基, 鋼管矢板井筒基礎 1 基, 橋長：4,847m
	〃	菰野第二高架橋 三重県三重郡菰野町	上部構造：PRC5 径間連続箱桁橋+PRC3 径間連続エクストラードード橋+PRC11 径間連続箱桁橋, 下部構造：RC 逆 T 式橋台(場所打ち杭), RC 柱式橋脚・RC 壁式橋脚(直接基礎, ニューマチックケーソン), 橋長：1,103m
	〃	豆谷大橋 富山県南砺市	上部構造：鋼中路式ローゼアーチ橋(床版形式：RC 床版), 下部構造：RC 逆 T 段差フーチング式橋台(深礎杭)A1, A2, RC 壁式橋脚(大口径深礎基礎)P1, 橋長：259m
	〃	Myaung Mya Bridge Ayeyarwaddy Division, Myaung Mya Township	上部構造：3 径間連続上路トラス橋 下部構造：杭：場所打ちコンクリート杭, 脚：壁式コンクリート橋脚, 橋長：290m
	〃 (改築)	史跡鳥取城跡擬宝珠橋 鳥取県鳥取市	上部構造：木橋(8 径間) 5 本の主桁(檜)を 3 本の脚(栗)で支える, 下部構造：水中梁：2 相ステンレス製水中梁(3 径間)基礎工：既設基礎工 橋長：35.46m
	〃	錐ヶ瀧橋の拡幅 三重県亀山市	上部構造：PC ラーメン箱桁橋, 下部構造：PC 柱式橋脚(深礎基礎) 橋長：(上り線・中橋梁)327.0m(上り線・東橋梁)445.0m(下り線・中橋梁)500.0m(下り線・東橋梁)375.0m
	〃	櫃石島高架橋(トラス部)の耐震補強 香川県坂出市櫃石	上部構造：鋼単純垂直材付ダブルデッキワーレントラス橋(鋼床版・上下線分離構造) 下部構造：橋脚：RC 壁式橋脚(HVa30P), RC 一層ラーメン橋脚(HBIP)基礎：直接基礎(HVa30P, HBIP) 橋長：104.95 m
	〃	大槌川橋りょう 岩手県上閉井伊郡大槌町	上部構造：開床式上路プレートガーター(単純桁, 単線 2 主桁, 支間 19.2m×11 連, 12.9m×11 連, 8.2m×1 連) 下部構造：RC 橋脚(直接基礎, シートパイル基礎工

			法) 橋長：375m
	技術部門	回転杭工法 岐阜県揖斐郡大野町下磯～岐阜県 大垣市松町	上部構造・本線橋：PC 連結コンボ橋等ランプ橋： PC 単純コンボ橋等，下部構造・本線橋：張出式橋 脚＋回転杭斜杭基礎等ランプ橋：逆 T 式橋台＋回 転杭斜杭基礎等
2019	技術開発賞	山下 哲一(清水建設(株))，森山 忍 (清水建設(株))，立花 すばる(清水 建設(株))，森 日出夫(清水建設 (株))，加瀬 俊久(清水建設(株))	ダムコンクリート自動打設システムの開発
	〃	山野辺 慎一(鹿島建設(株))，曾我部 直樹(鹿島建設(株))，玉野 慶吾(鹿 島建設(株))，岩本 拓也(鹿島建設 (株))，植田 政明(カジマ・リノベ イト(株))	セラミック製定着体を用いた後施工せん断補強工 法 (セラミックキャップバー (CCb) 工法) の開発
	〃	加藤 崇(大成建設(株))，今石 尚(大 成建設(株))，上野 純(大成建設 (株))，西田 与志雄(大成建設(株))， 木下 勇人(大成建設(株))	どこでも最短で構築できる臨場型の遠隔映像シス テム (T-iROBO® Remote Viewer)
	〃	岡田 哲実((一財)電力中央研究所)， 谷 和夫(東京海洋大学)，納谷 朋広 (株)ダイヤコンサルタント)	岩盤を対象とした要素試験タイプの原位置試験方 法の開発
	〃	野村 敏雄((株)大林組)，岩城 孝之 ((株)大林組)，富永 高行((株)大林 組)，川西 貴士((株)大林組)，佐々 木 一成((株)大林組)	UFC を用いたプレキャスト床版の接合工法 (スリ ムファスナー®) の開発
2019	出版文化賞	立体交差 ジャンクション	大山顕 著 / (株)本の雑誌社 2019 年
	〃	図解 誰でもできる石積み入門	真田純子 著 / (一社)農山漁村文化協会 2018 年
	〃	ダムと緑のダム 狂暴化する水災 害に挑む流域マネジメント	虫明功臣 監修，太田猛彦 監修 / (株)日経 BP 2019 年
2019	国際貢献賞		
	日本人	川上 剛司	(株) IHI 執行役員 社会基盤海洋事業領域 事業 領域長
	〃	佐藤 浩孝	(株) NIPPO 顧問
	〃	傳 暁	大成建設(株) 国際支店 顧問
	〃	吉野 清文	朝日航洋 (株) 空間情報事業本部・上席理事
	外国人	LOU KIM CHHUN	カンボジア王国シハヌークビル港湾公社総裁
2019	国際活動奨励賞	朝倉 功次	(株) IHI インフラシステム 海外プロジェクト室 プロジェクト部バングラデシュ PJ グループ
	〃	安達 剛	三井住友建設(株) 国際支店 ミャンマー連邦共和国 バゴー橋作業所副所長
	〃	池田 裕二	国土交通省国土技術政策総合研究所 建設マネジ メント研究官
	〃	伊澤 良則	(株) 安藤・間 国際事業本部 ネパール連邦民主共 和国シンズリ道路震災復旧作業所 所長
	〃	岩田 修	西松建設(株) 国際事業本部香港支店 CKR 立坑出 張所所長
	〃	金縄 知樹	(独)国際協力機構 社会基盤・平和構築部参事役兼 運輸交通グループ第一チームチーム課長
	〃	嘉門 淳	大日本土木 (株) 海外支店 土木部土木グループ長
	〃	川口 雅樹	関西電力 (株) 水力事業本部計画グループ チーフ マネジャー
	〃	郷農 一之	鹿島建設(株) 海外土木事業部土木部生産計画グル ープ次長
	〃	後藤 俊宏	(株) 建設技研インターナショナル 水・防災部門 上級技師長
	〃	酒井 貴之	清水建設(株) 国際支店 アサハン 3 水力発電建設

			所建設所長
	〃	富永 圭司	(株)大林組 アジア支店土木営業部副部長
	〃	水井 宏征	日本コンサルタンツ(株) インド高速鉄道推進本部課長
	〃	宮田 正史	国土交通 国土技術政策総合研究所 港湾研究部 港湾施設研究室室長
	〃	山下 秀作	JFE エンジニアリング(株) 社会インフラ本部 海外事業部技術部計画室長
	〃	渡辺 真一郎	大成建設(株) 国際支店 パキスタン N70 号線改修工事課長
2019	国際活動協力賞	SATO, GLORIA EDULLANTES	Urban and Regional Development Department Oriental Consultants Global Co. Ltd.
	〃	Javed Awan	大成建設(株) 国際支店パキスタン・国道 70 号 改修プロジェクト
	〃	Nicholas Sandeep Felix	日本工営(株) コンサルタント海外事業本部 環境・水資源事業部 水資源エネルギー部参事
	〃	Nguyen Hoang Giang	ベトナム国立建設大学 准教授・国際部長・越日土木技術者協力促進センター長・越日先端技術研究所長
	〃	Sudarmanto Budi Nugroho	(公財)地球環境戦略研究機関(IGES) 都市タスクフォース リサーチマネージャー
2019	技術功労賞	小沼 修一((株)安部日鋼工業鉄道事業本部 顧問)	設計・監理
	〃	北澤 則美(中日本高速道路(株)東京支社環境・技術管理部環境・技術課)	施工・検査
	〃	貞光 誠人(大成建設(株)土木本部土木技術部橋梁設計・技術室)	施工・検査
	〃	佐藤 淳((株)オリエンタルコンサルタンツグローバル港湾部)	調査・計画
	〃	椎本 隆美((独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構 北海道新幹線建設局次長)	調査・計画
	〃	清水 満(JR 東日本コンサルタンツ(株)技術本部 副本部長)	設計・監理
	〃	瀧内 義男(JR 東日本コンサルタンツ(株)東北支店技術部 担当部長)	設計・監理
	〃	玉井 昭雄((株)大林組東京本店外環北行シールド JV 工事事務所 副所長(現場代理人))	施工・検査
	〃	野地 敦夫(飛鳥建設(株)本社土木事業本部土木統括部施工支援チーム 担当部長)	施工・検査
	〃	平野 貢(鹿島建設(株)四国支店 支店次長)	施工・検査
2020	功績賞	宇野 護	東海旅客鉄道(株)代表取締役副社長 中央新幹線推進本部担当
	〃	大熊 孝	新潟大学名誉教授
	〃	川谷 充郎	神戸大学名誉教授、高田機工(株)社外取締役
	〃	武若 耕司	(一財)構造物診断技術研究会代表理事、鹿児島大学名誉教授
	〃	戸田 圭一	京都大学経営管理大学院院長・教授(併任:京都大学大学院工学研究科教授)
	〃	中尾 成邦	国際港湾協会協力財団会長
	〃	中川 一	京都大学名誉教授
	〃	西村 昭彦	(株)ジェイアール総研エンジニアリング顧問
	〃	林 康雄	鉄建建設(株)代表取締役会長

	〃	林 良嗣	中部大学卓越教授
2020	技術賞		
	I グループ	東京ガス(株)エネルギー生産部, 東京ガスエンジニアリングソリューションズ(株), I H I プラント・鹿島建設共同企業体	PCLNG タンク建設における大規模オールプレキャスト工法導入による生産性向上
	〃	国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所, 大成建設(株)	生コン情報の活用による生産性向上と全数調査による品質管理の高度化・C I M連携の実現－天ヶ瀬ダム再開発流入部本体他建設工事－
	〃	(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構, 戸田建設(株)	巨礫を含む地質に適用するパイプルーフ工法の開発 (九州新幹線, 諫早トンネル)
	〃	三菱地所(株), 丸の内熱供給(株), (株)三菱地所設計, 大成建設(株)東京支店有楽町シールド作業所	周辺環境に配慮した全設備地下化に挑戦したシールド施工
	〃	国土交通省関東地方整備局鬼怒川ダム統合管理事務所, 大成建設(株)	五十里ダムにおける堤体穴あけの合理化施工(連孔スリットによる無振動大ブロック分割引出工法と無人機械の導入)
	〃	(独)水資源機構	令和元年台風第 19 号における草木ダムの洪水調節 (気象予測情報を利用した事前放流により洪水被害防止)
	〃	鹿島・東急特定建設工事共同企業体	長大山岳トンネルにおける生産性向上施工による早期掘削完了(復興支援道路 宮古盛岡横断道路新区界トンネル工事)
	〃	中日本高速道路(株)八王子支社, (株)大林組本社	夜間のみの交通規制で床版を取り替える「DAYFREE」の開発と施工(中央自動車道 弓振川橋床版取替工事における実証)
	〃	関西電力(株), (株)大林組	ラオス国ナムニアップ 1 水力発電所建設プロジェクト(世界最高レベルの高速施工と日本流の品質確保を同時達成したダム建設技術と住民視点での新たな定住モデルの構築)
	〃	東京電力ホールディングス(株), (株)J E R A, 大成建設(株)	RC 非線形解析技術の実設計への高度利用(富津火力発電所 9・12 号 LNG 地下タンク)
	〃	国土交通省九州地方整備局熊本河川国道事務所, (株)エイト日本技術開発九州支社, 清水・福田・松下地域維持型建設共同企業体, 安藤ハザマ・丸昭地域維持型建設共同企業体	二重峠トンネル工事への ECI 方式適用による災害復旧道路早期開通の実現
	〃	国土交通省関東地方整備局, (株)大林組東京本店, (株)大本組東京支店	開削工法のさらなる発展に向けた設計・施工の合理化(設計施工一括発注方式を活かした東京外環中央 JCT 北側ランプ改良工事の取組み)
	〃	清水建設(株), 前田建設工業(株)	ベトナム初の地下鉄におけるシールドトンネルの建設
	〃	東日本高速道路(株)北海道支社, (株)ネクスコ・エンジニアリング北海道	準天頂衛星システムを活用した除雪車運転支援システムの開発(熟練オペレータを必要としない作業ガイダンスモニター)
	〃	(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構東京支社, 大成・東急・大本・土志田相鉄・東急直通線, 羽沢トンネル他特定建設工事共同企業体	場所打ちライニングとセグメントを随時切替可能な覆工切替式シールド機による経済的なトンネル施工の実現 -神奈川東部方面線, 羽沢トンネル-
	〃	東日本旅客鉄道(株), 仙建工業(株)盛岡支店, J R 東日本メカトロニクス(株)盛岡支店, J R 東日本コンサルタンツ(株)東北支店	新幹線・在来線直通線における超高速走行台車融雪装置の開発・整備(秋田新幹線着落雪対策設備)
	〃	東日本旅客鉄道(株), 国土交通省関東地方整備局東京国道事務所, 鹿島建設・清水建設共同企業体, 大成・東急建設共同企業体, 鉄建・東急・東鉄建設共同企業体, 交通建設東京	大都心ターミナル駅における複雑で多様な施工条件を克服し 350m 離れた旅客ホーム並列化の実現 (JR 渋谷駅改良 第 2 回線路切換)

		支店新宿第2工事所, (株)駒井ハルテック, 川田工業(株), J R東日本コンサルタンツ(株), パシフィックコンサルタンツ(株), 日本交通技術(株)	
	II グループ	静岡県	浜松市沿岸域防潮堤整備事業
	〃	福岡県, 安藤ハザマ・大豊・環境施設特定建設工事共同企業体	高尾川地下河川整備事業 ～住宅密集地を流れる河川直下での地下河川整備～
	〃	国土交通省中国地方整備局	旭川放水路「百間川」河川改修事業(歴史を活かした治水技術)
	〃	首都高速道路(株), 横浜市	高速神奈川7号横浜北西線の建設(東名高速と横浜港が直結)
	〃	(株)グリーンパワーインベストメント, 鹿島建設(株)	ウィンドファームつがる風力発電事業(国内最大規模の陸上風力発電所の建設)
	〃	富山県, 富山市, (独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構	複数事業の連携による公共交通主体型まちづくりの推進 -富山駅における路面電車南北接続-
	〃	国土交通省関東地方整備局東京港湾事務所, 東京都港湾局	「東京港臨港道路整備事業(南北線)」(東京港海の森トンネル) ～国内最長の沈埋函による短期間での海底トンネル築造工事～
	〃	(株)オリエンタルコンサルタンツグローバル, (株)パデコ, 東亜建設工業(株)	アンゴラ国 ナミベ港改修計画
	〃	国土交通省北海道開発局旭川開発建設部名寄河川事務所サンルダム管理支所	サンルダム建設事業(河床砂礫をCSGの母材とした最北の台形CSGダム)
	〃	バングラデシュ人民共和国交通橋梁省国道/道路局, (株)オリエンタルコンサルタンツグローバル, (株)日本構造橋梁研究所, (株)片平エンジニアリングインターナショナル, 大日本コンサルタント(株), SMEC International, (株)大林組, 清水建設(株), J F Eエンジニアリング(株), (株)I H I インフラシステム	カチプール・メグナ・グムティ新橋建設及び旧橋改修工事
	〃	西日本高速道路(株)四国支社, 鹿島建設(株)	豪雨災害により流出した高速道路本線橋の早期復旧(高知自動車道立川橋他災害復旧工事)
	〃	シンガポール陸上交通庁, 大成建設(株)	シンガポール・地下鉄トムソン線226工区
	〃	島根県, 第二浜田ダム本体建設工事鹿島・五洋・今井特別共同企業体, 浜田ダム再開発工事鹿島・フクダ・祥洋特別共同企業体	浜田川総合開発事業(新設と再開発によるハイブリッドダム事業の取り組み)
	〃	島根県松江市上下水道局, (一財)ダム技術センター, 中電技術コンサルタント(株), (株)大林組	千本ダム堤体補強工事
	〃	デリーメトロ公社, (独)国際協力機構, 国土交通省鉄道局, (株)オリエンタルコンサルタンツグローバル, (一社)海外鉄道技術協力協会, (株)トーニチコンサルタント, R I T E S, 東京地下鉄(株), (株)熊谷組, 伊藤忠商事(株), 清水建設(株), 三菱商事(株), 三菱電機(株), 住友商事(株), 日本製鉄(株), 三井物産(株), 日本信号(株)	デリーメトロ都市鉄道建設プロジェクト(フェーズ1/2/3) (インドの工事現場に安全性と効率性の意識を浸透させ, 住民に安全・安心・快適な交通手段を提供した「質の高いインフラ整備事業」)
	〃	内閣府沖縄総合事務局那覇港湾・空港整備事務所	那覇空港滑走路増設事業

	〃	東日本旅客鉄道(株), J R 東日本コンサルタンツ(株), (株)大林組	東京駅北通路周辺整備(旅客流動の変化に対応した北通路拡幅および既設構造物を活用した利便性の高い新たな空間の創出)
	〃	東京地下鉄(株), 東急(株), 東日本旅客鉄道(株)	渋谷駅東口における銀座線ホーム移設, 地下広場・雨水地下貯留施設の整備
2020	環境賞		
	I グループ	大村達夫	迅速・高精度・網羅的な病原微生物検出による水監視システムの開発
	〃	鹿島建設(株)	ため池と地下水を活用したホテルが飛ぶビオトープ創造及び運用技術と地域貢献
	〃	(株)大林組, ENEOS(株)	環境にやさしいテールグリースの開発
	II グループ	大成建設(株), (一社)富士山南陵の森フォレストセイバー, NPO法人ホールアース研究所, NPO法人森林インストラクターしずおか, (有)小林造園	自然と共生する新しい工業団地開発のかたち - 富士山南陵工業団地開発事業での取り組み -
	〃	清水建設(株), 王子ホールディングス(株)	紙素材を建設資材へ活用して SDGs の実現と生産性向上
	〃	九州大学, 環境・遮水管理リモートセンシング研究会	社会に受容される安心・安全な廃棄物最終処分場の建設を確実とする遮水シート接合部検査技術の開発と実用化
2020	研究業績賞	小澤 一雅	我が国の公共調達制度に関する実証的研究と土木学会初の契約約款作成への貢献
	〃	米田 稔	市街地土壌を中心とした生活環境からの有害物質曝露リスク評価手法に関する研究
	〃	岩倉 成志	社会基盤計画に携わる若手人材のための主体的な学びの教育方法
2020	論文賞	村越 潤, 森 猛, 幅 三四郎, 小野 秀一, 佐藤 歩, 高橋 実	デッキ進展き裂を有する鋼床版に対する SFRC 舗装のき裂進展抑制効果
	〃	桑江 朝比呂, 吉田 吾郎, 堀 正和, 渡辺 謙太, 棚谷 灯子, 岡田 知也, 梅澤 有, 佐々木 淳	浅海生態系における年間二酸化炭素吸収量の全国推計
	〃	Nguyen Xuan Tinh, 田中 仁	Study on boundary layer development and bottom shear stress beneath a tsunami
	〃	井澤 淳, 小島 謙一, 荒木 豪, 大西 高明, 林田 晃, 藤原 寅士良, 上田 恭平, 館山 勝	脈状割裂注入による効率的な液状化対策工法の開発
	〃	城間 洋也, 福田 大輔	2016 年首都圏高速道路料金体系改定が交通需要に与えた影響
	〃	佐伯 竜彦, 富山 潤, 中村 文則, 中村 亮太, 花岡 大伸, 安 琳, 佐々木 巖, 遠藤 裕丈	飛来塩分環境下にあるコンクリートの表面塩化物イオン濃度評価式の検討
	〃	木下 義昭	自治体職員が直営施工を実践する手づくりの橋梁メンテナンスの構築
	〃	山口 直久, 松藤 敏彦, 東條 安匡, 仲嶺 彰人	一般廃棄物ガス化溶融および灰溶融施設で生成される溶融メタルの金属資源性評価
	〃	田村 洋, 古川 陽, 佐々木 栄一, 廣瀬 壮一	鋼材を使用した教育用座屈実験の提案
2020	論文奨励賞	田中 浩平	機械学習モデルによる地形情報からの工学的基盤深度の推定モデル構築
	〃	竹村 吉晴	波状跳水・完全跳水及びその減勢区間における境界面(水面・底面)上の流れの方程式を用いた非静水圧準三次元解析(Q3D-FEBS)
	〃	橋本 涼太	摩擦構成則の陰的積分アルゴリズムを導入した不連続変形法(DDA)の開発
	〃	小林 渉	スケジューリングアプローチによる都市鉄道の列車遅延及び定時性の経済評価
	〃	大窪 一正	緊張管理・維持管理に適用可能な光ファイバを用い

			た PC 張力分布計測技術の開発
	〃	野地 大樹	水道事業のコンセプション契約におけるインセンティブ付与方法のモデル分析
2020	吉田賞		
	研究業績部門	二羽 淳一郎（東京工業大学）	鉄筋コンクリート構造のせん断耐荷機構の解明と性能向上に関する研究
	〃	上田 多門（深圳大学）	連続繊維補強コンクリートの付着性状の解明と構造性能評価
	論文部門	中村 拓郎，中村 麻美，Devin GUNAWAN，小林 研太，二羽 淳一郎	圧縮フランジの抵抗力を考慮した T 形 RC はりのせん断耐力の評価方法
	〃	皆川 浩，藤田 亮，宮本 慎太郎，久田 真	高炉スラグ細骨材を使用したモルタルの遮塩性向上メカニズムに関する基礎的研究
	吉田研究奨励賞	岩間 慧大（横浜国立大学）	火災時および冷却後における鉄筋コンクリート部材の熱特性変化と損傷進展モデルの提案
	〃	鎌田 知久（東京大学）	空隙の三次元構造情報に基づく物質移動性状の評価
	〃	山野井 悠翔（（一財）電力中央研究所）	人工軟岩材料による RC 構造物の断層変位対策の提案と有限要素法に基づく評価手法の構築
2020	田中賞		
	業績部門	林川 俊郎（北海道大学名誉教授）	積雪寒冷地における鋼道路橋の維持管理と耐震性能向上への貢献
	〃	三木 千壽（東京都市大学学長）	鋼橋の疲労設計と維持管理に対する研究
	〃	岡原 美知夫（（一社）鋼管杭・鋼矢板技術協会代表理事）	道路橋基礎等の設計に関する研究と基準化の主導，および橋梁技術に関する国際協力
	〃	山田 健太郎（中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋（株））	溶接構造の疲労に関する多角的研究とそれに基づいた鋼橋の長寿命化の実現
	〃	澤井 廣之（宮地エンジニアリング（株）特別社友（元（株）宮地鐵工所代表取締役会長））	わが国の橋梁建設，特に鋼橋建設（設計，製作，架設）技術の進歩と発展への貢献
	論文部門	白旗 弘実（東京都市大学），南 邦明（（独）鉄道建設・運輸施設整備支援機構），藤野 大地（川田工業（株）），宮井 大輔（（株）横河ブリッジ），矢野 将太（川田テクノシステム（株）），横田 渉（東京都）	F10T を用いた高力ボルト摩擦接合継手におけるナット回転角法の適用の検討
	〃	水野 弘二（東日本旅客鉄道（株）），藤原 寅士良（東日本旅客鉄道（株）），野澤 伸一郎（東日本旅客鉄道（株）），水谷 羊介（兼松サステック（株））	砂地盤かつ地下水位以浅に位置する木杭の耐久性評価
	作品部門（新設）	別埜谷橋 徳島県阿波市阿波町天西山付近	上部構造：単径間非鉄製バタフライウェブ箱桁橋，下部構造：RC 堅壁式橋台（直接基礎，場所打ち杭基礎）一部改築工事，橋長：26.550m
	〃	新阿蘇大橋 熊本県阿蘇郡南阿蘇村大字河陽	上部構造：アプローチ部（A1～P3）：鋼 3 径間連続非合成鈹桁橋（RC 床版），アプローチ部（P3～PR1）：鋼単純非合成箱桁橋（RC 床版），渡河部（PR1～A2）：PC 3 径間連続ラーメン箱桁橋，下部構造：A1・A2：逆 T 式橋台，P1～P3：張出し式橋脚，PR1～PR3：RC 中空橋脚，橋長：525m
	〃	中橋 宮城県本吉郡南三陸町志津川字五日町地内	上部構造：鋼単純バイブトラス橋（ダブルデッキ），床版形式：木床版（南三陸産杉材使用），下部構造：逆 T 式橋台：杭基礎（場所打ち杭），橋長：80.6m
	〃（改築）	森村橋 静岡県駿東郡小山町小山 133-6 地先	上部構造：鋼単純下路式曲弦プラットトラス橋，鋼床版，下部構造：パラベット部 RC コンクリート，躯体内部コンクリート等，躯体外部レンガ 橋長：40.4m

	〃	堂島大橋の長寿命化対策 大阪市福島区福島 3 丁目～北区中之島 5 丁目	上部構造：下路式 2 ヒンジソリッドリブアーチ橋（鋼床版）， 下部構造：RC ラーメン橋台（木杭基礎） 橋長：55.372m
	〃	常磐橋修復事業 東京都千代田区大手町（常盤橋公園内）	上部構造：高欄付空石積石造二連アーチ橋 下部構造・オリジナル：松丸太群杭（地形杭）・捨土台・十露盤木，補強：鋼矢板・プレキャストコンクリート・補強胴木 橋長：31.51m(104 尺)
	技術部門	水性塗料を用いた鋼橋の塗装	代表的な構造物：高速 7 号小松川線 715～717・719 工区
2020	技術開発賞	吉武 謙二(清水建設(株))，藤井 彰(清水建設(株))，中野 貴公(清水建設(株))，谷村 浩輔(清水建設(株))，有田 真一(シャープ(株))	3 眼カメラによる配筋検査システムの開発
	〃	坂本 博紀((独)水資源機構)，小林弘明(鹿島建設(株))，龍岡 文夫(東京大学名誉教授)，曾田 英揮((一財)国土技術研究センター)，小原 隆志(鹿島建設(株))	遮水性盛土の総合的な品質管理法の開発
	〃	蔵治 賢太郎(首都高速道路(株))，青木 聡((一財)首都高速道路技術センター)，藤谷 雅嘉((株)NIPPON)，宮蘭 泰子(住友大阪セメント(株))	損傷したコンクリート床版上面を補修・補強する技術（PCM 舗装）の開発
	〃	桜井 邦昭((株)大林組)，西浦 秀明((株)大林組)，玉木 伸二(竹本油脂(株))，小西 秀和(信越化学工業(株))	低セメント量の高流動コンクリート（ニューロクリート Neo）を用いたトンネル覆工施工技術の開発
	〃	藤原 斉郁(大成建設(株))，石井 裕泰(大成建設(株))，青木 智幸(大成建設(株))，三上 登(日特建設(株))，佐藤 潤(日特建設(株))	障害物回避・斜め施工が可能な機械攪拌方式の原位置地盤改良工法（WinBLADE 工法）
	〃	谷 卓也(大成建設(株))，古賀 快尚(大成建設(株))，宮本 真吾(大成建設(株))，小柳 司(大成建設(株))，青木 智幸(大成建設(株))	地盤情報を可視化し共有するトンネル切羽プロジェクトマッピング技術の開発
	〃	渡邊 輝康((株)熊谷組)，櫻井 正之((株)ガイアート)，原 健悟(オリエンタル白石(株))，高松 芳徳(ジオスター(株))	コッター式継手を導入した橋梁用プレキャスト PC 床版の設計・施工技術（コッター床版工法）の開発
2020	出版文化賞	洪水と水害をとらえなおす 自然観の転換と川との共生	大熊孝 著 / (株)農文協プロダクション 2020 年
	〃	ドボジョママに聞く 土木の世界（全 10 巻）	福手勤 監修／應家洋子，山口理 構成・文／谷川ひろみつ，伊東ちゆん子 イラスト / (株)星の環会 2019-2020 年
2020	国際貢献賞		
	日本人	秋山 芳弘	日本コンサルタンツ（株）技術本部 副本部長
	〃	黒田 孝次	日本工営（株）中央研究所 技師長
	〃	小池 俊雄	（国研）土木研究所水災害・リスクマネジメント国際センター センター長
	〃	橋場 克司	（一社）国際建設技術協会 理事長
	〃	藤田 郁夫	（株）不動テトラ 顧問・海外統括
2020	国際活動奨励賞	伊川 誠	大日本土木(株)海外支店土木部 土木グループ長
	〃	和泉 敏幸	五洋建設(株)香港 SCL1121 工事事務所 工事所長
	〃	井上 学	(株)IHI インフラシステム海外プロジェクト室プレイラ PJ グループ 主幹
	〃	内山 雄介	神戸大学大学院工学研究科市民工学専攻 教授

	〃	浦川 徹也	飛島建設(株)国際支店土木部 工事課長
	〃	清末 文明	(株)オリエンタルコンサルタンツグローバル総合開発事業部港湾部 プロジェクト部長
	〃	讃井 一将	(独) 国際協力機構(JICA)社会基盤部 次長兼都市・地域開発グループ長
	〃	舘 健一郎	世界銀行環境自然資源管理グローバル・プラクティス 上席環境技師
	〃	田中 哲也	大成建設(株)国際支店 フィリピン・南北通勤鉄道事業 CPO1 工区 (土木) 工事作業所
	〃	土田 三郎	清水建設(株)国際支店マニラ営業所 LRT1 号線車両基地建設工事 現場代理人
	〃	町田 馨介	(株)大林組アジア支店土木営業部 副部長
	〃	松井 義幸	日本工営(株)コンサルタント事業統括本部,流域水管理事業本部,河川水資源事業部,水資源エネルギー部 課長
	〃	松本 正人	NEXCO-West USA, Inc. President and C.E.O.
	〃	森川 嘉之	(国研) 海上・港湾・航空技術研究所港湾空港技術研究所地盤研究領域 領域長
	〃	山根 雄一	関西電力(株)水力事業本部水力エンジニアリングセンター神通川水系 工事所長
	〃	山本 大志	国土交通省港湾局産業港湾課 国際企画室長
2020	国際活動協力賞	劉澤典	(株) フジタインド・中東・アフリカ事業部 建設部 (土木グループ) 部長兼ケニアモンバサ道路作業所長
	〃	Mohsin Usman QURESHI	Sohar University, Sohar, Oman Head of Research & Development
	〃	Ng Kwok Wei	佐藤工業シンガポール社 T212 作業所 上席工事課長
	〃	Robert P.Elano	大成建設(株) 国際支店フィリピン・南北通勤鉄道事業 CP01 工区 (土木) 工事作業所
	〃	SRENG SOKKHEANG SUZUKI	日本工営(株) コンサルティング事業統括本部中央研究所試験・実験センター 課長
	〃	Yingyongrattanakul, Narentorn	Oriental Consultants Global Co., Ltd. Railway Engineering Department 1 General Manager
2020	技術功労賞	岩本 久信 ((株)ピーエフ・ディー代表取締役社長)	教育・研究・啓発
	〃	折下 定夫 ((株)オリエンタルコンサルタンツグローバル総合開発事業部港湾部 参事)	設計・監理
	〃	栗原 啓之 (日本コンサルタンツ(株)インド高速鉄道推進本部 技術顧問)	設計・監理
	〃	黒木 邦彦 ((株)大林組九州支店熊本城土木工事事務所 所長)	施工・検査
	〃	小林 裕 ((株)建設技術研究所技術本部 首席技師長)	設計・監理
	〃	齊藤 昭一 (JR 東日本コンサルタンツ(株)調査計画本部測量調査部 担当部長)	用地・補償
	〃	長瀬 恒久 (中日本高速道路(株)経営企画本部情報システム部情報システム課 担当課長)	管理・運用・防災・保全
	〃	永田 敏秋 (元・鹿島建設(株)東京土木支店土木部専任役)	施工・検査
	〃	松田 芳範 (東日本旅客鉄道(株)構造技術センター マイスター)	設計・監理
	〃	山崎 昇 (秋田県立大曲工業高等学校)	教育・研究・啓発

		校 教諭)	
2021	功績賞	石垣 泰輔	関西大学名誉教授・特別契約教授(環境都市工学部)
	〃	上田 多門	深圳大学特聘教授, 北海道大学名誉教授
	〃	小林 潔司	京都大学名誉教授・同大学院経営管理大学院特任教授
	〃	清水 則一	関西大学先端科学技術推進機構特別任命教授, 山口大学名誉教授
	〃	須野原 豊	(公社) 日本港湾協会理事長
	〃	高田 至郎	NPO 法人防災白熱アカデミィ理事長
	〃	高橋 重雄	(一財) 沿岸技術研究センター上席客員研究員
	〃	寶 馨	京都大学名誉教授, 同防災研究所特任教授
	〃	西垣 誠	非営利公益法人統合物性モデル技術研究組合 (IMTERA) 理事長, 岡山大学名誉教授
	〃	二羽 淳一郎	東京工業大学名誉教授
	〃	馬場 俊介	岡山大学名誉教授
	〃	日野 伸一	九州大学名誉教授, 大分工業高等専門学校名誉教授, (一社) 九州建設技術管理協会学術顧問
	〃	山崎 隆司	(株) JR 東日本クロスステーション常勤監査役
2021	技術賞		
	I グループ	中日本高速道路(株)名古屋支社, (株)大林組	オールプレキャストによる PC 合成桁橋の床版取替え技術の開発と急速施工(中央自動車道上田川橋における「キャップスラブ」工法の適用)
	〃	(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構北陸新幹線建設局, (株)大林組	生産性向上と工期短縮を実現したフルプレキャストラーメン高架橋の建設(北陸新幹線, 福井開発高架橋)
	〃	国土交通省中国地方整備局岡山国道事務所, (株)安藤・間	国内初となる山岳トンネルにおける遠隔技術を活用した ICT 施工(玉島笠岡道路六条院トンネル工事)
	〃	国土交通省東北地方整備局三陸国道事務所, 大成建設(株)東北支店	国道 106 号磯鶏地区道路工事, NATM 管理システム・覆工モニタリングシステムを活用したトンネル工事
	〃	国土交通省近畿地方整備局紀伊山系砂防事務所・大規模土砂災害対策技術センター, 鹿島建設(株)関西支店	国内初となる災害現場における砂防堰堤自動化施工(赤谷 3 号砂防堰堤工事)
	〃	東日本旅客鉄道(株)東京工事事務所, 鉄建建設・前田建設共同企業体, 東鉄工業(株)東京線路支店東京軌道工事事務所, JR 東日本コンサルタンツ(株)	急曲線ホームの解消による都心ターミナル駅の安全性向上ー徹底した機械化施工による JR 飯田橋駅ホーム移設工事ー
	〃	東京都第一建設事務所環二工事課, 大成建設(株)東京支店作業所	大都市部の大深度地下構造物構築における高品質確保のための施工上の工夫
	〃	阪神高速道路(株)管理本部, 飛鳥建設(株)大阪支店, 鹿島建設(株)関西支店	先進技術の活用による道路橋床版更新の高度化(阪神高速 12 号守口線床版更新工事への Hydro-Jet RD 工法と平板型 UFC 床版の適用)
	〃	国土交通省関東地方整備局荒川上流河川事務所, 大成建設(株)	河川工事における CIM 適用による生産性向上及び出来形・品質管理の高度化(H29-32 荒川宗岡副水路樋管新設工事)
	〃	国土交通省関東地方整備局鬼怒川ダム統合管理事務所, (一財)ダム技術センター, 日本工営(株), (株)大林組	川俣ダム岩盤 PS アンカー更新における技術革新(ロックアンカーによる岩盤補強技術の確立)
	〃	国土交通省北海道開発局旭川開発建設部土別道路事務所, 清水建設(株)・伊藤組土建(株)・岩倉建設(株)共同企業体	蛇紋岩の強大地圧下における山岳トンネルの建設(一般国道 40 号音中トンネル)
	〃	札幌市建設局市街地復旧推進室, 五	札幌市清田区里塚地区における市街地復旧事業

		洋・伊藤特定共同企業体, (株)復建技術コンサルタント, 札幌市清田区里塚地区市街地復旧技術検討会議, 札幌市清田区里塚地区の復旧に係る技術的アドバイザー, 北見工業大学地域と歩む防災研究センター	
	〃	香川県河川砂防課, 大成・飛島・村上特定建設工事共同企業体	デジタル技術を活用した技術伝承によるダムコンクリート打設効率の向上(栴川ダム本体建設工事)
	〃	中日本高速道路(株)東京支社, (株)大林組東京本店	橋梁工事における生産性向上の実現(鋼管・コンクリート複合構造橋脚の採用, 柱頭部施工の合理化ほか)
	II グループ	(独)水資源機構	小石原川ダムの建設〜コア盛立における新たな品質管理手法開発への挑戦〜
	〃	国土交通省関東地方整備局京浜港湾事務所, 横浜市港湾局, 横浜川崎国際港湾(株)	横浜港南本牧ふ頭MC4コンテナターミナル整備事業
	〃	国土交通省関東地方整備局東京港湾事務所, 東京都港湾局, 東京港埠頭(株)	東京港中央防波堤外側地区国際海上コンテナターミナル整備事業(Y2)
	〃	国土交通省中国地方整備局広島西部山系砂防事務所	平成26年8月20日広島土砂災害緊急事業(安心・安全な生活基盤を確保するための砂防事業の取り組み)
	〃	国土交通省航空局, (独)国際協力機構, (株)オリエンタルコンサルタンツグローバル, (株)梓設計, 三菱商事(株), 千代田化工建設(株), 成田国際空港(株), 日本空港ビルデング(株), (株)JALUX, (株)野村総合研究所, (一財)航空保安無線システム協会, (一財)航空交通管制協会	モンゴル国新ウランバートル国際空港建設・運営事業
	〃	陸前高田市, (独)都市再生機構, 陸前高田市震災復興事業共同企業体	陸前高田市震災復興事業の工事施工等に関する一体的業務
	〃	神奈川県県土整備局, 神奈川県環境農政局, 箱根登山鉄道(株), 清水建設(株), 西松建設(株)	日本有数の観光地箱根における官民協力による統合的災害復旧(箱根登山鉄道 失われた鉄道の早期復活プロジェクト)
	〃	関西エアポート(株)	関西国際空港防災機能強化対策事業
	〃	東日本高速道路(株)東北支社, 東日本高速道路(株)東北支社仙台工事事務所, 東日本高速道路(株)東北支社いわき工事事務所, 東日本高速道路(株)東北支社いわき管理事務所	常磐自動車道4車線化事業の完成
	〃	東日本旅客鉄道(株)	東京2020大会の成功と地域社会へのレガシー継承に向けた安全・安心で快適な旅客駅整備
	〃	シンガポール共和国政府陸上交通庁, 清水建設(株)	シンガポール地下鉄トムソン・イーストコースト線T207工区(高速道路直下の岩盤土砂複合地盤における長距離シールドトンネル工事)
	〃	国土交通省東北地方整備局道路部, 青森河川国道事務所, 岩手河川国道事務所, 三陸国道事務所, 南三陸沿岸国道事務所, 仙台河川国道事務所, 福島河川国道事務所, 磐城国道事務所	復興道路・復興支援道路(東日本大震災からの復興のリーディングプロジェクト)
2021	環境賞		
	I グループ	大成建設(株), (独)製品評価技術基盤機構	デハロコッコイデス属細菌UCH007株を用いる塩素化エチレン類で汚染された地下水の浄化技術の開発
	〃	(株)大林組, ボゾリスソリューション(株), 日本製鉄(株)	現場打設型ジオポリマーコンクリートの開発

	〃	(株)竹中工務店, (株)竹中土木, 横浜国立大学, 岡山大学, 名古屋工業大学	土壌・地下水汚染浄化の省 CO ₂ を達成する加温式原位置高速バイオ浄化技術の開発
	〃	鹿島建設(株)	生分解性と耐候性を有する粉じん飛散・侵食防止材の開発
	〃	(株)大林組	粘性土から砂質土までの様々な土壌を連続的かつ瞬時に判別する技術「土質判別システム」
	II グループ	中国電力(株), 中国高圧コンクリート工業(株), 広島大学	石炭灰造粒物による沿岸域の水底質環境改善プロジェクト
	〃	横浜市, JFE スチール(株)	公民連携による「豊かな海づくり」共同研究プロジェクト ～鉄鋼スラグ製品による海域環境改善の実証と環境教育に向けた取組み～
2021	研究業績賞	堀 宗朗	都市の統合地震シミュレーションの開発に関する一連の研究
	〃	立川 康人	降雨流出予測手法の高度化と地球環境変化に伴う洪水予測に関する研究
	〃	木村 亮	地盤と構造物の静的・動的相互作用の解明と設計法への適用に関する研究
2021	論文賞	金 恵英, 藤野 陽三, 勝地 弘, SIRINGORINGO Dionysius Manly, 山田 均, 大越 秀治	橋梁上の車両に関する強風時の数値流体シミュレーションと安定解析
	〃	間瀬 肇, 金 洙列, 由比 政年, 武田 将英, 榎田 真也, 川崎 浩司, 平石 哲也, 松下 紘資	フルスケール実験に基づく越波・越流遷移モデルと高波・高潮浸水シミュレーションへの実装
	〃	山崎 充, 酒井 俊典	グラウンドアンカーの緊張力低下と地質条件の関係についての検討
	〃	星野 裕司, 小林 一郎, 伊東 和彦	曾木の滝分水路における継続的なデザイン
	〃	高橋 良輔, 島 弘, 松岡 智, 土屋 智史	ハーフプレキャスト RC 構造の接合面における接合鉄筋のせん断力-ずれ変位関係
	〃	野城 一栄, 嶋本 敬介, 大原 勇, 水谷 真基	供用後の変状山岳トンネルの補強工の効果の評価と簡易な設計法に関する研究
	〃	熊野 直子, 田村 誠, 井上 智美, 横木 裕宗	Estimating the cost of coastal adaptation using mangrove forests against sea level rise
	〃	水谷 夏樹, 宮島 昌弘	水理学の系統的な知識を応用したエンジニアリング・デザイン教育のための演習教材の開発
2021	論文奨励賞	宮本 崇	クープマン作用素論に基づく非線形動的現象のデータ駆動型解析と降水短期予測への適用
	〃	岡本 隆明	半球粗度まわりの乱流構造が種子捕捉過程に与える影響に関する実験的研究
	〃	川尻 峻三	LARGE-SCALE OPEN-CHANNEL EXPERIMENTS ON THE COLLAPSE OF ABUTMENT BACKFILL OWING TO FLOODS AND PROPOSED COUNTERMEASURE
	〃	渡辺 万紀子	街路空間における中間領域の類型化とその構成要因に関する研究
	〃	金光 俊徳	完全非破壊によるコンクリート内部鉄筋の腐食速度評価法の提案
	〃	山根 達郎	Deep Learning による橋梁撮影画像からの損傷状況説明文の自動生成
	〃	大石 若菜	スパース推定法と階層ベイズ推定法による環境水中ウイルス自然死滅モデルの構築
	〃	川端 光昭	高等専門学校におけるモビリティ・マネジメント教育の展開方法の検討-土木と地理が連携した低学年での学習成果の可視化と検証から-
2021	吉田賞		
	研究業績部門	武若 耕司 ((一社) 構造物診断技術研究会, 鹿児島大学名誉教授)	コンクリート構造物の耐久性評価ならびに維持管理システムの構築
	〃	横田 弘 ((一財) 沿岸技術研究セン	港湾・海岸コンクリート構造物のライフサイクルマ

		ター)	ネジメントに関する研究
	論文部門	取違 剛, 横関 康祐, 吉岡 一郎, 盛岡 実	炭酸化したセメント系材料における CO2 固定量の評価手法および物性変化に関する研究
	〃	永田 聖二, 松尾 豊史, 両角 浩典, 大友 敬三	曲げひび割れが生じた鉄筋コンクリート内のアンカーの地震時履歴特性に関する実験的研究
	〃	蓑輪 圭祐, 下村 匠, 川端 雄一郎, 藤井 隆史, 富山 潤	屋外における環境作用がコンクリートの乾燥収縮に及ぼす影響に関する共通暴露試験と数値解析による検討
	吉田研究奨励賞	横山 勇氣(京都大学)	水分浸透抵抗性に対する養生効果の持続性と炭酸化の進行の停滞現象の解明
	〃	五十嵐 豪(東京大学)	セメント系材料の再吸水時の膨潤挙動に関する基礎的研究
	〃	中山 一秀(東京工業大学)	電気化学的補修と表面保護工法の併用による鉄筋コンクリート構造物の補修効果の評価手法
2021	田中賞		
	業績部門	丸山 久一(長岡技術科学大学名誉教授)	コンクリート橋の耐震設計・耐震補強と新素材(FRP)による補強に関する研究
	〃	野上 邦栄(東京都立大学客員教授)	鋼橋の性能設計の高度化の推進と腐食欠損を考慮した残存耐荷性能の評価技術の開発
	〃	藤野 陽三(城西大学学長)	橋梁等構造物の振動制御およびモニタリング技術の発展と「構造制御学」の確立
	〃	佐藤 弘史((株) I H I インフラ建設顧問)	わが国の耐風設計技術の進歩と発展, 特に本州四国連絡橋などの長大橋建設への貢献
	〃	斎藤 良太郎(元(株)白石 取締役副会長)	ニューマチックケーソン基礎に関する橋梁建設技術の発展および普及への貢献
	論文部門	服部 雅史((株)高速道路総合技術研究所), 館石 和雄(名古屋大学), 判治 剛(名古屋大学), 清水 優(名古屋大学)	鋼床版 U リブ・デッキプレート溶接部のルートき裂に対する疲労評価
	〃	宮原 史(国土交通省国土技術政策総合研究所), 今村 隆浩(国土交通省九州地方整備局), 西田 秀明(国土交通省国土技術政策総合研究所), 星隈 順一((国研)土木研究所)	熊本地震で被災した鋼鈑桁連続橋に対する耐荷性能の挽回方策の考案と設計上の配慮
	〃	吉田 英二((国研)土木研究所), 大島 義信((株)ナカノフドー建設), 石田 雅博((国研)土木研究所), 山本 貴士(京都大学), 服部 篤史(京都大学), 高橋 良和(京都大学)	定着部付近におけるケーブル破断が PC 箱桁橋の耐荷性能に及ぼす影響
	作品部門(新設)	ケラニ河新橋 スリランカ民主社会主義共和国コロombo北部	上部構造: パッケージ 1(鋼橋区間): 多径間連続非合成箱桁橋 23 橋, 合成床版, パッケージ 2(PC 橋区間): 4 径間連続ラーメン箱桁橋 + 5 径間連続ラーメン箱桁橋, + 3 径間連続箱桁エクストラードーズド橋, + 6 径間連続ラーメン箱桁橋, 下部構造: パッケージ 1: 鋼製橋脚(門型 16 基, 逆 L 字 1 基) RC 橋脚(24 基), RC 橋台(4 基), パッケージ 2: RC 橋脚(18 基), RC 橋台(1 基), 橋長: パッケージ 1: 922m, パッケージ 2: 1,005m
	〃	多摩川スカイブリッジ 神奈川県川崎市川崎区殿町 3 丁目 ～東京都大田区羽田空港 2 丁目	上部構造: 鋼 3 径間連続鋼床版箱桁橋(複合ラーメン), 鋼 2 径間連続鈑桁橋(床版形式: 合成床版), 下部構造: RC 逆 T 式橋台(SC+PHC 杭基礎), RCT 形橋脚(SC+PHC 杭基礎), RC 壁式橋脚(鋼管矢板井筒基礎), RC ラーメン式橋脚(SC+PHC 杭基礎), 橋長: 602.2m, 72.00m
	〃	有明筑後川大橋 福岡県大川市大字小保地先～大野島地先	上部構造: 鋼 4 径間連続(2 連)単弦中路アーチ橋(床版構造: 鋼床版), 下部構造: RC 門型ラーメン橋脚, RC 壁式橋脚, 橋長: 450m (橋梁全長 1008m)

	〃（改築）	蓼野第二橋（下り線）の床版取替 島根県鹿足郡吉賀町蓼野	上部構造：ノンメタル床版構造,鋼 2 径間連続非合成 成鋼桁橋, 下部構造：逆 T 式橋台,アーチ式橋脚,ボックスラ メン橋台(全て直接基礎) 橋長：103m
	〃	重要文化財美濃橋修理工事 岐阜県美濃市曾代,同曾代地先,同前 野	上部構造：鋼製補剛吊橋,補剛桁構造ダブルワーレ ントラス,木製床版, 下部構造：コンクリート造アンカーレイジ 2 基,鉄 筋コンクリート造の主塔,2 基(修理後：炭素繊維補 強) 橋長：113m
	技術部門	防水層に UFC を用いたプレキャスト PC 床版（UFC 複合床版）	代表的な構造物： 初適用 東北道宮城白石川橋 上り線(宮城県・2020 年),適用事例数 東北道塩川 橋下り線,大平橋下り線,斉川橋上下線など 5 例
2021	技術開発賞	神田 政幸((公財)鉄道総合技術研 究所), 野中 隆博(東急建設(株)), 佐名川 太亮((公財)鉄道総合技術 研究所), 小林 裕介((公財)鉄道総合 技術研究所), 龍岡 文夫(東京大学・ 東京理科大学名誉教授)	既設鋼橋梁の鋼桁・橋台・盛土一体化工法の開発
	〃	横尾 敦(鹿島建設(株)), 中村 泰広 (鹿島建設(株)), 伊勢 卓矢(鹿島建 設(株)), 淵先 弘一(鹿島建設(株)), 阿子島 学(鹿島建設(株))	建設現場のリアルタイムの状況や各種情報を一元 的に見える化し,統合管理するシステム (Field Browser: フィールドブラウザ) の開発
	〃	鈴木 博人(東日本旅客鉄道(株)), 山 本 俊六((公財)鉄道総合技術研 究所), 青井 真((国研)防災科学技術研 究所), 宮腰 寛之(東日本旅客鉄道 (株)), 大澤 裕之(東日本旅客鉄道 (株))	新幹線における海底地震計を用いた早期地震検知 の開発・実装
	〃	山本 将(清水建設(株)), 谷村 浩輔 (清水建設(株)), 久保田 潤(西日本 高速道路(株)), 山中 慎也(西日本高 速道路(株)), 大久保 常秀(岐阜工業 (株))	トンネル覆工コンクリート自動施工ロボットシス テムの開発
	〃	今井 道男(鹿島建設(株)), 永谷 英 基(鹿島建設(株)), 宮嶋 保幸(鹿島 建設(株)), 平 陽兵(鹿島建設(株)), 川端 淳一(鹿島建設(株))	インフラセンシングを革新する分布型光ファイバ センサ計測技術の開発
	〃	垣見 康介(清水建設(株)), 福田 毅 (清水建設(株)), 大坪 宏行(清水建 設(株)), 荒井 匠(清水建設(株)), 長 尾 裕貴(清水建設(株))	熟練技能を必要としない発破掘削技術(プラストマ スタ®)の開発
	〃	川口 哲生(大成建設(株)), 武田 均 (大成建設(株)), 島崎 利孝(大成建 設(株)), 高嶋 光俊(大成建設(株)), 趙 唯堅(浙江大学)	プレート定着型鉄筋を用いたプレキャスト床版接 合構造(Head-bar ジョイント®)の開発
2021	出版文化賞	「近代化遺産」の誕生と展開－新し い文化財保護のために	伊東 孝 / 岩波書店 2021 年
	〃	洪水と確率－基本高水をめぐる技 術と社会の近代史－	中村 晋一郎 / 東京大学出版会 2021 年
2021	国際貢献賞		
	日本人	北 直紀	清水建設(株) 土木総本部 特別理事
	〃	中川 泰	鉄建建設(株) 技術顧問兼ダッカ MRT 作業所長
	〃	成瀬 進	宮地エンジニアリンググループ(株) 取締役
	〃	廣木 謙三	政策研究大学院大学 教授
2021	国際活動奨励賞	浅田 薫永	(株)オリエンタルコンサルタンツグローバルブラ ンニング事業部 交通計画部長

	〃	太田 耕一	関西電力(株)再生可能エネルギー事業本部 開発グループマネジャー
	〃	尾留川 剛	電源開発(株)国際営業部技術室土木タスク 総括マネージャー
	〃	久田見 治	大日本土木(株)海外支店 土木部作業所長
	〃	小滝 功	飛島建設(株)首都圏土木支店米山トンネル補強作業所 工事主任
	〃	小林 健一郎	神戸大学都市安全研究センター 准教授
	〃	小柳 桂泉	(独)国際協力機構社会基盤部参事役兼運輸交通グループ 課長
	〃	佐々 真志	(国研)海上・港湾・航空技術研究所港湾空港技術研究所地盤研究領域 動土質研究グループ長
	〃	曾田 暢一	大成建設(株)国際営業本部スリランカ連絡所・パキスタン連絡所 所長
	〃	竹村 祐一	清水建設(株)土木国際支店土木第二部ウガンダカンパラ交差点改良工事 現場代理人
	〃	内藤 晃司	(株)建設技研インターナショナル都市・環境部門 上席技師長
	〃	深見 秀樹	(株)大林組北米支店グアム事務所 所長
	〃	光畑 太	東日本旅客鉄道(株)国際事業本部海外鉄道事業部門新規事業構築 G 副課長
	〃	森 弘継	(独)国際協力機構社会基盤部 技術審議役
	〃	八尾 光洋	国土交通省道路局企画課 国際室長
	〃	山下 大	五洋建設(株) 国際部門国際土木本部土木事業部 担当部長
	〃	吉川 賢次	Kajima Overseas Asia (Singapore)建設部 プロジェクトマネージャー
2021	国際活動協力賞	KARTASASMITA TEDDY 正典	日本工営(株)コンサルティング事業統括本部交通運輸事業本部交通政策事業部 副技師長
	〃	NGUYEN QUOC THAI	(株)オリエンタルコンサルタンツグローバル道路計画部 課長 西バングラデシュ橋改善プロジェクト (WBBIP) 副チームリーダー
	〃	Nguyen Trung Viet	チュイロイ大学 教授, 副学長
	〃	戴 建国	香港理工大学土木及環境工程学系 教授・副系長
	〃	ノエル アグアス (Noel Sun Aguas)	大成建設(株)国際支店 フィリピン・南北通勤鉄道事業 CP01 工区 (土木) 工事作業所
	〃	Panganayi Cleopatra	(株)オリエンタルコンサルタンツグローバル道路技術部 課長
	〃	Jan Dirk SCHMOECKER	京都大学工学研究科都市社会工学専攻交通マネジメント工学講座 准教授
2021	技術功労賞	伊藤 敦信 ((株)大林組明神山トンネル工事事務所 所長)	施工・検査
	〃	岩下 繁美 (元・東日本旅客鉄道(株)東京工事事務所 助役)	施工・検査
	〃	五島 正明 ((株)オリエンタルコンサルタンツグローバル総合開発事業部港湾部 理事)	設計・監理
	〃	佐竹 康伸 (飛島建設(株)本社土木事業本部リニューアル統括部 担当部長)	施工・検査
	〃	佐藤 和郎 (大成建設(株)環境本部顧問)	施工・検査
	〃	多田 秀彰 (青葉緑化工業(株) 代表取締役社長)	調査・計画
	〃	西川 和弘 (宮崎県立延岡工業高等学校土木科 教諭, 生徒指導主事)	教育・研究・啓発
	〃	花木 健 (三井住友建設(株)中部支	施工・検査

		店土木部 統括所長)	
	〃	藤田 宗久 (清水建設(株)土木技術本部設計部 上席エンジニア)	設計・監理
	〃	見鳥 博 (鹿島建設(株)中部支店土木部専任部長,本社土木管理本部土木工務部 専任部長 (シールド))	施工・検査
2022	功績賞	大津 政康	京都大学大学院インフラ先端技術コンソーシアム顧問, (一社)先端インフラメンテナンス研究所理事長
	〃	河野 広隆	京都大学経営管理大学院客員教授
	〃	北村 良介	鹿児島大学名誉教授
	〃	柴山 知也	早稲田大学教授, 横浜国立大学名誉教授
	〃	白木 渡	香川大学名誉教授, (一社)リペア会会長
	〃	谷口 博昭	(一財)建設業技術者センター理事長, 芝浦工業大学客員教授
	〃	中井 雅彦	日本コンサルタンツ(株)社長
	〃	林田 博	(一財)港湾空港総合技術センター理事長
	〃	福手 勤	東洋大学名誉教授, (国研)海上・港湾・航空技術研究所港湾空港技術研究所フェロー, (一財)港湾空港総合技術センター客員研究員
	〃	道奥 康治	法政大学デザイン工学部都市環境デザイン工学科教授
	〃	睦好 宏史	埼玉大学名誉教授・客員教授
	〃	安田 進	東京電機大学総合研究所客員教授
	〃	横田 弘	(一財)沿岸技術研究センター参与, 北海道大学名誉教授
2022	技術賞		
	I グループ	国土交通省中国地方整備局山陰西部国道事務所, 大成建設(株)中国支店	ロックボルト打設機活用によるトンネル工事の安全性・生産性向上 ～木与第3トンネル工事における「BOLTINGER」の適用～
	〃	J E R Aパワー武豊合同会社, (株)J E R A, 大成建設(株)	火力発電所の早期運開に貢献した土木構造物の大規模プレキャスト化施工
	〃	(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構, 戸田建設(株)	角型エレメント推進工法による鉄道駅部大断面トンネルの構築 (相鉄・東急直通線, 綱島トンネル)
	〃	大成建設(株)名古屋支店名古屋中央雨水幹線下水道築造工事作業所	特異な地下水流に対応した薬液注入工と凍結工の二重管方式および難凍結性加泥材による地中ビット交換
	〃	(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構北陸新幹線建設局, (公財)鉄道総合技術研究所	軟弱地盤における耐震性及び経済性に優れた斜杭基礎ラーメン高架橋の採用 ～北陸新幹線 (金沢・敦賀間) における本線構造物への適用～
	〃	大成建設(株)	橋梁耐震補強工事における品質・安全・生産性向上技術の導入 ～茅ヶ崎高架橋コンクリート橋耐震補強工事～
	〃	東日本旅客鉄道(株), 鉄建建設(株), 東鉄工業(株), 浜松町駅改良設計他共同事業体	首都圏大動脈鉄道と主要幹線道路交差部における線路切換技術 ～最新デジタル技術を開発・導入した浜松町駅での桁移動工事～
	〃	国土交通省近畿地方整備局, (株)大林組大阪本店, 飛鳥建設(株)大阪支店	国内初の超大断面トンネル型減勢工の建設 ～天ヶ瀬ダム再開発事業～
	〃	中日本高速道路(株)東京支社秦野工事事務所, 清水建設(株)岩田地崎建設(株)共同企業体	ICT-Full 活用による生産性向上を実現したトンネル施工 ～新東名高速道路川西工事谷ヶ山トンネル～
	〃	東日本旅客鉄道(株)東北建設プロジェクトマネジメントオフィス, 秋田県, J R東日本コンサルタンツ(株)東北支店, 鉄建建設(株)東北支店, 第一建設工業(株)秋田支店	河川改修の早期完了に向けた新幹線初の開床式PRC ランガー橋りょう横取り架設

	〃	(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構東京支社、東急電鉄(株)鉄道事業本部工務部、鹿島・鉄建建設共同企業体東急日吉工事事務所、清水・京急特定建設共同企業体東急日吉作業所	鉄道営業線高架橋の縦断的なアンダーピニングを伴う新線の建設 ～相鉄・東急直通線日吉駅付近工事～
	〃	東京都下水道局第一基幹施設再構築事務所、鹿島建設(株)東京土木支店	地中障害物の切断掘進と近接構造物の防護改良および親子シールド機により幅狭した都市部の地下に下水道管きょを構築 ～DO-Jet 工法、親子シールド工法の適用～
	II グループ	三菱マテリアル(株)東北電力所、小又川新発電所建設工事清水建設・銭高組共同企業体	将来を見据えた小又川新水力発電所建設
	〃	国土交通省中部地方整備局富士砂防事務所、大成建設(株)	ICT・DX 技術導入による熱海土石流災害の早期復旧 ～令和3年度逢初川水系応急対策工事～
	〃	国土交通省北陸地方整備局新潟港湾・空港整備事務所	新潟港海岸（西海岸地区）大規模侵食対策事業
	〃	(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構、九州旅客鉄道(株)	西九州新幹線（武雄温泉・長崎間）開業 ～西九州地域と国内各圏域との交流の促進～
	〃	(株)オリエンタルコンサルタンツグローバル、(株)Ide s、日本工営(株)、復建調査設計(株)、(株)日本海洋科学	インドネシア国 パティンバン港開発事業（第一期）フェーズ 1-1
	〃	大分県庁、大成・菅・友岡特定建設工事共同企業体、(株)建設技術研究所九州支社	玉来ダム建設事業 ～阿蘇火砕流堆積物の厳しい地質条件を克服した流水型ダムにおけるダム建設技術～
	〃	国土交通省東北地方整備局北上川下流河川事務所、石巻市、(一社)東北地域づくり協会、パシフィックコンサルタンツ・エフワーク設計共同体、(株)建設技術研究所	PM・CM一体型マネジメントによる河川堤防整備事業 ～H23-R3旧北上川河口部復旧・復興事業～
	〃	新宿区、東日本旅客鉄道(株)、大成建設(株)東京支店	新宿駅東西自由通路整備(長年の悲願達成～数多くの困難を乗り越えて既存の駅地下通路を活用した自由通路の誕生～)
	〃	国土交通省港湾局、国際協力機構、三井共同建設コンサルタント、建設技術センター、東亜建設工業	セネガル国ダカール港第三埠頭改修計画
	〃	西日本高速道路(株)関西支社、西日本高速道路(株)関西支社和歌山工事事務所	湯浅御坊道路・阪和自動車道4車線化事業の完成～完成2車線道路の拡幅～
2022	環境賞		
	I グループ	西松建設(株)、(株)タック	土質変化に対応する泥水二次処理剤自動添加システムの開発と実用化 ～自動化・見える化で環境負荷低減とコスト縮減を実現～
	〃	鹿島建設(株)	地下水循環で薬剤を効率的に供給する地下水汚染の微生物浄化技術
	〃	(株)奥村組、大阪大学 矢吹信喜、伊藤忠テクノソリューションズ(株)	福島県内の複数箇所で大量に保管された指定廃棄物等の詰替・搬出工事における輸送統合管理システムの開発と社会実装
	〃	鹿島建設(株)	UAV を活用したのり面緑化成績判定の定量評価技術
	II グループ	大成建設(株)	地下水汚染拡散防止技術「マルチバリア」の継続的な実用展開と信頼性向上の取組み
	〃	三洋テクノマリン(株)、(一財)みなと総合研究財団、国土交通省四国地方整備局	高知県須崎港における生物共生を考慮した港湾整備
2022	研究業績賞	阿部 貴弘	近世都市における都市設計論理と水辺空間の変遷に関する研究

	〃	岸 利治	コンクリート中の空間サイズと物質移動／流動特性の相関に関する包括的研究
2022	論文賞	松岡 弘大, 川崎 恭平, 田中 博文, 常本 瑞樹	高速鉄道車両の車体上下加速度を利用した車上からの共振橋梁の検知手法
	〃	田村 仁, 川口 浩二, 岩本 匠夢, 藤木 峻	Coastal destruction and unusual wave spectra induced by Typhoon Faxai in 2019
	〃	富田 佑一, 古関 潤一, 龍岡 文夫	現場締固め砂質土の強度変形特性の各種影響要因を表現した経験式
	〃	河瀬 理貴, 井料 隆雅, 浦田 淳司	情報の不確実性を考慮した救援物資の在庫輸送戦略の数理解析
	〃	天谷 公彦, 角田 貴也, 高谷 哲, 山本 貴士	プレテンション部材から延びた PC 鋼材を用いたプレストレス導入技術に関する研究
	〃	坂井 一雄, 谷 卓也, 青木 智幸, 岸田 潔	切羽前方地山予測を目的とした傾斜計測手法の適用範囲と定量評価検討
	〃	北村 友一, 阿部 翔太, 服部 啓太, 山下 洋正	ゼブラフィッシュの胚・仔魚期の生物応答と網羅的遺伝子発現解析による下水処理水の短期毒性評価
	〃	松下 文哉, 谷島 諒丞, 小澤 一雅, 永谷 圭司	ICT 土工事のイノベーション創出を目指した土木工学／ロボティクス融合型演習の開発
2022	論文奨励賞	青木 康貴	RBF ネットワークと準モンテカルロ法を用いた確率論的津波ハザード解析および南海トラフ地震による災害廃棄物量のリスク評価への適用
	〃	豊田 将也	Future changes in typhoons and storm surges along the Pacific coast in Japan: proposal of an empirical pseudo-global-warming downscaling
	〃	木下 果穂	継手鋼材の腐食の影響を考慮したシールドトンネルの有限要素解析法の提案
	〃	中西 航	全車両軌跡データとスパースモデリングによる区間別 Fundamental Diagram の推定
	〃	竹田 京子	せん断補強筋のない鉄筋コンクリートはりのせん断疲労破壊機構の実験的解明
	〃	牧野 純也	量子アニーリングを用いた指定廃棄物の輸送計画最適化に関する研究
	〃	山下 奈穂	物質ストックを考慮した資源生産性の要因分解の実証研究-住宅におけるケーススタディ-
	〃	宮原 史	土木技術者の経験と学習 -地方整備局職員の研究所出向と道路構造物を維持管理する技術力に着目して-
2022	吉田賞		
	研究業績部門	宇治 公隆 (東京都立大学名誉教授)	施工性に着目したコンクリート構造物の品質向上に関する研究
	〃	前川 宏一 (横浜国立大学教授)	セメント系複合材料と巨視的構造応答のマルチスケール統合解析システムの開発
	論文部門	河村 圭亮, 中村 光, 竹村 雅志, 三浦 泰人	3次元 RBSM による RC 部材のあと施工せん断補強効果に関する解析的検討
	〃	土屋 智史, 渡邊 忠朋, 斉藤 成彦, 牧 剛史, 石田 哲也	マルチスケール解析を用いた PC 桁に生じる軸方向ひび割れの再現と耐荷性状の評価
	吉田研究奨励賞	小池 賢太郎 (鹿児島大学)	好気性微生物とシラスを併用した高機能自己治癒コンクリートの開発
	〃	栗原 遼大 (東京大学)	腐食劣化した PC 構造物に対する数値解析による性能評価手法に関する研究
2022	田中賞		
	業績部門	保田 雅彦 (大日本コンサルタント(株))	長大橋の設計施工技術の開発と国内外の橋梁技術発展への貢献
	〃	古田 均 (大阪公立大学)	橋梁等構造物のライフサイクル評価への情報学的アプローチ技術の確立
	〃	菅野 昇孝 ((株)富士ビー・エス代表取締役会長)	橋梁床版の合理化施工の研究開発と発展への貢献
	〃	大田 孝二 (NPO 法人道路の安全性)	鋼橋の耐久性確保のためのコンクリート床版に関

		向上協議会理事)	する損傷対策技術の発展及び普及
	論文部門	上坂 健一郎(首都高速道路(株)), 時田 英夫((一財)首都高速道路技術センター), 森 猛(法政大学), 内田 大介(法政大学), 島貫 広志(日本製鉄(株)), 富永 知徳(日本製鉄(株)), 増井 隆(首都高速道路(株))	溶接止端に留まる疲労き裂が生じた面外ガセット溶接継手に対する UIT の補修効果
	〃	Addisu Desalegne BONGER(横浜国立大学), 細田 暁(横浜国立大学), Hamed SALEM(カイロ大学), 深谷 卓央(首都高速道路(株))	NUMERICAL SIMULATION OF RUPTURE AND PROTRUSION OF VERTICALLY TIGHTENED PC BARS IN PC GIRDERS WITH ASPHALT PAVEMENT USING APPLIED ELEMENT METHOD
	作品部門(新設)	気仙沼湾横断橋(愛称:かなえおおはし) 宮城県気仙沼市	上部構造:3+7 径間連続鋼箱桁橋+3 径間連続鋼斜張橋, 鋼製逆 Y 型主塔 床版構造:RC 床版, 鋼床版 下部構造:RC 壁式中空橋脚, RC 張出式中空橋脚, 逆 T 式橋台 基礎構造:鋼管矢板基礎, 場所打ち杭, 深礎杭, 直接基礎 橋長:1.344m
	〃	南阿蘇鉄道 第一白川橋梁 熊本県阿蘇郡南阿蘇村~熊本県菊池郡大津町	上部構造:2 ヒンジスパンドレル・ブレースド・バランسدアーチ橋(橋まくら木式開床), 下部構造:逆 T 式橋台(杭基礎), 重力式橋脚(杭基礎), 壁式橋脚(杭基礎), 橋長:154.673m
	〃	吉野川サンライズ大橋 徳島県徳島市河内町旭野~東沖洲	上部構造:P C 15 径間連続箱桁橋, 下部構造:R C 柱式橋脚(鋼管矢板井筒基礎・鋼管杭基礎)・逆 T 式・ラーメン式橋台(鋼管杭基礎), 橋長:1696.5m
	〃(既設)	淀川大橋の大規模更新 大阪府大阪市福島区海老江地先~大阪府大阪市西淀川区野里地先	上部構造:鋼 24 径間単純鋼桁橋(RC 床版から鋼床版へ取替え), 鋼 6 径間単純上路式ワーレントラス橋(RC 床版から鋼床版へ取替え), 下部構造:RC 円柱橋脚(オープンケーソン基礎), RC 控え壁式橋台・小判型橋脚(木杭基礎) 橋長:724.5m
	技術部門	落橋防止機能付きシリンドー型粘性ダンパー	代表的な構造物:首都高速 11 号台場線芝浦 JCT, 首都高速都心環状線浜崎橋, 首都高速都心環状線赤羽橋
2022	技術開発賞	佐々 真志((国研)海上・港湾・航空技術研究所港湾空港技術研究所), 石坂 修(前田工織(株))	吸い出し・陥没を抑止するケーソン目地透過波低減法(ネットバッファ工法)の開発
	〃	柳井 修司(鹿島建設(株)), 渡邊 賢三(鹿島建設(株)), 松本 修治(鹿島建設(株)), 水野 浩平(鹿島建設(株)), 細田 暁(横浜国立大学)	データを活用した PDCA の高速化によるコンクリート構造物の品質確保技術の開発(Concrete@i®)
	〃	伊藤 文雄(大成建設(株)), 後藤 貴晴(大成建設(株)), 中村 弘((株)東洋ユニオン), 小川 智広(東京電力ホールディングス(株)), 前城 直輝(東京電力ホールディングス(株)), 長峰 春夫(大成建設(株))	無人化レーザー除染工法の開発ー福島第一原子力発電所における高線量タンク解体の実現ー
	〃	松元 淳一(大成建設(株)), 堀口 賢一(大成建設(株)), 木村 利秀(大成建設(株)), 橋本 聡(大成建設(株)), 須貝 文彦(大成建設(株)), 山梨 達哉(大成建設(株)), 澤上 晋(大成建設(株))	CO ₂ 排出量を大幅に削減した高強度環境配慮コンクリートの開発と二次製品化による実用化展開
	〃	小倉 大季(清水建設(株)), 山本 伸	繊維補強セメント複合材料を用いた建設用 3D プ

		也(清水建設(株)), 阿部 寛之(清水建設(株)), 菊地 竜(清水建設(株)), 中西 伶奈(清水建設(株))	リンティング技術の開発
2022	出版文化賞	大地を拓く	緒方英樹 / 理工図書株式会社 2022 年
	〃	復興・陸前高田：ゼロからのまちづくり	中井検裕, 長坂泰之, 阿部勝, 永山悟 編著 / 鹿島出版会 2022 年
	〃	施工がわかるイラスト土木入門	一般社団法人 日本建設業連合会 編, 岩山仁 (イラスト) / 彰国社 2022 年
2022	国際貢献賞		
	日本人	石川 雄一	日本工営(株) 副社長執行役員
	〃	小野崎 寛和	(株)大林組 常務執行役員北米支店長
	〃	小山 彰	(一社)水底質浄化技術協会 専務理事
	〃	田中 仁	東北大学大学院工学研究科 教授
	外国人	Nguyen Ngoc Hue	ベトナム港湾・水路・海洋技術協会 会長
2022	国際活動奨励賞	井澤 淳	(公財)鉄道総合技術研究所 鉄道地震工学研究センター地震動力学 上席研究員(GL)
	〃	小野 智広	(独)国際協力機構 社会基盤部 参事役兼運輸交通グループ第三チーム課長
	〃	高島 一禎	(株)安藤・間 九州支店土木部馬毛島仮設プラント その 3 作業所 所長
	〃	田口 知寛	(株)大林組 アジア支店ジャムナ JV 工事事務所 副所長 (工務担当)
	〃	谷本 雅敬	清水建設(株) 土木国際支店土木第二部ガーナ第二次国道八号線改修工事 現場代理人
	〃	西澤 健太郎	(株)オリエンタルコンサルタンツグローバル 軌道交通技術第一部 次長
	〃	藤富 隆行	日本工営(株) 鉄道事業本部ダッカ MRT 6 号線 GC 開発事務所 所長
	〃	古川 徹	大成建設(株) 国際支店シンガポール環状線マリーナベイ駅改修工事 T2916 作業所長
	〃	星谷 寛	PT. Bhimasena Power Indonesia General manager
	〃	松島 格也	京都大学大学院 工学研究科都市社会工学専攻 准教授
	〃	水田 潤一	関西電力(株) 再生可能エネルギー事業本部黒部川水力センター 所長
	〃	水野 直人	八千代エンジニアリング(株) 事業統括本部海外事業部 プロジェクトマネージャー
	〃	室永 武司	国土交通省 水管理・国土保全局河川環境課河川保全企画室 室長
	〃	山路 徹	(国研)海上・港湾・航空技術研究所港湾空港技術研究所 構造研究領域 領域長
	〃	呉 建宏	台湾・国立成功大学 土木工学専攻 特聘教授 (Distinguished Professor)・専攻長
2022	技術功労賞	奥山 正義 (鹿島建設(株)横浜支店土木部 専任部長)	施工・検査
	〃	小畑 耕一 ((株) 建設技術研究所技術本部 首席技師長)	設計・監理
	〃	小林 三昭 (JR 東日本コンサルタンツ(株) 常務取締役 ICT 事業本部長)	管理・運用・防災・保全
	〃	管谷 晃彦 ((株)富士ビー・エス関西支店工務部工事チーム 副部長)	管理・運用・防災・保全
	〃	鈴木 良廣(元・JR 東日本コンサルタンツ(株)社長付特命担当(測量地質調査))	施工・検査
	〃	征矢 雅宏 (清水建設(株)土木技術本部設計第二部 上席エンジニア)	設計・監理
	〃	中條 浩 (仙建工業(株) 執行役員経	調査・計画

		営企画部長・営業企画部長)	
	〃	中村 俊明 ((株)大林組広島支店 広島高速 5 号線 JV 工事事務所 所 長)	施工・検査
	〃	原田 吉和 ((独)鉄道建設・運輸施設 整備支援機構北陸新幹線建設局石 川工事部 部長)	施工・検査
	〃	八重田 義博(元・大成建設(株)本社 土木技術部参与技師長)	施工・検査
2023	功績賞	井合 進	京都大学名誉教授, (一社) FLIP コンソーシアム理 事長
	〃	梅原 秀哲	中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋 (株) テクニカルアドバイザー
	〃	粕谷 太郎	地下空間利・活用研究所所長
	〃	茅野 正恭	鹿島建設 (株) 常任顧問
	〃	河原 能久	広島大学防災・減災研究センター学術顧問
	〃	楠見 晴重	関西大学特命教授, 関西大学名誉教授
	〃	佐藤 直良	(公社) 雨水貯留浸透技術協会会長
	〃	中島 章典	(株) HRC 研究所技術顧問, 宇都宮大学名誉教授
	〃	山縣 宣彦	(一財) 港湾空港総合技術センター理事長
	〃	吉田 望	関東学院大学工学総合研究所所員
2023	技術賞		
	I グループ	清水建設(株)	大都市地下での国内最大断面矩形推進(勝どき東地 区第一種市街地再開発事業公共施設整備に伴う地 下連絡通路工事)
	〃	中日本高速道路(株)東京支社, 清水 建設(株)	東名高速道路焼津インターチェンジ函渠工事(大断 面プレキャストボックスを用いた R&C+ESA 工法 による初の函体推進工事)
	〃	五洋建設(株), (国研)海上・港湾・ 航空技術研究所港湾空港技術研究 所, 東京工業大学	国内最大の原塩ターミナルを急速施工した超大型 ブロックによる栈橋構築技術(～プレキャスト施工 の課題を克服した三ツ子島埠頭 第三栈橋新設工事 ～)
	〃	北大阪急行電鉄(株), 阪急設計コン サルタント(株), 熊谷組・フジタ・ 森組特定建設工事共同企業体	高層建築直下のシールド掘進と不飽和地盤凍結工 法の開発
	〃	堺市上下水道局, 地方共同法人日本 下水道事業団, (株)大林組, (株)大 本組, (株)国営	環境負荷低減を目的としたアースドリル工法によ る鋼管矢板建込工法の適用事例
	〃	阪神高速道路(株), 大成建設(株)関 西支店, (株)富士ビー・エス関西支 店	重交通交差点直上における PC 箱桁橋撤去技術(阪 神高速 14 号松原線喜連瓜破橋大規模更新工事)
	〃	東日本高速道路(株)関東支社横浜 工事事務所, 大成建設(株)	φ 15m 超の大断面シールドの U ターン施工
	〃	東京電力ホールディングス(株), 大 成建設(株)	作業制限の多い施工条件に対応した海底シールド トンネルほか放水施設の築造(福島第一原子力発電 所 ALPS 処理水希釈放出設備工事)
	〃	東京電力パワーグリッド(株)工務 部送変電建設センター, 大成建設・ 佐藤工業・大豊建設共同企業体	崩壊性の高い砂地盤を短工期で貫くシールドト ンネルの築造
	〃	国土交通省北海道開発局札幌開発 建設部幾春別川ダム建設事業所, 鹿 島・岩田地崎・伊藤共同企業体新桂 沢ダム工事事務所	積雪寒冷地における同軸嵩上げによるコンクリー トダムの再生技術― 新桂沢ダム堤体建設工事 ―
	〃	東日本旅客鉄道(株)東京建設プロ ジェクトマネジメントオフィス, (株)大林組, 横須賀線武蔵小杉駅 2 面 2 線化設計共同企業体	スマートプロジェクトマネジメントを活用した鉄 道駅新設ホームの早期供用開始(武蔵小杉駅横須賀 線ホーム 2 面 2 線化)
	II グループ	バン格拉デシュ人民共和国道路交	クロスボーダー道路網整備事業モドゥモティ橋建

		通橋梁省道路・国道部, (株)オリエンタルコンサルタンツグローバル, (株)オリエンタルコンサルタンツ, (株)パデコ, 鉄建建設(株), (株)横河ブリッジ, Abdul Monem Ltd.	設工事(バングラデシュ国における広域輸送網の発展に寄与するインフラ整備事業)
	〃	中日本高速道路(株)名古屋支社, (株)大林組, (株)大林組・JFE エンジニアリング(株)特定建設工事共同企業体	中央自動車道中津川 IC～園原 IC 間橋梁リニューアル事業(多種多様な複数橋梁同時施工の床版取替工事)
	〃	大阪府安威川ダム建設事務所, 大林組・前田建設工業・奥村組・日本国土開発特定建設工事共同企業体, (株)ニュージェック	安威川ダムの建設(人と自然環境に調和した都市近郊型ダム)
	〃	運輸省鉄道総局, (株)オリエンタルコンサルタンツグローバル	ジャボデベック LRT (次世代軽量軌道交通システム) 建設工事
	〃	東京地下鉄(株), (独)都市再生機構, 森ビル(株)	まちづくりと一体となった地下鉄新駅の整備～日比谷線新駅整備事業と隣接する市街地再開発事業～
	〃	国土交通省九州地方整備局立野ダム工事事務所, 西松・安藤ハザマ・青木あすなろ JV	立野ダム建設事業～日本最大の流水型ダム建設～
	〃	石巻市, 日本下水道事業団, 清水・大豊・遠藤興業特定建設工事共同企業体	被災区域の生活を守る雨水排水施設整備～石巻中央排水ポンプ場～
	〃	西日本旅客鉄道(株), 奥村組・鉄建建設特定建設工事共同企業体, 銭高組・西松建設特定建設工事共同企業体, 鴻池組・前田建設工業特定建設工事共同企業体, 大鉄工業・清水建設特定建設工事共同企業体, 大林組・浅沼組特定建設工事共同企業体, 大成建設・大鉄工業特定建設工事共同企業体, 大鉄工業(株), ジェイアール西日本コンサルタンツ(株)	東海道線支線地下化・新駅設置(国際ゲートウェイ・国土軸を繋ぐ)
	〃	清水建設(株)	フィリピン鉄道車両基地における建設マネジメントの先駆的な取組
	〃	阪神高速道路(株), 清水建設(株)	阪神高速 3 号神戸線における HSPJ 床版による床版更新工事
	〃	(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構, 相模鉄道(株), 東急電鉄(株)	神奈川東部方面線(相鉄・東急直通線)の建設(既存ストックを活用した総延長約 250 km の広域ネットワークの形成)
	〃	国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所, 大成建設(株), 鹿島建設(株), 大林組・飛鳥建設共同企業体	天ヶ瀬ダム再開発事業(最新技術の集結によるダム機能向上への挑戦)
	〃	東日本旅客鉄道(株)東京建設プロジェクトマネジメントオフィス, 鹿島建設・清水建設共同企業体, 大成・東急建設共同企業体, 鉄建・東急・東鉄建設共同企業体, (株)交通建設東京支店新宿第2工事所, (株)駒井ハルテック, JR 東日本コンサルタンツ(株)	渋谷駅改良(駅機能の抜本的更新と再編による利便性の向上)
2023	環境賞		
	I グループ	藤森真一郎(京都大学), 長谷川知子(立命館大学), 高橋潔(国立環境研究所)	気候変動緩和策が持続可能な開発に及ぼす影響の評価手法の開発と応用

	〃	鹿島建設(株), 錦城護謨(株)	プラスチックボードドレーンを用いた効率的な地盤からの油回収技術
	〃	大成建設(株), 神戸大学	環境 DNA を活用した生物モニタリングに向けた調査手法の構築と建設現場への適用
	II グループ	(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構	国内初の環境管理計画策定とラムサール条約登録湿地の環境保全に向けた取組みー北陸新幹線, 中池見湿地付近深山トンネル等工事ー
2023	研究業績賞	矢吹 信喜	先端的情報技術の適用による建設プロセスの高度化と生産性向上に関する研究
	〃	小泉 明	水道管路システムのアセットマネジメントに資する劣化診断および更新計画に関する研究
2023	論文賞	佐々木 達生, 木村 幸治, 後川 徳哉, 物袋 幸雄, 湯原 誠, 豊茂 雅也, 筒井 啓太, 富田 二郎, 松本 裕介	横ずれ断層の近傍に建設される橋梁の形式選定に資する断層変位の影響評価
	〃	坂田 憲治, 中川 康之, 岩波 光保, 井山 繁	浮泥堆積域における船舶が航行可能な水深の効率的な推計手法の提案
	〃	笠間 清伸, 長山 達哉, 濱口 信彦, 杉村 佳寿, 藤井 照久, 金子 智之, 善 功企	性能規定に基づく浸透固化処理地盤の地震後変形照査
	〃	山下 三平, 阿野 晃秀, 丹羽 英之, 森本 幸裕, 佐藤 正吾, 深町 加津枝	伝統的雨庭としての相国寺裏方丈庭園の雨水管理性能の実測と評価
	〃	吉田 英二, 大島 義信, 北野 勇一, 石田 雅博, 山本 貴士, 高橋 良和	実橋 PC 上部構造の載荷試験による破壊過程の考察と上部構造全体評価のための簡易解析手法の構築
	〃	岡ノ谷 圭亮, 大石 敬司, 大塚 努, 高橋 正也, 前島 稔, 岩橋 正佳, 新井 泰	鋳鋼製朝顔形支承板に代わる鋼製積層型支承板を用いた地下空間用合成鋼管柱の開発
	〃	山村 裕汰, Shih Wei TAN, 滝澤 雅子, 野村 洋平, 日高 平, 大下 和徹, 高岡 昌輝, 田中 周平, 藤原 拓	オキシデーションディッチ法におけるマイクロプラスチックの動態評価および排出量の推定
2023	論文奨励賞	横澤 直人	崩壊シナリオデザイン設計法の実現に向けた耐力階層化鉄筋を用いた RC 橋脚の載荷実験
	〃	油谷 大樹	浅水底の UAV 写真測量における水深過小評価倍率の水深・波依存性に関する検討
	〃	牛田 貴士	感潮河川からの塩水移動に基づく地下構造物の劣化予測法
	〃	萩原 啓介	旧淀川(大川)河川沿公園形成史: 明治期以後の公園計画の展開と実現過程
	〃	染谷 望	電気防食状態にあるコンクリート中の鋼材の湿潤環境における腐食速度評価手法の提案
	〃	富山 恵介	洗濯による生地設計別のマイクロプラスチック排出特性
	〃	田中 皓介	大学の学科名称における土木改名の受験生および在学生への影響分析
2023	吉田賞		
	研究業績部門	推薦なし	
	論文部門	竹田 京子, 佐藤 靖彦	繰返し移動輪荷重を受けるコンクリート床版の疲労寿命予測法
	〃	綾野 克紀, 藤井 隆史, 岡崎 佳菜子	高炉スラグ微粉末および高炉スラグ細骨材を用いたコンクリートの塩水中での凍結融解抵抗性
	〃	渡辺 健, 中村 麻美, 石田 哲也, 渡邊 忠朋	混合セメントおよび水掛かりの影響を考慮したコンクリートの収縮ひずみ予測式の提案
	吉田研究奨励賞	高橋 駿人(東京理科大学)	画像解析技術を駆使した ASR による異方性膨張メカニズムの微視的解明
2023	田中賞		
	業績部門	森 猛(法政大学名誉教授)	鋼橋の設計・施工・維持管理技術の発展・普及への貢献
	〃	手塚 正道((株)サン環境計画品質)	PC 橋の耐久性向上と持続可能な社会形成における

		管理部部長（元・オリエンタル白石（株）常務執行役員）	PC 構造物の役割の明確化
	論文部門	徳永 宗正((公財)鉄道総合技術研究所), 池田 学((公財)鉄道総合技術研究所)	鉄道連続桁式橋りょうの列車通過時動的応答特性と簡易評価法
	〃	鈴木 洋史(防衛装備庁陸上装備研究所), 山田 順一(防衛装備庁陸上装備研究所), 市川 智隆(防衛装備庁陸上装備研究所), 間山 利勝(防衛装備庁陸上装備研究所), 浅倉 太一(防衛装備庁陸上装備研究所), 中田 光洋(防衛装備庁陸上装備研究所)	自衛隊用応急橋梁への CFRP 適用に関する研究
	作品部門(新設)	九頭竜川橋梁・新九頭竜橋 福井県福井市中藤新保町～上野本町	構造形式：【上部構造】鉄道橋：7 径間連続 PC 箱桁橋, 道路橋：7 径間連続 PC 箱桁橋, 【下部構造】鉄道・道路一体壁式橋脚(ケーソン基礎), 鉄道・道路一体逆 T 式橋台(杭基礎) 橋長：414.0m
	〃	ブライラ橋 ルーマニアブライラ県ブライラ～トウルチャ県スルダン	構造形式：【上部構造】鋼 3 径間連続偏平 6 角形鋼床版箱桁吊橋, RC 主塔, 平行線主ケーブル, 【下部構造】重力式直接基礎アンカレッジ, (主塔)杭基礎 橋長：1974.3m
	〃（既設） 最優秀賞	高速大師橋更新事業 東京都大田区羽田二丁目, 大田区羽田三丁目, 神奈川県川崎市川崎区殿町一丁目	構造形式：【上部構造】：鋼 3 径間連続鋼床版箱桁ラーメン橋, 【下部構造】鋼-RC 複合橋脚(門型柱)－鋼管矢板基礎, RC 橋脚(T 型柱)－鋼管杭基礎 橋長：292m
	〃（既設）	東名阪自動車道弥富高架橋（下り線）の大規模更新 愛知県弥富市西中地町～愛知県弥富市五明	構造形式：【上部構造】[改築前] 鋼 3 径間連続 4 主非合成鈹桁橋×15 連, 鋼 4 径間連続 4 主非合成鈹桁橋×2 連場所打ち RC 床版, [改築後] 鋼 3 径間連続 5 主合成鈹桁橋×15 連, 鋼 4 径間連続 5 主合成鈹桁橋×2 連プレキャスト PC 床版, 【下部構造】[改築前] RC 橋脚×53 基, RC 橋台×1 基, [改築後] RC 橋脚《拡幅・外ケーブル補強》×49 基, RC 橋脚《外ケーブル補強》×4 基 RC 橋台×1 基 橋長：1566.8m
	技術部門	該当なし	
2023	技術開発賞	下迫 健一郎((一財)沿岸技術研究センター), 仲保 京一(日立造船(株)), 清宮 理(早稲田大学名誉教授), 間瀬 肇(京都大学名誉教授), 長野 章(公立はこだて未来大学名誉教授)	フラップゲート式可動防波堤の開発
	〃	松崎 義孝((国研)港湾空港技術研究所), 藤田 勇((国研)港湾空港技術研究所), 齋藤 英治(国土交通省北陸地方整備局), 御手洗 克也(国土交通省九州地方整備局)	海上流出油の移流及び拡散に関するリアルタイムシミュレーションシステム (OILPARI)
	〃	笠倉 亮太(東急建設(株)), 折田 紘一郎(東急建設(株)), 中山 亘(東急建設(株)), 岸 秀樹(旭コンクリート工業(株)), 福田 俊(旭コンクリート工業(株))	部分プレキャスト部材を用いたボックスカルバートの構築工法 (PPCa ボックスカルバート) の開発
	〃	渡辺 健((株)ハイドロ総合技術研究所), 南 良忠((株)ハイドロ総合技術研究所), 山内 翔太((株)ハイドロ総合技術研究所), 藤田 一郎((一財)建設工学研究所), 出口 恭((株)ニュージェック)	映像と AI による河川流量の自動観測システム (Hydro-STIV) の開発

	〃	青山 哲也(清水建設(株)), 増田 湖一(清水建設(株)), 杉山 博一(清水建設(株)), 陳 剣(清水建設(株)), 高本 尚彦(清水建設(株)), 鎌田 浩基(清水建設(株)), 山本 真哉(清水建設(株)), 新宮 康之(清水建設(株))	AI によるシールド自動運転システムの開発
	〃	堀口 賢一(大成建設(株)), 本澤 昌美(大成建設(株)), 野村 価生(大成建設(株)), 上村 勇太(大成建設(株))	コンクリートのひび割れ画像解析技術 (t.WAVE) の開発と実用化展開
	〃	細田 暁(横浜国立大学), 河端 昌也(横浜国立大学), 揖斐 剛(大嘉産業(株)), 桺尾 孝之(大嘉産業(株)), 椎名 貴快(西松建設(株)), 八巻 大介(西松建設(株))	水を使わず軽量で何度でも使えるコンクリート養生工法 (アドバルーン工法) の開発
	〃	御領園 悠司(清水建設(株)), 根本 浩史(清水建設(株)), 幸田 圭司(清水建設(株)), 尾田 健太(シーカ・ジャパン(株)), 吉田 克弥(シーカ・ジャパン(株)), 矢口 稔(シーカ・ジャパン(株))	品質と生産性の向上を目的とした超遅延・増粘型打継目処理剤の開発
	〃	木下 勇人(大成建設(株)), 竹中 計行(大成建設(株)), 宮本 真吾(大成建設(株)), 谷 卓也(大成建設(株))	ヘッドマウントディスプレイによる山岳トンネルの遠隔吹付け技術 (T-iROBO® Remote Shotcreting)
2023	出版文化賞	土木デザイン ヒト・まち・自然をつなぐ仕事	福井恒明, 佐々木葉, 丹羽信弘, 星野裕司, 末祐介, 二井昭佳, 山田裕貴, 福島秀哉 / 学芸出版社 2022 年
	〃	自然災害と土木デザイン	星野裕司 / 農山漁村文化協会 2022 年
	〃	DISCOVER DOBOKU 土木が好きになる 22 の物語	吉川弘道 / 平凡社 2023 年
2023	国際貢献賞		
	日本人	岡田 光彦	空港施設 (株) フェロー
	〃	折下 定夫	(株) オリエンタルコンサルタンツグローバル総合開発事業部港湾部参事
	〃	榮枝 秀樹	日本コンサルタンツ (株) インド高速鉄道推進本部シニアアドバイザー
	〃	三宅 且仁	(一社) 海外建設協会 常務理事
	〃	目黒 公郎	東京大学大学院情報学環教授/生産技術研究所教授
	外国人	Manuel M. Bonoan	フィリピン共和国公共事業道路省大臣
2023	国際活動奨励賞	伊藤 健一	清水建設 (株) 土木国際支店土木部ジャカルタ地下鉄 CP201 工事設計担当工事長
	〃	植松 創平	日本工営 (株) 流域水管理事業本部河川水資源事業部水資源エネルギー部部長(兼)ウォノギリダム堆砂対策事業二期工事開発事務所所長(兼)カルン開発事務所所長
	〃	植村 勇仁	清水建設 (株) 土木国際支店土木部ジャカルタ地下鉄 CP202 建設所副所長
	〃	太田 洋之	鹿島建設 (株) 海外土木事業部土木部生産計画グループ課長
	〃	奥野 健太郎	日本工営 (株) 交通運輸事業本部道路事業部道路橋梁整備部次長(兼)カンパラフライオーバー設計・施工監理開発事務所所長
	〃	喜多 伸明	関西電力 (株) 経営企画室運営グループマネジャー
	〃	坂部 英孝	(独) 国際協力機構 情報システム部参事役
	〃	坪川 将丈	国土交通省国土技術政策総合研究所 空港研究部空港施設研究室長
	〃	中野 涼子	東日本旅客鉄道 (株) 国際事業本部インド高速

			鉄道部門マネージャー
	〃	永尾 慎一郎	国土交通省 道路局企画課国際室長
	〃	沼澤 康人	大日本土木（株） 海外支店土木部作業所長
	〃	久田 慎	（株）オリエンタルコンサルタンツグローバル 道路交通事業部道路計画部副部長
	〃	平野 克	大成建設（株） 国際支店土木部積算室課長
	〃	藤田 恭三	五洋建設（株） 国際部門国際土木本部土木事業部 土木事業部長（陸上）兼 ICT 推進室専門部長
	〃	三浦 良知	日本工営（株）流域水管理事業本部水環境事業部上 下水道設計部部長代理(兼)ウクライナ復興支援室 室長(兼)ウクライナ国ボルトニッチ下水処理場改 善事業所長/チームリーダー(兼)キーウ事務所所長
	〃	水野 要	パシフィックコンサルタンツ（株） 交通基盤事業 本部鉄道部技術次長兼チーフプロジェクトマネー ジャー
	〃	宮野 智希	（株）オリエンタルコンサルタンツグローバル 総合開発事業部建築開発部副部長
	〃	Heri Mulyana	大成建設（株） 国際支店フィリピン・南北通勤 鉄道事業 C P 01 工区（土木）工事作業所 Senior CAD Engineer
2023	技術功労賞	井藤 金満（鹿島建設（株）北海道支 店土木部特定プロジェクトグルー プ 専任部長）	施工・検査
	〃	大久保 和彦（三井住友建設（株）土 木本部土木部統括室 部長）	施工・検査
	〃	桑原 清（（株）ジェイテック 取締役 常務執行役員技術企画本部長兼エ ンジニアリング部長）	設計・監理
	〃	佐藤 一義（（独）鉄道建設・運輸施 設整備支援機構九州新幹線建設局 工事第二部 部長）	施工・検査
	〃	清水 哲成（兵庫県立兵庫工業高等 学校都市環境工学科 教諭）	教育・研究・啓発
	〃	都合 隆幸（清水建設（株）土木東京 支店 安全長）	施工・検査
	〃	藤本 克郎（飛鳥建設（株）土木本部 土木 FSC トンネル・シールド G 長）	調査・計画
	〃	望月 修（大成建設（株）土木本部洋 上風力発電プロジェクト部プロジ ェクト推進室）	施工・検査
	〃	森 信幸（キザイテクト（株）技術 顧問）	施工・検査
	〃	渡辺 朗（（株）大林組東京本店原電 東海総合工事事務所 総括所長）	施工・検査

4. 土木学会映画コンクール入賞作品一覧

回数等	賞 名	タイトル	企 画	制 作
第26回 2014(H26) 5本 一般応募0本 委員会推薦5本 (選定26本中)	最優秀賞	夢は世界をかけめぐる ～海外技術協力のパイオニア～	企画：緒方英樹 監督：泉 悦子	虫プロダクション(株)
	優秀賞	広域的なネットワークの形成に向けて 都市高速鉄道東京急行電鉄東横線(渋谷駅～代官山駅間)地下化事業の概要	東京急行電鉄(株)	東京急行電鉄(株)
	優秀賞	「迫り来る南海トラフ巨大地震に備えて」	(一社)中部地域づくり協会	(株)CBC クリエイション
	優秀賞	「調布駅付近連続立体交差事業」	東京都・調布市・京王電鉄(株)	京王電鉄(株)
第27回 2016(H28) 4本 一般応募2本 委員会推薦2本 (選定8本中)	最優秀賞	未来に向けて ～防災を考える～	企画：一般社団法人 東北地域づくり協会 監督：出崎 哲	虫プロダクション(株)
第28回 2018(H30) 6本 一般応募3本 委員会推薦3本 (選定5本中)	最優秀賞	復興の道しるべ～三陸鉄道北リアス線震災復旧工事～	企画：独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構、東急建設株式会社 監督：渋沢 重彦	独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構、東急建設株式会社、公益財団法人 鉄道総合技術研究所
	部門賞(一般部門)	立山砂防・土砂との闘い～世界に誇る防災遺産～	企画：緒方 英樹 監督：泉 悦子	富山県世界遺産登録推進事業実行委員会、虫プロダクション株式会社
	部門賞(技術映像部門)	つなぐ～三角大矢野道路「天城橋」建設の記録～	企画：熊本県 監督：小野 博行	大日本コンサルタント株式会社、株式会社 RSK プロビジョン
	佳作	8 ミニッツ～鎌倉で津波から生きのびる～	鎌倉市防災安全部	鎌倉市防災安全部
第29回 2020(R2) 中止 (応募・推薦がなかったため)				
第30回 2022(R4) 6本 一般応募5本 委員会推薦1本 (選定8本中)	最優秀賞	もう一つの白山 -通水編- 甚之助谷地すべり対策万才谷排水トンネル工事	企画：飛鳥建設(株) 白山甚之助Ⅲ期作業所 監督：田添 長郎	有限会社 創映舎
	部門賞(一般部門)	繋げる～赤い鉄橋を蘇らせた工事の記録～	東急建設株式会社	東急建設株式会社、株式会社上田ケーブルビジョン
	部門賞(技術映像部門)	鹿島港プロジェクト 波浪との闘い	東亜建設工業株式会社	スモールフィルム株式会社

5. 選奨土木遺産一覧

NO	対象構造物	受賞理由	支部	所在地	竣工年
◆2014（平成 26）年度					
1	新釧路川	「釧路市に甚大な被害を与えた大正 9 年洪水を契機に開削され、洪水対策に加え釧路港への土砂流入を防ぎ、地域の発展を支えた施設」である。	北海道	北海道釧路市、釧路町	1921(大正 10)年に着手、着工以来 10 年を経て、1931(昭和 6)年に完成
2	松前港 福山波止場	「松前城石垣の再利用材と北海道で最も初期の練積みコンクリートで築造された堤体を有し、近代土木技術への過渡期を物語る遺構」である。	北海道	北海道松前郡松前町	1875(明治 8)年竣工、明治 22 年に小破修理、明治 25 年から 3 カ年の補修工事
3	仙山線鉄道施設群	「トレスル橋、長大隧道など昭和初期の先端土木技術を反映し、転車台、変電所、機関区など東北初の直流電化や戦後新幹線の礎となる交流電化発祥の地として世界に誇る日本の鉄道技術資産」である。	東北	宮城県仙台市、山形県山形市	1928(昭和 3)年～1955(昭和 30)年
4	成宗電車第一、第二トンネル	第二トンネルは「明治 43 年に建設された煉瓦造の鉄道トンネルで、形態的にほぼ同一な 2 つのトンネルが連続している姿は趣がある貴重な土木遺産」である。	関東	千葉県成田市	1910(明治 43)年
5	羽村取水堰（投渡堰）	「江戸の発展を支えた歴史的価値の高い施設であることに加え、設置当時の投渡しの技術が現在まで継承されている貴重な土木遺産」である。	関東	東京都羽村市	1909(明治 42)年
6	日光稲荷川流域の砂防堰堤群	「技術革新による砂防工法の移行期に建造された堰堤群で、比類のない意匠的特徴とともに近代砂防の歴史を伝える重厚壮麗な土木遺産」である。	関東	栃木県/日光市	1920(大正 9)～1937(昭和 12)年
7	信越線 太田切橋りょう	「明治中期に、谷越えの鉄道敷設に当たり築造されたレンガと石造りの水路トンネルで、現在も使用されている貴重な土木遺産」である。	関東	新潟県/妙高市	1887(明治 20)年
8	水戸市低区配水塔	「鋼製水槽を内蔵する鉄筋コンクリート造りの水道配水塔で、外壁には装飾が施され、近代水道にかける市民の思いが込められた施設」である。	関東	茨城県/水戸市	1932(昭和 7)年
9	江ノ島電鉄	「明治期の日本における鉄道黎明期の雰囲気や今に伝え、地元密着型の軌道として湘南の風景の一部となっている貴重な土木遺産」である。	関東	神奈川県/藤沢市、鎌倉市	1902(明治 35)年
10	敷島浄水場配水塔	「県都前橋の憩いの場である敷島のシンボルであり、水道の歴史を伝承する貴重な土木遺産」である。	関東	群馬県/前橋市	1929(昭和 4)年
11	堀切橋	「親柱頂部に尖頭や半球が施され、高欄は三角形等の空間がある。これらの表面に幾何学模様が刻まれており、野外アート風の橋である貴重な土木遺産」である。	関東	埼玉県/行田市、鴻巣市	1933(昭和 8)年

12	旧親不知トンネル	「明治後期に天陰親不知の断崖絶壁を貫通させた総煉瓦造りのトンネルで、当時の土木技術を後世に伝える貴重な土木遺産」である。	関東	新潟県/糸魚川市	1912(大正元)年
13	嫌谷砂防堰堤群	「明治初期の巨石の空石積みによる砂防施設で、延長 300m に渡り床固工、床止工とともにほぼ完全な形で現在にのこる貴重な土木遺産」である。	中部	岐阜県/中津川市加子母	1884(明治 17) 年(推定)
14	旧稲葉地配水塔	「16 本の支柱に囲われた独特のフォルムを持つ配水塔で、戦後には図書館、演劇練習館へと転身して有効活用される稀有な土木遺産」である。	中部	愛知県/名古屋市中村区	1937(昭和 12) 年
15	旧余部橋りょう(余部鉄橋)	「明治末期に東洋一の橋りょうとして建設され、また適切な補修により 1 世紀にわたりほぼ建設当時の姿を残した貴重な土木遺産」である。	関西	兵庫県/美方郡香美町	1912(明治 45)年 (平成 25 年橋台 1 基、橋脚 3 基、上部工 3 径間のほか橋脚基部 3 基・橋桁 1 径間を現地保存)
16	砂山池・龍ヶ池揚水機場	「琵琶湖東岸の農業発展に寄与した日本で最初期の蒸気ポンプによる地下水くみ上げ施設で現在も電動で稼働している貴重な土木遺産」である。	関西	滋賀県/犬上郡豊郷町	1913(大正 2)年
17	旧北陸本線トンネル群	「旧北陸本線の最大の隘路であった敦賀・今庄間で建設されたトンネル群であり、現在も道路として機能する貴重な土木遺産」である。	関西	福井県/敦賀市、南条郡南越前町	檜曲トンネル他 10 トンネル:1896(明治 29) 年 山中信号所スイッチバック:1919(大正 8) 年
18	小刀根トンネル	「日本人技術者による国内 2 例目の鉄道トンネルであり、また建設当時の姿を留めるものとしては国内最古の鉄道トンネル」である。	関西	福井県/敦賀市	1881(明治 14)年
19	来原岩樋	「わが国に現存する最古級の運河閘門で、天井川の斐伊川と高瀬川を結ぶため、国内では珍しい連続閘門」となっている。	中国	島根県/出雲市	1700(元禄 13)年
20	熊井隧道	「自然石とレンガを用いて明治 38 年に建設された隧道で、笠石や帯石、キーストーン、鋸型飾り積みなどが美しい魅力的な土木遺産」である。	四国	高知県/幡多郡黒潮町	1905(明治 38)年
21	細島験潮場	「明治期に設置された現存する日本最古かつ現役の験潮場であり、世紀を超えて地道な潮位観測に貢献している貴重な施設」である。	西部	宮崎県/日向市	1892(明治 25)年
22	湯野田橋	「国道 34 号線にある明治 21 年(1888 年)に建設された現役で日本最古の石アーチ橋」である。	西部	佐賀県/嬉野市	1888(明治 21)年
◆2015(平成 27) 年度					
1	茨戸川の岡崎式単床ブロック護岸	「岡崎文吉が考案・敷設し、その技術は北海道開発に貢献し、さらには海外にも継承され、国内に普及している連節護岸の礎となる施設」である。	北海道	北海道/石狩市	1917(大正 6)年
2	旧函館本線神居古潭ト	「北海道官設鉄道として建設され、	北海道	北海道/旭	1897(明治 30)年、

	ンネル群	わが国有数の膨張性岩盤地帯に挑み、逐次路線改良を重ねながら道内幹線鉄道輸送を支えた施設群」である。		川市	1928(昭和 3)年
3	東秋留橋	「橋長 149.7m、6 径間連続の鉄筋コンクリートアーチ橋であり、戦後の施工例は全国的に殆ど無く、戦前を代表する貴重な橋梁」である。	関東	東京都/あきる野市	1939(昭和 14)年
4	大間港	「服部長七のたたき工法による護岸で築港され、RC 橋脚、鋼トラス・台座などの施設とともに佐渡鉱山を下支えた貴重な土木遺産」である。	関東	新潟県/佐渡市相川大間町	1892(明治 25)年
5	足利市近代水道施設群	「生活衛生と工業化を支え市制施行後の都市づくりの基盤となった装飾性豊かな施設群で、近代化の様相を映し出す貴重な文化遺産」である。	関東	栃木県/足利市	1930(昭和 5)年 * 1934 年・1955 年頃 一部改築施設含む
6	元町・山手地区の震災復興施設群	「横浜の都市形成において重要な役割を担い、設計・意匠等最先端の土木技術が取り入れられ、歴史的構造物としても貴重な土木遺産」である。	関東	神奈川県/横浜市中区	1926(大正 15)年～ 1928(昭和 3)年
7	筑波山ケーブルカー	「コンクリート覆工隧道や 90 度に方向転換する路線設定など大正期の最新技術を駆使し建設され、今尚、筑波山観光の重要な交通施設」である。	関東	茨城県/つくば市	1925(大正 14)年
8	旧上野鉄道鬼ヶ沢橋梁	「富岡製糸場等と縁のある鉄道施設で、軽便鉄道規格で明治 30 年当時の橋梁の現存例として希少な土木遺産」である。	関東	群馬県/富岡市～下仁田町	1897(明治 30)年
9	飯沼水準原標石	「オランダ人技師リンドにより設置され、日本水準原点の基となった本邦初の水準原標石で、近代測量の出発点となる重要な記念碑」である。	関東	千葉県/銚子市	1872(明治 5)年
10	南向発電所取水堰堤	「昭和初期に 11km 離れた水力発電所へ導水するために建設された、ローリングゲートと調和するゲートピアが個性的な堰堤」である。	中部	長野県/駒ケ根市中沢	1929(昭和 4)年
11	庄内用水元杵樋門	「明治初期に用水と舟運のために開削された水路の取水施設で、明治末期に人造石工法で改築された貴重な樋門」である。	中部	愛知県/名古屋守山区瀬古	1910(明治 43)年
12	蔵造川水路橋	「明治時代の鉄道建設に伴い建造された跨線水路橋で、現存する非常に貴重な煉瓦アーチ橋」である。	中部	長野県/塩尻市北小野	1906(明治 39)年
13	由良川橋りょう	「建設当時国内最多径間を誇るコンクリート橋脚の鉸桁橋梁であり、築後 90 年を経るも保存状態が極めて良好である貴重な土木遺産」である。	関西	京都府/舞鶴市・宮津市	1923(大正 12)年
14	市原人道橋 / (旧 市原橋)	「明治末期に架設された鉄骨コンクリートアーチ橋であり、国内に現存する鉄筋コンクリートアーチ橋の先駆けとして貴重な土木遺産」である。	関西	京都府/京都市左京区	1912(明治 45)年

15	別所砂留	「福山藩による江戸時代の大小様々な形態の砂留が、一溪流に 30 基以上、良好な状態で現存している貴重な土木遺産」である。	中国	広島県/福山市	1764(宝暦 14)年以前
16	百間川の治水施設群－一ノ荒手, 二ノ荒手, 米田の旧堤防, 大水尾の旧堤	「分水部から河口部まで、旭川の放水路として江戸期に築造された百間川の一連の治水システムが現存している貴重な土木遺産」である。	中国	岡山県/岡山市	1687(貞享 4)年(一ノ荒手, 二ノ荒手), 1687(貞享 4)年以降(米田の旧堤防), 1692(元禄 5)年以前(大水尾の旧堤)
17	三成ダム	「わが国における最初期の本格的なアーチダム」である。	中国	島根県/奥出雲町	1954(昭和 29)年
18	新川橋梁	「明治末期に架けられた鉄道橋で、将来の軌道の複線化を見込んだ階段状練石積み橋脚という、希少な特徴を持つ土木遺産」である。	四国	香川県/木田郡三木町平木～三木町鹿伏	1911(明治 44)年
19	第一白川橋梁 【撤去のため認定解除】	「阿蘇カルデラの出口立野に鉄道省最初期に建設され、当時鋼スパンドレルブレーストアーチの最大スパンであった 166.3m の鉄道橋」である。 ※2016(平成 28)年熊本地震で被災、2021(令和 3)年撤去のため認定解除。	西部	熊本県/南阿蘇村	1927(昭和 2)年 2016(平成 28)年 被災 2021(令和 3)年 撤去
20	立野橋梁	「第一白川橋梁とともに鉄道省最初期に建設され、高さ 34m の鋼トレスル橋脚を 3 脚有する 138.8 m の鋼プレートガーダー橋」である。	西部	熊本県/南阿蘇村	1924(大正 13)年
21	五ヶ瀬川畳堤	長良川、揖保川と五ヶ瀬川にのみ現存する構造物で、特に「五ヶ瀬川に設置された畳堤は、大正末期から昭和初期に設置された我が国最古のもの」とされている。	西部	宮崎県/延岡市川中	1920(大正末期)年頃から 1934(昭和初期頃)年(昭和 9 年まで確認済み)
◆2016(平成 28)年度					
1	旧網走線開業時の鉄道施設群	明治期に建設され当時の鉄道技術を現在に伝えるとともに、北海道東部が鉄道とともに発展したことを後世に示す貴重な土木遺産である。	北海道	北海道陸別町, 本別町	本別川橋梁 (1908(明治 41)年架設) 陸別駅転車台 (1910(明治 43)年設置)
2	開拓使三角測量基線－勇払基線(勇払基点, 鷗川基点), 函館助基線(一本木基点, 亀田基点)	正確な北海道地図作製のため欧米の近代測量技術で行われた三角測量基線の位置を示す遺産であり、わが国における基線測量の嚆矢である。	北海道	北海道	(1)勇払基線 1873 年(明治 6 年) (2)函館助基線 1875 年(明治 8 年)
3	磐越西線鉄道施設群	明治・大正期の多様な橋梁群、隧道、駅舎、転車台群を有し、さらに震災時の石油製品輸送などライフラインとして東北と関東を繋いだ貴重な土木遺産である。	東北	福島県, 新潟県	1904 年(明治 37 年)～1922 年(大正 11 年)
4	四ツ谷用水	広瀬川の河岸段丘の微地形を巧みに利用し自然流下の水路配置と地下水涵養を行い、杜の都仙台の水環境を支える近世より継承された貴重な土木遺産である。	東北	宮城県仙台市青葉区	1624 年(寛永年間)から 1703 年(元禄年間), 1957(昭和 32)年～1961(昭和 36)年に補修
5	十三湖水戸口突堤	地域を苦しめた度重なる水戸口閉塞による浸水被害を解消し、岩木川の治水と津軽平野の発展の礎となった貴重な土木遺産である。	東北	青森県五所川原市十三	1946(昭和 21)年

6	鳴子ダム	複雑なカルデラ地形の地に外国の技術者を招かずに日本の技術者だけで建設した我が国初の本格的100m級アーチ式コンクリートダムである。	東北	宮城県大崎市	1957（昭和32）年
7	わたらせ渓谷鐵道関連施設群	近代日本の産銅輸送の根幹を担った足尾鐵道草創期の息吹と情趣を伝える施設群で、地域コミュニティの要として継承される土木遺産である。	関東	群馬県、栃木県	1912（大正元）年～1930（昭和5）年
8	響 橋	幻のオリンピックと呼ばれる第12回東京大会マラソン折返し地点に築造され、荘厳な橋梁デザインは当時の証左となる貴重な土木遺産である。	関東	神奈川県横浜市の鶴見区	1941（昭和16）年
9	江連用水旧溝 宮裏両樋	江戸期に開設された灌漑用水の分水施設で、明治期に煉瓦造りに改築され、地域の貴重な歴史的資産として維持管理されてきた施設である。	関東	茨城県下妻市本宗道	1900（明治33）年
10	南高橋	昭和7年に架けられた都内最古の鋼鉄トラスの道路橋であり、本体に明治時代の旧両国橋の一部が使用されている貴重な土木遺産である。	関東	東京都中央区	1932（昭和7）年
11	信濃川 千手水力発電所施設群	鐵道網の電化を目的として昭和初期に建造され、現在も鐵道輸送を支える施設群である。	関東	新潟県十日町市	1938（昭和13）年～1954（昭和29）年
12	小山樋門	明治31年に建設された3連アーチの煉瓦造水門で、千葉県内で現存する煉瓦造水門の中で最も古く、歴史的価値のある構造物である。	関東	千葉県松戸市	1898（明治31）年
13	湘南港	第18回オリンピック東京大会において築造され、市民に開かれた海洋文化の発展に大きく寄与し、五輪とともに歩む貴重な土木遺産である。	関東	神奈川県藤沢市	1964（昭和39）年
14	榎戸新田橋りょう	明治初年から進められた新開地への鐵道の開設に伴い建造された県下最初期の煉瓦造アーチ橋で、地域開発の記念碑となる土木遺産である。	関東	千葉県八街市	1897（明治30）年
15	向野橋	明治期に京都保津峡に架けられた当時最大スパンの典型的米国製トラス橋が、昭和初期に跨線橋として移設転用された希少な土木遺産である。	中部	愛知県名古屋市中村区、中川区	1930（昭和5）年／本体は1899（明治32）年
16	名古屋港跳上橋	昭和初期に名古屋港内に設けられた鐵道可動橋で、日本に現存する数少ない近代跳開橋の1つである。	中部	愛知県名古屋市の港区	1927（昭和2）年
17	宮川堤	近世に伊勢の地を守るため築かれた宮川下流右岸の堤防で、本堤と刎出しと堤外植樹等で構成された現代にも治水上機能する土木遺産である。	中部	三重県伊勢市の中島	17世紀～18世紀
18	三重高等農林學校農場の給水井戸	三重大学農学部の前身である三重高等農林學校の設立後に農場の土地改良のために教官と学生が協力して整備した灌漑施設である。	中部	三重県津市の栗真町屋町	1924（大正13）年
19	百寿橋	地元住民の寄付を受け、郡山城中堀に架けられたRC橋で、特徴的な高	関西	奈良県大和郡山市	1936（昭和11）年

		欄等をもち、域内道路として活用されている貴重な土木遺産である。			
20	旧国鉄五新線（未成線） 鉄道構造物群	紀伊山地を鉄道で貫く大構想に駆けた先人の志を未来に語り継ぎ、沿線住民にも親しまれている貴重な土木遺産である。	関西	奈良県五條市	1959（昭和34）年（五条～城戸間）
21	火ノ山砲台	関門海峡防備のために明治期に築造された下関要塞のうちの一つで、現在でもその姿を留めている貴重な土木遺産である。	中国	山口県下関市	1891（明治24）年
22	宮内川青石護岸	伊予の青石を石材とした矢羽根積の護岸であり、青石が織りなす綾が美しい土木遺産である。	四国	愛媛県八幡浜市保内町川之石	昭和初期
23	佐井川橋	大正期に建設された初期の鉄筋コンクリート桁橋であり、本格的な井桁状の橋脚や円形模様の高欄を有する貴重な地域の土木遺産である。	西部	福岡県築上郡吉富町直江	1920（大正9）年
24	始良橋	昭和初期に建設された橋長 150m を超える鉄筋コンクリート桁橋であり、珍しい紋様の閉塞高欄を有する貴重な地域の土木遺産である。	西部	鹿児島県始良市	1932（昭和7）年
◆2017（平成29）年度					
1	滝の上発電所施設群	「石炭産業の電力化と高圧送電に応え、落差のある岩盤に堅坑を設けた落水方式を採用し、改修を経て地域に貢献し続ける水力発電所」である。	北海道	北海道夕張市	1925（大正14）年（平成28年改修）
2	網走橋	「街の発展に伴い橋の機能と景観を保った拡幅がなされ、八十年以上に渡り国道橋として活躍する、北海道内現存最古のゲルバー鉄桁橋」である。	北海道	北海道網走市	1934（昭和9）年（昭和49年改修）
3	聖橋	「関東大震災の復興橋梁として、土木と建築各々の大家となった山田守と成瀬勝武の設計により建設された鉄骨コンクリートアーチ橋」である。	関東	千代田区神田駿河台四丁目～文京区湯島一丁目	1927 年（昭和2 年 3 月）
4	京浜港ドック	「ドライドックとしての希少性の他、製作ケーソン数は同方式で国内最大であり、近代横浜港の整備に大きく貢献した土木遺産」。	関東	神奈川県横浜市中区山内町	1926（大正15）年
5	J R 上越線清水トンネル 関連施設群	「トンネル掘削技術の進歩と貴重なループ線を今に伝え、谷川連峰を貫通して首都圏と日本海側を最短距離で結ぶ貴重な土木遺産」である。	関東	群馬県みなかみ町～新潟県湯沢町	1931（昭和6）年：清水トンネル等 1967（昭和42）年：新清水トンネル等
6	万内川砂防堰堤群・ 日影沢床固工群	「現地産の石を極めて精巧に組んで作られた石積構造の堰堤であり、周囲の自然と調和した美しさを持つ貴重な土木遺産」である。	関東	新潟県妙高市	1921（大正10）～1934（昭和9）年
7	亀甲橋	「昭和 8 年に架橋された県内では珍しい 3 連の下路式アーチ鋼橋であり、秩父往還の要所として地域で親しまれてきた土木遺産」である。	関東	山梨県山梨市	1933（昭和8）年
8	東武鉄道渡良瀬川橋梁・ 砥川橋梁	「英国製から米国製への移行期以降の輸入トラス 2 橋で、細身の鋼材の繊細さと煉瓦および石積による橋脚が歴史的風格を醸す土木遺産」。	関東	渡良瀬川橋梁：栃木県佐野市～群馬県館林市	渡良瀬川橋梁：1914（大正3）年頃 砥川橋梁：1896（明治29）年製、1946（昭和

		産」である。		砥川橋梁： 栃木県日光市	21) 年転用
9	里川水系水力発電所群	「茨城県で最初に電源開発された水系にかかる発電所群で地域の近代化に貢献すると共に当時の建設技術を今に伝える貴重な土木遺産」である。	関東	茨城県常陸太田市、日立市	1908(明治 41) 年～1926(大正 15) 年
10	玉川橋	大正 10 年に完成した清流・都幾川に架る埼玉県最初の R C アーチ橋であり、景観上も優れた貴重な土木遺産である。	関東	埼玉県ときがわ町	1921(大正 10) 年竣工, 1987(昭和 62) 年度高欄改装
11	緑橋防潮水門	「熊野灘に注ぐ市木川の河口部分に建設された防潮堤と橋を兼ねた、石材と煉瓦による構造物で、高潮被害から地域を守り続けた施設」である。	中部	三重県南牟婁郡御浜町市木	1918(大正 7) 年
12	駿府御囲堤(薩摩土手)	「徳川家康による駿府城拡張工事に伴い、駿府の町を安倍川の洪水から守るために設置され、今でも洪水防御機能を有した貴重な御囲堤」である。	中部	静岡県葵区井宮町妙見下	1600(慶長年間) 年頃
13	往生地浄水場	「長野市の水道創設事業で建設された市内最古の浄水場であり、後の水道普及に大きく貢献し、建設後 100 年経った今も稼働する施設」である。	中部	長野市大字西長野往生地 1 2 2 0 番地 2	1915(大正 4) 年
14	檜野埼灯台	「英国技師ブラントンによる石造洋式灯台であり、地元古座川産の宇津木石を用いたわが国初の回転式洋式灯台」である。	関西	和歌山県東牟婁郡串本町大島檜野	1870(明治 3) 年
15	奈良市水道関連施設群	「意匠的特長に富む高地区配水池、奈良阪計量器室などいずれも創設時の姿を残し、一部は店舗に転用され現存する貴重な水道遺産群」である。	関西	奈良県奈良市、京都府木津川市	1922(大正 11) 年 市坂ポンプ所のみ 1957(昭和 32) 年
16	鵬雲洞・毛見隧道	「交通の難所、船尾山を貫通すべくそれぞれ路面電車軌道及び県道の一部として開削され、紀州青石を用いた秀逸な意匠をもつ土木遺産」である。	関西	和歌山県和歌山市毛見	鵬雲洞:1911(明治 44) 年 毛見隧道:1925(大正 14) 年
17	前河原橋りょう	「独自規格の煉瓦によって構築され、スプリングラインに石材の挿入された特徴的構造をもつ歴史的鉄道橋」である。	関西	滋賀県米原市飯(い)	1889(明治 22) 年
18	竹野川橋りょう・田君川橋りょう	「国内で 3 連現存するラチス桁のうちの 2 連であり、架設当時の橋梁工事事情を現代に伝える貴重な土木遺産」である。	関西	竹野川橋りょう:兵庫県豊岡市 田君川橋りょう:兵庫県美方郡新温泉町	竹野川橋りょう:1911(明治 44) 年(ラチス桁部分は 1920(大正 9) 年) 田君川橋りょう:1912(明治 45) 年(ラチス桁部分は 1922(大正 11) 年)
19	大阪京都間鉄道煉瓦拱渠群	「本区間内(明治 10 年全通)に設けられた煉瓦造の鉄道橋及び隧道群であり、欠円アーチやねじりまんぼなどの特徴をもつ土木遺産群」である。	関西	京都府西京区(馬場丁川) 長岡京市(七反田、	1875(明治 8) 年(樋口・円妙寺・馬場丁川暗渠、後藤川避溢橋、藪ヶ花跨道橋) 1876(明治 9) 年(尻

				老ヶ辻) 乙訓郡大山 崎町 (円妙 寺) 大阪府高槻 市 (後藤川, 奥田ノ端, 藪ヶ花) 大阪府茨木 市 (門ノ前, 尻戸三) 大阪府大阪 市北区 (樋 口暗渠)	戸三避溢橋, 門ノ前跨 道橋, 奥田ノ端暗渠, 七反田・老ヶ辻拱渠)
20	金慶橋	「戦後の有料道路に架設された道路橋であり, 構造用強度材としてアルミニウム合金が使用された貴重な土木遺産」である.	関西	神戸市北区 有馬町字孫 七 1 7 6 2 - 2	1961 (昭和 36) 年
21	山陰道の石畳 一駟馳山峠, 蒲生峠	「通行が困難であった峠道を改良するために施された石畳で, 当時の様子が偲ばれる」土木遺産である.	中国	鳥取県岩美 町	1812 (文化 9) 年【駟 馳山峠】, 1892 (明治 25) 年以前【蒲生峠】
22	府能隧道	「佐那河内村・神山町と徳島市との物流・交流を支えてきた現役の隧道で, 煉瓦積みと飾り石など丁寧な意匠が施された貴重な土木遺産」である.	四国	徳島県名東 郡佐那河内 村, 徳島県 神山町	1923 (大正 12) 年
23	中島川変流部護岸	「明治政府の 3 番目の大規模港湾事業である第 1 次長崎港改修事業の唯一の遺構で, デ・レーケが調査・設計に携わった貴重な土木遺産」である.	西部	長崎県長崎 市	1889 (明治 22) 年 (平 成 28 年一部改修)
◆2018 (平成 30) 年度					
1	山線鉄橋	千歳市支笏湖温泉地区の千歳川に移設された英国製の 200 フィートピン構造ダブルワーレントラス橋で, 道内現存最古の明治期の鋼橋である.	北海道	北海道千歳 市支笏湖温 泉	1899 (明治 32) 年, (1924 (大正 13) 年移 設)
2	苫小牧港大規模掘込港 湾施設	漂砂対策に基づく防波堤と長大な水路からなる世界初の掘込式港湾を砂浜と原野に築き, 新たな臨海工業地帯の開発を実現した施設である.	北海道	北海道苫小 牧市	1963 (昭和 38) 年: 掘込 水路供用開始 1964 (昭和 39) 年度: 西 防波堤完成 1967 (昭和 42) 年度: 東 防波堤完成
3	油壺験潮場旧建屋	我が国の初期の測量技術を今に伝え, 日本の標高の基準である「日本水準点」の管理に重要な役割を果たしてきた貴重な土木遺産である.	関東	神奈川県三 浦市三崎町	1894 (明治 27) 年
4	北用水樋門	現存する茨城県最古の煉瓦造りの樋門であり, 小貝川周辺地域で, 当時盛んに行われた利水事業に関し, 今に残る唯一の土木構造物である.	関東	茨城県北相 馬郡利根町	1900 (明治 33) 年
5	横浜港ハンマーヘッド クレーン	我が国のクレーンによる荷役の先駆けとして堅固な基礎により建設以来百年以上も使用され, 横浜港の基礎を築いた貴重な土木遺産である.	関東	神奈川県横 浜市	1914 (大正 3) 年
6	上毛電気鉄道関連施設 群	地域の発展を支え, カスリーン台風の被害から早期に復旧し, 地域の復	関東	群馬県前橋 市, みどり	1928 (昭和 3) 年

		興に寄与した歴史を今に伝える貴重な土木遺産である。		市、桐生市	
7	鬼怒川発電所 黒部ダム	大正期初頭に建造された本邦初の発電用重力式 C ダムで、近代化を牽引した土木技術の精華を伝える、湾曲線が壮麗・重厚な土木遺産である。	関東	栃木県日光市	1913(大正 2)年、1989(平成元)年改造
8	村田川橋りょう	明治 45 年に米国から輸入し架設された国鉄東海道本線の大井川橋りょうから、昭和 38 年に転用し再架設した、歴史的な構造物である。	関東	千葉県千葉市中央区～市原市	1912(明治 45)年(昭和 38 年現位置に架設)
9	小河内ダム	昭和 32 年に完成した貯水容量約 1 億 8540 万 m ³ を誇る国内最大の水道専用ダムであり、東京の安定給水を支える重要な土木遺産である。	関東	東京都西多摩郡奥多摩町原 5 番地	1957(昭和 32)
10	千貫樋	2 連のアーチ型煉瓦造樋管で県内に現存する同型施設は希少であり、当時の技術と工法を示す貴重な土木遺産である。	関東	埼玉県 さいたま市桜区	1904(明治 37)年
11	宇津ノ谷隧道群	ひとつの峠において、日本で 2 番目にできた明治の近代隧道をはじめ、大正、昭和の各時代にそれぞれ建設された 3 つの隧道である。	中部	静岡県静岡市、藤枝市	1876(明治 9)年 1930(昭和 5)年 1959(昭和 34)年
12	上麻生発電所取水堰堤	大正末期以降の濃尾の電力需要に対応して建設された、日本現存最古のローリングゲートの美しい発電用取水堰堤である。	中部	岐阜県加茂郡白川町	1926(大正 15)年
13	御成橋	昭和初期に沼津市街地から伊豆の遊覧地へ向かう観光道路の象徴的地点として再建されたバランススタイルアーチの鋼橋である。	中部	静岡県沼津市	1937(昭和 12)年
14	辰巳用水関連施設群	小立野台地系を巧みに利用した隧道と開渠・暗渠によって金沢城内外を潤す水路と、横穴・管理道・伏越・専用水路などの関連施設群である。	中部	石川県金沢市	1632(寛永 9)年以降
15	阪堺電気軌道と関連施設群	現在も稼働する明治中～末期に整備された路面電車と、その沿線の大和川橋梁、住吉駅など戦前の秀逸な土木遺産により構成される貴重な土木遺産である。	関西	大阪府大阪市～堺市	明治 33(1900)年 明治 44 年(1911)年 昭和 3 年(1928)年
16	阪神・淡路大震災による被災構造物群	平成 7 年 1 月 17 日に発生した兵庫県南部地震により、神戸市内の被害を受けた主要な被災構造物の保存を通じて、震災の記憶を語り 続けるため、これら遺構を土木遺産とするものである。	関西	兵庫県神戸市	平成 7(1995)年 [被災年]
17	中之島 S 字橋	周辺の橋梁との関係性も重視し景観に配慮されているほか、初期の曲線桁橋として解析理論の実用化を図った例であり、その後の橋梁技術の発展の礎となった貴重な土木遺産である。	関西	大阪府大阪市	昭和 39(1964)年
18	江崎灯台	英国人技師ブラントンの設計により日本で 8 番目に建設された洋式灯台で、現存中 3 番目に古い石造りの灯台である。	関西	兵庫県淡路市	明治 4(1871)年
19	近鉄道明寺線鉄道構造物群	開業以来 120 年が経過した現在も、開業当初の鉄道構造物が現役で使	関西	大阪府柏原市～藤井寺	明治 31(1898)年

		用され、なおかつ良好に存在する貴重な土木遺産である。		市	
20	業平橋	大正期からの長きにわたって東西交通を支え、意匠的にも優れているとともに、時代に応じた改修を加えつつ昔の面影を保ちながら現在に至る貴重な土木遺産である。	関西	兵庫県芦屋市	大正 14(1925)年
21	呉鎮守府地下施設群	戦時中にも関わらず良質な材料で築造され、太平洋戦争末期には重要な役割を担った施設で、保存状態も良好な貴重な土木遺産である。 ※ 2020 (令和 2) 年に名称変更 (旧名: 旧呉鎮守府防空指揮所および地下壕)	中国	広島県呉市	昭和 20(1945)年頃
22	吉野川橋	吉野川に架かる橋長 1070.2m、17 径間の鋼ワーレントラス橋で、増田淳が設計。徳島県の発展の礎として、竣工当時の姿を残す貴重な橋梁である。	四国	徳島県徳島市	昭和 3(1928)年
23	曲渕ダム	神戸・長崎以外では初めて高さ 30m を超えた水道専用ダムであり、福岡市水道創設の水源として現在も人々の生活を支える土木施設である。	西部	福岡県福岡市早良区	1923(大正 12)年
24	平熊の石洗越	農業用水路内への谷川の流入を防ぐために作られた石造構造物で、災害防御用としては全国で唯一の石アーチ橋である。	西部	鹿児島県霧島市隼人町	1777(安永 6)年以前
◆2019 (令和元) 年度					
1	岩松ダム	十勝川本流の豊かな水量を生かした電源開発として初めて建設され、北海道東部地域の産業発展に大きな貢献をしている発電用ダムである。	北海道	北海道上川郡新得町	1942 (昭和 17) 年
2	旧運河橋	鋼材の節約や軽量化、景観の向上を目標として新技術導入に挑んだ先人の気概を示す北海道で最古、国内でも最初期の全溶接単純鋼鈑桁橋である。	北海道	北海道石狩市	1936 (昭和 11) 年 (昭和 56 年移設)
3	旧浦村鉄橋	当初、鉄道橋として設置され、後に 3 つの道路橋として分割整備し、うち 2 橋は、120 年以上現役で活躍している貴重な土木遺産である。	関東	新潟県長岡市	1898 (明治 31) 年
4	日本水準原点と日本水準原点標庫	日本の高さ (標高) の基準として明治 24 年に陸地測量部により創設された原点標とそれを保護するための建築史上貴重な石造施設である。	関東	東京都千代田区永田町 1 丁目 (国会前庭北地区憲政記念館構内)	1891 (明治 24) 年
5	鹿島港整備関連施設群	鹿島臨海工業地帯の拠点であり、世界有数の掘込型でもある鹿島港。その整備において、厳しい自然との対峙や住民の思いを今に伝える貴重な施設である。	関東	茨城県神栖市	1963(昭和 38)年:船溜南防波堤 1968(昭和 43)年:居切島 1969(昭和 44)年:鹿島港開港
6	滝の鼻橋	都幾川に架かる鋼製のワーレントラス橋梁、山型鋼をリベットで結合したトラスを用いている点の特徴	関東	埼玉県比企郡ときがわ町	1925 (大正 14) 年

		の長さ 21m の橋である。			
7	土合砂防堰堤	砂防を目的として湯松曾川に建設された群馬県初のアーチ式堰堤。谷川岳と一体となった景観を形成する貴重な土木遺産である。	関東	群馬県利根郡みなかみ町	1941 (昭和 16) 年
8	旧熱海線鉄道施設群	大正から昭和にかけて建設。関東大震災等幾多の災害を克服した、世界に誇る土木技術の歴史を今に伝える貴重な土木遺産である。	関東	神奈川県小田原市、静岡県熱海市・函南町	1934 (昭和 9) 年
9	旧国鉄足利駅舎	昭和初期建造の現役駅舎で現今の足利の礎を築いた交通・物流基盤施設であり、昭和モダンの風情と煌めきを留める歴史的建造物である。	関東	栃木県足利市	1933 (昭和 8) 年
10	上蔵砂防堰堤	戦後に花崗岩切石の丁寧な練石積みによりコンクリートを充填して全て人力で造られた大規模なアーチダム本堤とその副ダムの砂防施設である。	中部	長野県下伊那郡大鹿村	本堰堤：1954(昭和 29) 年 副ダム：1967 (昭和 42) 年
11	忠節橋	岐阜市街地への重要なアクセス部に、河川大改修と戦争終結するや否や建設された象徴的なブレーストリップバランストアーチ鋼橋である。	中部	岐阜県岐阜市	1948 (昭和 23) 年
12	揖斐大橋	岐阜・大垣間をつなぐ岐垣国道が失業対策事業として建設された際に、長良大橋とともに建設された 6 連曲弦ワーレントラス橋である。	中部	岐阜県大垣市 岐阜県安八郡安八町	1933 (昭和 8) 年
13	賀茂川・鴨川河川構造物群	戦前、景観に配慮し設計され、我が国有数の河川景観と親水空間創出に貢献した、貴重な土木遺産である。	関西	京都府京都市	1947 (昭和 22) 年 (ただし左岸中流部は暫定整備状態。当該範囲は、1999 (平成 11) 年に改修工事完了)
14	嵯峨野観光鉄道の構造物群	京都鉄道の敷設に際して建設されたもので、格調高い意匠性ととともに、観光資源としても活用されている優れた土木遺産である。	関西	京都府京都市、亀岡市	1899 (明治 32) 年
15	関西本線三郷～河内堅上間橋梁群	関西本線三郷～河内堅上間橋梁群を構成する第 3 大和川橋梁と第 4 大和川橋梁は、大規模な地すべり地を迂回するために特異な架構形態を採用した希少な鉄道構造物である。	関西	奈良県生駒郡三郷町、奈良県北葛城郡王寺町、大阪府柏原市	1932(昭和 7)年
16	戦前竣工の京都市児童公園群	軸線配置された施設群(特徴的なラジオ塔、水呑み場など)がヴィスタを形成し、地域市民に親しまれ続けてきた貴重な土木遺産である。	関西	京都府京都市	1935 (昭和 10) 年～ 1942 (昭和 17) 年
17	平野橋	第一次都市計画事業で東横堀川に架けられた橋梁群の 1 つで、世界で初めて逆ランガー形式を採用して洗練された意匠を実現した土木遺産である。	関西	大阪府大阪市	1935(昭和 10)年
18	逆瀬川の砂防設備	赤木正雄によるわが国で最初の流路工の事例であり、その後の補修においても当初のデザインをよく踏襲した優れた土木遺産である。	関西	兵庫県宝塚市	1934(昭和 9)年頃
19	七川ダム	常用洪水吐きに国内最古の高圧スルースゲートを設置した多目的重力式コンクリートダムで、戦後のダム史上極めて価値ある土木遺産で	関西	和歌山県東牟婁郡古座川町	1956(昭和 31) 年

		ある。			
20	大砂川トンネル	天井川である大砂川をくぐる石・煉瓦造の鉄道トンネルで、川越えの苦労を偲ばせる、明治の鉄道交通の近代化などを象徴する貴重な土木遺産である。	関西	滋賀県湖南市	1889(明治 22)年
21	琵琶湖疏水鴨川運河施設群	橋梁などが群として存在する独特な景観を造り出しているところに大きな特徴がある土木遺産である。	関西	京都府京都市	1894(明治 27)年、他
22	上津屋橋	わが国屈指の大規模な木造流れ橋で、コスト縮減を図りつつ風情ある景観を保つ取り組みが続けられている優れた土木遺産である。	関西	京都府八幡市、久世郡久御山町	1953(昭和 28)年
23	用郷林道 七曲がり	若き技術者と地元石工による建設のエピソードが語り継がれた石積のつづら折り林道で、建設当時のまま残っている貴重な土木遺産である。	中国	岡山県新見市	明治 45 (1912) 年
24	大原橋	昭和 9 年の室戸台風の災害復旧橋梁として架橋された戦前最長の R C ローゼ桁橋である。	中国	岡山県岡山市	昭和 17 (1942) 年
25	麻生堰	野中兼山によってつくられた曲線斜め堰で、建設当時の姿のまま現役で活用されている貴重な土木遺産である。	四国	高知県四万十市麻生	江戸時代前期
26	上椎葉ダム	大調整能力を持つ水力発電用ダムとしては日本初の大規模アーチ式ダムで、戦後復興期に急増する九州の電力需要を支える上で大きな役割を果たした現役の土木構造物である。	西部	宮城県東白根郡椎葉村	1955 (昭和 30) 年
27	川畑井堰	宝暦年間に築造された幅 18m、高さ 3m を有する切り石による階段状の取水堰堤で、近世由来の取水堰堤としては全国で唯一と考えられる貴重な土木遺産である。	西部	鹿児島県南さつま市	宝暦年間 (1751 ~ 1763)
28	若松港築港関連施設群	筑豊炭田からの石炭の積出基地として開発整備され、大正期には日本最大の石炭積出港として繁栄し、日本の近代化に大きく貢献した。	西部	福岡県北九州市	1890 (明治 23) 年 ~ 1935 (昭和 10) 年頃
◆2020 (令和 2) 年度					
1	金山ダム	中空重力式構造やフロート式取水塔等先駆的技術を採用。北海道総合開発計画の下に建設された、治水・農業・水道・発電用多目的ダムである。	北海道	北海道南富良野町	1967 (昭和 42) 年
2	神居大橋	景勝地神居古潭に架かる吊橋で、当初の木製補剛トラスの形式を継承しつつ改修され、かつての木橋の姿を今に伝える貴重な土木遺産である。	北海道	北海道旭川市	1938 (昭和 13) 年 (1958 (昭和 33) 年, 1972 (昭和 47) 年, 1981 (昭和 56) 年等, 木部材等について改修)
3	馬淵川放水路	多くの洪水を引き起こしてきた大きく湾曲した河口部を改善し、北東北有数の産業都市である八戸市の発展の礎となった貴重な土木遺産である。	東北	青森県八戸市	1950 (昭和 25) 年
4	寺坂橋	現在利用されている道路橋として	関東	埼玉県本庄	1889(明治 22)年

		は埼玉県内最古の石造アーチ橋であり、竣工時の様相を残す橋として貴重な選奨土木遺産である。		市若泉 1 丁目 60 番 2 地先	
5	鷺石橋	群馬県に現存する鋼プラットラス形式としては唯一のもので、谷川連峰を背景に利根川清流に調和の取れた景観をかもしだす土木遺産である。	関東	群馬県沼田市	1929 (昭和 4) 年
6	表参道ケヤキ並木道 (赤坂杉並線)	表参道ケヤキ並木道 (赤坂杉並線) は、1921 年に明治神宮の参道として整備され、ケヤキ並木を備えた広幅員街路のモデルとなった土木遺産である。	関東	東京都渋谷区神宮前 1 丁目～港区北青山 3 丁目	1921(大正 10)年
7	日光いろは坂 (第 1・第 2)	リゾート開発の萌芽期を支え、また本邦初の県営事業であるとともにわが国の先駆的観光道路の記念碑となる重要な土木遺産である。	関東	栃木県日光市	第 1 : 1954 (昭和 29) 年 第 2 : 1965 (昭和 40) 年
8	佐伯橋	山梨県内では数少ない戦前完成の上路式鋼ソリッドリブ・アーチ橋であり、都留市の歴史風景の一つとして親しまれる貴重な土木遺産である。	関東	山梨県都留市田原 4 丁目～十日市場	1927 (昭和 2) 年
9	栃ヶ原地すべり第 1 号集水井	日本初の集水井として建設され、当該工法が全国に普及する契機となった貴重な土木遺産である。	関東	新潟県柏崎市	1955 (昭和 30) 年
10	横浜港新港埠頭 関東大震災復興岸壁群	関東大震災による壊滅的な被害を、大正 12 年 11 月から大正 14 年 3 月という短期間で復旧した、日本で初めての近代港湾復旧事業である。	関東	神奈川県横浜市中区新港 1 丁目	1925 (大正 14) 年
11	秦野・曾屋水道施設群	住民主体の簡易水道としては全国初めてであり、明治・大正・昭和と続く、我が国の水道技術の推移を今に伝える貴重な土木遺産である。	関東	神奈川県秦野市水神町	ロ号水源開口部 : 1888(明治 21)年 (1990(平成 2)年改修) ハ号水源開口部 : 1914(大正 3)年 (1990(平成 2)年改修) 大正期配水池・ポンプ室 : 1925(大正 14)年 昭和期配水池 : 1960(昭和 35)年 ポンプ、上水道用陶管等展示物 : 1926(大正 15)年、他
12	常盤橋	関東大震災後に架設され、日本近代橋梁史、特に東京中小河川におけるデザイン思想に重要な役割を果たしている二連アーチの橋である。	関東	東京都千代田区大手町 2 丁目～中央区日本橋本石町 1 丁目	1926 (大正 15) 年
13	黒部ダム	戦後の電源体制を支えた水力発電所用の大規模貯水施設であり、トンネル、軌道など関連施設を含め、難工事を経て完成した土木遺産である。	中部	富山県中新川郡立山町、黒部市、長野県大町市	1963(昭和 38)年
14	狩野川放水路	狩野川流域の水害防止のために建設省が三大放水路の一つとして施設した人工水路で、一部トンネル構造を有する治水の要となる施設である。	中部	静岡県伊豆の国市、沼津市	1965(昭和 40) 年

15	中川運河	名古屋の工業地において港湾と鉄道を連絡する主要動線を確保するため都市計画事業で建設され、経済発展を支えた貴重な土木遺産である。	中部	愛知県名古屋港区名古屋港～中川区旧国鉄笹島貨物駅	1932（昭和7）年
16	五六閘門	牛牧輪中における下流からの逆水を防ぐ明治末に竣工した人造石構造の樋門で、より広域な後代の治水にも機能している貴重な土木遺産である。	中部	岐阜県瑞穂市牛牧	1907（明治40）年
17	ビル・高架道路・地下鉄駅の一体整備（船場センタービル、大阪市道築港深江線、阪神高速道路、Osaka Metro 中央線本町駅・堺筋本町駅）	小規模な専門卸売店が密集する船場地区で、店舗ビルと高架道路・地下鉄駅を一体整備するという卓抜したアイデアを実現した施設である。	関西	大阪府大阪市中央区	1970（昭和45）年
18	大阪狭山市域の南海電鉄煉瓦造暗渠群	南海電鉄高野線狭山～大阪狭山市駅間の開通時に整備された煉瓦造暗渠群。稀少なねじりまんぼ等が残り地域にも親しまれている。	関西	大阪府大阪狭山市	1898（明治31）年
19	阪急電鉄神戸市内線高架橋	阿部美樹志が設計した RC 高架橋で、優美な曲線をもつ洗練された造形と、阪神・淡路大震災にも耐えた堅牢さを備えている。	関西	兵庫県神戸市灘区～中央区	1936（昭和11）年
20	姫路市営モノレール遺構群	博覧会会場の手柄山中央公園～姫路駅間 1.6km を結んだ全国初となる市営モノレールの遺構群。戦後姫路の躍進と大志の結集体である。	関西	兵庫県姫路市	1966（昭和41）年
21	豊岡市水道の創設期施設	旧城崎町と旧豊岡町の上水道創設期に建設された築百年を迎える施設であり、当時の温泉産業、生活衛生に貢献した土木遺産である。	関西	兵庫県豊岡市	荒船浄水場：1920（大正9）年 旧豊岡町水道施設：1922（大正11）年
22	笹生川ダム	三次元的応力解析法によるダム本体の構造設計により、安全性の確保とダム堤体積の最小化を実現させた我が国最初のダムである。	関西	福井県大野市本戸	1957（昭和32）年
23	出合橋	三段峡の玄関口に架橋された優美なデザインの RC タイドアーチ橋で、地域のランドマークとして住民にも親しまれている土木遺産である。	中国	広島県安芸太田町	1935（昭和10）年
24	三架橋	琴弾八幡宮の門前町に架橋された3連のアーチが優美な弧を描く RC タイドアーチ橋である。	四国	香川県観音寺市	1935（昭和10）年
25	八代の石造干拓施設群	全国屈指の干拓事業である八代干拓において建設された樋門群や堤防によって構成されている貴重な土木遺産である。	西部	熊本県八代市	1816（文化13）年～1938（昭和13）年
26	宮内原用水の二穴式隧道群	二つの隧道を並置する希少な構造を有する現役の施設で、江戸期の土木技術を現代に伝える土木遺産である。	西部	鹿児島県霧島市隼人町	1716（正徳6）年
◆2021（令和3）年度					
1	糠平ダム	当時最高水準の国産大型機械採用や前例のない蒸気養生により、寒地での短期施工を実現した北海道内の電力安定を支える重力式ダムである。	北海道	北海道河東郡上士幌町	1956（昭和31）年

2	弾丸道路(札幌・千歳間道路)	積雪寒冷地や自動車高速走行のための先駆的な設計基準を導入し、北海道に限らず全国の道路改良の指標となった土木遺産である。	北海道	北海道札幌市、北広島市、恵庭市、千歳市	1953(昭和28)年
3	北上川上流総合開発ダム群	五大ダムは、北上川流域の治水を最大の目的にしながら、発電・灌漑用水・上水などの機能を併せた多目的ダム群として地域を支える土木構造物群である。	東北	田瀬ダム：岩手県花巻市 湯田ダム：岩手県和賀郡西和賀町 四十四田ダム：岩手県盛岡市 御所ダム：岩手県盛岡市 石淵ダム：岩手県奥州市	田瀬ダム：1954(昭和29)年 湯田ダム：1964(昭和39)年 四十四田ダム：1968(昭和43)年 御所ダム：1981(昭和56)年 石淵ダム：1953(昭和28)年
4	只見線鉄道施設群	福島・新潟両県の地域資源の活用や豪雪地帯を結ぶライフラインとして、その機能美とともに四季折々の風景を創生する貴重な土木遺産群である。	東北	福島県、新潟県	1925(大正14)年～1971(昭和46)年
5	渡良瀬川上流域足尾の砂防堰堤群	大規模な土石流災害の軽減・抑止を目的とした本邦最大級施設を含む砂防堰堤群。環境問題に視点を置いて未来への思考を誘う重厚な土木遺産である。	関東	栃木県日光市	1940(昭和15)年～1970(昭和45)年
6	円上寺隧道	日本最古級のコンクリート造の河川トンネルで、建設から100年以上経過する今も地域の防災に寄与し続けている貴重な土木遺産である。	関東	新潟県長岡市	1915(大正4)年
7	塔之沢発電所と関連施設	当時最新の発電設備や国産技術を多用するなど、明治期における水力発電の基礎を作り、箱根の観光を支えてきた貴重な土木遺産である。	関東	神奈川県足柄下郡箱根町	1909(明治42)年
8	六郷水門	今もなお水門としての機能を保ち、多摩川改修工事や六郷用水の歴史を物語る地域のシンボルとなっており、貴重な土木遺産である。	関東	東京都大田区	1931(昭和6)年
9	栗尾沢砂防施設群	作られた大正5年当時の東日本では事例が少ない切石積の砂防堰堤など、砂防事業の歴史や技術を今に伝える貴重な土木遺産である。	関東	埼玉県秩父郡小鹿野町	2基：1916(大正5)年 6基：1933(昭和8)年 1基：1934(昭和9)年 1基：1935(昭和10)年
10	東山円筒分水槽	永年水不足に悩まされてきた片貝川流域へ合理的かつ公平に分水するため川を潜るサイフォン終端に設けられた美しい円形の分水施設である。	中部	富山県魚津市	1954(昭和29)年
11	彩雲橋	昭和初期の犬山城附近の観光開発にともない木曽川へ流れ込む郷瀬川上に架けられた、鉄道レールを用	中部	愛知県犬山市	1929(昭和4)年

		いた瀟洒な2連アーチ橋である。			
12	殿橋	乙川に架かる12径間連続RC桁橋で、昭和2年竣工以来補修を加えながらもスレンダーな形姿を保つ岡崎市街のシンボルの遺産である。	中部	愛知県岡崎市	1927(昭和2)年
13	山川橋	川辺ダム建設に際して昭和12年にダム湖に架けられたゲルバー式RCラーメン橋で、永年地域で愛されてきた土木遺産である。	中部	岐阜県加茂郡川辺町	1937(昭和12)年
14	生駒鋼索線と生駒山上遊園地飛行塔	わが国私鉄に見られる観光施策を証示する最古の施設であり、先例のない中で独自に開発したものととして貴重な現役の土木遺産である。	関西	奈良県生駒市	【近畿日本鉄道生駒鋼索線】 宝山寺1号線：1918(大正7)年 宝山寺2号線：1926(昭和元)年 山上線：1929(昭和4)年 【生駒山上遊園地飛行塔】1929(昭和4)年
15	津守下水処理場1系水処理施設	稼働当初の躯体構造を維持しつつ、80年以上に渡り家庭や工場などから排出される汚水を処理し続けている貴重な現役の土木遺産である。	関西	大阪府大阪市西成区	1940(昭和15)年
16	谷瀬の吊り橋	安全安心を希求する地区住民の思いにより建設され、その後60年以上にわたり供用され続け、現在は観光資源となっている土木遺産である。	関西	奈良県吉野郡十津川村	1954(昭和29)年
17	琵琶湖疏水(第1, 第2, 分線ほか)	明治期に建設され、多目的利用によって京都の近代化に大きく貢献した。技術や意匠の質も高く、不動の歴史的価値を有する土木遺産である。	関西	滋賀県大津市、京都府京都市山科区、左京区	琵琶湖疏水(第1)：1890(明治23)年 琵琶湖疏水(第2)：1912(明治45)年 琵琶湖疏水(分線)：1890(明治23)年 扇ダム放水路、草川、百々川、ほか小水路群：1890(明治23)年頃
18	関西本線木津川橋りょう	適切な補強や更新により明治時代に架けられた橋梁の長寿命化を実現した点で、優れた事例として顕彰すべき施設である。	関西	京都府相楽郡笠置町	1連目、3連目：1897(明治30)年、1926(大正15)年ランガー補強 2連目：1926(大正15)年 4連目、5連目：1953(昭和28)年
19	旧成相池堰堤	渇水時の農業用水確保のため建造された粗石モルタル造の重力式ダムで、先人の水確保の努力を後世に伝える貴重な土木遺産である。	関西	兵庫県南あわじ市	1950(昭和25)年
20	和田旋回橋	日本初かつ最古の鉄道用可動橋であり、当初の架設地点に供用され続け現在も地元住民により積極的に活用されている貴重な土木遺産である。	関西	兵庫県神戸市兵庫区	1899(明治32)年
21	村田 鶴が湖北地方に残した隧道群	材料特性から煉瓦とコンクリートを使い分ける秀逸な設計が施され、格式高い意匠とともに永年にわた	関西	滋賀県米原市～長浜市 谷坂隧道：	横山隧道：1923(大正12)年 谷坂隧道：1935(昭和

		り地域交通に貢献した土木遺産である。		滋賀県長浜市	10) 年
22	爆撃被害建材の再活用 橋梁本川橋，九十九橋	敗戦直後の資材難の中，爆撃を受けた光海軍工廠の建材を再活用した橋梁で，部材に弾痕や以前のリベット孔が残っている貴重な土木遺産である。	中国	本川橋：広島県広島市中区 九十九橋：広島県安芸郡海田町	本川橋：1949(昭和 24) 年 九十九橋：1950 (昭和 25) 年
23	千賀居隧道	ループ道路に建設された隧道で，当該形式の隧道として国内最古クラスの貴重な土木遺産である。	四国	愛媛県八幡浜市	1905(明治 38)年
24	緒方川の 多連アーチ石橋群	2～6 連のアーチを有する石橋がひとつの地域にまとまって現存する貴重な土木遺産である。	西部	大分県豊後大野市	緒方橋：1911(明治 44) 年 鳴滝橋：1922(大正 11) 年 長瀬橋：1923(大正 12) 年 原尻橋：1923(大正 12) 年 柚木寺原橋：1928 (昭和 3) 年
25	花峯橋	現存する希少な木造方杖式の道路橋のひとつで，当時の我が国における木造橋建設技術を今に伝える貴重な土木遺産である。	西部	宮崎県日南市	1929(昭和 4)年
◆2022 (令和 4) 年度					
1	室蘭港港湾施設群	東洋一の石炭積出港として我が国の近代化と鉄の街の飛躍的發展に貢献した港湾の歴史と技術を伝える構造物群である。	北海道	北海道室蘭市	南防波堤：1938(昭和 13)年度 北防波堤：1927(昭和 2)年度 旧大黒島灯台：1926(大正 15)年度 旧国鉄埠頭：1959(昭和 34)年度 旧国鉄埠頭(北外防波堤へのケーソン流用)：1967(昭和 42)年度 旧北荷埠頭：1940(昭和 15)年度 本輪西埠頭：1959(昭和 34)年度 北日本埠頭：1959(昭和 34)年度
2	標津橋	アーチリブにフィーレンディール構造を持つ国内唯一の橋梁形式で，戦後の北海道の土木技術の発展に寄与した土木遺産である。	北海道	北海道標津郡標津町	1962(昭和 37)年
3	旧茂喜登牛水路橋	PC 技術黎明期当時でも国内最大クラスの PC 桁であるとともに，約 60 年以上北海道の電力安定供給に貢献した水路橋である。	北海道	北海道足寄郡足寄町	1958(昭和 33)年
4	福島 of 石橋群	近世から明治期に伝承された信州や九州の石工技術を，地元の石工が磨き育てたその歴史を顕彰する貴重な土木遺産群である。	東北	福島県福島市，他	1772(安永元)年～1914(大正 3)年と推定
5	丸森橋	宮城県内で唯一現存している戦前に作られたプラットトラス道路橋。	東北	宮城県伊具郡丸森町	1929(昭和 4)年

		石張りの橋脚が特徴的である。			
6	渡良瀬遊水地	河川の増水時に横溢する洪水を一時的に貯留するわが国最大級の治水施設。建設と環境の両立を具現化した歴史的な土木文化遺産である。	関東	栃木県栃木市、小山市、下都賀郡野木町、群馬県邑楽郡板倉町、茨城県古河市、埼玉県加須市	1972(昭和 47)年[第 2 調整池概成まで]
7	豊海橋	関東大震災の復興事業で架橋された国内初の鋼フィレンデール橋。技術的に優れ景観にも配慮した貴重な土木遺産である。	関東	東京都中央区	1927(昭和 2)年
8	清水谷戸トンネル	全国鉄道網へと広がる端緒となった現役最古の鉄道トンネルであり、建設時の煉瓦構造など明治期の鉄道技術を今に残す土木遺産である。	関東	神奈川県横浜保土ヶ谷区、戸塚区	上り線:1887(明治 20)年 下り線:1898(明治 31)年
9	豊川放水路	豊川の洪水被害を軽減するために戦後に建設された、我が国を代表する放水路の一つである。	中部	愛知県豊川市	1965(昭和 40)年
10	中川橋	中川運河とともに竣工したブレーストリブタイドアーチ橋で、平成末に「横取り工法」で改修して次世代へつながれた貴重な土木遺産である。	中部	愛知県名古屋港区	1930(昭和 5)年 [2022(令和 4)年改修]
11	波切の石積構造物群	当地の石工たちが整備した漁港や集落の石積みであり、大王崎を含む波切のまちの発展を支えた貴重な土木遺産である。	中部	三重県志摩市	1860(安政 7)年頃～ 1930(昭和 5)年頃
12	揖保川畳堤	眺望への配慮など住民の意見が反映された特殊堤で、住民の防災意識の高さが結実した貴重な現役の土木遺産である。	関西	兵庫県たつの市	1957(昭和 32)年頃
13	大阪市水道創設期及び拡張初期の施設群	大阪市の大手前配水場、柴島浄水場取水塔及び旧第 1 配水ポンプ場は、わが国の近代水道創設・拡張を象徴する貴重な土木遺産である。	関西	大阪府大阪市中心区、東淀川区	大手前配水場：1893(明治 26)年 柴島浄水場 1・2 号取水塔：1914(大正 3)年 柴島浄水場 3 号取水塔：1930(昭和 5)年 柴島浄水場旧第 1 配水ポンプ場(現水道記念館)：1914(大正 3)年
14	春日野道 桜橋	福井県の成立期に嶺南と嶺北を結ぶために建設された春日野道の構造物のうちでも、特に良好に保存された土木遺産である。	関西	福井県南条郡南越前町	1886(明治 19)年
15	高野山森林軌道の遺構群	わが国で最初の森林軌道をルーツとし、その後の産業発展に貢献した。森林軌道の盛衰を記録する歴史の証人として重要な土木遺産である。	関西	和歌山県伊都郡九度山町、高野町	1909(明治 42)年 ※九度山貯木場～塵無土場
16	南海本線紀ノ川橋梁	明治期と大正期のトラス橋が上下線に並ぶ現役の鉄道施設。橋梁技術の進展や維持管理の重要性を今に伝える土木遺産である。	関西	和歌山県和歌山市	上り線:1903(明治 36)年 下り線:1922(大正 11)年
17	箱ヶ瀬橋	下津井瀬戸大橋をはじめ日本の長大吊り橋建設に寄与し、「夢の架け	関西	福井県大野市	1967(昭和 42)年

		橋」と呼ばれ親しまれている現役の土木遺産である。			
18	不動川砂防歴史公園の砂防設備群	明治初期のデ・レーケの手による堰堤と関連施設。今も現役で市民に愛される土木遺産である。	関西	京都府木津川市	1875(明治8)年～1922(大正11)年
19	摩耶大橋	当時前例のない1本主塔の斜張橋であり、摩耶埠頭と新港突堤を結んで神戸港の発展に寄与した貴重な現役の土木遺産である。	関西	兵庫県神戸市中央区～灘区	1966(昭和41)年
20	神戸大橋	我が国最初のダブルデッキ構造を有する現役の橋梁であり、新港第4突堤とポートアイランドを結び神戸港の発展に寄与した現役の土木遺産である。	関西	兵庫県神戸市中央区	1970(昭和45)年
21	翁橋	大正から昭和初期に橋面が煉瓦舗装された数少ない橋梁のうち、当時の舗道煉瓦が全面に残っている極めて貴重な橋梁である。	中国	岡山県津山市	1926(大正15)年
22	山国橋	昭和初期に建設されたRC造の長大橋。ゲルバー桁や二穴式の煉瓦積み橋脚を有する貴重な地域の土木遺産である。	西部	福岡県築上郡吉富町～大分県中津市	1934(昭和9)年
23	赤尾木港の岸岐と築島	巻石構造を有する堤防及び護岸。江戸期鹿児島島の離島における築港技術を伝える貴重な土木遺産である。	西部	鹿児島県西之表市	岸岐：1781(天明元)年 [昭和初期に改修] 築島：1862(文久2)年
◆2023(令和5)年度					
1	十勝川統内新水路	十勝川流域の洪水被害軽減や統内原野の開発促進に貢献し、泥炭湿地帯の河道掘削及び築堤の施工技術や過程を示す貴重な新水路である。	北海道	北海道中川郡池田町～豊頃町 幕別町～豊頃町	1937(昭和12)年
2	茂岩橋	変断面下路式ゲルバートラスの橋梁において国内最長スパンを誇り、左右対称で中央に尖峰が並び立つ、均整の取れた意匠の土木遺産である。	北海道	北海道中川郡豊頃町	1961(昭和36)年 (1970(昭和45)年歩道橋添架)
3	大倉ダム	我が国唯一のダブルアーチダムであり、多目的ダムとして仙塩地域の人々の生活や産業を支えてきた歴史的構造物である。	東北	宮城県仙台市青葉区	1961(昭和36)年
4	只見川ダム施設群	豪雪地帯の水資源と地形を巧みに利用したダム・電源開発等の河川史や地域資産として貴重な土木遺産群である。	東北	奥只見ダム：福島県南会津郡檜枝岐村、大鳥ダム・田子倉ダム：福島県南会津郡只見町、滝ダム：福島県大沼郡金山町、本名ダム・上田ダム：福島県大沼郡金山町、宮下ダム：福島県大沼	奥只見ダム：1961(昭和36)年 大鳥ダム：1963(昭和38)年 田子倉ダム：1959(昭和34)年 滝ダム：1961(昭和36)年 本名ダム・上田ダム：1954(昭和29)年 宮下ダム：1946(昭和21)年 柳津ダム・片門ダム：1953(昭和28)年

				郡三島町, 柳津ダム: 福島県河沼 郡柳津町, 片門ダム: 福島県河沼 郡会津坂下 町	
5	蔵前橋	関東大震災の復興橋梁. バランスのとれた3連の鋼アーチ橋として歴史的価値が高い貴重な土木遺産である.	関東	東京都台東区～墨田区	1927(昭和2)年
6	城ヶ島大橋	鋼床版箱桁形式を採用し, 種々の構造的課題を応力測定試験等により解決, その後の橋梁技術発展の礎となった橋梁である.	関東	神奈川県三浦市	1960(昭和35)年
7	阿賀野川満願寺「基準点標石」	阿賀野川で初の国による河川改修事業着工時に設置した基準点. 公園内に移設されたが, 河川の形を決めた原点となる土木遺産である.	関東	新潟県新潟市秋葉区	1915(大正4)年
8	大井ダム・大井発電所	国内初の本格的ダム式発電所として建設され, 電力王・福沢桃介氏最大の偉業ともいわれる. 大正期の風情を残す貴重な土木遺産である.	中部	岐阜県中津川市～恵那市	1924(大正13)年
9	大井川橋梁(下り線)	大正時代に製造. リベットによる剛結合の曲弦プラットトラス桁で, 歴史的価値の高い橋梁である.	中部	静岡県島田市	1915(大正4)年
10	深良用水 用水隧道	江戸時代に農業用水として芦ノ湖から静岡側へ通水するため横穴等を使用せず素掘りで掘削されたものとして日本最長の山岳トンネルである.	中部	静岡県裾野市	1670(寛文10)年
11	鬼谷川砂防堰堤	福井県で最古の砂防堰堤. 大きなもので1mを超す丸石を積み上げて建造されており, 現在も効果を發揮している貴重な土木遺産である.	関西	福井県大野市	1897(明治30)年
12	紀州鉄道及び旧御坊臨港鉄道廃線部分	開業から92年経過した今も往時の設備を使用して運行されており, 廃止路線にも軌条等が残存する貴重な土木遺産である.	関西	和歌山県御坊市	1931(昭和6)年
13	東高洲橋	関西に残る数少ない“本当に動く”可動道路橋. 尼崎市南部工業地域を支え続け, 経済発展に大きく寄与した貴重な土木遺産である.	関西	兵庫県尼崎市	1966(昭和41)年
14	高砂港 向島突堤	工楽松右衛門築造の高砂港防波堤の一部が改修等を重ねながら残されており, 港湾築造の技術を現代に伝える貴重な土木遺産である.	関西	兵庫県高砂市	1810(文化7)年, 1929(昭和4)年改修
15	近鉄難波線 大断面シールドトンネル	わが国で最初の複線断面機械掘りシールドトンネルであり, 軟弱な沖積平野でさまざまな補助工法を駆使して完工した貴重な土木遺産である.	関西	大阪府大阪市中央区	1970(昭和45)年
16	木津川橋りょう・岩崎運河橋りょう	大阪環状線に在る国内唯一の複線下路ダブルワーレントラス橋で, 斜角がきつく垂直の端柱と平行弦トラスを用いた貴重な土木遺産である.	関西	大阪府大阪市浪速区～西区	1928(昭和3)年

17	琵琶湖大橋(下り線)	現代の長支間長桁橋の先鞭となった3径間連続鋼床版箱桁橋。140mという支間長は、完成当時同形式として国内最長を誇った貴重な土木遺産である。	関西	滋賀県大津市～守山市	1964(昭和39)年
18	内尾大水門	興除新田の干拓用樋門として築造され、長さ10mを超える花崗岩を使用した現存するわが国最大の巨石樋門である。	中国	岡山県岡山市南区	1823(文政6)年頃
19	佐川橋	大正林道の橋梁として架設された鉄筋コンクリートアーチ橋で、永年地域で愛されてきた土木遺産である。	四国	高知県高岡郡四万十町	1939(昭和14)年頃
20	横瀬二連水路橋	明治期の大分に建設された二連の石造アーチ橋で、階段状の水路壁と重厚な橋脚を有するユニークな土木遺産である。	西部	大分県大分市	幹線水路 1900(明治33)年 左岸側 1904(明治37)年 右岸側 1906(明治39)年
21	荒崎新地の石造干拓施設群	薩摩藩独自の行政制度のもと、肥後藩との技術交流によって実現した土木事業の貴重な物証である。	西部	鹿児島県出水市	1866(慶応2)年
◆2024(令和6)年度					
1	旧岩保木水門	旧岩保木水門は、釧路の発展に寄与した新釧路川開削を象徴し、後年増築された木造上屋が特徴的な道内最古の鉄筋コンクリート造水門である。	北海道	北海道釧路町	1931(昭和6)年
2	奥行臼の交通施設群	奥行臼の交通施設群は、近現代の根釧地方の開拓と酪農振興、人々の定住に貢献した交通土木施設が、各年代のシステムとして一箇所に現存する唯一の遺産群である。	北海道	北海道別海町	1910(明治43)年～1964(昭和39)年
3	黒川橋梁(上り線)	黒川橋梁(上り線)は、近代の鉄道技術を伝える貴重な鋼ワーレントラス橋で、重厚感漂う壮大な石張り橋脚が連続する圧倒的スケールの優美な鉄道橋梁である。	関東	栃木県那須町～福島県白河市	1920(大正9)年
4	駒形橋	駒形橋は、隅田川に架かる関東大震災の復興橋梁であり、国内初の本格的鋼中路式アーチ橋として歴史的に価値の高い貴重な土木遺産である。	関東	東京都台東区～墨田区	1927(昭和2)年
5	相模大橋	相模大橋は、国内で初めて、20t荷重で設計され、主桁の大半に高張力鋼を用いた橋梁で、我が国の橋梁技術発展の礎となった貴重な土木遺産である。	関東	神奈川県厚木市～海老名市	1955(昭和30)年
6	覚王山ずい道	覚王山ずい道は、都市部における国内初の開放型手掘り式シールド工法、円形断面シールドと鉄筋コンクリート製セグメントを採用した地下鉄トンネルである。	中部	名古屋市千種区	1963(昭和38)年
7	犬山橋	犬山橋は、大正時代に樺島正義が鉄道道路併用橋として設計し鉄道橋へ改修された、オベリスク様の親柱が残る3連の鋼ワーレントラス橋である。	中部	愛知県犬山市～岐阜県各務原市	1925(大正14)年→2000(平成12)年に鉄道専用橋として改修
8	大谷～大津間の開業時	大谷～大津間の開業時の鉄道遺構	関西	大津市	逢坂山ずい道：

	の鉄道遺構	は、初めてわが国の技術者・技能者だけで建設された明治 13 年の鉄道遺構で、わが国の鉄道技術の自立を示す貴重な土木遺産である。			1880(明治 13)年 旧上関寺町架道橋橋台：1880(明治 13)年→1921(大正 10)年に橋桁撤去 逢坂地下道：1879(明治 12)年
9	林田隧道	林田隧道は、摂津・丹波間の交通の難所を解消するため建設され、石ポータルを有する現役の道路隧道の中で日本最古の土木遺産である。	関西	兵庫県猪名川町	1883（明治 16）年→1984（昭和 59）年改修（ボックスカルバート継足・覆工コンクリート設置）
10	阪神甲子園球場・枝川橋梁	阪神甲子園球場・枝川橋梁は、我が国最古の本格的野球場と地域拠点の鉄道駅を支える橋梁で、廃川敷に計画・開発された「甲子園開発」を象徴する貴重な施設である。	関西	兵庫県西宮市	阪神甲子園球場：1924（大正 13）年→外野の築堤式スタンドを 1929(昭和 4)年に R C 造（アルプススタンド）、1936（昭和 11）年に全てを R C 造に改修 枝川橋梁：1925（大正 14）年
11	港大橋	港大橋は、規模、材料、工法ともに我が国のトラス橋の到達点を示した、中央径間長としては日本最長、世界第 3 位のゲルバートラス橋である。	関西	大阪府大阪市	1974（昭和 49）年
12	目の字形ラーメン橋－志谷川橋梁、日向川橋梁	志谷川橋梁、日向川橋梁は、三江線でのみ採用された極めて珍しい目の字形鉄筋コンクリートラーメン橋である。	中国	島根県川本町	1934（昭和 9）年（開通年）
13	瀬詰橋	瀬詰橋は、吉野川支流の川田川に架かる旧道の橋で、大正時代の中路式鋼鈑桁橋は希少であり、左岸に建設当時の親柱が現存する貴重な土木遺産である。	四国	徳島県吉野川市	1925(大正 14)年
14	尾鈴橋	尾鈴橋は、戦後初めて支間長 100m を超え、恐竜を彷彿させるダイナミックなフォルムが特徴の戦後復興期を代表する貴重な土木遺産である。	西部	宮崎県木城町～日向市	1951(昭和 26)年

6. 土木学会本部役員一覧

●2014（平成 26）年度

会長	磯部雅彦					
副会長	足立敏之	河原能久	小林潔司	中井雅彦	前川宏一	
次期会長	廣瀬典昭					
専務理事	大西博文					
理事	赤木寛一	池田清宏	柿谷達雄	菊川 滋	木戸洋二	久保田 尚
	甲村謙友	清水 茂	霜上民生	田中慎一郎	田村 亨	千釜 章
	土屋幸三郎	中尾成邦	成行義文	野田豊範	橋本典明	松原雄平
	水鳥雅文	三村 衛	村田和夫	山口登美男		
監事	牧浦信一	横溝良一				

●2015（平成 27）年度

会長	廣瀬典昭					
副会長	河原能久	熊本義寛	甲村謙友	田中 仁	前川宏一	
次期会長	田代民治					
専務理事	塚田幸広					
理事	青木伸一	赤木寛一	石田悦一	久保田尚	桑野玲子	古賀徹志
	小林潔司	土屋幸三郎	飛田善雄	中尾成邦	那須清吾	南莊 淳
	野田豊範	橋本典明	濱田士郎	前川秀和	松原雄平	水鳥雅文
	森北佳昭	八嶋 厚	横田 弘	渡邊 浩		
監事	廣畑彰一		牧浦信一			

●2016（平成 28）年度

会長	田代民治					
副会長	岡安章夫	島岡隆行	霜上民生	田中 仁	中尾成邦	
次期会長	大石久和					
専務理事	塚田幸広					
理事	青木伸一	石田悦一	遠藤元一	岡本 正	熊本直樹	熊本義寛
	桑野玲子	古賀徹志	小室俊二	田中茂義	飛田善雄	中川 一
	那須清吾	南莊 淳	濱田士郎	前川秀和	前野詩朗	松本 伸
	森北佳昭	八嶋 厚	横田 弘	渡邊 浩		
監事	巾 淳二		廣畑彰一			

●2017（平成 29）年度

会長	大石久和					
副会長	上田多門	遠藤元一	岡安章夫	島岡隆行	霜上民生	
次期会長	小林潔司					
専務理事	塚田幸広					
理事	浅見郁樹	氏家 勲	岡本 正	勝地 弘	茅野正恭	京谷孝史
	熊本直樹	倉内公嘉	五道仁実	小室俊二	佐々木葉	須野原豊
	高橋一朗	高山純一	田中茂義	中川 一	西田純二	藤本 聡
	堀 智晴	前野詩朗	松本 伸	兪 朝夫		
監事	巾 淳二	三浦 隆				

●2018（平成 30）年度

会長	小林潔司					
副会長	浅見郁樹	上田多門	氏家 勲	小澤一雅	須野原豊	
次期会長	林 康雄					
専務理事	塚田幸広					
理事	市川育夫	大島昭彦	大嶋匡博	勝地 弘	金尾健司	茅野正恭
	京谷孝史	倉内公嘉	五道仁実	佐々木葉	嶋田善多	進士正人

	末國光彦 堀 智晴	末永清冬 安福規之	高橋一朗 兪 朝夫	高山純一 吉崎 収	西田純二	藤本 聡
監事	濱田信彦	三浦 隆				

●2019（令和1）年度

会長	林 康雄					
副会長	小澤一雅	茅野正恭	富永晃宏	松島 学	吉崎 収	
次期会長	家田 仁					
専務理事	塚田幸広					
理事	天野玲子 荻野浩平 重松孝昌 松崎 薫	泉 典洋 風間基樹 嶋田善多 安福規之	市川育夫 金尾健司 進士正人 山中庸彦	大島昭彦 木原宗道 末國光彦 渡邊政義	大嶋匡博 五道仁実 末永清冬	大西精治 作中秀行 林田 博
監事	花岡憲男	濱田信彦				

●2020（令和2）年度

会長	家田 仁					
副会長	大西精治	小河保之	富永晃宏	林田 博	屋井鉄雄	
次期会長	谷口博昭					
専務理事	塚田幸広					
理事	天野玲子 茅野正恭 東川直正 松田泰治	泉 典洋 木原宗道 野平明伸 山中庸彦	岩佐哲也 木村 亮 福士謙介 横山正則	浦上博行 作中秀行 藤原章正 渡邊政義	荻野浩平 重松孝昌 松崎 薫	風間基樹 塚原浩一 松島 学
監事	花岡憲男	森下忠司				

●2021（令和3）年度

会長	谷口博昭					
副会長	小河保之	楠見晴重	田中茂義	塚原浩一	屋井鉄雄	
次期会長	上田多門					
専務理事	塚田幸広					
理事	石川 伸 三百田敏夫 福士謙介 山縣宣彦	今井政人 谷口綾子 藤原章正 横山正則	岩佐哲也 東川直正 松田泰治 李 玉友	浦上博行 野平明伸 水谷法美 利穂吉彦	勝見 武 橋本親典 溝上 建	木村 亮 羽鳥明満 森岡宏之
監事	奥山宏二	森下忠司				

●2022（令和4）年度

会長	上田多門					
副会長	今井政人	岸 利治	楠見晴重	藤原章正	山縣宣彦	
次期会長	田中茂義					
専務理事	塚田幸広					
理事	池田謙太郎 橘 義規 羽鳥明満 森岡宏之	池田豊人 田中規夫 濱田秀則 李 玉友	石川 伸 谷口綾子 平井秀輝 利穂吉彦	勝見 武 寺崎祐司 廣瀬昌由 渡部要一	兼塚卓也 西村 強 水谷法美	塩谷智弘 橋本親典 溝上 建
監事	奥山宏二	前 邦彦				

●2023（令和5）年度

会長	田中茂義					
副会長	池田謙太郎	今村文彦	岸 利治	平井秀輝	藤原章正	
次期会長	佐々木葉					
専務理事	三輪準二					
理事	池田豊人 兼塚卓也	遠藤達哉 鎌田敏郎	大内雅博 小出英夫	大脇 崇 佐藤寿延	小山 宏 塩谷智弘	風間 優 田中規夫

	津高 守 八木知己	寺崎祐司 吉谷純一	西村達也 良峰 透	西村 強 渡部要一	濱田秀則	平林由希子
監事	永治泰司	前 邦彦				

●2024（令和 6）年度

会長	佐々木葉					
副会長	今村文彦	大脇 崇	小山 宏	勝見 武	塚原健一	
次期会長	池内幸司					
専務理事	三輪準二					
理事	麻生稔彦 金治英貞 杉山和久 松本高志	岩波光保 鎌田敏郎 津高 守 八木知己	江村 剛 北村弘和 西村達也 吉谷純一	遠藤達哉 木村嘉富 林 正道 良峰 透	大内雅博 小出英夫 平林由希子	風間 優 白川賢志 松野篤二
監事	川井田実	永治泰司				

7. 土木学会総会講演会一覧

回	講演日	講演題目	講演者
55	1969.5.30	海外進出と土木技術者	久保田 豊
56	1970.5.29	関門架橋について	村上永一
57	1971.5.28	ロスアンジェルス地震震災について	岡本舜三
58	1972.5.29	超高速新幹線について	長浜正雄
59	1973.5.29	国土開発の方向について	坂野重信
60	1974.5.22	エネルギー問題雑感	水越達雄
61	1975.5.22	リモートセンシングと土木	丸安隆和
62	1976.5.26	水に関する総合政策	増岡康治
63	1977.5.25	地下ダムの生立ち	松尾新一郎
64	1970.5.30	石油備蓄の現状と問題点	秋山成興
65	1979.5.29	土木界の長期展望	八十島義之助(土木学会副会長, 東京大学教授)
66	1980.5.29	エネルギーと土木技術のかかわり合い	三村誠三(土木学会副会長, 東京電力(株)常務取締役)
67	1981.5.26	わが国の港湾－その現況	岡部 保(土木学会副会長, 日本港湾協会理事)
68	1982.5.24	わが国の技術協力	中沢 武仁(国際協力事業団理事)
69	1983.5.24	活力ある土木への道	伊藤富雄(土木学会副会長, 大阪大学教授)
70	1984.5.30	公共土木工事契約の問題点	高秀秀信(土木学会副会長, 建設省事務次官)
71	1985.5.30	青函トンネル 計画, 技術, そして将来展望	内田隆滋(日本鉄道建設公団総裁)
72	1986.5.30	二十世紀文化と土木技術者	高橋 裕(土木学会前副会長, 東京大学教授)
73	1987.5.28	建設行政の長期展望	井上章平(土木学会副会長, 建設省事務次官)
74	1988.5.27	関西国際空港建設上の諸問題	竹内良夫(関西国際空港(株)社長)
75	1989.5.27	ウォーターフロントと土質工学	中瀬明男(土木学会副会長, 東京工業大学教授)
76	1990.5.28	エネルギーと環境の調和	千秋信一(電力中央研究所常務理事)
77	1991.5.29	ドイツの国土づくり－日本との比較－	中村英夫(土木学会副会長, 東京大学教授)
78	1992.5.28	建設マネジメントと国際化	戸田隆志(土木学会建設マネジメント委員会委員長, 清水建設(株)専務取締役)
79	1993.5.31	土木と社会	藤野慎吾(土木学会副会長, 日本港湾協会理事)
80	1994.5.30	自己充填性をもつコンクリートの開発－大学における基礎研究の意義－	岡村 甫(土木学会副会長, 東京大学教授)
81	1995.5	公共事業の品質について	藤井治芳(土木学会副会長, 建設省技監)
82	1996.5	コンクリートの高性能化を目指して	長瀧重義(土木学会副会長, 東京工業大学教授)
83	1997.5	新幹線のインフラコストと建設技術の進展	廣田良輔(土木学会副会長, 日本鉄道建設公団副総裁)
84	1998.5	日本社会は変わるか, 変わらねばならない.	木村 孟(土木学会副会長, 学位授与機構長)
85	1999.5	歴史的文化財を地震火災から守るため	土岐憲三(土木学会副会長, 京都大学教授)
86	2000.5	ふる里の川の文化	道上正規(土木学会副会長, 鳥取大学副学長)
87	2001.5	極低温の世界におけるコンクリート構造物	三浦 尚(土木学会副会長, 東北大学大学院教授)
88	2002.5	曲がり角に立つ大学土木教育	彦坂 熙(土木学会副会長, 九州大学大学院教授)
89	2003.5	コンクリート系構造物の設計法の発展と今後への期待	角田與史雄(土木学会副会長, 北海道大学大学院教授)

90	2004.5	巨大地震災害への対応	濱田政則（土木学会副会長，早稲田大学教授）
91	2005.5	橋梁資産の管理システムの現状と展望	渡邊英一（土木学会副会長，京都大学教授）
92	2006.5	地盤工学における今日の課題，古典理論・設計法・土の物性の関連	龍岡文夫（土木学会副会長，東京理科大学教授）
93	2007.5	ライフライン地震工学の進展と防災対策の課題	高田至郎（土木学会副会長，神戸大学大学院教授）
94	2008.5	地球温暖化時代のコンクリート技術－荒廃する日本とならないために－	阪田憲次（土木学会副会長，岡山大学大学院教授）
95	2009.5	土木計画学の進化と社会的役割	稲村 肇（土木学会副会長，東北大学名誉教授）
96	2010.5	橋梁技術半世紀の歩み	大塚久哲（土木学会副会長，九州大学大学院教授）
97	2011.5	地盤力学の理論から実践へ－進化する災害に直面して－	三浦清一（土木学会副会長，北海道大学大学院教授）
98	2012.6.14	「責任」と「寛容」－学会活動を通して見た社会の動き－	丸山久一（土木学会理事，長岡技術科学大学大学院教授）
99	2013.6.14	（話題提供） 3.11 から 3 年目：安全の地域づくりを考える	家田 仁（土木学会副会長，東京大学大学院教授）
100	2014.6.14	超電導リニアモーターカーによる中央新幹線計画について	宇野 護（東海旅客鉄道(株) 常務執行役員）
101	2015.6.12	アジア社会の発展とグローバル人材	小林潔司（土木学会副会長，京都大学大学院教授）
102	2016.6.10	コンクリート構造の設計・施工と管理に向けた知識の構造化	前川宏一（土木学会副会長，東京大学大学院教授）
103	2017.6.9	ベトナムの沿岸災害と国際協力－アソシエイトメンバーとの連携－	田中 仁（土木学会副会長，東北大学大学院教授）
104	2018.6.8	廃棄物処理研究のこれまでと今後の展開	島岡 隆行（土木学会副会長，九州大学大学院教授）
105	2019.6.14	日本における国際化	上田 多門（土木学会副会長，北海道大学大学院教授）
106	2020.6.12	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に鑑み，実施せず。	
107	2021.6.11	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に鑑み，実施せず。	
108	2022.6.10	土木インフラへの参加型計画の意義と展望	屋井 鉄雄（土木学会副会長，東京工業大学副学長・教授）
109	2023.6.9	地盤工学問題に対する AI の活用	楠見晴重（土木学会副会長，関西大学教授）
110	2024.6.14	コンクリートのサイエンス，そして，エンジニアリング	岸 利治（土木学会副会長，東京大学教授）

8. 土木学会出版物一覧

8.1 本部出版物

(1) 単行本

書 名	発行年月
土木学会国際センター国際シンポジウム講演会 2014「日本の建設企業の海外進出を考える」講演集：第3回 事業の多様化に向けて 海外企業の事業展開の現状	2014.04
パッケージ型インフラ輸出の促進に向けて：建設技術者が果たすべき役割	2014.04
応用力学論文集 Vol.17	2014.05
地下空間研究委員会心理小委員会活動報告書 2014 年 5 月	2014.05
災害廃棄物の処分と有効利用：東日本大震災の記録と教訓（コンクリートライブラリー 142）	2014.05
土木史研究講演集 Vol.34	2014.05
土木学会賞受賞事業・技術 2014	2014.06
土木計画学研究・講演集 Vol.49	2014.06
トンネル構造物のコンクリートに対する耐火工設計施工指針（案）（コンクリートライブラリー 143）	2014.06
土木コレクション 2014 HANDS+EYES	2014.06
河川技術論文集 Vol.20	2014.06
橋梁の補修・補強の最新技術と問題点（構造工学委員会セミナー 平成 26 年度）	2014.06
土木学会論説 第 73 回論説（2013 年 6 月版）-第 84 回論説（2014 年 5 月版）	2014.06
東日本大震災合同調査報告 共通編 2 津波の特性と被害	2014.06
公共調達シンポジウム 2014 年度	2014.06
活動成果報告書 設計基準体系における安全性照査（構造工学技術シリーズ 67）	2014.07
橋梁等の耐震設計シンポジウム講演論文集(17)	2014.07
中国地方の選奨土木遺産：土木学会創立百周年記念 改訂版	2014.07
セメント系構築物と周辺地盤の化学的相互作用研究小委員会（345 委員会）成果報告書およびシンポジウム講演概要集（コンクリート技術シリーズ 103）	2014.07
鉄道工学シンポジウム論文集 第 18 号（構造工学技術シリーズ 68）	2014.07
コンクリート構造物の設計と維持管理の連係による性能確保システム研究小委員会成果報告書（コンクリート技術シリーズ 105）	2014.07
鉄筋コンクリート構造物の設計システム：Back to the Future 2（コンクリート技術シリーズ 104）	2014.07
木材利用研究論文報告集 13	2014.07
土木学会地下空間研究委員会研究成果報告書	2014.07
水工学に関する夏期研修会講義集(50)	2014.08
水工学に関する夏期研修会講義集(50)	2014.08
東日本大震災による橋梁等の被害分析小委員会中間報告書	2014.08
土木学会年次学術講演会講演概要集(69)	2014.08
鋼橋のリダンダンシーに関する考え方：評価技術と今後の展開（鋼構造と橋に関するシンポジウム論文報告集 第 17 回）	2014.08
建設マネジメント委員会研究成果発表会及び表彰式講演用資料集 2014 年度	2014.08
腐食した鋼構造物の性能回復事例と性能回復設計法（鋼構造シリーズ 23）	2014.08
岩盤斜面崩壊のハザード抽出と影響評価	2014.08
複合構造ずれ止めの抵抗機構の解明への挑戦（複合構造レポート 10）	2014.08
東日本大震災合同調査報告 土木編 5 原子力施設の被害とその影響	2014.08
全国土木系教官・教員名簿 大学・短大・高専	2014.08
コンクリート構造の設計・施工・維持管理の基本 第 5 次改訂版	2014.09
地球環境シンポジウム講演集(22)	2014.09
地球環境研究論文集 Vol.70 No.5 (22)	2014.09
100 年橋梁：100 年を生き続けた橋の歴史と物語	2014.09
Proceedings of the International Summer Symposium(16)	2014.09
解体新書 大河津分水可動堰	2014.09
トンネル技術講演会 2014 年 9 月 11 日	2014.09
土木情報学シンポジウム講演集 Vol.39	2014.09
土砂災害に関するシンポジウム論文集 第 7 回	2014.09
構造物の衝撃問題に関するシンポジウム論文集(11)	2014.10
地震工学研究発表会講演論文集(34)	2014.10
環境システム研究論文集 Vol.70 No.6 (42)	2014.10
環境システム研究論文発表会講演集(42)	2014.10

公開シンポジウム「これからの遮音壁について考える」	2014.10
実務に役立つ耐震設計入門 続（実践編）	2014.10
平成 26 年広島豪雨災害合同緊急調査団調査報告書：土木学会・地盤工学会 第 2 版	2014.10
鋼構造技術継承講演会：経験豊富な先人に学ぶ次世代への承継技術 第 1 回	2014.10
道路橋床版シンポジウム論文報告集 第 8 回	2014.10
阪神・淡路大震災 20 年地震防災フォーラム：来るべき巨大地震にいかに対応するか	2014.10
海岸工学講演会 Vol.70 No.2 (61)	2014.10
JSCE2015：あらゆる境界をひらき、市民生活の質向上を目指す	2014.11
土木学会創立 100 周年宣言：あらゆる境界をひらき、持続可能な社会の礎を築く	2014.11
土木計画学研究・講演集 Vol.50	2014.11
土木建設技術発表会概要集	2014.11
『施工計画講習会「施工計画のポイントと CIM への取り組み」』（土木学会継続教育プログラム 平成 26 年度）	2014.11
FRP によるコンクリート構造の補強設計の現状と課題（複合構造レポート 12）	2014.11
FRP 複合構造・橋梁に関するシンポジウム講演概要集(5)	2014.11
土木構造成用 FRP 材の設計基礎データ（複合構造レポート 11）	2014.11
フロンティアに挑む技術：北海道の土木遺産	2014.11
歩行者系舗装入門：安全で安心な路面を目指して（舗装工学ライブラリー 11）	2014.11
インフラ・まちづくりとシビル NPO：補完から主役の一人へ	2014.11
技術者の自立・技術の独立を求めて：直木倫太郎と宮本武之輔の歩みを中心に	2014.11
行動する技術者たち：行動と思考の軌跡	2014.11
社会と土木の 100 年ビジョン：あらゆる境界をひらき、持続可能な社会の礎を築く	2014.11
土木学会の 100 年	2014.11
土木学会の 100 年 特装版	2014.11
東海道新幹線と首都高：50 + 50：1964 東京オリンピックに始まる 50 年の軌跡：その意図、成果、そして未来に向けた新たな飛躍	2014.11
日本が世界に誇るコンクリート技術 = Japan's concrete technology	2014.11
安全問題討論会資料集	2014.11
鋼構造技術継承講演会：経験豊富な先人に学ぶ次世代への承継技術 第 2 回	2014.11
トンネル工学研究発表会講演集【報告部門】Vol.24	2014.12
トンネル工学論文集 Vol.70 No.3	2014.12
景観・デザイン研究講演集(10)	2014.12
建設マネジメント問題に関する研究発表・討論会 講演集(32)	2014.12
鋼橋の維持管理：維持管理の現況と今後のあり方（鋼構造基礎講座 第 27 回）	2014.12
建設マネジメント研究論文集 Vol.70 No.4	2014.12
地盤工学から見た堤防技術シンポジウム委員会報告・講演概要集 第 2 回	2014.12
舗装工学論文集 Vol.70 No.3 (19)	2014.12
首都直下地震 想定される被害と防災・減災への取り組み（地震災害マネジメントセミナー 第 14 回）	2014.12
土木計画学研究・論文集 Vol.70 No.5 (31)	2014.12
火山地域における土砂災害発生メカニズムと社会的対応に関する研究集会	2014.12
CIM 講演会 2014（東京）講演集：土木学会	2014.12
環境工学研究フォーラム講演集(51)	2014.12
環境工学研究論文集 Vol.70 No.7 (51)	2014.12
平成 26 年 自然災害フォーラム論文集	2014.12
火山工学入門 応用編	2014.12
海洋開発論文集(40)	2015
第 20 回 水シンポジウム 2015in ふくい：報告書 考えよう「水の恵みと災害への備え」～幸福度日本一の福井から未来への提案～	2015
実務者のための橋梁維持管理：鋼橋部位別の課題と補修事例（鋼構造基礎講座 第 28 回）	2015.01
岩盤力学に関するシンポジウム講演論文集(43)	2015.01
自転車利用環境計画の進展と課題（土木計画学ワンデイセミナー 71）	2015.01
自転車利用環境計画の進展と課題：自転車通行空間整備・計画事例集 2 増補版（土木計画学ワンデイセミナー 71）	2015.01
欧州における CIM 技術調査報告書 2014	2015.01
21 世紀の南海地震と防災 第 9 巻	2015.01
航空輸送に関する高度なモデル化と統計分析手法の政策への応用：手法論と政策論（土木計画学ワンデイセミナー 72）	2015.01
震災 20 年をむかえた災害研究のこれまでとこれから：土木計画学の視点から（土木計画学ワンデイセミナー 73）	2015.01

地下空間シンポジウム論文・報告集(20)	2015.01
地盤に起因する土木・建築紛争の解決に向けて Part3 講演概要集：平成 26 年度 地盤工学セミナー	2015.01
土木学会デザイン賞作品選集 2014	2015.01
シールド工事中立坑の設計（トンネル・ライブラリー 27）	2015.01
各地域でのインフラ維持管理の取組みと広域連携の可能性（東北地方の橋梁保全に関するシンポジウム第 6 回）	2015.01
社会インフラメンテナンスシンポジウム これからの社会インフラメンテナンスの技術戦略を考える：今後の維持管理・更新に関する技術開発の方向性	2015.01
国際規格等による我が国港湾基準への影響検討業務報告書 平成 26 年度（平成 27 年 2 月）	2015.02
土質試験のてびき 第 3 版	2015.02
土木材料実験指導書 2015 年改訂版	2015.02
「CIM 講演会 2014」開催報告	2015.02
水工学論文集 Vol.71 No.4 (59)	2015.02
水理実験解説書 2015 年度版	2015.02
地下構造物のアセットマネジメント：導入に向けて（地下空間・ライブラリー 1）	2015.02
地下浸水の対策と課題：名古屋・大阪を事例として（地下空間の防災・減災セミナー）	2015.02
脆弱な火山国日本での土砂災害の発生メカニズムの究明と法制度も考慮した総合的防災・減災対策に関する研究報告書（平成 26 年度重点研究課題）	2015.03
地震工学委員会水循環ネットワーク施設災害軽減対策研究小委員会活動報告 平成 24 年 4 月-平成 27 年 3 月（3 年間）	2015.03
土木 ISO ジャーナル Vol.26	2015.03
土木と学校教育フォーラム成果報告書：防災まちづくり・くにつくり学習 第 6 回	2015.03
土木における木材の利用拡大に関する横断的研究報告書 2014 年度	2015.03
構造工学論文集. AVol.61 No.A	2015.03
「太陽光発電架台等を対象とした簡易基礎工法（T-Root 工法）の設計施工法」に関する技術評価報告書（技術推進ライブラリー 16）	2015.03
河川災害に関するシンポジウム	2015.03
環境水理学	2015.03
少子高齢社会における子育てしやすいまちづくり：大都市と地方都市，都心と郊外，どちらが子育てしやすいか？ 資料集（土木計画学ワンデイセミナー 75）	2015.03
That has been done by the Japanese civil engineers since Mar. 11, 2011 「あの日」から，土木技術者がしたこと	2015.03
下水道資源の利活用に資する技術開発促進検討業務報告書：国土交通省下水道事業調査費報告書 平成 27 年 3 月	2015.03
環境工学委員会将来ビジョン	2015.03
センシング情報社会基盤（構造工学シリーズ 24）	2015.03
構造工学論文集. AVol.61 No.B	2015.03
幹線旅客交通のフロンティア（土木計画学ワンデイセミナー 76）	2015.03
鋼橋の合理的な構造設計法に関する調査研究小委員会報告書	2015.03
公共調達制度を考える：総合評価・復興事業・維持管理（建設マネジメントシリーズ 06）	2015.03
市民生活行動学	2015.03
東日本大震災合同調査報告 土木編 2 土木構造物の津波被害と復旧	2015.03
東日本大震災合同調査報告 土木編 3 ライフライン施設の被害と復旧	2015.03
未来は土木がつくる，これが僕らの土木スタイル！	2015.03
土木学会主催シンポジウム 東日本大震災再考：困難課題の克服と復興の加速に向けて	2015.04
応用力学論文集 Vol.18	2015.05
複合構造標準示方書 2014 年制定 原則編 維持管理編	2015.05
複合構造標準示方書 2014 年制定 原則編 施工編	2015.05
複合構造標準示方書 2014 年制定 原則編 設計編	2015.05
土木史研究講演集 Vol.35	2015.05
自然災害に強いしなやかな国土の創出のために：行動宣言と行動計画	2015.06
土木計画学研究・講演集 Vol.51	2015.06
公共土木設計施工標準請負契約約款の解説 2014 年制定	2015.06
アルミニウム合金土木構造物設計・製作指針（案）2015 年 3 月	2015.06
トンネル工学セミナー 2015	2015.06
「繊維補強鉄筋コンクリート製セグメントの設計・製作技術」に関する技術評価報告書（技術推進ライブラリー 6）	2015.06
河川技術論文集 Vol.21	2015.06
土木学会論説 第 85 回論説（2014 年 6 月版）-第 96 回論説（2015 年 5 月版）	2015.06

エネルギーと気象工学：災害に強い電力設備と安定供給を目指して	2015.06
公共調達シンポジウム 2015 年度	2015.06
土木施工なんでも相談室 2015 年版 環境対策工編	2015.06
水辺空間を活かした都市大阪の再生に関する調査研究：東横堀川をケーススタディとして（講習会テキスト 平成 27 年度）	2015.07
断層変位評価小委員会研究報告書・断層変位評価に関するシンポジウム講演論文集	2015.07
「社会インフラの維持管理戦略講演会」	2015.07
橋梁等の耐震設計シンポジウム講演論文集(18)	2015.07
超高強度繊維補強コンクリート（UFC）道路橋床版に関する技術評価報告書（技術推進ライブラリー 17）	2015.07
火災を受けた鋼橋の診断補修ガイドライン（鋼構造シリーズ 24）	2015.07
鉄道工学シンポジウム論文集 第 19 号（構造工学技術シリーズ 69）	2015.07
道路交通振動の評価と対策技術（舗装工学ライブラリー 12）	2015.07
水工学に関する夏期研修会講義集(51)	2015.08
東日本大震災による橋梁等の被害分析小委員会最終報告書	2015.08
土木学会年次学術講演会講演概要集(70)	2015.08
建設マネジメント委員会研究成果発表会及び表彰式講演用資料集 2015 年度	2015.08
木材利用研究論文報告集 14	2015.08
鋼橋の長寿化への技術展開：モニタリングと防食技術（鋼構造と橋に関するシンポジウム論文報告集 第 18 回）	2015.08
DOBOKU の高校来て見てガイド：紹介したい私たちの学校と身近な土木	2015.08
繊維補強コンクリートの構造利用研究小委員会成果報告書（コンクリート技術シリーズ 106）	2015.08
示方書連絡調整小委員会報告書：次世代の「コンクリート標準示方書」に向けて（コンクリート技術シリーズ 107）	2015.08
実験で学ぶ土砂災害	2015.08
地球環境シンポジウム講演集(23)	2015.09
地球環境研究論文集 Vol.71 No.5 (23)	2015.09
コンクリート構造物の安全確保のためのシステムに関する研究小委員会成果報告書（コンクリート技術シリーズ 108）	2015.09
全国土木系教官・教員名簿 大学・短大・高専	2015.09
Proceedings of the International Summer Symposium(17)	2015.09
土木と文明：土木学会創立 100 周年記念式典特別展示	2015.09
トンネル技術講演会 2015 年 9 月 17 日	2015.09
鉄筋コンクリート構造物の疲労破壊：破壊機構と性能評価の将来像を探る（コンクリート技術シリーズ 109）	2015.09
構造工学における有限要素法の基礎と応用講習会（土木学会継続教育プログラム 平成 27 年度）	2015.09
海岸工学講演会 Vol.71 No.2 (62)	2015.10
地震工学研究発表会講演論文集(35)	2015.10
舗装標準示方書 2014 年制定	2015.10
「公共土木設計施工標準請負契約約款」・「維持管理等の入札契約方式ガイドライン（案）」説明会	2015.10
土木情報学シンポジウム講演集 Vol.40	2015.10
環境システム研究論文集 Vol.71 No.6 (43)	2015.10
環境システム研究論文発表会講演集(43)	2015.10
シールドトンネルにおける切掘り技術（トンネル・ライブラリー 28）	2015.10
木材利用シンポジウム in 秋田：公開シンポジウムおよび現地検討会：木材の土木的利用の現状と秋田スギの利用拡大に向けて	2015.10
地下浸水とその課題：東京・名古屋・京都・大阪を事例として（地下空間の防災・減災セミナー）	2015.10
アスファルトの特性と評価（舗装工学ライブラリー 13a）	2015.10
路床・路盤材料の特性と評価（舗装工学ライブラリー 13b）	2015.10
トンネル工学研究発表会講演集【報告部門】 Vol.25	2015.11
土木計画学研究・講演集 Vol.52	2015.11
土木建設技術発表会概要集	2015.11
複合・合成構造の活用に関するシンポジウム講演集(11)	2015.11
景観・デザイン研究講演集(11)	2015.11
安全問題討論会資料集	2015.11
環境工学研究フォーラム講演集(52)	2015.11
環境工学研究論文集 Vol.71 No.7 (52)	2015.11
地震・津波に関するシンポジウム IN OOSAKA 第 3 回	2015.11

塩害環境の定量評価に関する研究小委員会（348 委員会）委員会報告書（コンクリート技術シリーズ 111）	2015.11
材料劣化が生じるコンクリート構造物の維持管理優先度研究小委員会（342 委員会（第 2 期））委員会報告書（コンクリート技術シリーズ 110）	2015.11
非破壊試験による舗装のたわみ測定と構造評価（舗装工学ライブラリー 14）	2015.11
建設マネジメント問題に関する研究発表・討論会 講演集(33)	2015.12
大規模更新の時代に学ぶべき鋼橋 RC 床版の劣化（疲労・ASR・塩害）と対策，取替（鋼構造基礎講座 第 29 回）	2015.12
複合構造標準示方書 2014 年制定 講習会資料	2015.12
舗装工学論文集 Vol.71 No.3 (20)	2015.12
建設マネジメント研究論文集 Vol.71 No.4	2015.12
社会インフラ メンテナンス学 1. 総論編 2. 工学編	2015.12
地盤工学から見た堤防技術シンポジウム講演概要集 第 3 回	2015.12
鋼構造技術継承講演会：経験豊富な先人に学ぶ次世代への承継技術 第 3 回	2015.12
『施工計画講習会「施工計画のポイントと CIM への取り組み」』（土木学会継続教育プログラム 平成 27 年度）	2015.12
平成 27 年 自然災害フォーラム論文集	2015.12
2015 年関東・東北豪雨災害土木学会・地盤工学会合同調査団関東グループ速報会	2015.12
鋼構造物（鋼橋）の防食設計と防食技術（鋼構造基礎講座 第 30 回）	2015.12
海洋開発論文集(41)	2016
第 21 回 水シンポジウム 2016in やまぐち：報告書 明治維新胎動の地，やまぐち発の水文化	2016
持続可能かつ住みやすい都市を創る都市物流システム（土木計画学ワンデイセミナー 77）	2016.01
インフラ・ライフライン減災対策シンポジウム講演集 第 6 回	2016.01
岩盤力学に関するシンポジウム講演論文集(44)	2016.01
公開シンポジウム「鉄道と木」	2016.01
鋼コンクリート合成床版設計・施工指針（案）（複合構造シリーズ 07）	2016.01
地震防災と先端技術（地震災害マネジメントセミナー 第 15 回）	2016.01
21 世紀の南海地震と防災 第 10 巻	2016.01
「産官学」総力戦の現状と課題（東北地方の橋梁保全に関するシンポジウム 第 7 回）	2016.01
地下空間シンポジウム論文・報告集(21)	2016.01
維持管理・更新・マネジメント技術の高度化に関する研究開発の状況（構造工学委員会セミナー 平成 27 年度）	2016.01
2011 年東北地方太平洋沖地震 5 周年講演会（資料）	2016.01
2011 年東北地方太平洋沖地震 5 周年講演会（資料）	2016.01
「CIM 講演会 2015」開催報告	2016.01
土木学会デザイン賞作品選集 2015	2016.01
地盤紛争の解決に向けて：紛争事例から学ぶ 講演概要集（地盤品質セミナー 2015 年度）	2016.02
少子高齢社会における子育てしやすいまちづくり：親の視点と子どもの視点資料集（土木計画学ワンデイセミナー 78）	2016.02
水工学論文集 Vol.72 No.4 (60)	2016.02
構造工学論文集. A Vol.62 No.B	2016.03
津波被害軽減のための事前対策と復旧・復興のための制度設計の検討報告書（平成 27 年度重点研究課題）	2016.03
土木 ISO ジャーナル Vol.27	2016.03
土木と学校教育フォーラム成果報告書：防災まちづくり・くにづくり学習の実践に向けて 第 7 回	2016.03
土木における木材の利用拡大に関する横断的研究報告書 2015 年度	2016.03
土木構造物を対象とした国際基準要件調査業務報告書 平成 27 年度（平成 28 年 2 月）	2016.03
平成 27 年 9 月関東・東北豪雨による関東地方災害調査報告書：鬼怒川流域	2016.03
土木学会主催 東日本大震災 5 周年シンポジウム：この 5 年間の復興の加速と次への備えに活かすために	2016.03
土木技術者の倫理を考える：3.11 と土木の原点への回帰	2016.03
河川災害に関するシンポジウム	2016.03
構造工学論文集. A Vol.62 No.A	2016.03
2014 年 9 月御嶽山火山噴火調査報告書	2016.03
下水道資源の利活用に資する技術開発促進検討業務報告書：国土交通省下水道事業調査費報告書 平成 28 年 3 月	2016.03
気候変動への適応・緩和策：人々が安心して暮らせる社会の実現に向けて挑戦する土木技術	2016.03
四国版 フライアッシュを結合材として用いたコンクリートの配合設計・施工指針	2016.03
平成 27 年 9 月関東・東北豪雨東北水害調査報告書	2016.04

国土基盤モデル小委員会第5期活動報告書	2016.05
土木計画学研究・講演集 Vol.53	2016.05
若手／中堅実務者のためのコンクリート技術講習会：良いコンクリート構造物を設計するためのポイント	2016.05
道路橋支承部の点検・診断・維持管理技術（鋼構造シリーズ 25）	2016.05
応用力学論文集 Vol.19	2016.05
汚染水貯蔵用 PC タンクの適用を目指して（コンクリートライブラリー 144）	2016.05
土木史研究講演集 Vol.36	2016.05
戦後土木施設の歴史・文化的価値に関する調査小委員会：調査報告書 平成 27 年度	2016.06
トンネル工学セミナー 2016	2016.06
河川技術論文集 Vol.22	2016.06
土木学会論説 第 97 回論説（2015 年 6 月版）-第 108 回論説（2016 年 5 月版）	2016.06
円筒コンクリート構造物用 PC 鋼材定着具『H 型アンカー』の技術評価報告書（技術推進ライブラリー 18）	2016.06
橋梁の維持管理：実践と方法論（構造工学シリーズ 25）	2016.06
施工性能にもとづくコンクリートの配合設計・施工指針 2016 年版（コンクリートライブラリー 145）	2016.06
「鋼構造物の長寿命化技術」に関する講習会	2016.06
公共調達シンポジウム 2016 年度	2016.06
橋梁等の耐震設計シンポジウム講演論文集(19)	2016.07
鉄道工学シンポジウム論文集 第 20 号（構造工学技術シリーズ 70）	2016.07
鋼・合成構造標準示方書 2016 年制定 総則編・構造計画編・設計編	2016.07
フェロニッケルスラグ骨材を用いたコンクリートの設計施工指針（コンクリートライブラリー 146）	2016.07
銅スラグ細骨材を用いたコンクリートの設計施工指針（コンクリートライブラリー 147）	2016.07
鋼橋の大規模修繕・大規模更新：解説と事例（鋼構造シリーズ 26）	2016.07
水工学に関する夏期研修会講義集(52)	2016.08
土木学会年次学術講演会講演概要集(71)	2016.08
建設マネジメント委員会研究成果発表会及び表彰式講演用資料集 2016 年度	2016.08
鋼橋の大規模更新・大規模修繕（鋼構造と橋に関するシンポジウム論文報告集 第 19 回）	2016.08
対津波設計のベンチマークテストに関するシンポジウム講演論文集	2016.08
木材の特徴を活かす木橋	2016.08
木材利用研究論文報告集 15	2016.08
トンネル標準示方書〈共通編〉・同解説/〈シールド工法編〉・同解説. 2016 年制定	2016.08
トンネル標準示方書〈共通編〉・同解説/〈開削工法編〉・同解説. 2016 年制定	2016.08
トンネル標準示方書〈共通編〉・同解説/〈山岳工法編〉・同解説. 2016 年制定	2016.08
低炭素社会に挑む土木	2016.08
地球環境シンポジウム講演集(24)	2016.08
地球環境研究論文集 Vol.72 No.5 (24)	2016.08
社会インフラのためのセンサ標準化ガイドラインおよび運用の手引き（案）	2016.09
社会インフラ メンテナンス学 3. 部門別編	2016.09
東日本大震災合同調査報告 土木編 1 土木構造物の地震被害と復旧	2016.09
全国土木系教官・教員名簿 大学・短大・高専	2016.09
Proceedings of the International Summer Symposium(18)	2016.09
トンネル技術講演会 2016 年 9 月 8 日	2016.09
積雪寒冷地の舗装に関する諸問題と対策（舗装工学ライブラリー 15）	2016.09
土砂災害に関するシンポジウム論文集 第 8 回	2016.09
土木構造物共通示方書 2016 年制定 基本編/構造計画編	2016.09
土木構造物共通示方書 2016 年制定 性能・作用編	2016.09
土木構造物共通示方書〈改訂資料〉 2016 年制定 基本編/構造計画編/性能・作用編（構造工学シリーズ 26）	2016.09
土木計画学 50 周年記念シンポジウム資料集	2016.09
土木情報学シンポジウム講演集 Vol.42	2016.09
原子力発電所の津波評価技術 2016（平成 28 年 9 月）（原子力土木シリーズ 1）	2016.09
海岸工学講演会 Vol.72 No.2 (63)	2016.10
地震工学研究発表会講演論文集(36)	2016.10
土木史フォーラム 36 号-47 号（2008 年 12 月-2015 年 12 月）	2016.10
構造工学における有限要素法の基礎と応用講習会（土木学会継続教育プログラム 平成 28 年度）	2016.10
超高齢社会 2020 に向けた移動権に関するセミナー（土木計画学ワンデイセミナー 81）	2016.10
鋼橋の設計法：これからの設計者に求められる鋼橋の設計法（鋼構造基礎講座 第 31 回）	2016.10
「使用済燃料乾式貯蔵・放射性廃棄物管理に関する最近の技術動向」講演会資料集	2016.10

環境システム研究論文集 Vol.72 No.6 (44)	2016.10
環境システム研究論文発表会講演集(44)	2016.10
山岳トンネル工事の周辺環境対策 (トンネル・ライブラリー 29)	2016.10
『施工計画講習会「施工計画のポイントと ICT の動向」』 (土木学会継続教育プログラム 平成 28 年度)	2016.10
道路橋床版の維持管理マニュアル 2016 (鋼構造シリーズ 27)	2016.10
道路橋床版防水システムガイドライン 2016 (鋼構造シリーズ 28)	2016.10
トンネル工学研究発表会講演集【報告部門】 Vol.26	2016.11
土木計画学研究・講演集 Vol.54	2016.11
土木建設技術発表会概要集	2016.11
道路橋床版シンポジウム論文報告集 第 9 回	2016.11
道路橋床版の橋面コンクリート舗装	2016.11
鋼橋の大規模修繕・大規模更新：最新動向と今後の展望 (鋼構造基礎講座 第 32 回)	2016.11
景観・デザイン研究講演集(12)	2016.11
熊本地震で見てきた課題と今後の展望 (地震災害マネジメントセミナー 第 16 回)	2016.11
FRP 複合構造・橋梁に関するシンポジウム講演概要集(6)	2016.11
土木計画学における空間・経済・統計分析セミナー (土木計画学ワンデイセミナー 82)	2016.11
河川堤防技術シンポジウム講演概要集 第 4 回	2016.11
木材利用シンポジウム in 京都	2016.11
安全問題討論会資料集	2016.11
建設マネジメント問題に関する研究発表・討論会 講演集(34)	2016.12
土木学会複合構造委員会の軌跡 2005 年度－2015 年度	2016.12
舗装工学論文集 Vol.72 No.3 (21)	2016.12
鋼構造技術継承講演会：経験豊富な先人に学ぶ次世代への承継技術 第 4 回	2016.12
インフラ・ライフライン減災対策シンポジウム講演集 第 7 回	2016.12
環境工学研究フォーラム講演集(53)	2016.12
環境工学研究論文集 Vol.72 No.7 (53)	2016.12
建設マネジメント研究論文集 Vol.72 No.4	2016.12
コンクリート構造物における品質を確保した生産性向上に関する提案 (コンクリートライブラリー 148)	2016.12
海洋開発論文集(42)	2017
第 22 回 水シンポジウム 2017in おきなわ：報告書 美ら水の恵み－沖縄から水との結びつきの大切さを考える	2017
地下空間シンポジウム論文・報告集(22)	2017.01
超高強度繊維補強コンクリート「スリムクリート」に関する技術評価報告書(技術推進ライブラリー 10)	2017.01
平成 28 年 自然災害フォーラム&21 世紀の南海地震と防災 第 11 巻	2017.01
土木学会デザイン賞作品選集 2016	2017.01
東北インフラ・マネジメント・プラットフォームの構築と展開 (東北地方の橋梁保全に関するシンポジウム 第 8 回)	2017.01
長周期・長時間地震動下における鋼構造物の力学挙動に関する調査研究小委員会報告書	2017.02
土木材料実験指導書 2017 年改訂版	2017.02
東日本大震災合同調査報告 土木編 6 緊急・応急期の対応	2017.02
「擁壁の耐震診断及び補強法に関するシンポジウム」講演論文集 第 2 回	2017.02
水工学論文集 Vol.73 No.4 (61)	2017.02
大震度直下型地震による河川への影響の総合的調査研究報告書	2017.03
津波減災のための事前対策の定量分析とその社会実装可能性の検討 (平成 28 年度重点研究課題)	2017.03
土木 ISO ジャーナル Vol.28	2017.03
土木と学校教育フォーラム成果報告書：アクティブラーニングを活用した防災まちづくり・くにづくり学習 第 8 回	2017.03
土木における木材の利用拡大に関する横断的研究報告書 2016 年度 (木材利用シンポジウム講演要旨集 第 8 回)	2017.03
土木技術者のための木材工学入門	2017.03
少子高齢社会における子育てしやすいまちづくり：都市のバリアと心のバリア 資料集 (土木計画学ワンデイセミナー 84)	2017.03
これからの交通事故リスクマネジメント (土木計画学ワンデイセミナー 83)	2017.03
河川災害に関するシンポジウム	2017.03
構造工学論文集. A Vol.63 No.A	2017.03
支圧抵抗と摩擦抵抗を組み合わせた盛土補強土壁工法 (FILL WALL 工法) に関する技術評価報告書 (技術推進ライブラリー 11)	2017.03

「新しい内部充てん型エポキシ樹脂被覆 PC 鋼より線「ECF スtrand」に関する技術評価報告書（技術推進ライブラリー 19）	2017.03
構造工学論文集. AVol.63 No.B	2017.03
「CIM 講演会 2016」開催報告	2017.03
監理業務標準委託契約約款・監理業務共通仕様書の解説 2016 年制定	2017.03
帝都復興 80 周年関係史資料調査検討小委員会成果報告書	2017.03
日本土木史 平成 3 年-平成 22 年	2017.03
若手／中堅実務者のためのコンクリート技術講習会：構造物設計の基本と施工・維持管理との連携	2017.05
応用力学論文集 Vol.20	2017.05
トンネル工学セミナー 2017	2017.05
アセットマネジメントシステム実装のための実践研究委員会中間報告書 平成 29 年 3 月	2017.05
これからの空港と次世代航空交通システムの進化（土木計画学ワンデイセミナー 85）	2017.05
土木史研究講演集 Vol.37	2017.05
戦後土木施設の歴史・文化的価値に関する調査小委員会：調査報告書 平成 28 年度	2017.06
土木計画学研究・講演集 Vol.55	2017.06
コンクリートにおける水の挙動研究小委員会（349 委員会）委員会報告書（コンクリート技術シリーズ 112）	2017.06
土木学会論説 第 109 回論説（2016 年 6 月版）-第 119 回論説（2017 年 5 月版）	2017.06
河川技術論文集 Vol.23	2017.06
マンホールの重量化による液状化時の浮上防止技術『インナーウェイト工法』に関する技術評価報告書（技術推進ライブラリー 12）	2017.06
コンクリート構造物の設計と連成型性能評価法：時空間性能評価技術の未来予想図（コンクリート技術シリーズ 113）	2017.06
土木情報学 基礎編	2017.06
橋梁等の耐震設計シンポジウム講演論文集(20)	2017.07
鉄道工学シンポジウム論文集 第 21 号（構造工学技術シリーズ 71）	2017.07
構造物の更新・改築技術：プロセスの紐解き（複合構造レポート 13）	2017.07
スマート・プランニングの活用と今後の展望：今後のまちづくりの切り札となる新たな手法（土木計画学ワンデイセミナー 86）	2017.07
コンクリート構造物の品質・耐久性確保マネジメント研究小委員会（229 委員会）成果報告書（コンクリート技術シリーズ 114）	2017.07
垂井高架橋モニタリング評価委員会最終報告書 平成 29 年 8 月	2017.08
水工学に関する夏期研修会講義集(53)	2017.08
土木学会年次学術講演会講演概要集(72)	2017.08
鋼橋の腐食損傷と対策：長寿命化技術の現状と理想（鋼構造と橋に関するシンポジウム論文報告集 第 20 回）	2017.08
木材利用研究発表会講演概要集 16	2017.08
橋梁の対津波設計に関するシンポジウム講演論文集：橋梁の対津波設計に関する研究小委員会報告書	2017.08
全国土木系教官・教員名簿 大学・短大・高専	2017.09
地球環境シンポジウム講演集(25)	2017.09
地球環境研究論文集 Vol.73 No.5 (25)	2017.09
Proceedings of the International Summer Symposium(19)	2017.09
コンクリート舗装の設計・施工・維持管理の最前線（舗装工学ライブラリー 16）	2017.09
爆発・衝撃作用を受ける土木構造物の安全性評価：希少事象に備える（構造工学シリーズ 27）	2017.09
土木情報学シンポジウム講演集 Vol.42	2017.09
海岸工学講演会 Vol.73 No.2 (64)	2017.10
構造工学における有限要素法の基礎と応用講習会（土木学会継続教育プログラム 平成 29 年度）	2017.10
「タンク構造物に対する非線形 FEM 解析手法」に関する技術評価（数値解析認証）報告書（技術推進ライブラリー 22）	2017.10
環境システム研究論文集 Vol.73 No.6 (45)	2017.10
環境システム研究論文発表会講演集(45)	2017.10
鋼橋の架設および解体撤去工法：より一層の安全性と品質の向上に向けて（鋼構造基礎講座 第 33 回）	2017.10
トンネル工学研究発表会講演集【報告部門】 Vol.27	2017.11
構造物ヘルスマニタリングにおける意思決定：活動成果報告書（構造工学技術シリーズ 72）	2017.11
土木計画学研究・講演集 Vol.56	2017.11
土木建設技術発表会概要集	2017.11
複合・合成構造の活用に関するシンポジウム講演集(12)	2017.11
断層帯近傍における地震動評価に関するシンポジウム論文集	2017.11

『施工計画講習会「施工計画のポイントと ICT の動向」』（土木学会継続教育プログラム 平成 29 年度）	2017.11
環境工学研究フォーラム講演集(54)	2017.11
環境工学研究論文集 Vol.73 No.7 (54)	2017.11
河川堤防技術シンポジウム論文集 第 5 回	2017.11
土木学会構造工学委員会既設構造物を対象とした安全性評価研究小委員会報告書（構造工学技術シリーズ 73）	2017.11
鋼橋設計法の変遷：設計法の変遷から学ぶ設計者のあり方（鋼構造基礎講座 第 34 回）	2017.11
安全問題討論会資料集	2017.11
景観・デザイン研究講演集(13)	2017.12
建設マネジメント問題に関する研究発表・討論会 講演集(35)	2017.12
鉄道技術・政策連合シンポジウム：J-Rail 2017 第 24 回	2017.12
土木計画学 50 周年記念シンポジウム講演記録集	2017.12
土木学会景観・デザイン委員会設立 20 周年記念シンポジウム資料集：景観・デザインは日本を救うか？ー都市・地域の再生に向けて	2017.12
土木技術者倫理問題：考え方と事例解説：土木技術者が書いた土木技術者のための技術者倫理の本 2 改訂版	2017.12
建設マネジメント研究論文集 Vol.73 No.4	2017.12
舗装工学論文集 Vol.73 No.3 (22)	2017.12
鋼構造技術継承講演会：経験豊富な先人に学ぶ次世代への承継技術 第 5 回	2017.12
2016 年熊本地震被害調査報告書	2017.12
基礎からわかる複合構造：理論と設計 2017 年版（複合構造シリーズ 08）	2017.12
複合構造物の耐荷メカニズム：多様性の創造（複合構造レポート 14）	2017.12
「CIM 講演会 2017」開催報告	2018
海洋開発論文集(43)	2018
第 23 回 水シンポジウム 2018in ふじのくに・沼津：報告書 富士の麓で水を語らうー水のチカラ 多様な恵みや荒ぶる姿と暮らしの関わりを考える	2018
3 次元モデルが変えるまちづくりの計画論（土木計画学ワンデイセミナー 87）	2018.01
岩盤力学に関するシンポジウム講演論文集(45)	2018.01
平成 29 年 自然災害フォーラム&21 世紀の南海地震と防災 第 12 巻	2018.01
インフラ・ライフライン減災対策シンポジウム講演集 第 8 回	2018.01
土木学会デザイン賞作品選集 2017	2018.01
国土・県土整備の技術と実践：人口減少・交流時代に真に必要なインフラ整備を考える（中部会場）（土木計画学ワンデイセミナー 89）	2018.01
木材利用シンポジウム in 長崎：これからの木材利用～ながさ木で繋ぐ技術者の“和”～	2018.01
地下空間シンポジウム論文・報告集(23)	2018.01
インフラ・メンテナンスの最新動向（東北地方の橋梁保全に関するシンポジウム 第 9 回）	2018.01
国土・県土整備の技術と実践：人口減少・交流時代に真に必要なインフラ整備を考える（東北会場）（土木計画学ワンデイセミナー 90）	2018.01
復興活動から考える減災・防災（地震災害マネジメントセミナー 第 17 回）	2018.01
既設斜面を補強する斜面安定工法（NS スロープキーパー）の設計施工法に関する技術評価報告書（技術推進ライブラリー 21）	2018.02
再生可能エネルギー開発：最新事情と海外展開	2018.02
水工学論文集 Vol.74 No.4 (62)	2018.02
国土・県土整備の技術と実践：人口減少・交流時代に真に必要なインフラ整備を考える（九州会場）（土木計画学ワンデイセミナー 91）	2018.02
コンクリート標準示方書 2017 年制定 施工編	2018.03
コンクリート標準示方書 2017 年制定 設計編	2018.03
学会内の各種示方書類の基本事項の共通化と基本設計コードの策定報告書（平成 29 年度重点研究課題）	2018.03
地震工学研究発表会講演論文集(37)	2018.03
土木 ISO ジャーナル Vol.29	2018.03
河川災害に関するシンポジウム	2018.03
土木における木材の利用拡大に関する横断的研究報告書 2017 年度（木材利用シンポジウム講演要旨集 第 9 回）	2018.03
構造工学論文集. A Vol.64 No.A	2018.03
コンクリート標準示方書改訂資料 2017 年制定設計編・施工編（コンクリートライブラリー 149）	2018.03
下水道資源（処理水・汚泥等）利活用技術の実用化に向けた戦略検討業務報告書	2018.03
構造工学論文集. A Vol.64 No.B	2018.03
2018 年都市間旅客交通ワンデイセミナー（土木計画学ワンデイセミナー 94）	2018.03

鋼構造物の長寿命化技術（鋼構造シリーズ 29）	2018.03
東日本大震災合同調査報告 土木編 4 交通施設の被害と復旧	2018.03
応用力学論文集 Vol.21	2018.05
トンネル工学セミナー 2018	2018.05
土木史研究講演集 Vol.38	2018.05
インフラ健康診断書 2018（試行版）を公表しました	2018.06
インフラ健康診断書：港湾部門試行版 2018.6	2018.06
インフラ健康診断書：道路部門試行版 2018.6	2018.06
戦後土木施設の歴史・文化的価値に関する調査小委員会：調査報告書 平成 29 年度	2018.06
土木計画学研究・講演集 Vol.57	2018.06
土木学会論説・オピニオン 第 121 回論説（2017 年 6 月版）-第 132 回論説（2018 年 5 月版）	2018.06
土木学会論説 第 97 回論説（2015 年 6 月版）-第 108 回論説（2016 年 5 月版）	2018.06
河川技術論文集 Vol.24	2018.06
セメント系構築物と周辺地盤の化学的相互作用研究小委員会（345 委員会）第 2 期成果報告書（コンクリート技術シリーズ 115）	2018.06
セメント系材料を用いたコンクリート構造物の補修・補強指針（コンクリートライブラリー 150）	2018.06
既設コンクリート構造物の構造性能評価研究小委員会報告書およびシンポジウム講演概要集（コンクリート技術シリーズ 116）	2018.06
調査研究成果報告書：新たな都市施設・空間の複合化を目指して：まちづくりにおける水辺空間のあり方調査研究委員会（講習会テキスト）	2018.07
土木学会トンネル工学委員会熊本地震調査特別小委員会報告書	2018.07
高炉スラグ細骨材を用いたコンクリートに関する研究小委員会（354 委員会）成果報告書（コンクリート技術シリーズ 117）	2018.07
鉄道工学シンポジウム論文集 第 22 号（構造工学技術シリーズ 74）	2018.07
地盤安定解析高度化小委員会研究報告書 2018 年 7 月（原子力土木シリーズ 2）	2018.07
地盤安定解析高度化小委員会研究報告書（原子力土木シリーズ 2）	2018.07
橋梁等の耐震設計シンポジウム講演論文集(21)	2018.07
混和材料を使用したコンクリートの物性評価技術と性能規定型材料設計に関する研究小委員会（353 委員会）成果報告書（コンクリート技術シリーズ 118）	2018.07
FRP 接着による構造物の補修・補強指針（案）（複合構造シリーズ 09）	2018.07
土木学会年次学術講演会講演概要集(73)	2018.08
大地震による鋼橋の被害と復旧，改善の歴史と未来（鋼構造と橋に関するシンポジウム論文報告集 第 21 回）	2018.08
木材利用研究発表会講演概要集 17	2018.08
地盤の地震応答解析：夏の講習会 2018	2018.08
Proceedings of the International Summer Symposium(20)	2018.08
トンネル技術講演会：北海道のトンネルにおける技術とその変遷	2018.08
トンネル技術講演会：北海道のトンネルにおける技術とその変遷（配布資料） 2018 年 8 月 30 日	2018.08
モニタリング技術と融合した橋梁マネジメントに関する調査研究委員会講習会（講習会テキスト 平成 30 年度）	2018.09
水工学に関する夏期研修会講義集(54)	2018.09
歴史的な地盤遺跡の保全と活用に関する研究委員会報告書	2018.09
高炉スラグ微粉末を用いたコンクリートの設計・施工指針（コンクリートライブラリー 151）	2018.09
混和材を大量に使用したコンクリート構造物の設計・施工指針（案）（コンクリートライブラリー 152）	2018.09
地球環境シンポジウム講演集(26)	2018.09
地球環境研究論文集 Vol.74 No.5 (26)	2018.09
繊維補強コンクリートの構造利用研究小委員会（第 2 期）委員会報告書：繊維補強コンクリートの構造設計とその課題（コンクリート技術シリーズ 119）	2018.09
土砂災害に関するシンポジウム論文集 第 9 回	2018.09
鋼・合成構造標準示方書 2018 年制定 耐震設計編	2018.09
土木情報学シンポジウム講演集 Vol.43	2018.09
コンクリート標準示方書 2018 年制定 維持管理編	2018.10
コンクリート標準示方書 2018 年制定 規準編 [1] 土木学会規準および関連規準	2018.10
地震工学研究発表会講演論文集(38)	2018.10
全国土木系教官・教員名簿 大学・短大・高専	2018.10
コンクリートの性能に及ぼす高温作用の影響評価研究小委員会（352 委員会）成果報告書（コンクリート技術シリーズ 120）	2018.10
コンクリート標準示方書改訂資料 2018 年制定維持管理編・規準編（コンクリートライブラリー 153）	2018.10
鋼橋の維持管理：新技術を活用したインフラマネジメント（鋼構造基礎講座 第 35 回）	2018.10

環境システム研究論文集 Vol.74 No.6 (46)	2018.10
環境システム研究論文発表会講演集(46)	2018.10
原子力発電所屋外重要土木構造物の耐震性能照査指針：技術資料 2018 年版（原子力土木シリーズ 3）	2018.10
原子力発電所屋外重要土木構造物の耐震性能照査指針・マニュアル・照査例 2018 年版（原子力土木シリーズ 3）	2018.10
『施工計画講習会「施工計画のポイントと ICT の動向」』（土木学会継続教育プログラム 平成 30 年度）	2018.10
信頼性設計法に基づく土木構造物の性能照査ガイドライン（構造工学シリーズ 28）	2018.10
土木設計競技ガイドライン・同解説＋資料集	2018.10
トンネル工学研究発表会講演集【報告部門】Vol.28	2018.11
海岸工学講演会 Vol.74 No.2 (65)	2018.11
土木計画学研究・講演集 Vol.58	2018.11
土木建設技術発表会概要集	2018.11
景観・デザイン研究講演集(14)	2018.11
水工学論文集 Vol.74 No.5 (63)	2018.11
道路橋床版シンポジウム論文報告集 第 10 回	2018.11
FRP 複合構造・橋梁に関するシンポジウム講演概要集(7)	2018.11
表面工にプレキャストコンクリート板を用いた地山補強土工法（PAN WALL 工法）に関する技術評価報告書（技術推進ライブラリー 14）	2018.11
河川災害に関するシンポジウム	2018.11
新しい道路橋示方書での鋼橋の設計：鋼橋の設定がどのように変わっていくかを詳説：道示改定で戸惑う設計実務者の一助に（鋼構造基礎講座 第 36 回）	2018.11
安全問題討論会資料集	2018.11
土木施工なんでも相談室 土工・掘削編 2018 年改訂版	2018.11
塩害環境の定量評価に関する研究小委員会（348 委員会（第 2 期））委員会報告書およびシンポジウム講演概要集（コンクリート技術シリーズ 121）	2018.12
建設マネジメント問題に関する研究発表・討論会 講演集(36)	2018.12
河川堤防技術シンポジウム論文集 第 6 回	2018.12
建設マネジメント研究論文集 Vol.74 No.2	2018.12
舗装工学論文集 Vol.74 No.3 (23)	2018.12
2018 年 7 月西日本豪雨災害調査報告書	2018.12
環境工学研究論文集 Vol.74 No.7 (55)	2018.12
環境工学研究フォーラム講演集(55)	2018.12
鋼構造技術継承講演会：経験豊富な先人に学ぶ次世代への承継技術 第 6 回	2018.12
平成 30 年 自然災害フォーラム&21 世紀の南海地震と防災 第 13 巻	2018.12
海洋開発論文集(44)	2019
地下空間シンポジウム論文・報告集(24)	2019.01
インフラ・ライフライン減災対策シンポジウム講演集 第 9 回	2019.01
岩盤力学に関するシンポジウム講演論文集(46)	2019.01
トンネルの維持管理の実態と課題（トンネル・ライブラリー 30）	2019.01
鋼・合成構造標準示方書 2018 年制定 施工編	2019.01
特殊トンネル工法：道路や鉄道との立体交差トンネル（トンネル・ライブラリー 31）	2019.01
SIP インフラ新技術地域実装活動報告書：地域のインフラ維持管理の今後に向けて	2019.01
健康政策と都市構造を考えたまちづくりの展開方策（土木計画学ワンデイセミナー 97）	2019.01
橋梁保全シンポジウムの 10 年の歩みとこれから（東北地方の橋梁保全に関するシンポジウム 第 10 回）	2019.01
トンネル・ライブラリー「特殊トンネル工法-道路や鉄道との立体交差トンネル」講習会テキスト	2019.01
下水道先端技術と環境工学と周辺分野の展開：講演会 第 2 回	2019.01
土木における木材の利用拡大に関する横断的研究報告書 2018 年度（木材利用シンポジウム講演要旨集 第 10 回）	2019.02
2018 年 7 月西日本豪雨災害調査団（中国地区）報告書	2019.03
構造工学論文集. AVol.65 No.A	2019.03
成熟したシビルエンジニア活性化小委員会報告書 2018	2019.03
中山間地域における広域的な豪雨による土砂災害メカニズムの究明と地域防災力の向上に向けた取り組みに関する研究 報告書（平成 30 年度重点研究課題）	2019.03
公益信託土木学会学術交流基金の 30 年	2019.03
水理公式集 2018 年版	2019.03
土木材料実験指導書 2019 年改訂版	2019.03
アセットマネジメントシステム実装のための実践研究委員会 平成 30 年度成果報告書	2019.03
構造工学論文集. AVol.65 No.B	2019.03

亜鉛めっき鉄筋を用いるコンクリート構造物の設計・施工指針（案）（コンクリートライブラリー 154）	2019.03
高炉スラグ細骨材を用いたプレキャストコンクリート製品の設計・製造・施工指針（案）（コンクリートライブラリー 155）	2019.03
東日本大震災合同調査報告 土木編 7 社会経済的影響の分析	2019.03
〔土木学会土木情報学委員会建設 ICT データ連携研究小委員会〕活動報告書 平成 28-29 年度	2019.05
提言「22 世紀の国づくり」：「22 世紀の国づくり」プロジェクト委員会報告書	2019.05
土木学会デザインコンペ 22 世紀の国づくりーありたい姿と未来へのタスクー報告書	2019.05
土木学会デザインコンペ 22 世紀の国づくりーありたい姿と未来へのタスクー報告書（概要版）	2019.05
トンネル工学セミナー 2019	2019.05
土木史研究講演集 Vol.39	2019.05
土木計画学研究・講演集 Vol.59	2019.06
土木学会論説・オピニオン 第 133 回論説（2018 年 6 月版）-第 144 回論説（2019 年 5 月版）	2019.06
若手／中堅実務者のためのコンクリート技術講習会：構造物設計の基本と施工・維持管理との連携	2019.06
実務者のための山岳トンネルのリスク低減対策（トンネル・ライブラリー 32）	2019.06
河川技術論文集 Vol.25	2019.06
「断層変位が作用する地中ボックスカルバートの非線形有限要素法による応答算定と評価」に関する技術評価（数値解析認証）報告書（技術推進ライブラリー 23）	2019.06
公共調達シンポジウム 2019 年度	2019.06
応用力学論文集 Vol.22	2019.06
マンホールの重量化による液状化時の浮上防止技術『インナーウェイト工法』に関する技術評価報告書（技術推進ライブラリー 12）	2019.06
鉄道工学シンポジウム論文集 第 23 号（構造工学技術シリーズ 75）	2019.07
橋梁等の耐震設計シンポジウム講演論文集(22)	2019.07
大気環境における鋼構造物の防食性能回復の課題と対策（鋼構造シリーズ 30）	2019.07
東日本大震災合同調査報告 土木編 8 復興概要編	2019.07
「i-Construction の推進に関するシンポジウム」発表論文集 第 1 回	2019.07
土木工事における GNSS 活用ガイドライン	2019.08
土木学会年次学術講演会講演概要集(74)	2019.08
鋼橋の平成における発展・整備と令和時代に向けての展望（鋼構造と橋に関するシンポジウム論文報告集 第 22 回）	2019.08
第 24 回 水シンポジウム 2019in しが：報告書 マザーレイク・森・川・里・湖のつながりの再生を目指して	2019.08
地球環境シンポジウム講演集(27)	2019.08
地球環境研究論文集 Vol.75 No.5 (27)	2019.08
鋼構造のインターフェースストラクチャの有限要素モデル化に関する調査研究報告書	2019.09
水工学に関する夏期研修会講義集(55)	2019.09
数値解析による道路橋床版の構造検討（構造工学技術シリーズ 76）	2019.09
Proceedings of the International Summer Symposium(21)	2019.09
2018 年北海道胆振東部地震・大阪府北部の地震被害調査報告書（地震被害調査シリーズ 2, 3）	2019.09
コンクリート構造物の養生効果の定量的評価と各種養生技術に関する研究小委員会（356 委員会）成果報告書およびシンポジウム論文集（コンクリート技術シリーズ 122）	2019.09
鋼橋の性能照査型維持管理とモニタリング（鋼構造シリーズ 31）	2019.09
土木情報学シンポジウム講演集 Vol.44	2019.09
既設鋼構造物の性能評価・回復のための構造解析技術（鋼構造シリーズ 32）	2019.09
海岸工学講演会 Vol.75 No.2 (66)	2019.10
地震工学研究発表会講演論文集(39)	2019.10
構造工学における有限要素法の基礎と応用講習会（土木学会継続教育プログラム 2019 年度）	2019.10
鋼・合成構造標準示方書 2019 年制定 維持管理編	2019.10
地盤の地震応答解析：秋の講習会 2019	2019.10
溶接構造物の設計・製作：溶接構造物設計時の施工を鑑みた留意点（鋼構造基礎講座 第 37 回）	2019.10
水工学論文集 Vol.75 No.2 (64)	2019.10
環境システム研究論文集 Vol.75 No.6 (47)	2019.10
環境システム研究論文発表会講演集(47)	2019.10
健康まちづくりの実践的展開（土木計画学ワンデイセミナー 102）	2019.10
トンネル工学研究発表会講演集【報告部門】 Vol.29	2019.11
土木計画学研究・講演集 Vol.60	2019.11
土木建設技術発表会概要集	2019.11
河川災害に関するシンポジウム	2019.11

鋼橋の大規模修繕・大規模更新のその後：現状と関連技術等の開発・採用の動向（鋼構造基礎講座 第38回）	2019.11
『施工計画講習会「施工計画のポイントとICTの動向」』（土木学会継続教育プログラム 2019年度）	2019.11
複合・合成構造の活用に関するシンポジウム講演集(13)	2019.11
コンクリート構造の設計・施工・維持管理の基本 第6次改訂版	2019.11
安全問題討論会資料集	2019.11
景観・デザイン研究講演集(15)	2019.12
建設マネジメント問題に関する研究発表・討論会 講演集(37)	2019.12
構造物の衝撃問題に関するシンポジウム論文集(12)	2019.12
環境工学研究フォーラム講演集(56)	2019.12
環境工学研究論文集 Vol.75 No.7 (56)	2019.12
鋼構造技術継承講演会：経験豊富な先人に学ぶ次世代への承継技術 第7回	2019.12
河川堤防技術シンポジウム論文集 第7回	2019.12
舗装工学論文集 Vol.75 No.2 (24)	2019.12
令和元年 自然災害フォーラム&21世紀の南海地震と防災 第14巻	2019.12
海洋開発論文集(45)	2020
地下空間シンポジウム論文・報告集(25)	2020.01
インフラ・ライフライン減災対策シンポジウム講演集 第10回	2020.01
岩盤力学に関するシンポジウム講演論文集(47)	2020.01
河道管理の最前線：現場と研究の接点を探る	2020.01
構造物メンテナンスにおける点検・診断技術の将来像：2巡目の橋梁定期点検に向けたロボット、ドローン&AI技術の可能性（構造工学セミナー 令和元年度）	2020.01
既設構造物の性能評価ガイドライン	2020.03
土木ISO ジャーナル Vol.31	2020.03
東北 ILC 施設計画	2020.03
「現場施工可能なアプセットバット溶接によるせん断補強筋に関する技術評価」報告書（技術推進ライブラリー 24）	2020.03
複合構造物の防水・排水技術：水の侵入形態と対策（複合構造レポート 15）	2020.03
「回転切削圧入工法（ジャイロプレス工法）の設計法・施工法に関する技術評価」報告書（技術推進ライブラリー 25）	2020.03
鉄筋定着・継手指針 2020年版（コンクリートライブラリー 156）	2020.03
土木技術者のための原価管理 2020年改訂版	2020.03
鋼道路橋 RC床版更新の設計・施工技術（鋼構造シリーズ 33）	2020.04
〔土木学会土木情報学委員会道路構造物維持管理データモデル研究小委員会〕活動報告書 2018-2019年度	2020.05
令和元年8月佐賀豪雨災害調査報告書	2020.05
応用力学論文集 Vol.23-24	2020.05
締固めを必要とする高流動コンクリートの配合設計・施工技術研究小委員会（358委員会）委員会報告書（コンクリート技術シリーズ 123）	2020.05
インフラメンテナンス（鉄道）特別委員会報告書：鉄道インフラの健康診断と将来のメンテナンスに向けた提言	2020.06
土木計画学研究・講演集 Vol.61	2020.06
令和元年台風19号豪雨災害調査団：中部・北陸地区報告書〔土木学会水工学委員会〕	2020.06
鉄道インフラメンテナンス図鑑：日本初の「安全で安定」「快適さ」をささえる秘密	2020.06
インフラ健康診断書 2020	2020.06
河川技術論文集 Vol.26	2020.06
土木史研究講演集 Vol.40	2020.06
鉄道工学シンポジウム論文集 第24号（構造工学技術シリーズ 79）	2020.07
土木学会年次学術講演会講演概要集(75)	2020.08
コンクリート構造物の品質確保小委員会（第二期）（350委員会）委員会報告書（コンクリート技術シリーズ 124）	2020.08
電気化学的防食工法指針（コンクリートライブラリー 157）	2020.09
Proceedings of the International Summer Symposium(22)	2020.09
橋梁のコンピューティング技術（橋に関するシンポジウム論文報告集 第23回）	2020.09
地球環境シンポジウム講演集(28)	2020.09
地球環境研究論文集 Vol.76 No.5 (28)	2020.09
土木情報学シンポジウム講演集 Vol.45	2020.09
地震工学研究発表会講演論文集(40)	2020.10

道路橋床版シンポジウム論文報告集：道路橋床版の点検診断の高度化と長寿命化技術に関する小委員会報告書 第11回	2020.10
環境システム研究論文集 Vol.76 No.6 (48)	2020.10
環境システム研究論文発表会講演集(48)	2020.10
コンクリート構造物の設計と連成型性能評価法：時空間性能評価技術の未来予想図 2（コンクリート技術シリーズ 125）	2020.10
道路橋床版の維持管理マニュアル 2020（鋼構造シリーズ 35）	2020.10
道路橋床版の長寿命化を目的とした橋面コンクリート舗装ガイドライン 2020（鋼構造シリーズ 36）	2020.10
水工学論文集 Vol.76 No.2 (65)	2020.10
溶接構造物の設計～製作：溶接構造物設計時の施工を鑑みた留意点（鋼構造基礎講座 第39回）	2020.10
2019年台風第19号災害に関する東北学術合同調査団報告書	2020.11
トンネル工学研究発表会講演集【報告部門】Vol.30	2020.11
海岸工学講演会 Vol.76 No.2 (67)	2020.11
土木計画学研究・講演集 Vol.62	2020.11
部材詳細の設計と照査に関する研究小委員会報告書（コンクリート技術シリーズ 126）	2020.11
FRP 複合構造・橋梁に関するシンポジウム講演概要集(8)	2020.11
鋼橋の環境振動・騒音に関する予測、評価および対策技術：振動・騒音のミニマム化を目指して（鋼構造シリーズ 34）	2020.11
様々な要因による空洞・陥没事例とその対策：令和2年度 地盤工学セミナー	2020.11
安全問題討論会資料集	2020.11
景観・デザイン研究講演集(16)	2020.12
建設マネジメント問題に関する研究発表・討論会 講演集(38)	2020.12
鋼構造技術継承講演会：経験豊富な先人に学ぶ次世代への承継技術 第8回	2020.12
環境工学研究フォーラム講演集(57)	2020.12
環境工学研究論文集 Vol.76 No.7 (57)	2020.12
鋼構造技術継承講演会：経験豊富な先人に学ぶ次世代への承継技術 第10回	2020.12
鉄道技術・政策連合シンポジウム：J-Rail 2020 第27回	2020.12
令和2年 自然災害フォーラム&21世紀の南海地震と防災 第15巻	2020.12
海洋開発論文集(46)	2021
地下空間シンポジウム論文・報告集(26)	2021.01
コンクリート充填鋼管適用技術の現状と最先端（複合構造レポート 16）	2021.01
インフラ・ライフライン減災対策シンポジウム講演集 第11回	2021.01
橋梁等の耐震設計シンポジウム講演論文集(23)	2021.01
水路トンネル維持管理の手引き	2021.01
アセットマネジメントの舗装分野への適用ガイドブック（舗装工学ライブラリー 17）	2021.02
公共調達における事業手法の選択基準：VFM	2021.02
熊本地震建設技術者応急対応調査報告書：地域力結集の課題	2021.03
熊本地震建設技術者応急対応調査報告書：地域力結集の課題 資料集	2021.03
土木 ISO ジャーナル Vol.32	2021.03
土木建設技術発表会概要集	2021.03
プレキャストコンクリートを用いた構造物の構造計画・設計・製造・施工・維持管理指針（案）（コンクリートライブラリー 158）	2021.03
土木材料実験指導書 2021年改訂版	2021.03
石炭灰混合材料を地盤・土構造物に利用するための技術指針（案）（コンクリートライブラリー 159）	2021.03
「場所打ちコンクリート杭の鉄筋かご組立に用いる無溶接金具（ゼスロック FZ 型）に関する技術評価」報告書（技術推進ライブラリー 27）	2021.03
「ポリウレタ樹脂を用いたコンクリート構造物の機能保持・向上技術（タフネスコート工法）」に関する技術評価報告書（技術推進ライブラリー 26）	2021.05
応用力学論文集 Vol.24	2021.05
土木史研究講演集 Vol.41	2021.05
土木計画学研究・講演集 Vol.63	2021.06
土木学会論説・オピニオン 第157回論説（2020年6月版）-第168回論説（2021年5月版）	2021.06
河川技術論文集 Vol.27	2021.06
円筒コンクリート構造物用 PC 鋼材定着具『H 型アンカー』の技術評価報告書（技術推進ライブラリー 18）	2021.06
土木施工なんでも相談室 2021年版 最新の現場課題とその対策事例集編	2021.06
鉄道工学シンポジウム論文集 第25号（構造工学技術シリーズ 80）	2021.07
橋梁等の耐震設計シンポジウム講演論文集(24)	2021.07

原子力発電所の基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価技術：技術資料 2020 年度版（原子力土木シリーズ 4）	2021.07
地盤は悪夢を知っていた：地盤に残る地震痕跡（地震工学シリーズ 001）	2021.07
第 25 回 水シンポジウム 2021in ぐんま：報告書 「利根川水源県ぐんまからの発信」－歴史、文化、自然の恵みを未来へつなぐために－	2021.08
地震工学研究発表会講演論文集(41)	2021.09
連続合成桁橋における床版取替え技術の現状と展開（複合構造レポート 17）	2021.09
Proceedings of the International Summer Symposium(23)	2021.09
土木学会年次学術講演会講演概要集(76)	2021.09
鋼橋の REBORN 技術：持続的な活用に向けた次世代への鋼橋の改良（橋に関するシンポジウム論文報告集 第 24 回）	2021.09
水理模型実験の理論と応用：波動と地盤の相互作用	2021.09
日本インフラの体力診断 Vol.1 （道路・河川・港湾）	2021.09
地球環境シンポジウム講演集(29)	2021.09
地球環境研究論文集 Vol.77 No.5 (29)	2021.09
土木情報学シンポジウム講演集 Vol.46	2021.09
原子力発電所屋外重要土木構造物の耐震性能照査指針：マニュアル・照査例，技術資料 〈別冊〉断層変位に対する影響評価技術 2021（原子力土木シリーズ 5）	2021.10
コンクリート構造物の耐凍害性確保に関する調査研究小委員会(359 委員会)委員会報告書およびシンポジウム論文集（コンクリート技術シリーズ 127）	2021.10
環境システム研究論文集 Vol.77 No.6 (49)	2021.10
環境システム研究論文発表会講演集(49)	2021.10
原子力発電所屋外重要土木構造物の耐震性能照査指針（別冊）断層変位に対する影響評価技術 2021 年版（原子力土木シリーズ 5）	2021.10
原子力発電所屋外重要土木構造物の耐震性能照査指針：技術資料 2021 年版（原子力土木シリーズ 5）	2021.10
原子力発電所屋外重要土木構造物の耐震性能照査指針・マニュアル・照査例 2021 年版（原子力土木シリーズ 5）	2021.10
トンネル工学研究発表会講演集【報告部門】 Vol.31	2021.11
海岸工学講演会 Vol.77 No.2 (68)	2021.11
複合・合成構造の活用に関するシンポジウム講演集(14)	2021.11
環境工学研究論文集 Vol.77 No.7 (58)	2021.11
中国地方の選奨土木遺産：土木学会中国支部創立 80 周年記念 第 3 版	2021.11
H29 道示改定後の鋼道路橋の設計に関する課題と取り組み（鋼構造基礎講座 第 41 回）	2021.11
鋼構造物（鋼橋）の疲労（鋼構造基礎講座 第 40 回）	2021.11
耐震基準小委員会断層変位 WG 研究成果報告書	2021.11
環境工学研究フォーラム講演集(58)	2021.11
既設コンクリート構造物の構造性能評価研究小委員会（第 2 期）委員会報告書（コンクリート技術シリーズ 128）	2021.11
安全問題討論会資料集	2021.11
補修・補強のための高力ボルト摩擦接合技術：当て板補修・補強の最新技術（鋼構造シリーズ 37）	2021.11
高炉スラグ微粉末を用いたコンクリートの品質・性能評価に関する調査研究小委員会成果報告書（コンクリート技術シリーズ 129）	2021.11
景観・デザイン研究講演集(17)	2021.12
土木計画学研究・講演集 Vol.64	2021.12
建設マネジメント問題に関する研究発表・討論会 講演集(39)	2021.12
河川堤防技術シンポジウム論文集 第 9 回	2021.12
鋼構造技術継承講演会：経験豊富な先人に学ぶ次世代への承継技術 第 9 回	2021.12
海洋開発論文集(47)	2022
地下空間シンポジウム論文・報告集(27)	2022.01
インフラ・ライフライン減災対策シンポジウム講演集 第 12 回	2022.01
岩盤力学に関するシンポジウム講演論文集(48)	2022.01
構造物の衝撃問題に関するシンポジウム論文集(13)	2022.01
コンクリートのあと施工アンカー工法の設計・施工・維持管理指針（案）（コンクリートライブラリー 160）	2022.01
知っておきたい斜面のはなし Q&A 2：斜面の災害に備える	2022.01
令和 3 年度 自然災害フォーラム&21 世紀の南海地震と防災 第 16 巻	2022.01
地盤・構造物の非線形解析法の検証と妥当性確認の方法：ガイドラインとその実践事例	2022.01
示方書連絡調整小委員会（230 委員会）報告書：持続可能な社会の実現に向けたコンクリート標準示方書の将来像（コンクリート技術シリーズ 130）	2022.01

噴火災害に備えて：火山工学の視点から避難等の対応を分かりやすく解説	2022.02
土木 ISO ジャーナル Vol.33	2022.03
土木建設技術発表会概要集	2022.03
土木情報学委員会インドアポジショニング研究小委員会報告書（案）	2022.03
根拠に基づく構造性能評価のための点検・解析の技術体系を目指して：点検を目的とした維持管理へ導かれた技術者へのメッセージ（複合構造レポート 18）	2022.03
「新しい内部充てん型エポキシ樹脂被覆 PC 鋼より線「ECF ストランド」に関する技術評価報告書（技術推進ライブラリー 19）	2022.03
「コンクリート構造物における IPH 工法（内圧充填接合補強工法）の設計施工法」に関する技術評価報告書（技術推進ライブラリー 20）	2022.03
2021 年 10 月に発生した六十谷水管橋崩落調査報告書	2022.05
応用力学論文集 Vol.25	2022.05
応用力学論文集 Vol.26	2022.05
土木史研究講演集 Vol.42	2022.05
Beyond コロナの日本創生と土木のビッグピクチャー（提言）：人々の Well-being と持続可能な社会に向けて	2022.06
土木計画学研究・講演集 Vol.65	2022.06
河川技術論文集 Vol.28	2022.06
モニタリング技術活用のための指針（案）	2022.06
実務に役立つ耐震設計入門 2022 年改訂版	2022.07
橋梁等の耐震設計シンポジウム講演論文集(25)	2022.07
鉄道工学シンポジウム論文集 第 26 号（構造工学技術シリーズ 82）	2022.07
日本インフラの体力診断 Vol.2（地域公共交通・都市鉄道・下水道）	2022.07
複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響：材料と構造の新たな境界問題（複合構造レポート 19）	2022.08
鋼橋のビッグプロジェクト：最新の建設・維持管理技術（橋に関するシンポジウム論文報告集 第 25 回）	2022.08
地球環境シンポジウム講演集(30)	2022.08
水工学に関する夏期研修会講義集(57)	2022.09
性能に基づく橋梁の耐震構造計画・設計法に関する研究小委員会活動報告書	2022.09
土木学会年次学術講演会講演概要集(77)	2022.09
Proceedings of the International Summer Symposium(24)	2022.09
土木情報学シンポジウム講演集 Vol.47	2022.09
地震工学研究発表会講演論文集(42)	2022.10
道路橋床版シンポジウム論文報告集 第 12 回	2022.10
環境システム研究論文発表会講演集(50)	2022.10
最新の鋼橋架設技術および鋼橋施工時の留意点：鋼橋の架設工事における安全確保に向けて（鋼構造基礎講座 第 42 回）	2022.10
トンネル工学研究発表会講演集【報告部門】 Vol.32	2022.11
海岸工学講演会 Vol.78 No.2 (69)	2022.11
土木計画学研究・講演集 Vol.66	2022.11
FRP 複合構造・橋梁に関するシンポジウム講演概要集(9)	2022.11
安全問題討論会資料集	2022.11
塗替塗装に関する基礎知識と課題への取り組み最前線（鋼構造基礎講座 第 43 回）	2022.11
鋼・合成構造標準示方書 2022 年制定 総則編・構造計画編・設計編	2022.11
環境工学研究論文集 Vol.78 No.7 (59)	2022.11
コンクリート中への水分浸透評価とその活用に関する研究小委員会（362 委員会）成果報告書およびシンポジウム講演概要集（コンクリート技術シリーズ 131）	2022.11
レーザーによる鋼構造物表面の素地調整技術検討小委員会報告書	2022.12
景観・デザイン研究講演集(18)	2022.12
建設マネジメント問題に関する研究発表・討論会 講演集(40)	2022.12
日本インフラの技（わざ）：原点と未来	2022.12
土木分野におけるジオポリマー技術の実用化推進のための研究小委員会（361 委員会）成果報告書（コンクリート技術シリーズ 132）	2022.12
令和 4 年度 自然災害フォーラム&21 世紀の南海地震と防災 第 17 巻	2022.12
地下空間シンポジウム論文・報告集(28)	2023.01
岩盤力学に関するシンポジウム講演論文集(49)	2023.01
衝撃作用に対する構造性能照査法の基礎と応用（構造工学シリーズ 29）	2023.01
河川堤防技術シンポジウム論文集 第 11 回	2023.01
ブロック系舗装入門（舗装工学ライブラリー 18）	2023.01

締固めを必要とする高流動コンクリートの配合設計・施工指針（案）（コンクリートライブラリー 161）	2023.02
土木材料実験指導書 2023 年改訂版	2023.02
橋梁の耐風設計における数値流体解析ガイドライン（構造工学シリーズ 30）	2023.02
コンクリート標準示方書 2022 年制定 維持管理編	2023.03
コンクリート標準示方書 2022 年制定 基本原則編	2023.03
コンクリート標準示方書 2022 年制定 設計編	2023.03
第 26 回 水シンポジウム 2022in やまがた：報告書 未来へ引き継ぐ母なる川最上川ー地球的視野に立ち流域全体で環境・文化・暮らしを守るー	2023.03
土木 ISO ジャーナル Vol.33	2023.03
土木建設技術発表会概要集	2023.03
Beyond コロナの日本創生と土木のビッグピクチャー（提言）：人々の Well-being と持続可能な社会に向けて	2023.03
Q&A でわかる土木と木材	2023.03
ODI シリーズ自在ジョイント継手の技術評価報告書（技術推進ライブラリー 28）	2023.03
コンクリート標準示方書改訂資料 2022 年制定 基本原則編・設計編・維持管理編（コンクリートライブラリー 162）	2023.03
トンネルの地震被害と耐震設計：山岳・シールド・開削トンネル（トンネル・ライブラリー 33）	2023.03
橋の計画と形式選定の手引き	2023.05
回転圧入鋼管杭（NS エコスパイラル）の設計施工法に関する技術評価報告書（技術推進ライブラリー 13）	2023.05
土木史研究講演集 Vol.43	2023.05
鋼橋の維持管理性・景観を向上させる技術（鋼構造シリーズ 38）	2023.06
土木計画学研究・講演集 Vol.67	2023.06
日本インフラの体力診断 Vol.3 公園緑地・水インフラ・新幹線	2023.06
河川技術論文集 Vol.29	2023.06
石炭ガス化スラグ細骨材を用いたコンクリートの設計・施工指針（コンクリートライブラリー 163）	2023.06
鉄道工学シンポジウム論文集 第 27 号（構造工学技術シリーズ 85）	2023.07
橋梁等の耐震設計シンポジウム講演論文集(26)	2023.07
アスファルト遮水壁の維持管理（舗装工学ライブラリー 20）	2023.07
水工学に関する夏期研修会講義集(58)	2023.08
鋼橋の維持管理：補修・補強技術の最前線（橋に関するシンポジウム論文報告集 第 26 回）	2023.08
コンクリート標準示方書 2023 年制定 ダムコンクリート編	2023.09
コンクリート標準示方書 2023 年制定 規準編 [1] 土木学会規準および関連規準	2023.09
コンクリート標準示方書 2023 年制定 施工編	2023.09
地震工学研究発表会講演論文集(43)	2023.09
土木学会年次学術講演会講演概要集(78)	2023.09
Proceedings of the International Summer Symposium(25)	2023.09
地球環境シンポジウム講演集(31)	2023.09
コンクリート標準示方書改訂資料 2023 年制定 施工編・ダムコンクリート編・規準編（コンクリートライブラリー 164）	2023.09
土木情報学シンポジウム講演集 Vol.48	2023.09
高精度な数値解析法を用いた鋼橋の耐震性能照査に関する調査研究報告書	2023.10
復興を描く	2023.10
舗装標準示方書 2023 年制定	2023.10
コンクリート技術を活用したカーボンニュートラルの実現に向けて（コンクリートライブラリー 165）	2023.10
FRP 複合構造の設計・維持管理に関する最新の調査報告（複合構造レポート 20）	2023.10
鋼構造物の点検・診断に適用される非破壊検査技術：基礎と応用・新技術（第 44 回鋼構造基礎講座）	2023.10
3D プリンティング技術の土木構造物への適用に関する研究小委員会（364 委員会）成果報告書（コンクリート技術シリーズ 133）	2023.10
環境システム研究論文発表会講演集(51)	2023.10
トンネル工学研究発表会講演集【報告部門】 Vol.33	2023.11
海岸工学講演会 Vol.79 No.17 (70)	2023.11
鋼構造物の状態情報取得のためのイノベーション技術に関する調査研究小委員会活動報告書	2023.11
複合・合成構造の活用に関するシンポジウム講演集(15)	2023.11
表面工にプレキャストコンクリート板を用いた地山補強土工法（PAN WALL 工法）に関する技術評価報告書（技術推進ライブラリー 14）	2023.11
建設 DX, i-Construction が創る未来：業界の取り組み最前線（第 45 回鋼構造基礎講座）	2023.11
土木計画学研究・講演集 Vol.68	2023.11

養生および混和材料技術に着目したコンクリート構造物の品質・耐久性確保システム研究小委員会(356委員会)第2期成果報告書(コンクリート技術シリーズ 134)	2023.11
景観・デザイン研究講演集(19)	2023.12
建設マネジメント問題に関する研究発表・討論会 講演集(41)	2023.12
令和5年度 自然災害フォーラム&21世紀の南海地震と防災 第18巻	2023.12
鋼構造技術継承講演会: 経験豊富な先人に学ぶ次世代への承継技術 第11回	2023.12
土木技術者のための岩盤力学 基礎編 2023年度改訂版	2023.12
土木技術者のための岩盤力学 2023年度改訂版 基礎編	2023.12
地下空間シンポジウム論文・報告集(29)	2024.01
バスサービスハンドブック 改訂版	2024.01
構造物の衝撃問題に関するシンポジウム論文集(14)	2024.01
広報のあり方に関する調査研究報告書	2024.02
土質試験のてびき 第4版	2024.02
土木構造物共通示方書 2023年制定	2024.03

(2) 主要シリーズ出版物

●日本土木史●

巻	発行年
日本土木史 平成3年～平成22年 -1991～2010-	2017.03

●東日本大震災合同調査報告(共通編3巻・土木編8巻・地盤編2巻・機械編1巻・都市計画編1巻・原子力編1巻・総集編1巻・建築編11巻)●

巻	発行年
共通編1 地震・地震動(日本地震工学会)	2014.03
共通編2 津波の特性と被害	2014.06
共通編3 地盤災害(地盤工学会発行)	2014.04
土木編1 土木構造物の地震被害と復旧	2016.09
土木編2 土木構造物の津波被害と復旧	2015.03
土木編3 ライフライン施設の被害と復旧	2015.03
土木編4 交通施設の被害と復旧	2018.03
土木編5 原子力施設の被害とその影響	2014.09
土木編6 緊急・応急期の対応	2017.02
土木編7 社会経済的影響の分析	2019.03
土木編8 復興概要編	2019.07
地盤編1 地盤構造物の被害、復旧(地盤工学会発行)	2015.03
地盤編2 資料編(地盤工学会発行)	2015.03
機械編(日本機械学会発行)	2013.08
都市計画編(日本都市計画学会発行)	2015.01
原子力編(日本地震学会発行)	2015.01
総集編(日本建築学会発行)	2016.12
建築編1 鉄筋コンクリート造建築物(日本建築学会発行)	2015.05
建築編2 プレストレストコンクリート造建築物/鉄骨鉄筋コンクリート造建築物/壁式構造・組積造(日本建築学会発行)	2015.01
建築編3 鉄骨造建築物/シェル・空間構造(日本建築学会発行)	2014.09
建築編4 木造建築物/歴史的建造物の被害(日本建築学会発行)	2015.07
建築編5 建築基礎構造/津波の特性と被害(日本建築学会発行)	2015.03
建築編6 非構造部材(日本建築学会発行)	2019.02
建築編7 火災/情報システム技術(日本建築学会発行)	2016.09
建築編8 建築設備・建築環境(日本建築学会発行)	2015.05
建築編9 社会システム/集落計画(日本建築学会発行)	2017.05
建築編10 建築計画(日本建築学会発行)	2016.08
建築編11 建築法制, 都市計画(日本建築学会発行)	2019.03

(3) 翻訳出版物

土木学会出版物名	翻訳出版国名	理事会承認年月	著作権使用料の有無
コンクリートライブラリー66 プレストレストコンクリート工法設計施工指針（土木学会編・発行、平成3年）	韓国	1997.11	○
トンネル・ライブラリー第5号 山岳トンネルの補助工法（土木学会編・発行、平成6年）	台湾	1999.01	
トンネル標準示方書〔山岳工法編〕・同解説（土木学会編・発行、平成8年）	台湾	1999.06	
新体系土木工学 59 土木景観計画（篠原 修著、技報堂出版発行、昭和57年）	韓国	1999.06	○
わかりやすい土木講座 17 二訂版 海岸・港湾（合田良実著、彰国社発行、平成10年）	韓国	1999.06	○
トンネル・ライブラリー第8号 都市 NATM とシールド工法との境界領域－設計法の現状と課題－（土木学会編・発行、平成7年）	台湾	2000.04	
街路の景観設計（土木学会編・技報堂出版発行、昭和60年）	中国	2000.09	○
港の景観設計（土木学会編・技報堂出版発行、平成3年）	韓国	2001.01	○
海岸波動（土木学会編・発行、平成6年）	韓国	2001.07	○
トンネル標準示方書〔シールド工法編〕・同解説（土木学会編・発行、平成8年）	中国	2001.07	○
トンネル標準示方書〔シールド工法編〕・同解説（土木学会編・発行、平成8年）	台湾	2001.09	
トンネル標準示方書〔開削工法編〕・同解説（土木学会編・発行、平成8年）	台湾	2001.09	
新体系土木工学 21 水文学－確率論的手法とその応用－（神田 徹・藤田睦博共著、技報堂出版発行、昭和57年）	韓国	2001.11	○
水辺の景観設計（土木学会編、技報堂出版発行、昭和63年）	中国	2002.01	○
大規模地下空洞の情報化施工（土木学会編・発行、平成8年）	韓国	2002.01	○
トンネル標準示方書〔山岳工法編〕・同解説（土木学会編・発行、平成8年）	インドネシア	2002.03	
構造工学シリーズ 9A 鋼・コンクリート複合構造の理論と設計（1）基礎編：理論編（土木学会編・発行、平成11年）	韓国	2002.04	○
構造工学シリーズ 9B 鋼・コンクリート複合構造の理論と設計（2）応用編：設計編（土木学会編・発行、平成11年）	韓国	2002.04	○
トンネル標準示方書〔シールド工法編〕・同解説（土木学会編・発行、平成8年）	インドネシア	2003.04	
鋼構造シリーズ 5 鋼斜張橋－技術とその変遷－（土木学会編・発行、平成2年）	韓国	2003.07	○
鋼構造シリーズ 8 吊橋－技術とその変遷－（土木学会編・発行、平成8年）	韓国	2003.07	○
水辺の景観設計（昭和63年、土木学会編、技報堂出版発行）	韓国	2004.03	○
トンネル標準示方書〔山岳工法編〕・同解説（土木学会編・発行、平成8年）	ベトナム	2004.07	
岩盤斜面の安定解析と計測（土木学会編・発行、平成6年）	韓国	2004.09	
岩盤斜面の調査と対策（土木学会編・発行、平成11年）	韓国	2004.09	
構造工学シリーズ 14 FRP 橋梁－技術とその展望－（土木学会編・発行、平成16年）	台湾	2004.09	
トンネルの変状メカニズム（土木学会編・発行、平成15年）	韓国	2005.04	○
岩盤上の大型構造物基礎（土木学会編・発行、平成10年）	韓国	2006.01	
土木学会誌叢書 2 合意形成論－総論賛成・各論反対のジレンマ－（土木学会編・発行、平成16年）	韓国	2006.01	
トンネルの変状メカニズム（土木学会編・発行、平成15年）	台湾	2006.01	
トンネル・ライブラリー11 トンネルへの限界状態設計法の適用（土木学会編・発行、平成13年）	台湾	2007.03	
構造工学シリーズ 13 コンクリート長大アーチ橋－支間600mクラス－の設計・施工（土木学会編・発行、平成15年）	台湾	2008.04	

鋼構造シリーズ 13 浮体橋の設計指針（土木学会編・発行，平成 13 年）	韓国	2008.04	○
トンネルライブラリー19 シールドトンネルの耐震検討（土木学会編・発行，平成 19 年）	中国	2008.04	○
2006 年制定 トンネル標準示方書〔シールド工法〕・同解説（土木学会編・発行，平成 18 年）	台湾	2008.09	○
複合構造シリーズ 03 複合構造技術の最先端－その方法と土木分野への適用－（土木学会編・発行，平成 19 年）	台湾	2010.03	
トンネル・ライブラリー23 セグメントの設計【改訂版】（土木学会編・発行，平成 22 年）	中国	2010.07	○
構造工学シリーズ 20 風力発電設備支持物構造設計指針・同解説 2010 年版（土木学会編・発行，平成 23 年）	韓国	2011.04	○
構造工学シリーズ 20 風力発電設備支持物構造設計指針・同解説 2010 年版（土木学会編・発行，平成 23 年）	中国	2012.01	○
都市ライフラインハンドブック（土木学会編，丸善出版発行，平成 22 年）	米国	2012.11	○
複合構造レポート 06 樹脂材料による複合技術の最先端（土木学会編・発行，平成 24 年）	台湾	2012.11	
交通ネットワークを支える免震と制震の技術（土木学会編・発行，平成 24 年）	台湾	2014.02	
ダム建設における水理地質構造の調査と止水設計（土木学会編・発行，平成 13 年）	韓国	2014.09	○
トンネルの変状メカニズム（土木学会編・発行，平成 15 年）	韓国	2014.09	○
トンネル・ライブラリー23 セグメントの設計【改訂版】（土木学会編・発行，平成 22 年）	韓国	2014.09	○
構造工学シリーズ 23 土木構造物のライフサイクルマネジメント～方法論と実例，ガイドライン～（土木学会編・発行，平成 25 年）	台湾	2015.03	
2006 年制定 トンネル標準示方書 開削工法・同解説	中国	2016.01	○
コンクリートライブラリー133 号 エポキシ樹脂を用いた高機能 PC 鋼材を使用する プレストレストコンクリート設計施工指針（案）	中国	2016.01	○
トンネルライブラリー第 19 号 シールドトンネルの耐震検討（土木学会編・発行，平成 19 年）	台湾	2016.03	
構造工学シリーズ 15 衝撃実験・解析の基礎と応用（土木学会編・発行，平成 16 年）	韓国	2016.05	○
低炭素社会に挑む土木（土木学会編・発行，平成 28 年）	台湾	2017.05	
海岸工学用語集〔2001 年版〕（土木学会編・発行，平成 12 年）	ベトナム	2019.07	
構造工学シリーズ 12 橋梁の耐風設計－基準と最近の進歩－（土木学会編・発行，平成 15 年）	中国	2022.03	○

8.2 支部出版物

(1) 北海道支部

1) 定期刊行物（年 1 回）

・論文報告集（技術資料，研究発表会論文集を改題）

技術資料第 1 号（1951.10）～第 13 号（1957.2）年 2 回

第 14 号（1958）～第 22 号（1966.2）年 1 回

第 23 号（1967.2）～第 29 号（1973.2）「研究発表会論文集」（技術資料改題）年 1 回

第 30 号（1974.1）より「論文報告集」に改題，年 1 回

第 61 号（2004.2）～第 76 号（2020.2）CD として編集

第 77 号（2021.1）～オンライン配布

2) 不定期刊行物

書 名	刊行年
最新刊 フロンティアに挑む技術者－北海道の土木遺産－	2014.11

(2) 東北支部

1) 定期刊行物

- ・技術研究発表会講演概要集（令和 5 年度から WEB 版に移行）
昭和 48 年度（1973.2）～令和 5 年度（2024.2）

2) 不定期刊行物

書 名	刊行年
各地域でのインフラ維持管理の取組みと広域連携の可能性（東北地方の橋梁保全に関するシンポジウム 第 6 回）	2015.01
「産官学」総力戦の現状と課題（東北地方の橋梁保全に関するシンポジウム 第 7 回）	2016.01
東北インフラ・マネジメント・プラットフォームの構築と展開（東北地方の橋梁保全に関するシンポジウム 第 8 回）	2017.01
土木学会東北支部 80 年誌	2017.12
インフラ・メンテナンスの最新動向（東北地方の橋梁保全に関するシンポジウム 第 9 回）	2018.01
橋梁保全シンポジウムの 10 年の歩みとこれから（東北地方の橋梁保全に関するシンポジウム 第 10 回）	2019.01
2019 年台風第 19 号災害に関する東北学術合同調査団報告書	2020.11

(3) 関東支部

1) 定期刊行物（年 1 回）

- ・年次技術研究発表会（平成 14 年度・2003 から CD-ROM に移行）
第 1 回（昭和 48 年度・1973.5）～第 51 回（令和 5 年度・2024.3）
- ・新潟会研究調査発表会（2019 年度から CD-ROM に移行 2022 年度から HP からダウンロードに移行）
第 1 回（1983.11）～第 41 回（2023.11）
- ・群馬会機関誌「群馬を拓く」
第 1 号（1991）～第 30 号（2021）
- ・栃木会技術研究発表会
第 1 回（1999.3）～第 40 回（2023.11）

2) 不定期刊行物

書 名	刊行年
土木技術者に求められる資質と素養：技術士（建設部門）第二次試験受験のための実践講習会（演習付）（土木学会関東支部講習会 第 26 回）	2015.04
土木技術者に求められる資質と素養：技術士第二次試験受験のための直前講習会（建設部門模擬試験付）（土木学会関東支部講習会 第 7 回）	2015.06
土木系技術者のキャリア形成、その第一歩：技術士第一次試験に挑戦する土木系技術者のために（土木学会関東支部講習会 [第 9 回] ）	2015.07
土木技術者に求められる資質と素養：技術士（建設部門）第二次試験受験のための実践講習会（演習付）（土木学会関東支部講習会 第 27 回）	2016.04
土木技術者に求められる資質と素養：技術士第二次試験受験のための直前講習会（建設部門模擬試験付）（土木学会関東支部講習会 第 8 回）	2016.06
土木系技術者のキャリア形成、その第一歩：技術士第一次試験に挑戦する土木系技術者のために（土木学会関東支部講習会 第 10 回）	2016.07
土木系技術者のキャリア形成、その第一歩：技術士第一次試験に挑戦する土木系技術者のために（土木学会関東支部講習会 第 11 回）	2017.07
土木系技術者のキャリア形成、その第一歩：技術士第一次試験に挑戦する土木系技術者のために（土木学会関東支部講習会 第 11 回）	2017.07
土木技術者に求められる資質と素養：技術士第二次試験受験のための直前講習会（建設部門模擬試験付）（土木学会関東支部講習会 第 9 回）	2017.06

土木技術者に求められる資質と素養：技術士（建設部門）第二次試験受験のための実践講習会（演習付） （土木学会関東支部講習会 第 29 回）	2018.04
土木学会関東支部創立 60 周年記念誌	2024.08

(4) 中部支部

1) 定期刊行物

- ・研究発表会講演会講演概要集（令和 3 年度からダウンロードに移行）

2) 不定期刊行物

書 名	刊行年
土木学会中部支部 80 周年記念誌	2019.03

(5) 関西支部

1) 定期刊行物（年 1 回）

- ・年次学術講演会講演概要集
昭和 34 年度（1959.11）～令和 4 年度（2022.5）（平成 17 年度から CD-ROM 版に移行，令和 2 年度から WEB 版に移行）
- ・関西土木工学交流発表会概要集（年次学術講演会講演概要集から改名）
令和 5 年度（2023.11）（WEB 版）～
- ・施工技術報告会講演概要
昭和 51 年度（1977.2）～令和元年度（2020.2）
- ・支部だより
No.1（1972.12）～No.56（1999.12）（年 2 回）
No.57（2000.7）～No.80（2023.7）（年 1 回）（No.79 は WEB 版）

2) 不定期刊行物

書 名	刊行年
市町村等における維持管理の現状と対応に関する調査研究委員会報告書〔調査研究委員会 講習会テキスト〕（WEB 版）	2014.07
関西の選奨土木遺産	2014.08
コンクリート構造の設計・施工・維持管理の基本 第 5 次改訂版	2014.09
阪神・淡路大震災 20 年地震防災フォーラム ー来るべき巨大地震にいかに備えるかー	2014.10
水辺空間を活かした都市大阪の再生に関する調査研究 ～東横堀川をケーススタディとして～〔調査研究委員会 講習会テキスト〕	2015.07
まちづくりにおける水辺空間のあり方調査研究委員会 ～新たな都市施設・空間の複合化を目指して～調査研究成果報告書〔調査研究委員会 講習会テキスト〕	2018.07
歴史的地盤遺跡の保全と活用に関する研究委員会報告書〔調査研究委員会 講習会テキスト〕（CD-ROM 版）	2018.09
モニタリング技術と融合した橋梁マネジメントに関する調査研究委員会講習会〔調査研究委員会 講習会テキスト〕	2018.09
土木学会関西支部創立 90 周年記念誌	2019.03
コンクリート構造の設計・施工・維持管理の基本 第 6 次改訂版	2019.11
2021 年 10 月に発生した六十谷水管橋崩落調査報告書	2022.05

(6) 中国支部

1) 定期刊行物（年 1 回）

- 支部研究発表会講演概要集
昭和 24 年度（第 1 回・1949.10）～令和 6 年度（第 76 回・2024.6）

- ・「身近な土木を描いてみよう！」図画コンクール優秀作品カレンダー
平成 20 年度（第 1 回）～令和 6 年度（第 17 回）
- ・工事報告会 報告書 昭和 40 年度（1965）～令和 6 年度（2024）

2) 不定期刊行物

書 名	刊行年
中国地方の選奨土木遺産：土木学会創立百周年記念 改訂版	2014.07
平成 26 年広島豪雨災害合同緊急調査団調査報告書：土木学会・地盤工学会 第 2 版	2014.10
2018 年 7 月西日本豪雨災害調査報告書	2018.12
中国地方の選奨土木遺産：土木学会中国支部創立 80 周年記念 第 3 版	2021.11

(7) 四国支部（1995 年度から）

1) 定期刊行物（年 1 回）

- ・支部研究発表会講演概要集
平成 7 年度（第 1 回・1995.5）～令和 6 年度（第 30 回・2024.6）
- ・学術講演会テキスト
平成 7 年度（1996.1）～令和元年度（2019.9）

2) 不定期刊行物

書 名	刊行年
21 世紀の南海地震と防災 第 9 巻	2015.01
平成 26 年 自然災害フォーラム論文集	2014.12
21 世紀の南海地震と防災 第 10 巻	2016.01
平成 27 年 自然災害フォーラム論文集	2015.12
四国版 フライアッシュを結合材として用いたコンクリートの配合設計・施工指針	2016.03
平成 28 年 自然災害フォーラム&21 世紀の南海地震と防災 第 11 巻	2017.01
平成 29 年 自然災害フォーラム&21 世紀の南海地震と防災 第 12 巻	2018.01
平成 30 年 自然災害フォーラム&21 世紀の南海地震と防災 第 13 巻	2018.12
令和元年 自然災害フォーラム&21 世紀の南海地震と防災 第 14 巻	2019.12
令和 2 年 自然災害フォーラム&21 世紀の南海地震と防災 第 15 巻	2020.12
令和 3 年度 自然災害フォーラム&21 世紀の南海地震と防災 第 16 巻	2022.01
令和 4 年度 自然災害フォーラム&21 世紀の南海地震と防災 第 17 巻	2022.12
令和 5 年度 自然災害フォーラム&21 世紀の南海地震と防災 第 18 巻	2023.12

(8) 西部支部

1) 定期刊行物（年 1 回）

- ・支部研究発表会講演集
昭和 28 年度（1953.3）～令和 5 年度（2024.3）
- ・支部技術発表会論文集
昭和 62 年度（1987.12）～令和 5 年度（2023.12）
- ・土木構造・材料論文集
昭和 61 年度（1986.）～令和 5 年度（2024.2）

2) 不定期刊行物

書 名	刊行年
土砂災害に関するシンポジウム論文集 第 7 回	2014.09
土砂災害に関するシンポジウム論文集 第 8 回	2016.09
土砂災害に関するシンポジウム論文集 第 9 回	2018.09
土砂災害に関するシンポジウム論文集 第 10 回	2020.09
土砂災害に関するシンポジウム論文集 第 11 回	2022.08
土砂災害に関するシンポジウム論文集 第 12 回	2024.09

9. 行事一覧

9.1 全国大会および年次学術講演会

(1) 平成 26 年度全国大会

H26.9.10～12 大阪大学豊中キャンパス

- 1) 基調講演会 (H 26.9.11) 大阪大学豊中キャンパス 参加者数：900 名
 会長講演：「あらゆる境界をひらき、持続可能な社会の礎を築く」
 土木学会会長 磯部雅彦
 特別講演：「シヴィル」ということの意味
 哲学者/大谷大学教授、せんだいメディアテーク館長
 大阪大学名誉教授（前総長） 鷲田清一
- 2) 全体討論会 (H 26.9.11) 大阪大学豊中キャンパス 参加者数：900 名
 テーマ 「百年の計、変わらぬ使命感と進化する土木」
 コーディネーター：建山和由（立命館大学教授）
 パネリスト：阪口 秀（（独）海洋研究開発機構 数理科学・先端技術研究分野長）
 ：佐藤友美子（追手門学院大学特別任用教授）
 ：高木康志（日本電信電話(株)ネットワーク基盤技術研究所長）
 ：内藤智之（世界銀行東アジア大洋州地域総局東京開発ラーニング センターマネージャー）
 ：藻谷浩介（（株）日本総合研究所調査部主席研究員）
- 3) 土木学会 100 周年記念土木遺産国際シンポジウム (H 26.9.10) 大阪大学豊中キャンパス
 参加者数：700 名
 テーマ 「土木遺産の地平 ～地域の核から世界遺産まで～」
 基調講演：マイルズ・オグリソープ（ヒストリックスコットランド産業遺産政策責任者）
 パネリスト：中村良夫（東京工業大学名誉教授）
 ：ヒラリー・オレンジ（ロンドン大学応用考古学研究センタープロジェクトマネージャー）
 ：浅田利嗣（歴史街道推進協議会広報部長）
 ：北河大次郎（文化庁文化財調査官、東京大学客員教授）
 コーディネーター：岡田昌彰（近畿大学理工学部社会環境工学科教授）
 通訳：中西裕美子（大阪府教育委員会事務局文化財保護課）
- 4) 研究討論会 (H 26.9.10, 12) 大阪大学豊中キャンパス
 参加者数：1,841 名 討論会題：27 題
- 5) 第 69 回年次学術講演会 大阪大学豊中キャンパス
 1 講演数 I 部門 623 題 II 部門 213 題 III 部門 379 題 IV 部門 135 題 V 部門 641 題
 VI 部門 709 題 VII 部門 132 題 CS 部門 269 題 計 3,101 題
 2 延べ参加者数 参加者数：14,807 名 3 優秀講演者の表彰 表彰者数：201 名
- 6) 国際関連行事 (H 26.9.10～13) 大阪大学豊中キャンパス
 1 海外からの参加者 12 ケ国・地域、2 海外分会、計 16 名
 2 延べ参加者数 参加者数：311 名
- 7) 交流会 (H 26.9.11) ホテル阪急エキスポパーク 参加者数：587 名
- 8) 100 周年記念討論会 (H 26.9.11) 大阪大学豊中キャンパス 参加者数：243 名
- 9) 橋梁模型コンテスト (H 26.9.10～12) 大阪大学豊中キャンパス 参加者数：2,011 名
- 10) 映画会 (H 26.9.10～12) 大阪大学豊中キャンパス 参加者数：414 名
- 11) 2014 年豪雨による水害・土砂災害緊急調査報告会
 大阪大学豊中キャンパス 参加者数：449 名
- 12) エクスカーション 大阪大学豊中キャンパス 参加者数：138 名
- 13) どぼくカフェ 参加者数：60 名

(2) 平成 27 年度全国大会

H27.9.16～18 岡山大学津島キャンパス

1) 基調講演会 (H 27.9.17) 岡山プラザホテル 参加者数：800 名

会長講演：次代に繋ぐ土木技術者の「志」と「熱意」

土木学会会長 廣瀬典昭

特別講演：土木工学と土木技術者の使命－津田永忠の偉業と地方交通再生に学ぶ－

両備ホールディングス（株）会長兼CEO 小嶋光信

2) 全体討論会 (H 27.9.17) 岡山大学津島キャンパス 参加者数：900 名

テーマ 「地域とともに確かな未来を築く土木技術～新たなる第一歩～」

コーディネーター：阿部宏史（岡山大学理事・副学長）

パネリスト：池内幸司（国土交通省技監）

：後藤千恵（NHK解説委員）

：須田久美子（鹿島建設(株)東京外環地中拡張準備事務所所長）

：太田 昇（岡山県真庭市長）

：桑子敏雄（東京工業大学大学院社会理工学研究科教授）

：加藤せい子（NPO法人吉備野工房ちみち理事長）

3) 第 70 回年次学術講演会 岡山大学津島キャンパス

1 講演数 I 部門 623 題 II 部門 240 題 III 部門 423 題 IV 部門 137 題 V 部門 654 題

VI 部門 794 題 VII 部門 141 題 CS 部門 282 題 計 3,294 題

2 延べ参加者数 参加者数：16,391 名

3 優秀講演者の表彰 表彰者数：281 名

4) 研究討論会 (H27.9.16, 18) 岡山大学津島キャンパス 参加者数：1,758 名 討論会題：30 題

5) 交流会 (H27.9.18) 岡山プラザホテル 参加者数：658 名

6) 中国支部特別企画「地域の安全・安心に向けた新たなる第一歩～広島土砂災害を教訓に～」

岡山大学津島キャンパス 参加者数：70 名

7) 国際関連行事 (H 27.9.16～17) 岡山大学津島キャンパス

1 海外からの参加者 12 ヶ国・地域, 2 海外分会, 計 21 名

2 延べ参加者数 参加者数：224 名

8) 映画会 (H27.9.16～18) 岡山大学津島キャンパス 参加者数：261 名

9) パネル展示 (H27.9.16～18) 創立五十周年記念館大中小会議室 参加者数：351 名

10) 土木コレクション 2015 in 岡山 (H27.9.16～20)

岡山シティミュージアム 参加者数：758 名

(3) 平成 28 年度全国大会

H28.9.7～9 東北大学川内北キャンパス

1) 基調講演会 (H 28.9.8) 仙台国際センター 参加者数：1,276 名

会長講演：次世代に繋ぐ生産現場のイノベーション

土木学会会長 田代民治

特別講演：日本の将来と東北の可能性

読売新聞特別編集委員 橋本五郎

特別講演：日本文明と土木～前近代, 近代そしてポスト近代～

日本水フォーラム代表理事 竹村公太郎

2) 全体討論会 (H 28.9.8) 仙台国際センター 参加者数：436 名

テーマ 「地域を元気にする新しい発想と技術～若手研究者が考える地域と土木の未来～」

コーディネーター：奥村 誠（東北大学災害科学国際研究所副所長・教授）

パネリスト：佐川康貴（九州大学大学院工学院准教授）

- ：高橋良和（京都大学大学院工学研究科准教授）
- ：谷口綾子（筑波大学大学院システム情報工学科准教授）
- ：知花武佳（東京大学大学院工学系研究科准教授）
- ：原 忠（高知大学教育研究部自然科学系教授）

3) 第 71 回年次学術講演会 東北大学川内北キャンパス

- 1 講演数 I 部門 628 題 II 部門 252 題 III 部門 458 題 IV 部門 150 題
V 部門 670 題 VI 部門 929 題 VII 部門 169 題 CS 部門 332 題 計 3,588 題
- 2 延べ参加者数 参加者数：18,184 名 3 優秀講演者の表彰 表彰者数：263 名
- 4) 研究討論会（H28.9.7, 9） 東北大学川内北キャンパス 参加者数：2,479 名 討論会題：26 題
- 5) 交流会（H28.9.8） ホテルメトロポリタン仙台 参加者数：466 名
- 6) 国際関連行事（H 28.9.7～9） 東北大学川内北キャンパス
 - 1 海外からの参加者 7 ヶ国・地域，計 14 名
 - 2 延べ参加者数 参加者数：226 名
- 7) 映画会（H28.9.7～8） 東北大学川内北キャンパス 参加者数：373 名
- 8) パネル展示（H28.9.7～9） JR 仙台駅 2F コンコース，他 参加者数：12,000 名

(4) 平成 29 年度全国大会

H29.9.11～13 九州大学伊都キャンパス

- 1) 基調講演会（H 29.9.12） アクロス福岡 福岡シンフォニーホール 参加者数：1,040 名
 会長講演：土木の「領域」を再考し，主張ある土木を構築しよう
 土木学会会長 大石久和
 特別講演：ともに生きるための公共事業－フレンチ・エンジニアの「社会経済」思想
 東京女子大学教授 栗田啓子
 特別講演：九州から日本を動かす！
 九州経済連合会会長 麻生 泰
- 2) 全体討論会（H 29.9.12） アクロス福岡 福岡シンフォニーホール 参加者数：1,427 名
 テーマ 「土木と公共，地域と世界の観点から」
 コーディネーター：塚原健一（九州大学大学院工学研究院付属アジア防災センター教授）
 パネリスト：米良充典（宮崎県商工会議所連合会会頭）
 ：濱崎 隆（一般社団法人九州観光推進機構九州観光広報センター次長）
 ：村川友美（株式会社 River Village. 代表取締役）
 ：松永千晶（九州大学大学院工学研究院助教）
- 3) 第 72 回年次学術講演会 九州大学伊都キャンパス
 - 1 講演数 I 部門 675 題 II 部門 227 題 III 部門 538 題 IV 部門 151 題
V 部門 618 題 VI 部門 979 題 VII 部門 199 題 CS 部門 272 題 計 3,659 題
 - 2 延べ参加者数 参加者数：27,510 名 3 優秀講演者の表彰 表彰者数：240 名
 - 4) 研究討論会（H29.9.11, 13） 九州大学伊都キャンパス 参加者数：2,569 名 討論会題：29 題
 - 5) 交流会（H29.9.12） ソラリア西鉄ホテル 参加者数：565 名
 - 6) 国際関連行事（H 29.9.11～12） 九州大学伊都キャンパス
 - 1 海外からの参加者 9 ヶ国・地域，計 34 名
 - 2 延べ参加者数 参加者数：192 名
 - 7) 映画会（H29.9.11～13） 九州大学伊都キャンパス 参加者数：232 名
 - 8) パネル展示（H29.9.11～13） ソラリアプラザ 1F イベントスペースゼファ
 参加者数：1,155 名

(5) 平成 30 年度全国大会

H30.8.29～31 北海道大学札幌キャンパス

- 1) 基調講演会 (H30.8.30) かでる 2・7 (北海道立道民活動センター)かでるホール
参加者数：845名
会長講演：明治150周年を迎えて：この国の来し方行く末を考える
土木学会会長 小林 潔司
特別講演：北海道における人口減少下の「地方創生」
北洋銀行顧問 横内 龍三
- 2) 全体討論会 (H30.8.30) かでる 2・7 (北海道立道民活動センター) かでるホール
参加者数：640名
テーマ 社会システムのイノベーション創出のために～未来に向けて土木が担うもの～
コーディネーター：高野伸栄 (北海道大学公共政策大学院院長)
パネリスト：青木啓二 (先進モビリティ株式会社代表取締役社長)
：磯田彩実 (テレビ北海道アナウンサー)
：片野浩司 ((国研)土木研究所寒地土木研究所寒地機械技術チーム上席研究員)
：今 尚之 (北海道教育大学教育学部准教授)
：宮田 昌利 (釧路根室圏まちとくらしネットワークフォーラム座長)
- 3) 第73回年次学術講演会 北海道大学札幌キャンパス
1 講演数 I部門 609題 II部門 217題 III部門 590題 IV部門 196題
V部門 717題 VI部門 1065題 VII部門 138題 CS部門 507題 計 4,039題
2 延べ参加者数 参加者数：21,352名 3 優秀講演者の表彰 表彰者数：292名
- 4) 研究討論会 (H30.8.29) 北海道大学札幌キャンパス 参加者数：1,340名 討論会題：14題
- 5) 交流会 (H30.8.30) 京王プラザホテル札幌「エミネンスホール」 参加者数：541名
- 6) 国際関連行事 (H30.8.29, 30) 北海道大学札幌キャンパス
1 海外からの参加者(AOC, サマーシンポジウム, STG含) 26ヶ国・地域, 4海外分会,
計 109名
2 延べ参加者数 参加者数：203名
- 7) 広報イベント (H30.8.29) 北海道大学札幌キャンパス 参加者数：81名
- 8) 映画会 (H30.8.29～31) 北海道大学札幌キャンパス 参加者数：252名
- 9) パネル展示 (H30.8.29～31) チ・カ・ホ (札幌駅前通地下広場) 参加者数：3,500名
- 10) 見学会 半日コース (H30.8.29) 参加者数：31名
・高規格幹線道路 後志自動車道 (余市IC～小樽JCT間新設工事)
・石狩湾新港 (LNG火力発電所, LNG基地)
見学会 1日コース (H30.8.31) 参加者数：7名
・豊平川水道水源水質保全事業
・王子製紙千歳第1発電所
・苫小牧港 (西港区)
・(国研) 土木研究所寒地土木研究所
- 11) 2018年7月西日本豪雨災害調査団報告 (H30.8.31) 北海道大学札幌キャンパス
参加者数：255名

(6) 令和元年度全国大会

R1.9.3～5 香川大学幸町キャンパス

- 1) 基調講演会 (R1.9.4) レクザムホール (香川県県民ホール) 参加者数：1,113名
会長講演：人口減少社会におけるインフラストラクチャーのあり方
土木学会会長 林 康雄
特別講演：地球環境時代における地域・土木・美術の働き
アートディレクター 北川 フラム
- 3) 全体討論会 (R1.9.4) レクザムホール (香川県県民ホール) 大ホール 参加者数：813名

テーマ レジリエントな社会の構築に向けて ～未来に向けて土木が担うもの～
 コーディネーター：金田 義行（香川大学 四国危機管理教育・研究・
 地域連携推進機構副機構長特任教授）

パネリスト：堀 宗朗（海洋研究開発機構 付加価値情報創生部門 部門長）
 ：佐谷 説子（内閣府 政策統括官付参事官）
 ：高瀬 直輝（四国旅客鉄道（株） 工務部 部長）
 ：小林 正直（香川県庁 危機管理総局 危機管理課副課長）
 ：大本 裕志（岡山県商工会連合会 専務理事）
 ：指田 朝久（東京海上日動リスクコンサルティング（株） 主幹研究員）

3) 第74回年次学術講演会 香川大学幸町キャンパス

1 講演数 I部門 448題 II部門 221題 III部門 463題 IV部門 149題 V部門 621題
 VI部門 1,102題 VII部門 164題 CS部門 454題 計 3,622題

2 延べ参加者数 参加者数：20,769名 3 優秀講演者の表彰 表彰者数：231名

4) 研究討論会（R1.9.3） 香川大学幸町キャンパス 参加者数：1,177名 討論会題：13題

5) 交流会（R1.9.4） JRホテルクレメント高松 参加者数：470名

6) 国際関連行事（R1.9.3, 4） 香川県社会福祉総合センター，香川大学幸町キャンパス，他

1 海外からの参加者 8ヶ国・地域，計25名

2 延べ参加者数 参加者数：184名

7) 映画会（R1.9.3, 5） 香川県社会福祉総合センター 参加者数：317名

8) パネル展示（R1.9.3～5） JR 高松駅・高松空港 参加者数：1,623名

(7) 令和二年度全国大会

R2.9.7～11 オンライン開催

1) 基調講演会（R2.9.9） 名古屋工業大学（ライブ配信）

瞬間最大視聴者数：727名（再生数：3,153）

何を育み何を変えるか～土木の原点と組織文化の視点から～

土木学会会長 家田 仁

2) 特別セッション・特別討論会（R2.9.10） 名古屋工業大学

（ライブ配信）瞬間最大視聴者数：344名（再生数：1,880）

特別セッション「地方自治体における技術の伝承」

座長：加藤 豊（国土交通省 中部地方整備局 中部道路メンテナンスセンター長）

講演者：登立 公平（三重県 県土整備部 道路管理課 道路維持班 主査）

：杉山 清幸（岐阜県都市建築部流域浄水事務所建設課技術課長補佐兼建設係長）

：中島 良光（前田建設工業（株）ICI総合センター

イノベーションセンター社会インフラ研究センター長）

：中谷 俊一（愛知県 建設局 道路維持課 課長補佐）

：小野 貴史（（株）小野組 代表取締役社長）

：高橋 利之（（株）オリエンタルコンサルタンツ 本社 事業管理本部

（株）南紀白浜エアポート 施設・技術グループ 主任）

：江口 康平（国立研究開発法人 土木研究所 構造物メンテナンス研究センター
 研究員）

：宮崎 晃我（（株）フジヤマ 社会基盤整備部）

特別討論会「地方自治体における技術の伝承－道路メンテナンスの現場から－」

コーディネーター：福田 敬大（国土交通省国土技術政策総合研究所道路構造物研究部長）

パネリスト：久野 悟志（愛知県 豊田加茂建設事務所 道路整備課 課長補佐）

：杉山 清幸（岐阜県 都市建築部 流域浄水事務所

建設課技術課長補佐兼建設係長）

- ：藤本 佳久（三重県 県土整備部 道路管理課 道路維持班 班長）
：吉永 匡宏（静岡県吉田町 建設課 土木部門 主任）
：小野 貴史（(株)小野組 代表取締役社長）
コメンテーター：兵動 太一（富山県立大学 工学部 環境・社会基盤工学科 講師）
- 3) 全体討論会（R2.9.10）名古屋工業大学
（ライブ配信）瞬間最大視聴者数：474名（再生数：1,439）
「守る・攻める・変わる ～持続的な成長を支える土木の変革～」
コーディネーター：秀島 栄三（名古屋工業大学大学院工学研究科
社会工学系プログラム 環境都市分野教授）
：田中 里佳（国土交通省 中部地方整備局 企画部 企画調整官）
パネリスト：三宅 友里（なごやロケーション・ナビ、
（公財）名古屋観光コンベンションビューロー事業戦略グループフィルムコミッション担当）
：与謝野 優（東海旅客鉄道(株) 執行役員 総合技術本部副本部長
・技術企画部 海外高速鉄道プロジェクトC&C事業室長）
：中村 光（名古屋大学大学院工学研究科土木工学専攻
材料形態学グループ 教授）
：鈴木 英敬（三重県知事）
- 4) 特別対談「新しい価値の創造」（R2.9.10）
（録画配信）瞬間最大視聴者数：307名（再生数：1,043）
対談者：大島 卓（日本ガイシ株式会社 代表取締役社長）
：茶木 環（作家／エッセイスト）
- 5) 3.11東日本大震災リレーシンポジウム（第2回）（R2.9.9）名古屋工業大学
（ライブ配信）瞬間最大視聴者数：687名（再生数：1,498）
開会挨拶：家田 仁（土木学会 会長；政策研究大学院大学 教授，東京大学 名誉教授）
基調講演(録画)：鈴木 康友（浜松市長）「南海トラフ地震への備え」
基調報告：中井 祐（東京大学 教授）「東日本大震災復興の現場から」
パネルディスカッション「東日本大震災と南海トラフ地震事前復興の接続点」
コーディネーター：大沢 昌玄（日本大学 教授）
パネリスト：小野 悠（豊橋技術科学大学 講師）
：影治 信良（徳島県美波町長）
：秀島 栄三（名古屋工業大学 教授）
：林 正道（国土交通省 中部地方整備局 企画部長）
総括コメント：佐藤 慎司（高知工科大学 教授）
：Keiji Asakra（Asakura Robinson）
：福土 謙介（東京大学 教授）
：羽藤 英二（東京大学 教授）
開会挨拶：堀田 治（土木学会 中部支部長；国土交通省 中部地方整備局長）
- 6) 第75回年次学術講演会 オンライン開催（録画配信）
1 講演数 I部門 473題 II部門 243題 III部門 478題 IV部門 183題 V部門 674題
VI部門 1,151題 VII部門 112題 CS部門 512題 計 3,826題
2 延べ参加者数 質問投稿数：13,160件 3 優秀論文賞の表彰 表彰者数：405名
- 7) 研究討論会（R2.9.7,8, 11）
（ライブ配信，または録画配信）最大同時接続数：4,559名 討論会題：15題
- 8) パネル展示（R2.8.31～9.4）
地下鉄久屋大通駅北側改札口隣接セントラルパーク市民ギャラリー 参加者数：約2,900名

(8) 令和三年度全国大会

R3.9.6～10 オンライン開催

1) 基調講演会 (R3.9.8) 東海大学

(ライブ配信) 瞬間最大視聴者数: 727名 (再生数: 3,153)

これからの暮らし, 経済とインフラのビッグ・ピクチャー

～開かれた魅力溢れる土木学会を目指して～

土木学会会長 谷口 博昭

2) 特別講演会 (R3.9.8) 東海大学

(ライブ配信) 瞬間最大視聴者数: 344名 (再生数: 1,880)

特別講演会「持続的未來を確かにするグリーンインフラへの展開」

涌井 史郎 (造園家)

「災害派遣医療現場及び新型コロナウイルス感染症の現状」

梅澤 和夫 (東海大学医学部救命救急医学)

3) 全体討論会 (R3.9.8) 東海大学

(ライブ配信) 瞬間最大視聴者数: 474名 (再生数: 1,439)

「新しい生活様式に対応し, 市民と協働したインフラづくりに向けて」

コーディネーター: 福田 敦 (日本大学理工学部交通システム工学科 教授)

パネリスト: 五十嵐 秀 (小田急電鉄(株)常務取締役執行役員 交通サービス事業本部長)

: 坂田 美保子 (湘南NPOサポートセンター 理事長)

ひらつか市民活動センター センター長)

: 佐藤 亮一 (神奈川県庁 県土整備局技監兼都市部長)

: 浜田 紗織 ((株)ワーク・ライフバランス 執行役員)

: 浜田 誠也 (パシフィックコンサルタンツ(株))

プロジェクトイノベーション事業本部 顧問)

4) 「ドボクのラジオ×土木学会tv」スペシャル番組 (R3.9.6～8)

(録画配信) 瞬間最大視聴者数: 307名 (再生数: 1,043)

高橋裕先生を偲ぶ ゲスト: 島谷幸宏

江戸の橋・東京の橋 ゲスト: 紅林章央

5) オンライン見学会 (R3.9.8) (録画配信) 瞬間最大視聴者数: 307名 (再生数: 1,043)

箱根登山鉄道, 国道138号 (箱根町仙石原)

6) 土木主要プロジェクトと土木遺産の紹介 (R3.8.24)

(録画配信) 瞬間最大視聴者数: 307名 (再生数: 1,043)

・神奈川県及び周辺地域で現在進行中の主要プロジェクトを紹介

・神奈川県内に現存する土木学会選奨土木遺産を紹介

7) 第76回年次学術講演会 オンライン開催 (録画配信)

1 講演数 I部門 394題 II部門 188題 III部門 364題 IV部門 163題 V部門 535題

VI部門 714題 VII部門 93題 CS部門 537題 計 2,988題

2 延べ参加者数 質問投稿数: 13,160件 3 優秀講演者の表彰 表彰者数: 222名

8) 研究討論会 (R3.9.6～7)

(ライブ配信, または録画配信) 最大同時接続数: 4,559名 討論会題: 19題

9) 国際関連行事 (R3.9.7～8) オンライン開催

・海外支部会議 土木会館 D会議室, 参加者数: 10名

JSCEインドネシア分会, 台湾分会, モンゴル分会が参加

・国際ラウンドテーブルミーティング 東海大学湘南キャンパスAGORA, 参加者数: 231名

土木学会 谷口 博昭

アメリカ土木学会 Dr. Brett C. Phillips, Mr. Warren D. Ladbrook

ベトナム国家建設大学 Prof. Nguyen Hoan Giang
フィリピン土木学会 Prof. Benito M. Pacheco
土木学会インドネシア分会 Dr. Stuant Soehdho

(9) 令和四年度全国大会

R4.9.14 国立京都国際会館（対面・後日配信またはハイブリッド）

参加者数: 1,753名（現地）、542名（オンライン）

R4.9.15～6 京都大学吉田キャンパス（対面） 参加者数: 5,643名

1) 基調講演会（R4.9.14） 国立京都国際会館（後日配信）

「グローバルな課題・視点と土木技術・技術者」

土木学会会長 上田 多門

2) 調査報告会（R4.9.14） 国立京都国際会館（後日配信）

「2021 年10 月に発生した六十谷水管橋崩落」

挨拶：里深 好文（土木学会関西支部 副支部長）

司会：永谷 秀樹（宮地エンジニアリング（株））

登壇者：越後 信哉（京都大学）

：北根 安雄（京都大学）

：富山 禎仁（土木研究所）

：大城 雄希（明石工業高等専門学校）

：杉浦 邦征（京都大学）

3) 特別行事Ⅰ（R4.9.14） 国立京都国際会館（後日配信）

「土木のビッグピクチャーに夢をみる」

挨拶：末廣 正人（令和4年度全国大会実行委員会 副委員長）

コーディネーター：大西 正光（京都大学）

登壇者：藤井 聡（京都大学）

：小池 淳司（神戸大学）

：掛園 恵（日本ミクニヤ（株））

：北原 秀樹（鹿島建設（株））

：福士 真央（（株）ニュージェック）

：栗田 啓子（東京女子大学 名誉教授）

4) 特別行事Ⅱ（R4.9.14） 国立京都国際会館（後日配信）

「土木技術者が日本を元気にする」

挨拶：大石 耕造（令和4年度土木学会全国大会 副委員長）

コーディネーター：木村 亮（京都大学）

登壇者：森 昌文（現内閣総理大臣補佐官，元国土交通省事務次官，元関西支部長）

：東川 直正（（公社）2025年日本国際博覧会協会 副事務総長，元関西支部長）

：吉栖 雅人（兵庫県但馬県民局 新温泉土木事務所長）

：牛若 健吾（神戸市建設局道路計画課）

：吉矢 理恵子（大阪市建設局企画部企画課）

：松野 雅晃（大阪市建設局企画部企画課）

：西川 貴章（早稲田大学院）

5) 特別行事Ⅲ（R4.9.14） 国立京都国際会館

「ビッグピクチャー交流会」

挨拶：畑中 克也（土木学会関西支部 副支部長）

6) 第77回年次学術講演会（R4.9.15～16） 京都大学吉田キャンパス

1 講演数 I部門 339題 II部門 197題 III部門 425題 IV部門 150題 V部門 636題
VI部門 1,026題 VII部門 107題 CS部門 586題 計 3,466題

2 延べ参加者数 5,643名 3 優秀講演者の表彰 表彰者数：262名

- 7) 研究討論会 (R4.9.12～14) オンライン開催 最大視聴数計：2,405名
ハイブリッド開催 参加者数：1,374名 討論会題数：28題

- 8) 国際関連特別講演会 (R4.9.14) 国立京都国際会館およびオンライン開催

「土木の分岐点@ジャンクション、みち、未来」 参加者数：315名

司会：岩井 裕正 (京都大学)

登壇者：[土木学会] 上田 多門 (土木学会会長)，藤野 陽三 (城西大学学長)，党 紀，

Lewis Benjamin, Jan-Dirk Schmoecker, 橋都 秀爾，近藤 達仁

：[米国土木学会] Ms. Jane Howell, Ms. Eva-Lernber Lam

：[深圳大学] 陳 湘生教授

：[中国土木工程学会] (CCES)

：[国際協力機構] (JICA)

：[建築学会] (AIJ) 他

(10) 令和五年度全国大会

R5.9.13 広島国際会議場 参加者数：1,672名

R5.9.14～15 広島大学：東広島キャンパス (対面・一部オンライン) 参加者：5,784名

(第Ⅰ部門・第Ⅱ部門・第Ⅲ部門・第Ⅳ部門・第Ⅴ部門・第Ⅶ部門・共通セッション)

広島工業大学：五日市キャンパス (対面・一部オンライン) 参加者：4,668名

(第Ⅵ部門・共通セッション)

- 1) 基調講演会 (R5.9.13) 広島国際会議場

「土木の魅力を伝える～次世代に向けてイノベーションを起こす～」

土木学会会長 田中 茂義

- 2) 特別講演会 (R5.9.13) 広島国際会議場

「AIの進展と社会への影響」

東京大学教授 松尾 豊

- 3) 全体討論会 (R5.9.13) 広島国際会議場 「技術でつながる「適散適集」な社会」

コーディネーター：藤原 章正 (広島大学教授)

パネリスト：湯崎 英彦 (広島県知事)

：田中 輝美 (島根県立大学准教授)

：羽藤 英二 (東京大学教授)

：田中 茂義 (土木学会会長・大成建設(株)会長)

：中崎 剛 (実行委員長・中国地方整備局長)

- 4) 第78回年次学術講演会 (R5.9.14～15)

広島大学東広島キャンパス・広島工業大学五日市キャンパス (対面・一部オンライン)

1 講演数 I部門 385題 II部門 217題 III部門 464題 IV部門 174題 V部門 800題

VI部門 1,339題 VII部門 138題 CS部門 672題 計 4,189題

2 延べ参加者数 24,617名 3 優秀講演者の表彰 表彰者数：299名

- 5) 研究討論会 (R5.9.11～13) オンライン開催，ハイブリッド開催 最大視聴数計：2,740名 (9.11～9.12)

参加者数：716名 (9/13，現地216，オンライン500)

討論会題数：23題

- 6) 交流会 (R5.9.13) ANAクラウンプラザホテル広島 参加者数：508名

- 7) 国際関連特別講演会

R5.9.13 広島国際会議場，広島大学東広島キャンパス，広島工業大学五日市キャンパス他およびオンライン開催

「土木の分岐点@ジャンクション、道、未来」 参加者数：92名 (現地50，オンライン42)

司会：岩井 裕正 (京都大学)

登壇者：川上 剛司 氏 (株) IHI

徳渕 正毅 氏 (ARUP)

ヘンリー マイケル 教授 (芝浦工業大学)

西川 貴文 准教授 (長崎大学)

党 紀 准教授 (埼玉大学)

R5.9.14-15 第25回国際サマーシンポジウム&若手技術者ワークショップ

ネットワーキングレセプション 広島大学, 広島工業大学 参加者数: 54名

8) 映画会 (R5.9.14~15) 広島大学東広島キャンパス 参加者数: 354名

9) パネル展示 (R5.9.13~15) 広島駅南口地下広場 (イベント広場) 参加者数: 2,700名

9.2 講演会, 講義, シンポジウム, 見学会等

開催日	行事名	場所	参加者数
2014.5.22	「パッケージ型インフラ輸出の促進に向けて～建設技術者が果たすべき役割～」に関する講習会	土木学会講堂	52 名
2014.5.26	がれきの処分と有効利用に関する調査研究小委員会「成果報告会」	土木学会講堂	57 名
2014.6.6	トンネル工学セミナー	土木学会 AB 会議室	63 名
2014.6.10	平成 26 年度構造工学委員会セミナー	土木会館 講堂	120 名
2014.6.27	No.23 ドボジョッキー「土木の語り部」体験会!	ド・ヴォーク中野	1 名
2014.7.4	「設計基準体系における安全性照査ガイドライン」に関する講習会	土木会館 講堂	50 名
2014.7.16	「鉄筋コンクリート設計システム研究小委員会(340 委員会)第 2 期」および「社会基盤施設の設計と維持管理の連係システムの構築に関する研究小委員会(344 委員会)」合同成果報告会	土木学会講堂	78 名
2014.8.7	土木学会による実務者のための耐震設計入門 (基礎編)	土木会館講堂	90 名
2014.8.18	「腐食した鋼構造物の性能回復」講習会 (東京会場)	土木学会講堂	94 名
2014.8.22	複合構造ずれ止めの性能評価に関する講習会	土木学会講堂	55 名
2014.9.1~2	国際サマーセミナー2014	土木会館	23 名
2014.9.18~19	東日本大震災における岩手県沿岸南部地方被災地の現地視察会	岩手県内被災箇所	47 名
2014.9.22	「腐食した鋼構造物の性能回復」講習会 (広島会場)	広島工業大学広島校舎	105 名
2014.9.24	No.24 ドボジョイ観光興学・「土木の語り部」体験講習会!	ド・ヴォーク中野	1 名
2014.9.30	コンクリート構造物の品質確保研究委員会ワークショップ「品質確保マネジメントの現場での実践と、今後の展望」	土木学会講堂	57 名
2014.10.1	「大河津分水可動堰記録保存検討委員会」成果報告会	土木学会講堂	60 名
2014. 10.2~3	平成 26 年度 構造工学における有限要素法の基礎と応用講習会	土木会館講堂	42 名
2014.10.23	土木学会による実務者のための耐震設計入門 (実践編)	土木会館講堂	75 名
2014.10.25	地下空間の防災・減災セミナー ～水害時の避難を中心に～	グランフロント大阪ナレッジキャピタル	55 名
2014.11.7	平成 26 年度 施工計画講習会「施工計画のポイントと C I M への取り組み」	土木会館講堂	79 名
2014.11.10	第 39 回トークサロン (1 回目) 東日本大震災復興フォローアップセミナー「生活・生産の場としての漁村再生」	中央大学後楽園キャンパス	40 名
2014.11.11	「大河津分水可動堰記録保存検討委員会」成果報告会	アオーレ長岡	122 名
2014.11.12	FRP によるコンクリート構造の補強設計に関する講習会	土木学会講堂	79 名
2014.11.13	FRP 複合構造に関する講習会	土木学会講堂	79 名
2014.11.25	No.198 ドボジョイ東京・土木観光百景ウォーク!	J R 新宿駅	2 名
2014.12.8	「公共工事設計施工標準請負契約約款」説明会	土木学会講堂	26 名
2014.12.12	歩行者系舗装入門 (安全で安心な路面を目指して) の講習会	土木学会講堂	58 名

2014.12.13～14	No.6 ドボジョグ東京・観光アスリート工学！	四ツ谷駅	1名
2014.12.15	第14回地震災害マネジメントセミナー	土木会館講堂	53名
2014.12.15	第39回トークサロン（2回目）東日本大震災復興フォローアップセミナー「津波対策技術のフロンティア」	中央大学後楽園キャンパス	30名
2014.12.18	第27回鋼構造基礎講座「鋼橋の維持管理－維持管理の現状と今後のあり方－」	土木会館講堂	73名
2015.1.10	土木計画学ワンデイセミナー NO.71 自転車利用環境計画の進展と課題	土木学会講堂	134名
2015.1.15	行動する技術者セミナー ～沖縄で育む「行動する技術者」(西部支部沖縄会との共催)	沖縄県立博物館美術館講堂	109名
2015.1.16	第28回鋼構造基礎講座「実務者のための橋梁維持管理－鋼橋部位別の課題と補修事例－」	土木会館講堂	74名
2015.1.22	土木計画学ワンデイセミナー NO.72 航空輸送に関する高度なモデル化と統計分析手法の政策への応用：手法論と政策論	土木学会講堂	116名
2015.1.23	土木計画学ワンデイセミナー NO.73 震災20年をむかえた災害研究のこれまでとこれから～土木計画学の視点から	デザイン・クリエイティブセンター神戸 KIITO 3	22名
2015.1.24	地盤工学セミナー「地盤に起因する土木・建築紛争の解決に向けて Part3」	日本大学	172名
2015.1.26	第39回トークサロン（3回目）東日本大震災復興フォローアップセミナー「海岸地域の総合的利用管理」	土木会館 講堂	44名
2015.1.27	トンネル・ライブラリー第27号「シールド工用立坑の設計」に関する講習会	土木学会講堂	120名
2015.1.28	No.27 ドボジョッキー＝土木の語り部・体験会！	ド・ヴォーグ中野	1名
2015.2.4	第40回土木学会トークサロン 「インフラの呪縛－公共事業はなぜ迷走するのか」	土木会館 講堂	19名
2015.2.6	「発電所環境アセスメント迅速化に資する技術開発の動向と展望」報告会	土木学会 AB 会議室	54名
2015.2.24	No.202 土木の語り部とドボジョイ百景ウォーク！	JR 四ツ谷駅	1名
2015.2.28	地下空間の防災・減災セミナー 地下浸水の対策と課題～名古屋・大阪を事例として～	中部大学名古屋キャンパス	89名
2015.2.28～3.7	第16回途上国の環境問題を見て考える全国学生ツアーネパール	カトマンズ	13名
2015.3.9	土木計画学ワンデイセミナー NO.74 交通関連ビッグデータは土木計画の研究と実務に何をもたらすか？	東京工業大学蔵前工業会館内 「くらまえホール」	181名
2015.3.13	「地下構造物のアセットマネジメント-導入に向けて-」に関する講習会	土木学会講堂	93名
2015.3.14	土木計画学ワンデイセミナー NO.75 「少子高齢社会における子育てしやすいまちづくり～大都市と地方都市、都心と郊外、どちらが子育てしやすいか？～」	土木学会講堂	70名
2015.3.18	「二酸化炭素回収・貯留（CCS）技術の現状と展望」	土木学会 EF 会議室	42名
2015.3.25	第3回土木 a la mode「大地の手触り～住まう大地、恵みの大地～」	土木学会 AB 会議室	
2015.3.27	土木計画学ワンデイセミナー NO.76 「幹線旅客交通のフロンティア」	土木学会講堂	75名
2015.5.14	第3回データモデルセミナー	土木学会 会議室	70名
2015.5.22	複合構造標準示方書〔2014年版〕講習会（東京）	土木学会講堂	136名
2015.5.26	No.207 土木の語り部とドボジョイ百景ウォーク！	J R四ツ谷駅麹町口	1名
2015.5.28	No.208 土木の語り部とドボジョイ百景ウォーク！	J R四ツ谷駅麹町口	1名
2015.6.4	「アルミニウム合金材の鋼橋への活用技術ならびにアルミニウム合金土木構造物設計・製作指針(案)に関する講習会」	土木学会 講堂	50名
2015.6.5	トンネル工学セミナー	AB 会議室	49名
2015.6.19	第7回公共調達シンポジウム	土木学会講堂	103名

2015. 6.27～28	No.12 ドボジョグはオリンピック観光興学を走る！	J R四ツ谷駅麴町口	4 名
2015.7.7	社会インフラの維持管理戦略講演会	東京大学武田ホール	233 名
2015.7.17	No.33 土木の語り部・体験教室！	ド・ヴォーグ中野	1 名
2015.7.24	地下空間ライブラリー第 1 号「地下構造物のアセットマネジメント- 導入に向けて -」に関する講習会	土木学会 講堂	58 名
2015.7.27	土木学会による実務者のための耐震設計入門（基礎編）	土木会館 講堂	123 名
2015.8.3	建設マネジメント委員会研究成果発表会及び表彰式	土木学会講堂	48 名
2015.8.21	No.211 ドボジョイ百景「第五次産業土木」ウォーク！	J R中野駅北口	1 名
2015. 8.28～29	No.14 ドボジョグはオリンピック観光興学を走る！	J R四ツ谷駅麴町口	1 名
2015. 9.3～4	東日本大震災における岩手県沿岸南部地方被災地の現地視察会	岩手県内被災箇所	32 名
2015.9.17	トンネル技術史講演会	メルパルク岡山	74 名
2015.9.18	No.35 土木の語り部・体験教室！	ド・ヴォーグ中野	1 名
2015.9.29	平成 27 年度 構造工学における有限要素法の基礎と応用講習会	土木会館講堂	79 名
2015.10.1	「公共土木設計施工標準請負契約約款」・「維持管理等の入札契約方式ガイドライン(案)」説明会	土木学会講堂	46 名
2015.10.6	「アルミニウム合金材の鋼橋への活用技術ならびにアルミニウム合金土木構造物設計・製作指針(案)」に関する講習会	大阪大学中之島センター 7 階セミナー室	25 名
2015.10.16	No.36 土木の語り部・教室！	ド・ヴォーグ中野	1 名
2015.10.18	第 8 回土木ふれあいフェスタ 2015	アリオ倉敷	486 名
2015.10.22	第 42 回土木学会トークサロン「防災とレジリエンス再考」	中央大学後楽園キャンパス	約 110 名
2015.10.23	応用力学フォーラム（関西地区）「応用力学の視点から河川における魚の生態を考える集いー魚道を例にしてー」	京都大学	27 名
2015.10.23	「トンネルライブラリー・シールドトンネルにおける切掘げ技術（仮称）」講習会	土木学会講堂	107 名
2015.10.30	複合構造標準示方書〔2014 年版〕講習会（北海道）	北海道大学	40 名
2015.10.30	地下空間の防災・減災セミナー 地下浸水とその課題- 東京・名古屋・京都・大阪を事例として -	土木学会 講堂	110 名
2015.11.6	「第 11 回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム」事前参加申込者限定「JR 新橋駅改良工事現場見学会」	J R新橋駅	28 名
2015.11.6	第 1 回地下空間維持管理セミナー	長崎大学 文教キャンパス 総合教育研究棟	57 名
2015.11.9	建設マネジメントに関する地域シンポジウム	仙台市情報産業プラザ多目的ホール	47 名
2015.11.10	土木学会による実務者のための耐震設計入門（実践編）	土木会館 講堂	73 名
2015.11.13	複合構造標準示方書〔2014 年版〕講習会（大阪）	大阪工業大学	35 名
2015.11.24	応用力学フォーラム（東北地区）「計算力学コロキウム」	東北大学	27 名
2015.11.26	応用力学フォーラム（東北地区）「工学のための最適化数学の基礎」	東北大学	22 名
2015.11.30	ODA 活用小委員会 中間報告書説明会	土木学会講堂	74 名
2015.12.3	第 29 回鋼構造基礎講座「鋼橋 RC 床版の劣化（疲労・ASR・塩害）とその対策」	金沢大学サテライト・プラザ	71 名
2015.12.4	第 17 回地震防災技術懇話会	土木学会 講堂	32 名
2015.12.4	平成 27 年度 施工計画講習会「施工計画のポイントと C I Mへの取り組み」	土木会館講堂	73 名
2015.12.11	複合構造標準示方書〔2014 年版〕講習会（福岡）	福岡大学	31 名
2015.12.14	平成 27 年度 地盤工学セミナー「火山噴火と土砂災害」	土木会館講堂	83 名
2015.12.18	応用力学フォーラム（北海道地区）「人間活動と自然システム」	北海道大学	32 名
2015.12.18	第 30 回鋼構造基礎講座「鋼構造物(鋼橋)の防食設計と防食技術」	土木会館講堂	45 名
2015.	No.217 ドボジョイ百景・歩いて学ぶ観光工学！	中野駅	2 名

12.26,27,29,30			
2016.1.6	土木計画学ワンデイセミナー No.77 持続可能かつ住みやすい都市を創る都市物流システム	土木学会講堂	69 名
2016.1.13	応用力学フォーラム（中部地区）「水と土粒子の流れ 最先端の解析技術～水工学・地盤工学からのアプローチ～」	名城大学	49 名
2016.1.15	「公共土木設計施工標準請負契約約款」・「維持管理等の入札契約方式ガイドライン(案)」説明会（広島）	広島工業大学	38 名
2016.1.15	鋼コンクリート合成床版設計・施工指針講習会	土木学会講堂	70 名
2016.1.19	「公共土木設計施工標準請負契約約款」・「維持管理等の入札契約方式ガイドライン(案)」説明会（札幌）	札幌国際ビル会議室	98 名
2016.1.19	第 15 回地震災害マネジメントセミナー	土木会館 講堂	49 名
2016.1.22	「公共土木設計施工標準請負契約約款」・「維持管理等の入札契約方式ガイドライン(案)」説明会（大阪）	エル大阪	70 名
2016.1.25	平成 27 年度構造工学委員会セミナー	土木会館 講堂	69 名
2016.1.27	「公共土木設計施工標準請負契約約款」・「維持管理等の入札契約方式ガイドライン(案)」説明会（名古屋）	名古屋工業大学	25 名
2016.2.4	「公共土木設計施工標準請負契約約款」・「維持管理等の入札契約方式ガイドライン(案)」説明会（福岡）	アクロス福岡	19 名
2016.2.15	「公共土木設計施工標準請負契約約款」・「維持管理等の入札契約方式ガイドライン(案)」説明会（四国）	サンポートホール高松	31 名
2016.2.20	土木計画学ワンデイセミナー No.78「少子高齢社会における子育てしやすいまちづくり～親の視点と子どもの視点～」	東京大学工学部	72 名
2016.2.23	「公共土木設計施工標準請負契約約款」・「維持管理等の入札契約方式ガイドライン(案)」説明会（仙台）	エル・パーク仙台	130 名
2016. 3.4～3.5	逆問題スプリングスクール「土木工学における観測・計測データ活用のフロンティア」	TKP 東京駅前カンファレンスセンター	104 名
2016.3.5	地下空間の防災・減災セミナー 対策と課題 - 名古屋・大阪を事例として -	関西大学うめきたラボラトリー	44 名
2016.3.7	応用力学フォーラム（関東地区）「計算力学イブニングセミナー」	中央大学	27 名
2016.3.11	土木工事の技術的安全性確保・向上に関する シンポジウム	土木学会講堂	48 名
2016.3.14	土木 I S O セミナー「国際規格の動向と次期港湾基準の国際化・国際展開に向けて」	土木学会 講堂	89 名
2016.3.23	応用力学フォーラム（四国地区）「コンクリート構造物の最先端の点検技術」	愛媛大学	35 名
2016.3.28	応用力学フォーラム（中国地区）「個別要素法による地盤解析」	岡山大学	105 名
2016.4.8	応用力学フォーラム（関東地区）「計算力学イブニングセミナー」	中央大学	32 名
2016.5.9	公共デザインへの競争性導入に関する実施ガイドライン研究小委員会公開ワークショップ	土木学会講堂	65 名
2016.5.18	若手／中堅実務者のためのコンクリート技術講習会～良いコンクリート構造物を設計するためのポイント～	土木学会講堂	71 名
2016.5.20	トンネル・ライブラリー第 28 号「シールドトンネルにおける切掘り技術」に関する講習	建設交流館	79 名
2016.5.20	「実務者のための道路橋支承部の点検・診断と長寿命化技術」講習会	土木学会 講堂	122 名
2016.5.26	「汚染水貯蔵用 PC タンク検討小委員会（228 委員会）」の成果報告会	土木学会講堂	101 名
2016.5.27	「鋼コンクリート合成床版設計・施工指針(案)」地方講習会（京都）	京都大学	49 名
2016.6.20	「実務者のための道路橋支承部の点検・診断と長寿命化技術」講習会	大阪市立大学文化交流センター	100 名

2016.6.2	トンネル工学セミナー2016	土木学会 AB 会議室	41 名
2016.6.17	橋梁の維持管理の実践と方法論に関する講習会	土木学会講堂	118 名
2016.6.20	「実務者のための道路橋支承部の点検・診断と長寿命化技術」講習会	大阪市立大学文化交流センター	100 名
2016.6.23	第 4 回データモデルセミナー	土木学会 講堂	74 名
2016.6.23	「施工性能にもとづくコンクリートの配合設計・施工指針 2016 年版」に関する講習会（東京会場）	土木学会講堂	112 名
2016.6.24	「鋼コンクリート合成床版設計・施工指針(案)」地方講習会（名古屋）	名城大学	35 名
2016.6.27	土木学会による実務者のための耐震設計入門（基礎編）	土木会館 講堂	114 名
2016.6.29	第 8 回公共調達シンポジウム 土木学会講堂	土木学会講堂	98 名
2016.7.14	「施工性能にもとづくコンクリートの配合設計・施工指針 2016 年版」に関する講習会（大阪会場）	建設交流館	71 名
2016.7.21	関西岩盤地盤セミナー（第 1 回）	京都大学桂キャンパス	25 名
2016.7.21	鋼・合成構造標準示方書「総則設計編」講習会	土木学会 講堂	61 名
2016.7.29	「鋼コンクリート合成床版設計・施工指針(案)」地方講習会（北海道）	北海道大学	36 名
2016.7.29	「フェロニッケルスラグ骨材を用いたコンクリートの設計施工指針」および「銅スラグ細骨材を用いたコンクリートの設計施工指針」講習会		75 名
2016.7.30	夏休み親子現場見学会 南砂町駅改良工事建設現場および地下鉄博物館		44 名
2016.8.2	建設マネジメント委員会研究成果発表会及び表彰式	土木学会講堂	108 名
2016.8.22	第 50 回夏期講習会～経済を支え国民の生活を守るインフラ整備の方向～	立命館大学大阪いばらきキャンパス	131 名
2016.9.8	東日本大震災における岩手県沿岸南部地方被災地の現地視察会	岩手県被災地	26 名
2016.9.8	トンネル技術講演会	ホテル白萩（仙台）	88 名
2016. 9.13～14	留学生を対象とした維持管理に関するサマープログラム	土木学会講堂他	12 名
2016.9.16	応用力学フォーラム（西部地区）「自然災害予測計算の最前線」	九州大学	24 名
2016.9.17	土木計画学ワンデイセミナー NO.80 災害時対応～復興支援と災害調査－熊本地震の経験を踏まえて	清流の国ぎふ 防災・減災センター	57 名
2016.9.20	土木学会 CMGC セミナー「米国 CMGC 方式に学ぶ、WCS 方式のあり方」	土木学会講堂	181 名
2016.9.27	「土木構造物共通示方書【基本編】、【構造計画編】、【性能評価・作用編】」講習会（大阪会場）	大阪市立大学文化交流センター	55 名
2016.9.29	「土木構造物共通示方書【基本編】、【構造計画編】、【性能評価・作用編】」講習会（東京会場）	土木学会講堂	47 名
2016.9.29	北海道豪雨災害調査団緊急報告会	北海道大学学術交流会館	453 名
2016.9.29	岩盤力学イブニングセミナー（第 1 回）	土木学会講堂	38 名
2016.9.30	第 2 回地下空間維持管理セミナー	北海道立道民活動センターかでの 2.7	70 名
2016.9.30	「原子力発電所の津波評価技術 2016」講習会（東京）	土木学会 講堂	127 名
2016.9.30	「積雪寒冷地の舗装に関する諸問題と対策」講習会（札幌）	寒地土木研究所	48 名
2016.10.3	第 3 回インフラ産業グローバルビジョン講演会「世界のリーダーと語るインフラ産業のグローバル戦略」-世界のコンセッション事業における土木技術者の多様な役割-	東京大学武田ホール	209 名
2016. 10.6～7	平成 28 年度 構造工学における有限要素法の基礎と応用講習会	土木会館講堂	81 名
2016.10.8	土木計画学ワンデイセミナー No.81 超高齢社会 2020 に向けた移動権に関するセミナー	ハロー貸会議室西新宿駅前	28 名
2016.10.13	第 31 回鋼構造基礎講座「鋼橋の設計法 -これからの設計者に求められる鋼橋の設計法-	土木学会 講堂	78 名

2016.10.14	「原子力発電所の津波評価技術 2016」講習会（大阪）	関西大学 梅田キャンパス	85 名
2016.10.19	第 1 回人にやさしい地下空間セミナー	NSRI ホール	73 名
2016.10.21	「積雪寒冷地の舗装に関する諸問題と対策」講習会（北見）	北見商工会議所	10 名
2016.10.24	土木学会による実務者のための耐震設計入門（実践編）	土木会館 講堂	81 名
2016.10.26	トンネル・ライブラリー第 29 号「山岳トンネル工事の周辺環境対策」に関する講習会（東京会場）	土木学会 講堂	65 名
2016.10.27	トンネル・ライブラリー第 29 号「山岳トンネル工事の周辺環境対策」に関する講習会（大阪会場）	大阪国際交流センター	39 名
2016.10.27	社会インフラのためのセンサ標準化ガイドラインの講習会（東京）	土木学会 講堂	42 名
2016.10.28	平成 28 年度 施工計画講習会	土木会館講堂	69 名
2016.11.7	地方創生シンポジウム 宮城県女川町	土木学会 講堂	100 名
2016.11.10	第 32 回鋼構造基礎講座「鋼橋の大規模修繕・大規模更新－最新動向と今後の展望－」	土木会館講堂	72 名
2016.11.11	学会 東京駅周辺地下空間ネットワーク ECOZZERIA 3×3 ラボ サロン		50 名
2016.11.16	第 16 回地震災害マネジメントセミナー	土木会館 講堂	40 名
2016.11.16	社会インフラのためのセンサ標準化ガイドラインの講習会（大阪）	オカムラ大阪ショールーム	14 名
2016.11.17	建設マネジメントに関する地域シンポジウム	テイジンホール（大阪）	150 名
2016.11.18	「積雪寒冷地の舗装に関する諸問題と対策」講習会（金沢）	金沢商工会議所	13 名
2016.11.25	土木計画学ワンデイセミナー No.82 土木計画学における空間・経済・統計分析セミナー	神戸大学六甲台第 2 キャンパス工学部棟	62 名
2016.11.25	現場見学会（第 6 回 FRP 複合構造・橋梁に関するシンポジウム）	東レ名古屋事業場, 玄若橋	23 名
2016.11.28	異業種交流セミナー・シリーズ（第 1 回）	土木学会 AB 会議室	44 名
2016.12.2	応用力学フォーラム（東北地区）「土木構造物の材料・耐久性モデリング」	東北大学	32 名
2016.12.9	関西岩盤地盤セミナー（第 2 回）	京都大学桂キャンパス	38 名
2016.12.9	鋼構造シリーズ 27 「道路橋床版の維持管理マニュアル 2016」・ 鋼構造シリーズ 28 「道路橋床版防水システムガイドライン 2016」に関する講習会	金沢大学サテライト・プラザ	29 名
2016.12.12	「鋼コンクリート合成床版設計・施工指針（案）」地方講習会（九州）	熊本大学	13 名
2016.12.15	インフラオープンデータ・ビックデータ利活用ワークショップ	東京大学 生産技術研究所	40 名
2016.12.15	鋼構造シリーズ 27 「道路橋床版の維持管理マニュアル 2016」・ 鋼構造シリーズ 28 「道路橋床版防水システムガイドライン 2016」に関する講習会	九州大学医学部 100 年講堂	50 名
2016.12.16	複合構造委員会 10 周年記念式典	土木学会講堂他	57 名
2016.12.22	応用力学フォーラム（関東地区）「土木分野の V&V に向けての実践的アプローチ」	土木会館講堂	51 名
2016.12.22	CL148「コンクリート構造物における品質を確保した生産性向上に関する提案」に関する講習会（東京会場）	全国町村議員会館	216 名
2017.1.18	平成 28 年度構造工学委員会セミナー	土木会館 講堂	66 名
2017.1.19	CL148「コンクリート構造物における品質を確保した生産性向上に関する提案」に関する講習会（大阪会場）	大阪国際交流センター	159 名
2017.1.20	応用力学フォーラム（中国地区）	岡山大学	36 名
2017.1.24～25	ITS ミニシンポジウム「ITS は地域の課題・ニーズにどう応えるか ～まちづくり, みちづくりに ITS や最新技術はいかに役立つか?～」	TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター	10 名
2017.1.25	「社会インフラ メンテナンス学と健康診断」講習会（福岡会場）	博多バスターミナル	72 名

2017.1.31	地方創生シンポジウム 東京都墨田区	土木学会 講堂	110 名
2017.2.1	「社会インフラ メンテナンス学と健康診断」講習会（高松会場）	サンポートホール高松	71 名
2017.2.7	第 2 回人にやさしい地下空間セミナー	土木学会 講堂	61 名
2017.2.13	「社会インフラ メンテナンス学と健康診断」講習会（名古屋会場）	ウイंकあいち	80 名
2017.2.14	インフラメンテナンスとロボット技術	土木学会 講堂	138 名
2017.2.14	鋼構造シリーズ 27 「道路橋床版の維持管理マニュアル 2016」・ 鋼構造シリーズ 28 「道路橋床版防水システムガイドライン 2016」に関する講習会	寒地土木研究所	85 名
2017.2.21	第 17 回異分野技術者との交流会	AB 会議室	25 名
2017.2.23	鋼構造シリーズ 27 「道路橋床版の維持管理マニュアル 2016」・ 鋼構造シリーズ 28 「道路橋床版防水システムガイドライン 2016」に関する講習会	大阪大学中之島センター	76 名
2017.3.2	土木計画学ワンデイセミナー NO.83 これからの交通事故リスクマネジメント	日本大学駿河台キャンパス	
2017.3.4	土木計画学ワンデイセミナー NO.84 少子高齢社会における子育てしやすいまちづくり～都市のバリアと心のバリア～	東京大学工学部	
2017.3.4	地下空間の防災・減災セミナー -地下街の取り組み 大阪・川崎・神戸・名古屋を事例として-	中部大学 名古屋キャンパス	67 名
2017.3.8	PFI/PPP 講演会「ヨーロッパの経験から学ぶ PFI/PPP とインフラ投資」	(株)建設技術研究所	
2017.3.10	岩盤力学イブニングセミナー（第 2 回）	土木学会講堂	122 名
2017.3.15	平成 28 年度 地盤工学セミナー「熊本地震から学ぶ地盤災害」	土木会館講堂	91 名
2017.3.17	「R. Ulusay 教授, H. Kumsar 教授による特別講演会」(京都会場)	京都大学 吉田キャンパス	23 名
2017.3.22	「R. Ulusay 教授, H. Kumsar 教授による特別講演会」(東京会場)	土木学会講堂	36 名
2017.3. 22～23	応用力学委員会若手交流ワークショップ	川崎・JFE スチール	
2017.3.24	応用力学フォーラム（中部地区）「氾濫現象を読み解く～河川・氾濫域の条件と氾濫現象～」	名古屋工業大学	3 名
2017.3.27	異業種交流セミナー・シリーズ（第 2 回）	土木学会 講堂	79 名
2017.3.31	応用力学フォーラム（四国地区）「維持管理のフロンティア」	愛媛大学	
2017.4.13	地盤地震防災に関する講演会	東京大学生産技術研究所	79 名
2017.4.18	「社会インフラ メンテナンス学と健康診断」講習会（広島会場）	広島 YMCA	76 名
2017.4.19	「監理業務標準委託契約約款」・「監理業務共通仕様書」説明会<東京会場>	土木学会講堂	67 名
2017.4.20	2016 年 8 月北海道豪雨災害土木学会調査団報告会 in 帯広	とかちプラザ	266 名
2017.4.22	構造工学委員会特別講演「東京都における都市基盤施設の予防保全型管理」	北海道大学	114 名
2017. 4.22～23	第 63 回構造工学シンポジウム	北海道大学	217 名
2017.4.26	2016 年熊本地震 1 周年報告会	九州大学百年講堂大ホール	351 名
2017.4. 26～29	流量観測技術ワークショップ	信濃川（新潟県小千谷市付近）	50 名
2017.4.28	「社会インフラ メンテナンス学と健康診断」講習会（仙台会場）	仙台国際センター	112 名
2017.4.28	土木計画学ハンドブック出版記念シンポジウム	土木学会 講堂	61 名
2017.5.13	JABEE 認定・審査における「土木及び関連の工学分野」,	土木会館講堂	50 名

	「環境工学及び関連のエンジニアリング分野」受審校研修会		
2017.5.15	「監理業務標準委託契約約款」・「監理業務共通仕様書」説明会<福岡会場>	エルガーラホール	12 名
2017.5.15	第 42 回土木学会トークサロン	土木会館 講堂	27 名
2017.5.16	世界で活躍する日本の土木技術者シリーズ（第 9 回）	土木会館講堂	107 名
2017.5.18	若手／中堅実務者のためのコンクリート技術講習会-構造物設計の基本と施工・維持管理との連携-	土木学会講堂	64 名
2017.5. 20～21	第 20 回応用力学シンポジウム	京都大学吉田キャンパス	225 名
2017.5.22	異業種交流セミナー・シリーズ（第 3 回）	土木学会 AB 会議室	44 名
2017.5.22	「監理業務標準委託契約約款」・「監理業務共通仕様書」説明会<広島会場>	広島工業大学広島校舎	23 名
2017.5.23	地震工学委員会 平成 29 年度 第 1 回研究会	土木学会 講堂	116 名
2017.5.23	「社会インフラ メンテナンス学と健康診断」講習会（札幌会場）	北海道大学	114 名
2017.5.24	「監理業務標準委託契約約款」・「監理業務共通仕様書」説明会<名古屋会場>	名古屋工業大学 4 号館 1 階ホール	13 名
2017.5.26	第 5 回データモデルセミナー	土木学会 AB 会議室	68 名
2017.5.26	土木計画学ワンデイセミナー NO.85 これからの空港と次世代航空交通システムの進化	日本大学駿河台キャンパス 1 号館	127 名
2017.6.1	コンクリートにおける水の挙動研究小委員会(JSCE349) 報告会およびシンポジウム	中央大学 後楽園キャンパス	59 名
2017.6.1	「監理業務標準委託契約約款」・「監理業務共通仕様書」説明会<大阪会場>	建設交流館	32 名
2017. 6.1～2	環境水理部会研究集会 2017 in 鹿児島	鹿児島大学稲盛会館	80 名
2017.6.6	公開講演会「学会が原子力安全組織システムの防護の厚みに貢献するために」	土木会館 講堂	86 名
2017.6.8	「監理業務標準委託契約約款」・「監理業務共通仕様書」説明会<札幌会場>	札幌国際ビル	29 名
2017.6.9	第 3 回地下空間維持管理セミナー	RCC 文化センター	54 名
2017. 6.10～11	第 55 回土木計画学研究発表会（春大会）	愛媛大学	1009 名
2017.6.13	高知市新庁舎丸太打設液状化対策工法見学会	高知市新庁舎建設工事作業所 会議室	59 名
2017.6. 15～16	2017 年度河川技術に関するシンポジウム	東京大学弥生講堂	601 名
2017.6.16	第 18 回地震防災技術懇話会	土木学会 AB 会議室	54 名
2017.6.20	「監理業務標準委託契約約款」・「監理業務共通仕様書」説明会<仙台会場>	ハーネル仙台	48 名
2017.6.21	第 95 回イブニングシアター「土木学会映画コンクール受賞作品」	土木会館講堂	71 名
2017.6.22	「監理業務標準委託契約約款」・「監理業務共通仕様書」説明会<高松会場>	サンポートホール高松	19 名
2017.6.23	第 37 回土木史研究発表会 エクスカーション 駒沢給水塔	駒沢給水塔	9 名
2017.6.24	第 37 回土木史研究発表会 シンポジウム 『震災と土木史』	東京工業大学	67 名
2017.6. 24～25	第 37 回土木史研究発表会	東京工業大学	107 名
2017.6. 26～6.27	第 42 回海洋開発シンポジウム	仙台国際センター	400 名
2017.6.27	CIM 講演会 2017（東京）	中央大学 駿河台記念館	310 名
2017.6.27	第 9 回公共調達シンポジウム	土木学会講堂	110 名
2017.6.28	津波シンポジウム－これまでの変化とこれからの対応－	東北大学災害科学国際研究所	78 名
2017.6.30	コンクリート構造物の設計と連成型性能評価法に関する研究小委員会(第 1 期)成果報告会	土木学会講堂	61 名
2017.7.2	第 2 回ドボ博街歩き「近代鉄道の駅・橋をめぐる」	千代田区周辺	33 名
2017.7.3	平成 29 年度セミナー「土木学会による実務者のための耐	土木会館 講堂	120 名

	震設計入門：基礎編		
2017.7.3	第1回環境システムイブニングセミナー	土木会館 講堂	20名
2017.7.4～5	第20回性能に基づく橋梁等の耐震設計に関するシンポジウム	土木会館 講堂ほか	330名
2017.7.4	CIM 講演会 2017 (仙台)	せんだいメディアパーク	87名
2017.7.8	オープンキャンパス土木学会 2017 ～くらしを支える土木～	土木会館 講堂ほか	217名
2017.7.12～13	第21回鉄道工学シンポジウム	土木会館講堂	98名
2017.7.19	第1回 橋梁技術の温故知新セミナー	土木学会講堂	134名
2017.7.20	第2回環境システムイブニングセミナー	土木会館 A 会議室	21名
2017.7.21	「構造物の更新・改築 ―プロセスの紐解き―」講習会	土木学会講堂	71名
2017.7.22	土木計画学ワンデイセミナー NO.86 スマート・プランニングの活用と今後の展望	東京大学工学部 14 号館, 141 教室	119名
2017.7.22	最新建設用ロボット技術の紹介 2017	港湾空港技術研究所内	203名
2017.7.26	CIM 講演会 2017 (大阪)	西日本建設業保証(株)貸会議室	159名
2017.7.28	コンクリート構造物の品質・耐久性確保マネジメント研究小委員会 成果報告会<東京会場>	エッサム神田ホール2号館	124名
2017.7.28	平成29年度構造工学委員会主催テクニカルセミナー	東京大学工学部	22名
2017.7.28	地下空間研究委員会 研究活動報告会	土木学会講堂	84名
2017.7.29	夏休み親子現場見学会	相鉄・東急直通線, 新横浜駅他工事	32名
2017.7.31	岩の力学オンライン講義勉強会	宇都宮大学	24名
2017.8.1	建設マネジメント委員会研究成果発表会及び表彰式	土木学会講堂	69名
2017.8.1	土木工事で使われるロボット展	関東技術事務所内	408名
2017.8.3	世界で活躍する日本の土木技術者シリーズ (第10回)	土木会館講堂	105名
2017.8.4	CIM 講演会 2017 (札幌)	ACU SAPPORO	135名
2017.8.4	第20回鋼構造と橋に関するシンポジウム「次期学習指導『要領』における防災学習」	法政大学	233名
2017.8.6	第9回土木と学校教育フォーラム	土木学会 講堂ほか	90名
2017.8.8～9	第16回木材利用研究発表会	土木会館 講堂	52名
2017.8.9	次世代下水道小委員会講演会「関西発・下水道研究の最前線」	キャンパスプラザ京都 第3講義室	66名
2017.8.10	橋梁の対津波設計に関するシンポジウム	土木会館 講堂	37名
2017.8.22	第18回 異分野技術者との交流会	土木学会 AB 会議室	23名
2017.8.23	第96回イブニングシアター「港湾空港土木特集」	土木会館講堂	106名
2017.8.24	CIM 講演会 2017 (名古屋)	ウインクあいち	135名
2017.8.24	全国木橋サミット 2017 in つるた	鶴田町 国際交流会館 国際交流ホール	308名
2017.8.25	木橋サミット 2017 in つるた【バスツアー】	つがる富士見荘	17名
2017.8.28	地盤の地震応答解析 -夏の講習会 2017-	土木会館 講堂	126名
2017.8.28	「社会インフラ メンテナンス学と健康診断」講習会 (大阪会場)	建設交流館	97名
2017.8.30	講演会「海外における建設ロボットの現状と将来展望」	土木会館 講堂	115名
2017.8.31～9.1	第53回水工学に関する夏期研修会	大阪大学	189名
2017.9.6～8	第25回地球環境シンポジウム	神戸大学	118名
2017.9.6	一般公開シンポジウム「未来世紀都市創出～地球環境とエネルギーそして防災～」	神戸大学	58名
2017.9.7	土木学会地球環境委員会シンポジウム「地球温暖化とパリ協定ー世界の未来のためにー」	神戸大学	57名
2017.9.14	地震工学委員会 平成29年度 第2回研究会	土木学会 講堂	95名
2017.9.15	第3回土木史サロン	土木学会 講堂	93名
2017.9.21	平成29年度エネルギー委員会第1回公演会「エネルギー政策とそれを支える技術」	土木学会 A B 会議室	37名

2017.9.25	岩盤力学イブニングセミナー（第3回）	土木学会講堂	74名
2017.9.26	CIM 講演会 2017（広島）	サテライトキャンパスひろしま	68名
2017.9.27	「爆発・衝撃作用を受ける土木構造物の安全性評価」に関する講習会（東京）	土木学会 講堂	79名
2017.9.27	第3回環境システムイブニングセミナー	土木会館 A 会議室	14名
2017.9.28～29	第42回土木情報学シンポジウム	土木会館講堂および会議室	518名
2017.10.6	CIM 講演会 2017（高松）	サンポート 54	49名
2017.10.6	第4回地下空間維持管理セミナー	ハーネル仙台	88名
2017.10.10	応用力学フォーラム（東北地区）「補強土工法の現状と展望」	東北大学	31名
2017.10.10	どぼくカフェ熊本 土木×スポーツ×熊本 ～チャレンジする熊本のいま～	オモケンパーク	55名
2017.10.11～13	第37回地震工学研究発表会・見学会	くまもと県民交流館他	491名
2017.10.11～14	第5回土木学会台湾土木遺産視察	台湾 烏山頭ダム施設, 日月潭発電所ほか	19名
2017.10.12～13	平成29年度 構造工学における有限要素法の基礎と応用講習会	土木会館講堂	68名
2017.10.14	2016年熊本地震に関わる一般市民向け講演会	熊本市総合体育館・青年会館ホール	101名
2017.10.16	第4回環境システムイブニングセミナー	土木会館 A 会議室	42名
2017.10.17	第97回イブニングシアター「鉄道特集」	土木会館講堂	102名
2017.10.21～22	第45回環境システム研究論文発表会	大阪大学	150名
2017.10.22	第10回土木ふれあいフェスタ 2017	イオンモール福津	426名
2017.10.25	「爆発・衝撃作用を受ける土木構造物の安全性評価」に関する講習会（金沢）	金沢大学	30名
2017.10.25～27	第64回海岸工学講演会	TKP 札幌駅カンファレンスセンター	713名
2017.10.26	第33回鋼構造基礎講座「鋼橋の架設および解体撤去工法ーより一層の安全性と品質の向上に向けてー」	土木学会 講堂	68名
2017.10.27	応用力学フォーラム（関西地区）	京都大学	27名
2017.10.27	平成29年度セミナー「土木学会による実務者のための耐震設計入門：実践編」	土木学会 講堂	72名
2017.10.27	CIM 講演会 2017（金沢）	石川県地場産業振興センター	66名
2017.11.2	CIM 講演会 2017（沖縄）	沖縄県立博物館	39名
2017.11.3～5	第56回土木計画学研究発表会（秋大会）	岩手大学	800名
2017.11.6	土木技術者実践論文集セミナー ～土木技術者の『実践』の共有と更なる向上に向け～	土木学会 講堂	81名
2017.11.6	第5回環境システムイブニングセミナー	土木会館 A 会議室	16名
2017.11.7	土木建設技術発表会 2017	土木会館講堂他	184名
2017.11.11	未来の土木コンテスト 技術検討会	土木会館 講堂	63名
2017.11.15	断層帯近傍における地震動評価に関するシンポジウム	土木学会 講堂	78名
2017.11.17	平成29年度 施工計画講習会	土木会館講堂	70名
2017.11.17～18	第54回環境工学研究フォーラム	岐阜大学	212名
2017.11.18	環境工学委員会・一般公開シンポジウム「人口減少社会における環境工学の展開」	岐阜大学	98名
2017.11.18	道路トンネル建設現場（シールド工法）の見学会	横浜環状北西線の建設現場	93名
2017.11.20	建設マネジメントに関する地域シンポジウム	名古屋工業大学講堂ホール	113名
2017.11.20	水インフラ更新小委員会シンポジウム「人口減少社会における水道経営～安心・安全を未来につなぐための処方箋～」	土木学会講堂	119名

2017.11.20	CIM 講演会 2017 (福岡)	天神ビル	82 名
2017.11.21	第 5 回河川堤防技術シンポジウム	土木会館講堂	107 名
2017.11.22	「爆発・衝撃作用を受ける土木構造物の安全性評価」に関する講習会 (札幌)	寒地土木研究所	38 名
2017.11.22	熊本地震の現地視察会	熊本県内被災地	35 名
2017.11.22	コンクリート構造物の品質・耐久性確保マネジメント研究小委員会 成果報告会 《高松会場》および四国における品質確保に関するシンポジウム	高松国際ホテル	111 名
2017.11.23	土木の日シンポジウム 2017	土木会館 講堂	73 名
2017.11.24	第 3 回留学生向け現場見学会・企業説明会	国道 9 号京都西共同溝シー ルド工事現場他	17 名
2017.11.27	「既設安全性評価」, 「SHM 意思決定」に関する合同講習会	土木会館講堂	88 名
2017.11.28	第 34 回鋼構造基礎講座「鋼橋設計法の変遷」ー設計法の変遷から学ぶ設計者のあり方ー	土木会館 講堂	81 名
2017.11.29	安全問題討論会'17	土木学会講堂他	52 名
2017.11.30~12.1	第 27 回トンネル工学研究発表会	土木会館講堂他	244 名
2017.12.1	景観・デザイン委員会 20 周年記念シンポジウム	京都大学 国際科学イノベ ーション棟	241 名
2017.12.2~3	第 13 回景観・デザイン研究発表会	京都大学	318 名
2017.12.4	「監理業務標準委託契約約款」・「監理業務共通仕様書」説明会	土木学会講堂	27 名
2017.12.4	岩盤力学イブニングセミナー (第 4 回)	土木学会講堂	43 名
2017.12.5	第 35 回建設マネジメント問題に関する研究発表・討論会	土木学会講堂他	124 名
2017.12.6	基礎水理シンポジウム	土木学会講堂	37 名
2017.12.7	平成 29 年度 第 5 回流域管理と地域計画の連携に関するワークショップ	土木学会講堂	88 名
2017.12.7~8	第 22 回舗装工学講演会	札幌市教育文化会館	124 名
2017.12.9	地下空間の防災・減災セミナー2017 (大阪)	関西大学梅田キャンパス	59 名
2017.12.11	第 5 回鋼構造技術継承講演会 ~経験豊富な先人に学ぶ次世代への承継技術~	土木学会講堂	98 名
2017.12.12	見学会/東京駅周辺地下空間ネットワークー地下歩行空間ネットワークの改良と拡充ー	東京駅周辺地下歩行空間	43 名
2017.12.12	応用力学講演会 2017	土木学会講堂	42 名
2017.12.12~14	第 24 回鉄道技術・政策総合シンポジウム(J-Rail2017)	新潟朱鷺メッセ	459 名
2017.12.13	日韓ジョイントワークショップ	土木会館 講堂	42 名
2017.12.13	第 98 回イブニングシアター「ダム特集」	土木会館講堂	113 名
2017.12.15	第 6 回環境システムイブニングセミナー	土木会館 A 会議室	13 名
2017.12.16	第 5 回留学生向け企業説明会	土木会館講堂	37 名
2017.12.19	地震工学委員会 平成 29 年度 第 3 回研究会	土木学会 講堂	56 名
2017.12.20	応用力学フォーラム (東北地区)「最前線で活躍する建設コンサルタント技術者による実務の紹介」	東北大学	24 名
2017.12.20	第 5 回地下空間維持管理セミナー	岐阜大学 サテライトキャ ンパス	88 名
2017.12.21	「複合構造の耐荷メカニズム ー多様性の創造ー」講習会	土木会館講堂	55 名
2017.12.22	応用力学フォーラム (西部地区)	九州大学西新プラザ	42 名
2017.12.24	第 2 回インフラオープンデータ・ビックデータ利活用ワークショップ	東京大学生産技術研究所	70 名
2018.1.10~12	第 45 回岩盤力学に関するシンポジウム	土木学会 講堂	152 名
2018.1.11	公開講演会「地層処分ー技術的背景と日本の地質環境ー」	土木学会 講堂	80 名
2018.1.12	平成 29 年度 地盤工学セミナー	土木会館講堂	102 名
2018.1.12	土木計画学ワンデイセミナー NO.87 「3 次元モデルが変えるまちづくりの計画論」	弘済会館 4 階 楓	73 名
2018.1.16	応用力学フォーラム (中部地区)	オリックス名古屋錦ビル	93 名
2018.1.19	応用力学フォーラム (中国地区)	岡山・オルガホール 4F 会	27 名

		議室	
2018.1.20	未来の土木コンテスト 最終選考会・表彰式	日本科学未来館	135 名
2018.1.21	第 17 回土木学会デザイン賞授賞式	土木学会 講堂	168 名
2018.1.23	木材利用シンポジウム in 長崎 ホテル	セントヒル長崎	148 名
2018.1.23	土木計画学ワンデイセミナー NO.89 土木計画学セミナー「国土・県土整備の技術と実践」ー人口減少・交流時代に真に必要なインフラ整備を考えるー 中部会場	ウイंकあいち	64 名
2018.1.23～24	第 23 回地下空間シンポジウム, 見学会	早稲田大学国際会議場ほか	301 名
2018.1.24	世界で活躍する日本の土木技術者シリーズ (第 11 回)	土木会館講堂	108 名
2018.1.25	コンクリート舗装の設計・施工・維持管理に関する講習会 (東京会場)	土木学会講堂	60 名
2018.1.26	CO ₂ 輸送・貯留に関する技術動向と今後の課題	土木学会講堂	76 名
2018.1.29	CIM 講演会 2017 (第 2 回東京)	中央大学 駿河台記念館	250 名
2018.1.30	平成 29 年度構造工学委員会セミナー	土木会館 講堂	120 名
2018.1.31	第 17 回地震災害マネジメントセミナー「復興活動から考える減災・防災」	土木会館 AB 会議室	39 名
2018.1.31	地方創生シンポジウム 千葉県南房総市, 安房郡鋸南町	土木学会 講堂	97 名
2018.1.31	土木計画学ワンデイセミナー NO.90 土木計画学セミナー「国土・県土整備の技術と実践」ー人口減少・交流時代に真に必要なインフラ整備を考えるー 東北会場	TKP ガーデンシティ仙台 勾当台 ホール 2	92 名
2018.2.1	「爆発・衝撃作用を受ける土木構造物の安全性評価」に関する講習会 (福岡)	九州大学医学部	44 名
2018.2.2	欧州における SMA の現状	土木学会 AB 会議室	45 名
2018.2.5	土木計画学ワンデイセミナー No92 大災害に道路ネットワークはどう備えるか? ～道路防災機能評価の新たな展開～	香川県高松市 高松サンポート合同庁舎	67 名
2018.2.13	土木計画学ワンデイセミナー NO.91 土木計画学セミナー「国土・県土整備の技術と実践」ー人口減少・交流時代に真に必要なインフラ整備を考えるー 九州会場	第三博多偕成ビル	103 名
2018.2.14	異分野の研究室訪問・見学会	防衛大学校, 港湾空港技術研究所	28 名
2018.2.15	イラン・イラク国境付近で発生した地震被害調査報告会	土木学会 講堂	47 名
2018.2.16	コンクリート舗装の設計・施工・維持管理に関する講習会 (広島会場)	広島工業大学広島校舎堂	33 名
2018.2.20	次世代下水道小委員会講演会「下水中資源活用の最前線」	ホテルマイステイズ札幌 アспен	73 名
2018.2.21	次世代下水道小委員会講演会「下水中資源活用の最前線」	ホテルマイステイズ札幌 アспен	73 名
2018.2.28	コンクリート舗装の設計・施工・維持管理に関する講習会 (大阪会場)	エル・おおさか	57 名
2018.3.5～7	第 62 回水工学講演会	岡山大学津島キャンパス	499 名
2018.3.5	第 30 回アゲールシンポジウム	岡山大学津島キャンパス	135 名
2018.3.5	河川災害に関するシンポジウム	岡山大学津島キャンパス	151 名
2018.3.6	第 62 回水工学講演会特別講演	岡山大学津島キャンパス	155 名
2018.3.6	岩盤力学イブニングセミナー (第 5 回)	土木学会講堂	46 名
2018.3.6	「コストプラスフォー契約に関する報告書」説明会	土木学会講堂	69 名
2018.3.7	第 9 回木材利用シンポジウム	土木学会 講堂	69 名
2018.3.12	第 99 回イブニングシアター「日本初の地下鉄建設」	土木会館講堂	148 名
2018.3.12	コンクリート舗装の設計・施工・維持管理に関する講習会 (札幌会場)	エル・おおさか	45 名
2018.3.14	平成 29 年度第 2 回エネルギー委員会講演会「エネルギー政策を巡る最近の動向」	土木学会講堂	68 名
2018.3.22	国際ワークショップ「CIM/BIM の国際動向とこれからの展開」	土木会館 講堂	75 名

2018.3.22~23	2017 年制定コンクリート標準示方書発刊に伴う講習会 (東京会場)	銀座ブロッサム	510 名
2018.3.26	計算力学フォーラム in 福井	福井大学	27 名
2018.3.29	土木計画学ワンデイセミナー NO.93 地域アセットマネジメントの実装へ向けて ―地域ニーズに応じたインフラ管理とは―	土木学会講堂	117 名
2018.3.30	土木計画学ワンデイセミナー NO.94 都市間旅客交通ワンデーセミナー ―都市間旅客交通の基礎的特徴とデータ―	日本大学理工学部駿河台キャンパス	93 名
2018.4.6	『インフラ PPP の経済学』を紐解く	土木会館 講堂	118 名
2018.4.17~18	2017 年制定コンクリート標準示方書発刊に伴う講習会 (大阪会場)	大阪国際交流センター	340 名
2018.4.18	土木計画学ワンデイセミナー NO.95 土木の『領域』再考と社会的実効性のある学会活動の展開 ―土木計画学の視点から―	土木会館 講堂	80 名
2018.4.18	第 4 回人にやさしい地下空間セミナー	浅草観光文化センター	52 名
2018.4.18~21	流量観測技術ワークショップ	信濃川 (新潟県小千谷市付近)	48 名
2018.4.21	構造工学委員会特別講演「地震被害から何を学んできたか―地震防災を改めて振り返る」		
2018.4.21~22	第 64 回構造工学シンポジウム	東京工業大学	
2018.4.26	2016 年熊本地震被害調査報告書 講習会	東京大学 武田ホール	246 名
2018.5.12	JABEE 教育プログラム認定・審査のための「土木及び関連の工学分野」「環境工学及び関連のエンジニアリング分野」受審校研修会	土木会館 講堂	45 名
2018.5.18	第 2 回地方公共団体におけるアセットマネジメントシステム実装に関する意見交換会	土木会館 講堂	74 名
2018.5.19~20	第 21 回応用力学シンポジウム	名城大学天白キャンパス	224 名
2018.5.21	平成 30 年度第 1 回研究会「首都高の大規模更新と改築事業 (開通から半世紀を過ぎて)」	土木会館 講堂	119 名
2018.5.23	トンネル工学セミナー2018	土木会館 講堂	71 名
2018.5.24	平成 29 年度会長特別委員会「国土・土木と AI 懇談会」成果報告シンポジウム	土木会館 講堂	155 名
2018.5.25	第 6 回データモデルセミナー	土木会館 講堂	102 名
2018.5.25	「建造物の更新・改築技術 ―プロセスの紐解き―」講習会	岩手県民情報交流センター	73 名
2018.5.28	宇沢弘文の社会的共通資本を再考する	土木会館 講堂	112 名
2018.5.29	地震工学委員会 平成 30 年度 第 1 回研究会	土木会館 講堂	102 名
2018.6.1	ナレッジマネジメントに関するワークショップ	土木会館 講堂	45 名
2018.6.6	土木とアニメの邂逅「虫プロダクション・伊藤叡さんを偲んで」	土木会館 講堂	95 名
2018.6.9~10	第 57 回土木計画学研究発表会 (春大会)	東京工業大学	1153 名
2018.6.11	「再生可能エネルギー開発～最新事情と海外展開～」出版講演会	土木会館 講堂	97 名
2018.6.12~13	2018 年度河川技術に関するシンポジウム	東京大学弥生講堂	623 名
2018.6.15	第 38 回土木史研究発表会 エクスカーション	郡山市	21 名
2018.6.16	講演会「霧島火山と共に-2011 年新燃岳噴火の教訓を活かす-」	霧島市国分公民館	43 名
2018.6.16~17	第 38 回土木史研究発表会	日本大学 工学部 (郡山キャンパス)	92 名
2018.6.16	第 38 回土木史研究発表会 シンポジウム	日本大学 工学部 (郡山キャンパス)	52 名
2018.6.19	第 10 回公共調達シンポジウム	土木会館 講堂	99 名
2018.6.20	セメント系構築物と周辺地盤の化学的相互作用研究小委員会(345 委員会) 第二期成果報告会	土木会館 講堂	72 名

2018.6.25	平成 29 年度会長特別委員会『書籍「歴史の謎はインフラで解ける 教養としての土木学」 出版記念講演会』	土木会館 講堂	105 名
2018.6.25	第 19 回地震防災技術懇話会	土木会館 AB 会議室	39 名
2018.6.26	既設コンクリート構造物の構造性能評価研究小委員会(355 委員会)成果報告会告会「既設コンクリート構造物の構造性能評価に関するシンポジウム」	土木会館 講堂	70 名
2018.6.27	「セメント系材料を用いたコンクリート構造物の補修・補強指針」発刊に伴う講習会	土木会館 講堂	106 名
2018.6.27	CIM 講演会 2018 (東京)	中央大学 駿河台記念館	307 名
2018.6.28	平成 29 年度会長特別委員会「レジリエンスの確保に関する技術検討委員会」成果報告シンポジウム～巨大災害による「国難」を乗り越えるために～	中央大学 駿河台記念館	254 名
2018.7.2	D&I フォーラム～多様性が生産性を高める－土木界の働き方改革～	土木会館 講堂	124 名
2018.7.4	第 43 回海洋開発シンポジウム「海に向かった観光金沢の次なる飛躍」	金沢東急ホテル	49 名
2018.7.4	平成 30 年度セミナー「土木学会による実務者のための耐震設計入門：基礎編」	土木会館 講堂	123 名
2018.7.5～6	第 43 回海洋開発シンポジウム	石川県地場産業振興センター	367 名
2018.7.5～6	環境水理部会研究集会 2018 in 北見	北見工業大学	48 名
2018.7.5	公開講演会「原子力発電所の確率論的リスク評価」	土木会館 講堂	82 名
2018.7.7	オープンキャンパス土木学会 2018	土木会館 講堂ほか	203 名
2018.7.10～11	第 22 回鉄道工学シンポジウム	土木会館 講堂	103 名
2018.7.11	第 100 回イブニングシアター	四谷区民ホール	128 名
2018.7.12	CIM 講演会 2018 (仙台)	せんだいメディアテーク	129 名
2018.7.12	応用力学フォーラム (東北地区)「土砂流・土砂移動に対する実験・解析の双方向からのアプローチ」	東北大学青葉山キャンパス	50 名
2018.7.19	世界で活躍する日本の土木技術者シリーズ第 12 回シンポジウム	土木会館 講堂	166 名
2018.7.19	第 10 回社会実装促進会議・土木学会 SIP インフラ技術報告会	ベルサール飯田橋ファースト	451 名
2018.7.20	公開シンポジウム－地盤・斜面の安定解析技術の高度化を目指して－	土木会館 講堂	82 名
2018.7.20	第 6 回地下空間維持管理セミナー	ウインクあいち	88 名
2018.7.21	最新建設用ロボット技術の紹介 2018	港湾空港技術研究所内	336 名
2018.7.23	2018 年 6 月 18 日大阪府北部の地震の調査報告会	土木会館 講堂	111 名
2018.7.24～25	第 21 回性能に基づく橋梁等の耐震設計に関するシンポジウム	土木会館 講堂ほか	139 名
2018.7.27	土木工事で使われるロボット展	国土交通省関東技術事務所	470 名
2018.7.27	混和材料を使用したコンクリートの物性評価技術と性能規定型材料設計に関する研究小委員会(353 委員会)成果報告会	土木会館 講堂	63 名
2018.7.29	第 10 回土木と学校教育フォーラム「まちづくりを通して、子供は何を学ぶのか」	土木会館 講堂ほか	74 名
2018.7.31	「FRP 接着による構造物の補修・補強指針(案)」講習会	土木会館 講堂	90 名
2018.8.1	建設マネジメント委員会研究成果発表会及び表彰式	土木会館 講堂	117 名
2018.8.2	CIM 講演会 2018 (札幌)	北農健保会館	102 名
2018.8.3	第 21 回鋼構造と橋に関するシンポジウム (東京)	法政大学	191 名
2018.8.3	まちなかどぼくウォークラリー～エネルギーと土木にちなんだ施設を見てまわって体験するツアー～	ガスの科学館、新豊洲変電所	24 名
2018.8.4	「未来の土木コンテスト」現場見学会	東京外かく環状道路本線トンネル(北行)東名北工事	35 名

2018.8.4	親子現場見学会	阪神電気鉄道梅田駅大規模改良工事	40 名
2018.8.6	第 21 回鋼構造と橋に関するシンポジウム（大阪）	建設交流会館	103 名
2018.8.7～8	第 17 回木材利用研究発表会	土木会館 講堂	46 名
2018.8.9	臨床環境技術小委員会／環境技術思想小委員会 合同セミナー	京都大学吉田キャンパス 5 号館	23 名
2018.8.10	CIM 講演会 2018（大阪）	西日本建設業保証(株) 貸会議室	185 名
2018.8.21	第 2 回橋梁技術の温故知新セミナー	土木会館 講堂	93 名
2018.8.21	第 52 回夏期講習会「これから想定される自然災害」～土木技術者に突きつけられている課題～	関西大学高槻ミュージックキャンパス	172 名
2018.8.22	地盤の地震応答解析 -夏の講習会 2018-	土木会館 講堂	115 名
2018.8.23	土木技術者の継続教育に関するミニシンポジウム	土木会館 講堂	46 名
2018.8.23～24	第 23 回水シンポジウム 2018in ふじのくに・沼津	ブラサヴェルデ(ふじのくに千本松フォーラム)	414 名
2018.8.24	CIM 講演会 2018（新潟）	新潟県民会館	79 名
2018.8.24	第 7 回地下空間維持管理セミナー	金沢工業大学 扇が丘キャンパス	155 名
2018.8.29	国際若手技術者ワークショップ「When a Mega Disaster Strikes...-How would you respond if you were a mayor? -」	北海道大学	41 名
2018.8.30	トンネル技術史講演会 2018	TKP ガーデンシティ札幌駅前	137 名
2018.8.30	札幌中心部地下空間ネットワーク見学会	札幌駅前地下～チ・カ・ホ～すすきの	24 名
2018.9.4	CIM 講演会 2018（名古屋）	ウインクあいち	95 名
2018.9.4	エネルギー基本計画とエネルギー産業の将来展望	土木会館 講堂	98 名
2018.9.5～7	第 26 回地球環境シンポジウム	長崎大学	86 名
2018.9.5	一般公開シンポジウム「わが国の洋上風力の促進と長崎の海洋エネルギーの未来」	長崎大学	73 名
2018.9.6	土木学会地球環境委員会シンポジウム「地球温暖化とパリ協定－世界の未来のために－」	長崎大学	70 名
2018.9.7	混和材を大量に使用したコンクリート構造物の設計・施工指針(案)制定および高炉スラグ微粉末を用いたコンクリートの設計・施工指針改訂報告会	東京大学 武田ホール	133 名
2018.9.10	CIM 講演会 2018（高松）	サンポート	38 名
2018.9.10～11	第 54 回水工学に関する夏期研修会	山口大学	75 名
2018.9.11	ワークショップ「土砂流動を考慮した河川計画について」	主婦会館	169 名
2018.9.11	地震工学委員会 平成 30 年度 第 2 回研究会	土木会館 講堂	53 名
2018.9.12	第 4 回地震・津波に関するシンポジウム	三宮 コンベンションセンター	84 名
2018.9.12	高炉スラグ細骨材を用いたコンクリートに関する研究小委員会(354 委員会)成果報告会	土木会館 講堂	79 名
2018.9.14	繊維補強コンクリートの構造利用研究小委員会(346 委員会)第 2 期・成果報告会	土木会館 講堂	75 名
2018.9.19	我が国の地熱開発動向と JOGMEC の活動状況	土木会館 講堂	72 名
2018.9.26	CIM 講演会 2018（広島）	サテライトキャンパスひろしま	65 名
2018.9.27～28	第 43 回土木情報学シンポジウム	土木会館 講堂ほか	231 名
2018.9.27	3 学会連携企画講演会「IoT/AI を活用したスマートメンテナンス」	土木会館 講堂	82 名
2018.10.1	土木技術者の継続教育に関するミニシンポジウム	土木会館 講堂	28 名
2018.10.3	第 5 回人にやさしい地下空間セミナー	土木会館 講堂	48 名
2018.10. 4～5	第 38 回地震工学研究発表会	東京大学 生産技術研究所	191 名
2018.10. 4～5	平成 30 年度構造工学における有限要素法の基礎と応用講習会	土木会館 講堂	81 名

2018.10.5	CIM 講演会 2018 (福岡)	天神ビル	104 名
2018.10.10	鋼・合成構造標準示方書 耐震設計編 講習会	土木会館 講堂	83 名
2018.10.10	第 6 回岩盤力学イブニングセミナー	京都大学東京オフィス	35 名
2018.10.12	第 4 回土木史サロン	土木会館 講堂	64 名
2018.10.14	土木ふれあいフェスタ in 北海道	新さっぽろサンピアザ	466 名
2018.10.15	平成 30 年度構造工学セミナー	土木会館 講堂	52 名
2018.10.16	コンクリートの性能に及ぼす高温作用の影響評価研究小委員会(352 委員会)成果報告会	土木会館 講堂	51 名
2018.10.17	「土壌・地下水汚染対策」講習会	土木会館 講堂	92 名
2018.10.17	鋼構造物の長寿命化技術に関する講習会	大阪市立大学文化交流センター	91 名
2018.10.19	第 35 回鋼構造基礎講座「鋼橋の維持管理」	土木会館 講堂	58 名
2018.10.19	2018 年制定コンクリート標準示方書発刊に伴う講習会 (東京会場)	日本教育会館	211 名
2018.10.20～21	第 46 回環境システム研究論文発表会	名古屋大学	123 名
2018.10.23	「鉄筋コンクリート製地中構造物の耐震性能照査技術」に関する講習会－屋外重要土木構造物の耐震性能照査指針の改訂－	東京大学武田ホール	239 名
2018.10.25	平成 30 年度セミナー「土木学会による実務者のための耐震設計入門：実践編」	土木会館 講堂	68 名
2018.10.26	CIM 講演会 2018 (沖縄)	沖縄県立博物館	91 名
2018.10.26	施工計画講習会「施工計画のポイントと ICT の動向」	土木会館 講堂	64 名
2018.10.31	2018 年制定コンクリート標準示方書発刊に伴う講習会 (大阪会場)	大阪国際交流センター	187 名
2018.10.31	公共デザイン研究セミナー～これからの知的生産と公共調達のあり方を考える～in 東京	日本大学	71 名
2018.10.31	成果報告会「水力発電所土木設備の再開発・更新事例に関する調査」	土木会館 講堂	88 名
2018.10.31	見学会／「東京ミッドタウン日比谷」地下空間－都市再生に貢献する地下空間－	東京ミッドタウン日比谷地下空間及びその周辺	31 名
2018.11.1～2	第 10 回道路橋床版シンポジウム	土木会館 講堂 AB 会議室	193 名
2018.11.2	土木学会トークサロン特別編 災害を乗り越えていく地域のつながり	福岡県 東峰村, 北海道 鶴川町, 東京をインターネットで結んで議論	収録動画視聴者数：156 名
2018.11.5	第 18 回地震防災マネジメントセミナー	土木会館 講堂	64 名
2018.11.6	「信頼性設計法に基づく土木構造物の性能照査ガイドライン」に関する講習会(東京会場)	土木会館 講堂	121 名
2018.11.7	技術基準の国際化セミナー第 1 回「技術基準の国際化へ向けた取り組みと課題～港湾での取り組みを中心に～」	土木会館 講堂	89 名
2018.11.8～9	第 7 回 FRP 複合構造・橋梁に関するシンポジウム	土木会館 講堂 AB 会議室	87 名
2018.11.12	「土木広報大賞 2018」表彰式	土木会館 講堂	50 名
2018.11.13	第 19 回異分野技術者との交流会	機械振興会館	61 名
2018.11.13	土木建設技術発表会 2018	土木会館 講堂他	135 名
2018.11.13	シンポジウム「地盤・流体・構造物の連成問題の解析・分析手法構築にむけて～混成堤式防波堤マウンド下部からの吸出現象を例に～」	とりぎん文化会館(鳥取)	105 名
2018.11.14～16	第 65 回海岸工学講演会	とりぎん文化会館(鳥取)	606 名
2018.11.14	公共デザイン研究セミナー～これからの知的生産と公共調達のあり方を考える～in 大阪	大阪市中央公会堂	54 名
2018.11.16	第 8 回地下空間維持管理セミナー	郡山市総合福祉センター	95 名
2018.11.17	平成 30 年度留学生向け企業説明会	土木会館 講堂	32 名
2018.11.18	土木の日シンポジウム 2018	土木会館 講堂	66 名
2018.11.19	「信頼性設計法に基づく土木構造物の性能照査ガイドライン」に関する講習会(大阪会場)	神戸大学梅田インテリジェントラボラトリ	52 名

2018.11.20	どぼくカフェ「現在の日本橋周辺の景観を愛でる」	新宿駅西口広場イベント コーナー	80 名
2018.11.21	どぼくカフェ「東海道新幹線ができるまで」	新宿駅西口広場イベント コーナー	70 名
2018.11.21	第 101 回イブニングシアター	土木会館 講堂	86 名
2018.11.22	どぼくカフェ「1964 年東京オリンピックを作り上げた建築家たち」	新宿駅西口広場イベント コーナー	69 名
2018.11.23	どぼくカフェ「橋の楽しみ方」	新宿駅西口広場イベント コーナー	114 名
2018.11.23	どぼくカフェ「日本の珍橋・奇橋」	新宿駅西口広場イベント コーナー	140 名
2018.11.23	どぼくカフェ「橋の形の秘密」	新宿駅西口広場イベント コーナー	115 名
2018.11.23～25	第 58 回土木計画学研究発表会（秋大会）	大分大学, コンパルホール	828 名
2018.11.25～27	第 63 回水工学講演会	北海道大学	584 名
2018.11.25	第 31 回アゲールシンポジウム	北海道大学	152 名
2018.11.25	河川災害に関するシンポジウム	北海道大学	214 名
2018.11.26	第 63 回水工学講演会特別講演	北海道大学	170 名
2018.11.26	公共デザイン研究セミナー～これからの知的生産と公共調達のあり方を考える～in 名古屋	ウィルあいち	32 名
2018.11.27	CIM 講演会 2018（東京・追加第 1 回）	中央大学 駿河台記念館	294 名
2018.11.27	第 36 回鋼構造基礎講座「新しい道路橋示方書での鋼橋の設計」	土木会館 講堂	72 名
2018.11.28	安全問題討論会'18	土木会館 講堂他	36 名
2018.11.29～30	第 28 回トンネル工学研究発表会	土木会館 講堂他	254 名
2018.11.29～30	第 8 回日中舗装技術ワークショップ	ホテルマイステイズ新大阪	54 名
2018.11.29	建設マネジメントに関する地域シンポジウム	広島 YMCA 国際文化センター	57 名
2018.11.30	熊本地震視察会	熊本地震被災地	25 名
2018.12.3	第 6 回河川堤防技術シンポジウム	北とびあ	141 名
2018.12.3	第 36 回建設マネジメント問題に関する研究発表・討論会	土木会館 講堂他	120 名
2018.12.5	SIP インフラ維持管理・更新・マネジメント技術セミナー「インフラ構造物の点検・診断・メンテナンスの今後を考える」	大手町フィナンシャルシティ カンファレンスセンター	366 名
2018.12.5	応用力学講演会 2018	土木会館 講堂	
2018.12.6～7	第 23 回舗装工学講演会	土木会館 講堂 AB 会議室	106 名
2018.12.6～8	第 6 回土木学会台湾土木遺産視察	台湾 烏山頭ダム施設ほか 視察施設数：6 箇所	22 名
2018.12.6	「セメント系材料を用いたコンクリート構造物の補修・補強指針」および「FRP 接着による構造物の補修・補強指針（案）」の発刊に伴う講習会	建設交流館	51 名
2018.12.7	第 14 回景観・デザイン研究発表会 長崎市景観条例制定 30 周年記念シンポジウム	長崎市民会館	236 名
2018.12.8～9	第 14 回景観・デザイン研究発表会	長崎市民会館	315 名
2018.12.10	電力土木分野における ICT 施工・維持管理技術の最新動向	土木会館 講堂	72 名
2018.12.10	応用力学フォーラム（関東地区）「大規模流体解析の最前線」	中央大学後楽園キャンパス	27 名
2018.12.11	第 6 回流域管理と地域計画の連携に関するワークショップ	土木会館 講堂	75 名
2018.12.12	技術基準の国際化セミナー第 2 回「道路分野における維持管理技術の海外展開」	土木会館 講堂	39 名
2018.12.14	基礎水理シンポジウム	土木会館 講堂	119 名
2018.12.14	応用力学フォーラム（中部地区）「第 1 回計算力学セミナー」	名古屋大学東山キャンパス	23 名

	一」	ス	
2018.12.17	第 6 回鋼構造技術継承講演会 ～経験豊富な先人に学ぶ次世代への承継技術～	土木会館 講堂	61 名
2018.12.17～19	第 55 回環境工学研究フォーラム	京都大学	222 名
2018.12.18	下水道先端技術と環境工学と周辺分野の展開第 1 回講演会	京都大学	106 名
2018.12.18	世界で活躍する日本の土木技術者シリーズ第 13 回シンポジウム	土木会館 講堂	76 名
2018.12.18	公共デザイン研究セミナー～これからの知的生産と公共調達のあり方を考える～in 仙台	せんだいメディアアーク	58 名
2018.12.20	地震工学委員会 平成 30 年度 第 3 回研究会	土木会館 講堂	59 名
2018.12.21	第 102 回イブニングシアター	土木会館 講堂	90 名
2018.12.21	「塩害環境の定量評価に関する研究小委員会」成果報告会	土木会館 講堂	48 名
2018.12.21	応用力学フォーラム（西部地区）「土木工学へのデータ駆動型サイエンスの可能性」	九州大学伊都キャンパス	
2018.12.22	地下空間の防災・減災セミナー2018	関西大学梅田キャンパス	72 名
2018.12.25	平成 30 年度第 2 回研究会「中規模陸上風車基礎接合部の実態調査と維持管理手法の検討」	土木会館 講堂	38 名
2019.1.8	土木計画学ワンデイセミナー NO.96 空間的応用一般均衡分析と交通プロジェクトのストック効果	土木会館 講堂	49 名
2019.1.9	平成 30 年度 地盤工学セミナー	土木会館 講堂	73 名
2019.1.12～13	第 46 回岩盤力学に関するシンポジウム	岩手大学 理工学部	115 名
2019.1.15	鋼・合成構造標準示方書 施工編 講習会	土木会館 講堂	48 名
2019.1.16	公共デザイン研究セミナー～これからの知的生産と公共調達のあり方を考える～in 広島	RCC文化センター	21 名
2019.1.16	トンネル・ライブラリー「トンネル維持管理の実際と課題」に関する講習会	土木会館 講堂	93 名
2019.1.22	「複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する最新動向」講習会	土木会館 講堂	56 名
2019.1.23	第 103 回イブニングシアター	土木会館 講堂	81 名
2019.1.24	第 11 回 SIP インフラ社会実装促進会議（最終報告会）	東京大学安田講堂	942 名
2019.1.24	公共デザイン研究セミナー～これからの知的生産と公共調達のあり方を考える～in 福岡	JR 博多シティ	44 名
2019.1.24	大阪会場 トンネル・ライブラリー31「特殊トンネル工法－道路や鉄道との立体交差トンネル－」に関する講習会	大阪大学中之島センター	76 名
2019.1.24～25	第 24 回地下空間シンポジウム，見学会	早稲田大学国際会議場ほか	237 名
2019.1.26	第 18 回土木学会デザイン賞授賞式	土木会館 講堂	162 名
2019.1.28	土木計画学ワンデイセミナー NO.97 健康政策と都市構造を考えたまちづくりの展開方策	土木会館 講堂	100 名
2019.1.29	地方創生シンポジウム	土木会館 講堂	98 名
2019.1.29	応用力学フォーラム（中国地区）応用力学フォーラム（中国地区）	岡山大学創立五十周年記念館	21 名
2019.1.30	公開講演会「近代の終わる時 ～明日はどうなるのだろうか～」	土木会館 講堂	68 名
2019.1.31	下水道先端技術と環境工学と周辺分野の展開第 2 回講演会	主婦会館プラザエフ	52 名
2019.1.31	東京会場 トンネル・ライブラリー31「特殊トンネル工法－道路や鉄道との立体交差トンネル－」に関する講習会	土木会館 講堂	68 名
2019.2.4	CIM 講演会 2018 総括（東京・追加第 2 回）	中央大学 駿河台記念館	294 名
2019.2.5	次世代下水道小委員会講演会「下水中資源活用の最前線」	（株）建設技術研究所	74 名
2019.2.13	非線形地震応答解析の検証と妥当性確認の方法と事例 Workshop	関東学院大学	48 名
2019.2.14	第 6 回人にやさしい地下空間セミナー	土木会館 講堂	52 名

2019.2.22	土木計画学ワンデイセミナー NO.98 成果報告会：多様なビッグデータを活用した道路技術研究開発	東京大学 武田先端知ビル 武田ホール	277 名
2019.2.25	第 61 回環境システムシンポジウム	土木会館 講堂	78 名
2019.2.25	留学生向け現場説明会	JR 渋谷駅改良工事	25 名
2019.2.26	第 10 回木材利用シンポジウム	土木会館 講堂	45 名
2019.3.1	東大 SIP 床版サブプロジェクト研究成果報告会「コンクリート床版の長寿命化技術の最前線」	TKP 市ヶ谷カンファレンスセンター	153 名
2019.3.4	土木計画学ワンデイセミナー NO.99 土木計画学セミナー「国土・県土整備の技術と実践」ー人口減少・交流時代に真に必要なインフラ整備を考えるー 北海道会場	TKP 札幌駅カンファレンスセンター	69 名
2019.3.5	地震工学委員会 平成 30 年度 第 4 回研究会	土木会館 講堂	43 名
2019.3.5	応用力学フォーラム（四国地区）「交通サービス評価への挑戦：坊っちゃんセミナー 都市・交通・風土～伊予のインフラ考～」	愛媛大学城北キャンパス	23 名
2019.3.7	土木計画学ワンデイセミナー NO.100 土木計画学セミナー「国土・県土整備の技術と実践」ー人口減少・交流時代に真に必要なインフラ整備を考えるー 沖縄会場	ホテルオーシャン	37 名
2019.3.7	計算力学フォーラム in 群馬	群馬大学	27 名
2019.3.8	アセットマネジメントシステム実装のための実践委員会成果報告会	東京大学本郷キャンパス 情報学環・福武ホール	202 名
2019.3.10～17	第 20 回海外の環境問題を見て考える全国学生ツアー	香港、マカオ、深セン	25 名
2019.3.13	第 104 回イブニングシアター	土木会館 講堂	75 名
2019.3.13	液状化解析のための要素試験に関する国際ワークショップ	関西大学	37 名
2019.3.13	極低レベル放射性廃棄物処分施設の概念と設計の考え方に関する調査研究の中間報告	土木会館 講堂	66 名
2019.3.14	道路アセットマネジメントに関する SIP インフラ・土木学会・JICA 技術セミナー	東京大学生産技術研究所 コンベンションホール	
2019.3.16	土木計画学ワンデイセミナー NO.101 子育てしやすく子どもにやさしいまちづくり～地域と子育て～	東京大学工学部	44 名
2019.3.19	岩盤力学イブニングセミナー（第 7 回）	土木会館 講堂	46 名
2019.3.20	建設用ロボット技術交流会	国立研究開発法人土木研究所	34 名
2019.4.13	シンポジウム「温暖化により激甚化する水災害に対抗するための適応策研究の推進に向けて」	土木会館 講堂	110 名
2019.4.16	耐震設計標準の国際化に関する研究会	鉄道総合技術研究所	22 名
2019.4.17～20	流量観測技術ワークショップ 信濃川	新潟県小千谷市付近	80 名
2019.4.20～21	第 65 回構造工学シンポジウム	関東学院大学	434 名
2019.4.22	Intelligent Compaction に関する日米ワークショップ	地盤工学会 大会議室	64 名
2019.4.22	公共デザイン研究セミナー～これからの知的生産と公共調達のあり方を考える～in 富山	富山県民会館	51 名
2019.4.24	「高炉スラグ細骨材を用いたプレキャストコンクリート製品の設計・施工指針（案）」の発刊に伴う講習会	北海道大学	73 名
2019.4.25	土木学会インフラデータチャレンジ最終審査会	東京大学生産技術研究所	144 名
2019.4.26	技術者インタビューについての成果報告会	土木会館 講堂	86 名
2019.5.9	公共デザイン研究セミナー～これからの知的生産と公共調達のあり方を考える～in 高松	情報通信交流館 e-とびあ・かがわ BB スクエア	30 名
2019.5.11	JABEE 教育プログラム認定・審査のための「土木及び関連の工学分野」「環境工学及び関連のエンジニアリング分野」受審校研修会	土木会館 講堂	58 名
2019.5.13	「高炉スラグ細骨材を用いたプレキャストコンクリート製品の設計・施工指針（案）」の発刊に伴う講習会	土木会館 講堂	91 名
2019.5.14	地震工学委員会 2019 年度 第 1 回研究会	土木会館 講堂	84 名
2019.5.23	第 4 回構造工学での AI 活用に関する研究小委員会講演会	CIC 東京 509 スペース	46 名

2019.5.24	第7回データモデルセミナー	土木会館 講堂	108名
2019.5.28	公共デザイン研究セミナー～これからの知的生産と公共調達のあり方を考える～in 札幌	札幌市教育文化会館	63名
2019.5.29	トンネル工学セミナー2019	土木会館 講堂	57名
2019.5.30	女性技能者の坑内労働規制緩和に関する公開討論会	土木会館 講堂	46名
2019.5.30	女性技能者の坑内労働規制緩和に関する公開討論会	土木会館 講堂	46名
2019.6.3	構造工学委員会 2019 年度第 1 回勉強会「最近の橋梁損傷事例とその原因について」	土木会館 講堂	91名
2019.6.5	若手／中堅実務者のためのコンクリート技術講習会～構造物設計の基本と施工・維持管理との連携～	土木会館 講堂	60名
2019.6.8～9	第59回土木計画学研究発表会（春大会）	名城大学名古屋ドーム前キャンパス	768名
2019.6.11	トンネルライブラリー32「実務者のための山岳トンネルのリスク低減対策」講習会	土木会館 講堂	102名
2019.6.12～13	2019 年度河川技術に関するシンポジウム	東京大学弥生講堂	603名
2019.6.13	第1回土木技術者実践論文集研究発表会	土木会館 講堂, 他	161名
2019.6.14	岩盤力学イブニングセミナー（第8回）	土木会館 講堂	57名
2019.6.17	第2回 技術者ラウンジ DOBOKU (国際センター)	土木会館 AB 会議室	10名
2019.6.18	第10回公共調達シンポジウム	土木会館 講堂	106名
2019.6.20	第9回地下空間維持管理セミナー	金沢工業大学	51名
2019.6.20～22	環境水理部会研究集会 2019 in 岩木川	岩木川流域, 青森県弘前市, 津軽ダムなど	48名
2019.6.21	第39回土木史研究発表会 エクスカーション	常盤橋門跡常磐橋	21名
2019.6.22～23	第39回土木史研究発表会	日本大学理工学部（駿河台キャンパス）	92名
2019.6.22	第39回土木史研究発表会 シンポジウム	日本大学理工学部（駿河台キャンパス）	
2019.6.25	原子力土木委員会 公開講演会	土木会館 講堂	110名
2019.6.26	2019 年度セミナー「土木学会による実務者のための耐震設計入門：基礎編」	土木会館 講堂	116名
2019.6.28～30	第65回理論応用力学講演会 第22回土木学会応用力学シンポジウム	北海道大学工学部	328名
2019.6.28	第65回理論応用力学講演会 第22回土木学会応用力学シンポジウム「特別講演1」	北海道大学工学部	75名
2019.7.1	第44回海洋開発シンポジウム～前日シンポジウム～	北九州国際会議場	146名
2019.7.1	第44回海洋開発シンポジウム(2019)前日シンポジウム見学会「洋上風力施設見学会」	北九州国際会議場	35名
2019.7.2～3	第44回海洋開発シンポジウム	北九州国際会議場	466名
2019.7.2	中山間地域における広域的な豪雨による土砂災害メカニズムの究明と地域防災力の向上に向けた取り組みに関する研究討論会	地盤工学会大会議室	64名
2019.7.3	第44回海洋開発シンポジウム(2019)「関門航路見学会」	関門航路事務所	18名
2019.7.3	トンネルライブラリー32「実務者のための山岳トンネルのリスク低減対策」講習会	建設交流館グリーンホール	85名
2019.7.6	オープンキャンパス土木学会 2019	土木会館 講堂ほか	283名
2019.7.8～9	第23回鉄道工学シンポジウム	土木会館 講堂	127名
2019.7.12	スマートシェアリングシティに関する報告会	土木会館 講堂	91名
2019.7.20	最新建設用ロボット技術の紹介 2019	港湾空港技術研究所	245名
2019.7.20	地下空間の防災・減災セミナー 地下空間の防災に関わる取り組み～名古屋・大阪・福岡を事例として～	福岡大学	67名
2019.7.23～24	第22回性能に基づく橋梁等の耐震設計に関するシンポジウム	土木会館 講堂ほか	141名
2019.7.26	土木工事で使われるロボット展～ショベル模型による操作体験～	国土交通省関東地方整備局関東技術事務所	650名
2019.7.26	見て触れて、エネルギーと土木を考える～水力発電所バ	葛野川発電所 上日川ダ	91名

	スッアー見学会～	ム・地下式発電所	
2019.7.26	「大気環境における鋼構造物の防食性能回復の課題と対策」講習会（札幌）	かえる 2.7	116 名
2019.7.29	「大気環境における鋼構造物の防食性能回復の課題と対策」講習会（東京）	土木会館 講堂	121 名
2019.7.30	亜鉛めっき鉄筋を用いるコンクリート構造物の設計・施工指針（案）改訂報告会	千代田区立内幸町ホール	54 名
2019.7.30	第 1 回 i-Construction の推進に関するシンポジウム	土木会館 講堂	221 名
2019.7.31	第 105 回イブニングシアター	土木会館 講堂	98 名
2019.8.1	夏休み親子現場見学会（大阪）	東海道線支線地下化・新駅設置工事	15 名
2019.8.2	第 22 回鋼構造と橋に関するシンポジウム（東京）	法政大学	217 名
2019.8.2	建設マネジメント委員会研究成果発表会及び表彰式	土木会館 講堂	95 名
2019.8.3	夏休み親子現場見学会（東京）	東京駅北通路周辺整備工事	15 名
2019.8.6	第 22 回鋼構造と橋に関するシンポジウム（福岡）	TKP ガーデンシティ博多	77 名
2019.8.5～6	第 18 回木材利用研究発表会	土木会館 講堂	50 名
2019.8.8	洋上風力発電に関する講演会	土木会館 2 階 講堂	156 名
2019.8.20	第 53 回夏期講習会「次世代交通とこれからのまちづくり」	土木会館 講堂，他 見学先：江東ポンプ所江東系ポンプ棟建設その 2 工事	19 名
2019.8.21	地震工学委員会 2019 年度 第 2 回研究会	土木会館 講堂	49 名
2019.8.22～23	第 24 回水シンポジウム 2019in しが	滋賀県立県民交流センター	333 名
2019.8.23	「大気環境における鋼構造物の防食性能回復の課題と対策」講習会（福岡）	九州大学 100 年講堂	194 名
2019.8.25	第 11 回土木と学校教育フォーラム『「土木」を通して，子供は何を学ぶのか』	土木会館 講堂ほか	82 名
2019.8.27	除去土壌等の保管，再生利用，最終処分に向けた取り組みの現状と今後の課題『一次世代を担う（若手）人材とのコミュニケーション促進』に関するシンポジウム	土木会館 講堂	99 名
2019.8.27～29	第 27 回地球環境シンポジウム	富山県立大学	321 名
2019.8.28	地球環境委員会一般公開シンポジウム	富山県立大学	150 名
2019.8.28	第 14 回 世界で活躍する日本の土木技術者シリーズ シンポジウム「BBB(Build Back Better)を世界へ JICA フィリピン国台風ヨランダ災害緊急復旧・復興支援プロジェクト」	土木会館 講堂	79 名
2019.8.29	亜鉛めっき鉄筋を用いるコンクリート構造物の設計・施工指針（案）改訂報告会	大阪科学技術センター	41 名
2019.8.30	「大気環境における鋼構造物の防食性能回復の課題と対策」講習会（大阪）	エル大阪	150 名
2019.9.1～2	逆問題サマースクール 2019～ベイズ推定からスパースモデリングまで～	岡山国際交流センター	53 名
2019.9.3	国際若手技術者ワークショップ	香川大学	
2019.9.4	トンネル技術史講演会 2019	リーガホテルゼスト高松	93 名
2019.9.6	「2018 年北海道胆振東部地震被害調査報告書」講習会	筑波大学東京キャンパス	175 名
2019.9.6	複雑流体・移動境界現象の応用力学的問題への挑戦～計算屋・実験屋が協働する研究コミュニティの構築に向けて～	京都大学吉田キャンパス	26 名
2019.9.9～10	第 55 回水工学に関する夏期研修会	名古屋工業大学	172 名
2019.9.9	日米沿岸生態系に関する講演会	土木会館 講堂	23 名
2019.9.10	「数値解析による道路橋床版の構造検討小委員会」成果報告会	土木会館 講堂	63 名
2019.9.13	「コンクリート構造物の養生効果の定量的評価と各種養生技術」に関するシンポジウム	大阪科学技術センター	118 名

2019.9.19	人にやさしい地下空間セミナー（第7回）	土木会館 講堂	38名
2019.9.24	技術の調達方式検討特別小委員会「成果報告会」	土木会館 講堂	54名
2019.9.24	第3回 技術者ラウンジ DOBOKU（国際センター）	土木会館 CD 会議室	12名
2019.9.25	「鋼橋の性能照査型維持管理とモニタリング」に関する講習会	土木会館 講堂	33名
2019.9.26～27	第44回土木情報学シンポジウム	土木会館 講堂ほか	240名
2019.10.2	関西電力における海外水力事業の取組み～インドネシアにおけるラジャマンダラ水力発電所建設工事を中心に～	土木会館 講堂	98名
2019.10.3～4	2019 年度構造工学における有限要素法の基礎と応用講習会	土木会館 講堂	36名
2019.10.7～8	第39回地震工学研究発表会	関西大学	186名
2019.10.7	応用力学フォーラム（関西地区）「流木災害への科学的アプローチ」	京都大学吉田キャンパス	36名
2019.10.8	応用力学フォーラム（関東地区）「計算力学イブニングセミナー」	中央大学後楽園キャンパス	17名
2019.10.10	第10回地下空間維持管理セミナー	広島 YMCA 国際文化センター	19名
2019.10.11	トンネルライブラリー32「実務者のための山岳トンネルのリスク低減対策」講習会	TKP ガーデンシティ札幌駅前	62名
2019.10.11	「既設鋼構造物の性能評価のための解析技術とインターフェースストラクチャのモデル化」講習会	土木会館 講堂	45名
2019.10.16	岩盤力学イブニングセミナー（第9回）	土木会館 講堂	49名
2019.10.17	地盤の地震応答解析～秋の講習会 2019～	土木会館 講堂	86名
2019.10.18	第38回鋼構造基礎講座	土木会館 講堂	73名
2019.10.21	「鋼・合成構造標準示方書 維持管理編」講習会	大阪市立大学文化交流センター	46名
2019.10.23	講演会「放射性廃棄物処分に係る亀裂性岩盤中地下水流動特性の調査・評価手法の最新動向について」	土木会館 講堂	54名
2019.10.23	第66回海岸工学講演会シンポジウム	かごしま県民交流センター	191名
2019.10.23	第66回海岸工学講演会招待講演	かごしま県民交流センター	163名
2019.10.23～25	第66回海岸工学講演会	かごしま県民交流センター	577名
2019.10.25	維持管理業務のロボット化に関する講演会	土木会館 講堂	135名
2019.10.26～27	第47回環境システム研究論文発表会	東洋大学	286名
2019.10.27	第65回環境システムシンポジウム	東洋大学	79名
2019.10.28	第5回土木史サロン	土木会館 講堂	32名
2019.10.30	土木計画学ワンデイセミナーNO.102 健康まちづくりの実践的展開	関西大学	80名
2019.10.30	「既設鋼構造物の性能評価のための解析技術とインターフェースストラクチャのモデル化」講習会	大阪市立大学文化交流センター	24名
2019.10.31	2019 年度セミナー「土木学会による実務者のための耐震設計入門：実践編」	土木会館 講堂	56名
2019.10.31	Workshop 日本・オランダ「気候適応とレジリエンスへの取組み」	オランダ大使館	40名
2019.11.1	第20回地震防災技術懇話会	土木会館 AB 会議室	49名
2019.11.1	応用力学フォーラム（北海道地区）「海岸防災に関する講演会」	北海道大学工学部	22名
2019.11.4	土木ふれあいフェスタ in 愛媛	エミフルコート	525名
2019.11.4～6	第64回水工学講演会	大宮ソニックシティ	496名
2019.11.4	第32回アゲールシンポジウム	大宮ソニックシティ	278名
2019.11.4	河川災害に関するシンポジウム	大宮ソニックシティ	286名
2019.11.4	土木ふれあいフェスタ in 愛媛	エミフル MASAKI	525名
2019.11.5	第64回水工学講演会特別講演	大宮ソニックシティ	308名

2019.11.5	「鋼・合成構造標準示方書 維持管理編」講習会	土木会館 講堂	18 名
2019.11.6	第 39 回鋼構造基礎講座	土木会館 講堂	74 名
2019.11.8	施工計画講習会「施工計画のポイントと ICT の動向」	土木会館 講堂	52 名
2019.11.11～15	D&I ウィーク 2019～ダイバーシティ&インクルージョンを考える一週間～	土木会館 ロビー (11.11～22), カフェ開催	
2019.11.11	第 19 回地震防災マネジメントセミナー	土木会館 講堂	51 名
2019.11.12	土木建設技術発表会 2019	土木会館 講堂他	159 名
2019.11.13	環境工学委員会水インフラ更新小委員会シンポジウム	土木会館 講堂	116 名
2019.11.14	どぼくカフェ「東京オリンピック・パラリンピックと交通、そして私たちの役割」	新宿駅西口広場イベントコーナー	45 名
2019.11.15	どぼくカフェ「建築に見る五輪都市トーキョー」	新宿駅西口広場イベントコーナー	55 名
2019.11.16	どぼくカフェ「首都トウキョウを支えてきた鉄道構造物」	新宿駅西口広場イベントコーナー	62 名
2019.11.16	どぼくカフェ「首都高速道路はなぜ日本橋の上空に架橋されたか！！」	新宿駅西口広場イベントコーナー	59 名
2019.11.16	どぼくカフェ「東京の都市インフラとしてのランドスケープ」	新宿駅西口広場イベントコーナー	25 名
2019.11.17	どぼくカフェ「東京の橋」	新宿駅西口広場イベントコーナー	126 名
2019.11.17	どぼくカフェ「東京の都市計画道路—1964 年と 2020 年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた首都高速道路と街路—」	新宿駅西口広場イベントコーナー	64 名
2019.11.17	どぼくカフェ「祝祭・災害が形づくるドボク」	新宿駅西口広場イベントコーナー	101 名
2019.11.18	「土木広報大賞 2019」表彰式	土木会館 講堂	68 名
2019.11.20	シールドトンネル建設現場の見学会	東京外かく環状道路 本線トンネル (南行) 大泉南工事	52 名
2019.11.24	土木の日シンポジウム 2019	土木会館 講堂	69 名
2019.11.26	応用力学フォーラム (西部地区)「地震等、自然災害シミュレーションの最前線と今後の計算科学の動向」	九州大学伊都キャンパス	36 名
2019.11.27	安全問題討論会'19	土木会館 講堂他	64 名
2019.11.28～29	第 29 回トンネル工学研究発表会	土木会館 講堂他	222 名
2019.11.29	応用力学フォーラム (東北地区)「地盤工学における先進的技術と新たな挑戦」	東北大学青葉山キャンパス	35 名
2019.11.30 ～ 12.2	第 60 回土木計画学研究発表会 (秋大会)	富山大学	1,143 名
2019.12.2	第 37 回建設マネジメント問題に関する研究発表・討論会	土木会館 講堂他	130 名
2019.12.2～4	第 56 回環境工学研究フォーラム	岡山大学	546 名
2019.12.3	環境工学委員会一般公開シンポジウム	岡山大学	97 名
2019.12.4	応用力学講演会 2019「災害現象に対する応用力学研究の展望」	土木会館 講堂	75 名
2019.12.4～7	第 7 回土木学会台湾土木遺産視察	台湾 烏山頭ダム施設ほか	18 名
2019.12.5	第 7 回鋼構造技術継承講演会～経験豊富な先人に学ぶ次世代への承継技術～	土木会館 講堂	120 名
2019.12.5	第 106 回イブニングシアター	土木会館 講堂	139 名
2019.12.6	水工学委員会「令和元年台風 19 号豪雨災害調査団」速報会	芝浦工業大学豊洲キャンパス	156 名
2019.12.6	第 15 回景観・デザイン研究発表会シンポジウム	日本大学理工学部「タワースコラ」	223 名
2019.12.7～8	第 15 回景観・デザイン研究発表会	日本大学理工学部「タワースコラ」	293 名
2019.12.11	流量観測の高度化に関する勉強会	土木研究所 寒地土木研究所	60 名

2019.12.11	第 7 回流域管理と地域計画の連携に関するワークショップ	土木会館 講堂	65 名
2019.12.12	第 7 回河川堤防技術シンポジウム	土木会館 講堂	122 名
2019.12.12	第 20 回異分野技術者との交流会	土木会館 AB 会議室	45 名
2019.12.12～13	第 24 回舗装工学講演会	熊本市国際交流会館	106 名
2019.12.13	第 3 回若手技術者のための複合構造セミナー～鋼とコンクリート～	土木会館 講堂	126 名
2019.12.13	トンネルライブラリー「特殊トンネル工法―道路や鉄道との立体交差トンネル―」講習会	JR 九州コンサルタンツ株式会社 会議室	35 名
2019.12.16	2019 年台風 15 号および 19 号による沿岸災害調査報告会	東京大学工学部 2 号館	107 名
2019.12.16	「2018 年北海道胆振東部地震被害調査報告書」講習会	寒地土木研究所	41 名
2019.12.17	土木遺産修復技術の最前線 第 1 回	土木会館 講堂	23 名
2019.12.17	技術基準の国際化セミナー第 3 回「道路分野における技術基準の国際展開について～ミャンマー国の事例～」	土木会館 講堂	94 名
2019.12.17	第 4 回 技術者ラウンジ DOBOKU (国際センター)	土木会館 AB 会議室	15 名
2019.12.20	第 107 回イブニングシアター	土木会館 講堂	160 名
2019.12.20	令和元年度地盤工学セミナー「突然の噴火に対して火山工学は何ができるか」	地盤工学会大会議室	68 名
2019.12.23	構造工学委員会 2019 年度第 2 回研究会「阪神高速の橋梁プロジェクトと推進技術」	土木会館 講堂	70 名
2019.12.25	地震工学委員会 2019 年度 第 3 回研究会	土木会館 AB 会議室	67 名
2020.1.9～10	第 47 回岩盤力学に関するシンポジウム	土木会館 講堂	154 名
2020.1.14	河道管理の最前線 ～現場と研究の接点を探る～	土木会館 講堂	81 名
2020.1.14	応用力学フォーラム (関東地区)「コンクリート構造物に対する V&V の取組事例」	清水建設技術研究所	60 名
2020.1.21	原子力土木委員会 公開講演会	土木会館 講堂	115 名
2020.1.22	第 108 回イブニングシアター	土木会館 講堂	105 名
2020.1.23～24	第 25 回地下空間シンポジウム, 見学会	早稲田大学国際会議場ほか	228 名
2020.1.25	第 19 回土木学会デザイン賞授賞式	土木会館 講堂	190 名
2020.1.28	エネルギー委員会講演会「太平洋で再生可能エネルギー 100%を目指す」	土木会館 講堂	120 名
2020.1.30	シンポジウム「インフラメンテナンスにおけるロボット活用シンポジウムー完全無人化に向けてー」	土木会館 講堂	122 名
2020.1.31	令和元年度構造工学委員会セミナー	土木会館 講堂	146 名
2020.2.5	第 15 回 世界で活躍する日本の土木技術者シリーズ シンポジウム「ベトナムでの鉄道橋梁リハビリテーションプロジェクト」	土木会館 講堂	118 名
2020.2.5	第 2 回 出前講座 (国際センター)	北海道大学工学部	80 名
2020.2.6	第 62 回環境システムシンポジウム	東洋大学	100 名
2020.2.10	米国鉄道関連都市開発事情調査団報告会	土木会館 AB 会議室	62 名
2020.2.11	土木遺産修復技術の最前線 第 2 回	土木会館 講堂	35 名
2020.2.11	第 6 回土木史サロン	主婦会館プラザエフ	51 名
2020.4.1	ワンデイセミナー100 回記念シンポジウム「土木計画学とは何か?～そのアイデンティティと今後の発展を考える～」	オンライン開催	100 名
2020.5.7～6.11	JMOOC「土木情報学入門」	オンライン開催	1,031 名
2020.5.16	第 23 回土木学会応用力学シンポジウム	オンライン開催	403 名
2020.6.8	インフラメンテナンス (鉄道) 特別委員会成果報告シンポジウム	オンライン開催	
2020.6.13～14	第 61 回土木計画学研究発表会 (春大会)	オンライン開催	978 名
2020.6.16	インフラの健康状態と処方箋に関する講習会	オンライン開催	1,001 名

2020.6.20	Job カフェ 土木系社会人が土木を学ぶ学生に仕事のありのまを伝える	オンライン開催	50 名
2020.6.30	アーバンデータチャレンジ 2020 キックオフ！	オンライン開催	363 名
2020.6.30	第 16 回世界で活躍する日本の土木技術者シリーズ シンポジウム「ベトナム国ラクフェン国際港建設計画」	土木会館講堂およびオンライン開催	181 名
2020.7.2	第 2 回 i-Construction の推進に関するシンポジウム	オンライン開催	267 名
2020.7.4	3.11 東日本大震災復興リレーシンポジウム 震災復興 10 年の成果と課題を俯瞰する～今後の備えへの教訓～	オンライン開催	686 名
2020.7.6～7	第 24 回鉄道工学シンポジウム	(CD の発刊をもって開催)	36 名
2020.7.11～12	第 40 回土木史研究発表会	日本大学理工学部 (駿河台キャンパス)	872 名
2020.7.13	第一回水工学オンライン連続講演会	オンライン開催	454 名
2020.7.15	岩盤力学イブニングセミナー (第 10 回)	オンライン開催	101 名
2020.7.17	第 5 回 技術者ラウンジ DOBOKU (国際センター)	土木会館 B 会議室およびオンライン開催	22 名
2020.7.28	「締固めを必要とする高流動コンクリートの配合設計・施工技術」に関するシンポジウム	オンライン開催	120 名
2020.8.3	建設マネジメント委員会研究成果発表会及び表彰式	オンライン開催	179 名
2020.8.7	第二回水工学オンライン連続講演会	オンライン開催	468 名
2020.8.21	インフラデータチャレンジ 2020 ウェビナー #1	オンライン開催	110 名
2020.8.23	第 12 回土木と学校教育フォーラム「新型コロナウイルス感染症と防災教育-コロナ禍の中で改めて防災教育の可能性と課題を問う-」	オンライン開催	2,804 名
2020.8.25	「コンクリート構造物の品質確保」に関する委員会成果報告会およびシンポジウム	オンライン開催	249 名
2020.8.27	原子力土木委員会地盤安定性評価小委員会講演会「原子力施設に関する地盤安定性評価技術の現状-どこまでできて、何が課題か-」	オンライン開催	156 名
2020.8.27	2019 年度国際貢献賞お祝いの会	土木会館役員会議室およびオンライン開催	60 名
2020.8.31	コンサルタント委員会・市民合意形成小委員会講演会「人工知能 (AI) を用いた合意形成ツールの実証実験」	オンライン開催	82 名
2020.9.2	地震工学委員会 2020 年度 第 1 回研究会	オンライン開催	113 名
2020.9.9	3.11 東日本大震災復興リレーシンポジウム 東日本大震災と南海トラフ地震の接続点	NITECH ホール(名古屋工業大学)およびオンライン開催	687 名
2020.9.9～10	第 22 回インターナショナルサマーシンポジウム	オンライン開催	45 名
2020.9.12	インフラデータチャレンジ 2020 アイディアソン #1	オンライン開催	40 名
2020.9.16	第 23 回鋼構造と橋に関するシンポジウム	オンライン開催	361 名
2020.9.17	地震工学委員会 2020 年度 第 2 回研究会	オンライン開催	101 名
2020.9.17	第 5 回土木学会コンサルタント委員会 地方創生シンポジウム	オンライン開催	296 名
2020.9.23	講演会 SIP『レジリエントな防災・減災機能の強化』-研究開発と社会実装の成果-	オンライン開催	429 名
2020.9.23～25	第 28 回地球環境シンポジウム	オンライン開催	465 名
2020.9.24～25	第 45 回土木情報学シンポジウム	オンライン開催	265 名
2020.9.28～29	第 19 回木材工学研究発表会	オンライン開催	174 名
2020.9.30	インフラデータチャレンジ 2020 ウェビナー #2	オンライン開催	80 名
2020.9.30	第三回水工学オンライン連続講演会	オンライン開催	393 名
2020.9.30	JSCE/JICA online seminar on Maintenance and Management of Road Infrastructure	オンライン開催	140 名
2020.10.1～2	第 40 回地震工学研究発表会	オンライン開催	152 名
2020.10.5	第 20 回地震防災マネジメントセミナー	オンライン開催	40 名
2020.10.5	維持管理・防災ジョイントセミナー	オンライン開催	383 名

2020.10.8	電気化学的防食工法指針改訂報告会	オンライン開催	115 名
2020.10.10	インフラデータチャレンジ 2020 アイディアソン #2	オンライン開催	40 名
2020.10.16	2020 年度セミナー「土木学会による実務者のための耐震設計入門：基礎編」	オンライン開催	110 名
2020.10.16	岩盤力学イブニングセミナー（第 11 回）	オンライン開催	86 名
2020.10.17～18	第 48 回環境システム研究論文発表会	オンライン開催	272 名
2020.10.20	コンクリート構造物の設計と連成型性能評価法に関する研究小委員会（第 2 期）成果報告会	土木会館講堂およびオンライン開催	107 名
2020.10.23	土木学会デザイン賞 20 周年記念 Talk sessions「土木発・デザイン実践の現場から」第 1 回 都市のメガインフラのデザイン戦略—横浜の首都高に学ぶ	オンライン開催	224 名
2020.10.23	地盤の地震応答解析～秋の講習会 2020～	オンライン開催	75 名
2020.10.23	断層変位を受ける地中管路の設計手法に関する研究小委員会 最終報告会	オンライン開催	100 名
2020.10.27	第四回水工学オンライン連続講演会	オンライン開催	223 名
2020.10.28	第 39 回鋼構造基礎講座	オンライン開催	120 名
2020.10.28	第 6 回 技術者ラウンジ DOBOKU (国際センター)	土木会館 CD 会議室およびオンライン開催	21 名
2020.10.29～30	第 11 回道路橋床版シンポジウム	オンライン開催	394 名
2020.11.2	地震工学委員会 2020 年度 第 3 回研究会	オンライン開催	150 名
2020.11.4～6	第 65 回水工学講演会（第 33 回アゲールシンポジウム・河川災害に関するシンポジウム 2020 含む）	オンライン開催	1,030 名
2020.11.5	インフラメンテナンス技術講習会 in 静岡	オンライン開催	110 名
2020.11.6	土木学会デザイン賞 20 周年記念 Talk sessions「土木発・デザイン実践の現場から」第 2 回「デザイン賞歩道橋」はどのように創られたのか	オンライン開催	176 名
2020.11.9	第 11 回公共調達シンポジウム	土木会館講堂およびオンライン開催	89 名
2020.11.10	「部材詳細の設計と照査に関する研究小委員会」成果報告会	オンライン開催	80 名
2020.11.10～13	第 67 回海岸工学講演会	オンライン開催	828 名
2020.11.11	インフラデータチャレンジ 2020 ウェビナー #3	オンライン開催	76 名
2020.11.11	土木学会デザイン賞 20 周年記念 Talk sessions「土木発・デザイン実践の現場から」第 3 回「まちづくりの戦略としての公共空間デザイナー—女川町の実践」	オンライン開催	197 名
2020.11.11	応用力学講演会 2020	オンライン開催	185 名
2020.11.12	第 3 回 出前講座（国際センター）	芝浦工業大学工学部	13 名
2020.11.13	若手座談会 30 代の今—社会変化や悩みを乗り越えて土木業界に新しい風を—	オンライン開催	40 名
2020.11.13	第 11 回地下空間維持管理セミナー～トンネル点検実務の現状と展望～	オンライン開催	413 名
2020.11.13	第 8 回 FRP 複合構造・橋梁に関するシンポジウム	オンライン開催	64 名
2020.11.13～15	第 62 回土木計画学研究発表会・秋大会	オンライン開催	2,685 名
2020.11.14	アーバンデータチャレンジ 2020 with インフラデータチャレンジ 2020	オンライン開催	150 名
2020.11.16	第 1 回地方インフラを対象としたメンテナンス講座	オンライン開催	2,874 名
2020.11.18～20	第 1 回「A I ・データサイエンスシンポジウム」	オンライン開催	484 名
2020.11.19	第 4 回 出前講座（国際センター）	芝浦工業大学工学部	13 名
2020.11.20	原子力土木委員会 公開講演会	オンライン開催	150 名
2020.11.21	土木の日シンポジウム 2020	オンライン開催	543 名
2020.11.24	鋼道路橋の RC 床版更新の設計・施工技術に関する講習会	オンライン開催	456 名
2020.11.25	第五回水工学オンライン連続講演会	オンライン開催	353 名

2020.11.25	令和2年度地盤工学セミナー	オンライン開催	269名
2020.11.25	第1回 日台技術者座談会（国際センター）	土木会館 E 会議室	8名
2020.11.26～27	第30回トンネル工学研究発表会	土木会館講堂他およびオンライン開催	306名
2020.11.27	安全問題討論会'20	オンライン開催	56名
2020.11.27	2020年度セミナー「土木学会による実務者のための耐震設計入門：実践編」	オンライン開催	68名
2020.11.30	橋梁等の対津波・対洪水に関する研究小委員会の活動報告	オンライン開催	138名
2020.12.1	第38回建設マネジメント問題に関する研究発表・討論会	オンライン開催	78名
2020.12.4	第16回景観・デザイン研究発表会シンポジウム	オンライン開催	370名
2020.12.5～6	第16回景観・デザイン研究発表会	オンライン開催	640名
2020.12.8	土木学会デザイン賞20周年記念 Talk sessions「土木発・デザイン実践の現場から」第4回「川から見るまち・まちから見る川」	オンライン開催	242名
2020.12.8	第8回鋼構造技術継承講演会～経験豊富な先人に学ぶ次世代への承継技術～	オンライン開催	157名
2020.12.9～12	第57回環境工学研究フォーラム	オンライン開催	585名
2020.12.9	環境工学委員会一般公開シンポジウム	オンライン開催	157名
2020.12.9	第5回 出前講座（国際センター）	北海道大学工学部	73名
2020.12.10～11	第25回舗装工学講演会	オンライン開催	107名
2020.12.11	第六回水工学オンライン連続講演会	オンライン開催	401名
2020.12.12	留学生対象企業説明会（国際センター）	土木会館 B 会議室およびオンライン開催	21名
2020.12.14	第2回地方インフラを対象としたメンテナンス講座	オンライン開催	2,157名
2020.12.14	第8回河川堤防技術シンポジウム	オンライン開催	147名
2020.12.15～16	第27回鉄道技術・政策連合シンポジウム（J-RAIL2020）	オンライン開催	104名
2020.12.15～16	第27回鉄道技術・政策連合シンポジウム（J-RAIL2020）特別セッション「鉄道メンテナンスの課題と将来に向けて求められる大転換」	オンライン開催	200名
2020.12.16	土木学会デザイン賞20周年記念 Talk sessions「土木発・デザイン実践の現場から」第5回「かわまち空間による都市再生に向けて」	オンライン開催	270名
2020.12.16	人にやさしい地下空間セミナー（第8回）「地下空間と空気環境-COVID-19を抑える空調・換気とは-」	オンライン開催	122名
2020.12.18	第4回若手技術者のための複合構造セミナー～鋼とコンクリート～	オンライン開催	238名
2020.12.22	令和2年度構造工学研究会「送電用鉄塔の耐風設計技術～台風15号による鉄塔倒壊事故などの事例を踏まえて～」	オンライン開催	70名
2020.12.24	トンネル工学セミナー2020	オンライン開催	63名
2021.1.7	土木学会デザイン賞20周年記念 Talk sessions「土木発・デザイン実践の現場から」第7回「激特事業・災害復旧事業にみる防災と景観まちづくりを両立する実践手法とは」	オンライン開催	229名
2021.1.7	岩盤力学イブニングセミナー（第12回）	オンライン開催	80名
2021.1.7～8	第11回インフラ・ライフライン減災対策シンポジウム	オンライン開催	104名
2021.1.12	第3回地方インフラを対象としたメンテナンス講座	オンライン開催	3,190名
2021.1.15	令和2年度 環境水理部会研究集会2020	オンライン開催	212名
2021.1.19	第23回橋梁等の耐震設計シンポジウム	オンライン開催	106名
2021.1.20	第26回地下空間シンポジウム	オンライン開催	513名
2021.1.22	第七回水工学オンライン連続講演会	オンライン開催	416名
2021.1.23	第20回土木学会デザイン賞2020 受賞者プレゼンテーション	土木会館 講堂	266名

	ョン		
2021.1.27	「鉄筋定着・継手指針」の改訂に伴う講習会	オンライン開催	174 名
2021.1.29	日本建築学会会長による特別講演会	オンライン開催	186 名
2021.2.1～8	2020 年度『施工計画講習会「施工計画のポイントと ICT の動向」』	オンライン開催	76 名
2021.2.3	地震工学委員会 2020 年度 第 4 回研究会	オンライン開催	179 名
2021.2.3	河道管理研究小委員会主催ワークショップ	オンライン開催	54 名
2021.2.4	外国人技術者イブニングサロン（国際センター）	土木会館 C 会議室	6 名
2021.2.8～24	2020 年度構造工学における有限要素法の基礎と応用講習会	土木会館講堂	110 名
2021.2.9	第 63 回環境システムシンポジウム	オンライン開催	223 名
2021.2.9	インフラメンテナンス技術（舗装）講習会@北海道	オンライン開催	554 名
2021.2.9	「複合構造物の防水・排水技術－水の侵入形態と対策－」 「コンクリート充填鋼管適用技術の現状と最先端」合同講習会（テキスト購入者限定）	オンライン開催	78 名
2021.2.15	土木学会デザイン賞 20 周年記念 Talk sessions「土木発・デザイン実践の現場から」第 8 回「土木デザインのすすめ 国土と風土の未来のためにいま必要なこと」	オンライン開催	379 名
2021.2.15	第 21 回異分野技術者との交流会	オンライン開催	80 名
2021.2.17	土木建設技術発表会 2020	土木会館講堂他およびオンライン開催	250 名
2021.2.26	第 4 回地方インフラを対象としたメンテナンス講座	オンライン開催	2,874 名
2021.3.2	土木構造物の復旧性評価に関するシンポジウム	オンライン開催	300 名
2021.3.2	第 17 回世界で活躍する日本の土木技術者シリーズ シンポジウム「パキスタン国東西道路改修事業」	土木会館講堂およびオンライン開催	266 名
2021.3.5	令和二年度構造工学委員会セミナー「近年の豪雨による構造物被害－河川橋梁を中心とした構造物の被害事例と今後の対応－」	オンライン開催	63 名
2021.3.8	第 11 回木材利用シンポジウム	オンライン開催	162 名
2021.3.9	3.11 東日本大震災復興リレーシンポジウム 福島復興シンポジウム～福島からの 30 年を考える～	コラッセふくしま多目的ホールおよびオンライン開催	336 名
2021.3.9	水路保全技術の実務者育成に関する調査・研究分科会活動報告会	土木会館講堂およびオンライン開催	129 名
2021.3.9	第八回水工学オンライン連続講演会	オンライン開催	324 名
2021.3.15	第 4 回技術基準の国際化セミナー「道の駅」の国際化について（国際センター）	土木会館講堂	165 名
2021.3.16	基礎水理シンポジウム 2020	オンライン開催	505 名
2021.3.17	第 1 回 建設用ロボット技術セミナー	オンライン開催	334 名
2021.3.18	プレキャストコンクリートを用いた構造物の構造計画・設計・施工・維持管理指針（案）に関する講習会	オンライン開催	249 名
2021.3.22	地震工学委員会 2020 年度 第 5 回研究会	オンライン開催	66 名
2021.3.22	脱炭素社会実現に向けたグリーン成長戦略に関する講演会	土木会館講堂およびオンライン開催	413 名
2021.3.24	DX 時代の建設を考える ～建設におけるデジタル化の推進～	オンライン開催	414 名
2021.3.24	「これだけは知っておきたい 橋梁メンテナンスのための構造工学入門」講習会（入門書の解説）	オンライン開催	1,417 名
2021.4.6	令和 3 年 2 月福島県沖の地震に関する被害調査報告会	オンライン開催	336 名
2021.4.7	石炭灰混合材料を地盤・土構造物に利用するための技術指針（案）に関する講習会	土木会館講堂およびオンライン開催	63 名
2021.4.9	D & I カフェトーク「地元まちづくりの扉を開けつづけたら？」	オンライン開催	36 名
2021.4.15	水路トンネル保全に関わる技術者を対象とした実務講習	オンライン開催	31 名

	会（第1回）		
2021.4.16	Frontiers of Concrete Technology, 1st JSCE Concrete Committee Webinar	オンライン開催	414 名
2021.4.19	海外の電気事業を取り巻く環境変化とエネルギー戦略～我が国のグリーン成長戦略の観点から～	土木会館講堂およびオンライン開催	506 名
2021.4.23	第9回水工学オンライン連続講演会	オンライン開催	467 名
2021.4.23	D & I カフェトーク「まちづくりプランナーが挑戦する複線での働き方」	オンライン開催	42 名
2021.5.4	Dam ってなんだ？	オンライン開催	15 名
2021.5.7	第10回水工学オンライン連続講演会	オンライン開催	393 名
2021.5.7	D & I カフェトーク「建設コンサルタントのD & I 最前線」	オンライン開催	57 名
2021.5.12	防災・心理共同セミナー「コロナ禍で考える人にやさしい・安全な地下空間」	オンライン開催	226 名
2021.5.13	水路トンネル保全に関わる技術者を対象とした実務講習会（第2回）	オンライン開催	31 名
2021.5.14	第24回土木学会応用力学シンポジウム 特別講演・表彰式	オンライン開催	234 名
2021.5.15	第24回土木学会応用力学シンポジウム 研究発表会	オンライン開催	421 名
2021.5.21	D & I カフェトーク「今を変え、新しい世界を拓く仕事は多様性から」	オンライン開催	60 名
2021.5.24	第3回土木技術者実践論文集研究発表会	オンライン開催	270 名
2021.5.24	コンサルタント委員会・合意形成小委員会シンポジウム	オンライン開催	147 名
2021.5.27	地震工学委員会 2021 年度 第1回研究会	オンライン開催	156 名
2021.5.28	「海外インフラ展開に向けた変革のための提言」発表シンポジウム	土木会館講堂およびオンライン開催	359 名
2021.5.31	第18回世界で活躍する日本の土木技術者シリーズ シンポジウム「モンゴル国首都空港建設・育成・運営の挑戦：新ウランバートル国際空港プロジェクト」	土木会館講堂およびオンライン開催	354 名
2021.6.2	令和3年度構造工学第1回研究会「耐風構造レトロフィットー橋梁での事例を通して」	オンライン開催	136 名
2021.6.2	Salon for International Students and Engineers in Japan (国際センター)	土木会館 E 会議室およびオンライン開催	54 名
2021.6.4	第13回公共調達シンポジウム	オンライン開催	114 名
2021.6.4	D & I カフェトーク「産官学、多様な立場、多様な働き方」	オンライン開催	111 名
2021.6.5～6	第63回土木計画学研究発表会（春大会）	オンライン開催	1,222 名
2021.6.10～11	2021 年度河川技術に関するシンポジウム	オンライン開催	702 名
2021.6.15	第1回土木偉人イブニングトーク『土木偉人かるた』に私の土木偉人がいない！	オンライン開催	66 名
2021.6.16	第11回水工学オンライン連続講演会	オンライン開催	592 名
2021.6.17	水路トンネル保全に関わる技術者を対象とした実務講習会（第3回）	オンライン開催	56 名
2021.6.18	岩盤力学イブニングセミナー（第14回）	オンライン開催	185 名
2021.6.18	D & I カフェトーク「「言語」が開く心の扉」	オンライン開催	91 名
2021.6.19～20	第41回土木史研究発表会	オンライン開催	154 名
2021.6.19	第41回土木史研究発表会シンポジウム「戦後の水辺と土木史」	オンライン開催	750 名
2021.6.22	日常をつくるプロたちのリアル！土木の仕事座談会	オンライン開催	197 名
2021.6.28	2021 年度セミナー「土木学会による実務者のための耐震設計入門：基礎編」	オンライン開催	126 名
2021.6.29～7.1	第46回海洋開発シンポジウム	オンライン開催	873 名
2021.7.2	D & I カフェトーク「女性技術者を取り巻く環境」	オンライン開催	108 名
2021.7.5～6	第25回鉄道工学シンポジウム	オンライン開催	42 名

2021.7.8	第3回 i-Construction の推進に関するシンポジウム	オンライン開催	366 名
2021.7.9	原子力土木委員会 公開講演会	オンライン開催	185 名
2021.7.15	建設マネジメント委員会研究成果発表会及び表彰式	オンライン開催	297 名
2021.7.15	第2回建設用ロボット技術セミナー	オンライン開催	273 名
2021.7.16	D & I カフェトーク「私の得意！を大切にするため、自分たちの会社つくりました」	オンライン開催	89 名
2021.7.17	『今年の夏は、おうちで土木』～めざせ！未来のどぼく博士!!～ 1 日目	オンライン開催	19 名
2021.7.20	第24回橋梁等の耐震設計シンポジウム	オンライン開催	102 名
2021.7.20	第2回土木偉人イブニングトーク『土木偉人かたるた』に私の土木偉人がいない！	オンライン開催	70 名
2021.7.27	技術資料「原子力発電所の基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価技術＜技術資料＞」講習会	オンライン開催	131 名
2021.7.29	第7回 技術者ラウンジ DOBOKU (国際センター)	土木会館 D 会議室およびオンライン開催	30 名
2021.7.30	D & I カフェトーク「海外出身、日本で技術を学び、国際的に生きる」	オンライン開催	87 名
2021.8.4	原子力土木委員会津波評価小委員会講演会「海底地すべりによる津波に関する研究動向」	オンライン開催	199 名
2021.8.4	Frontiers of Concrete Technology, 2nd JSCE Concrete Committee Webinar	オンライン開催	139 名
2021.8.5	地震工学委員会 2021 年度 第2回研究会	オンライン開催	326 名
2021.8.21	『今年の夏は、おうちで土木』～めざせ！未来のどぼく博士!!～ 2 日目	オンライン開催	19 名
2021.8.22	第13回土木と学校教育フォーラム「土木で学ぶ SDGs と学校教育」	オンライン開催	87 名
2021.8.27	第3回土木偉人イブニングトーク『土木偉人かたるた』に私の土木偉人がいない！	オンライン開催	52 名
2021.8.30～31	第56回水工学に関する夏期研修会 A コース	オンライン開催	105 名
2021.8.30～31	第56回水工学に関する夏期研修会 B コース	オンライン開催	99 名
2021.9.1	第12回水工学オンライン連続講演会	オンライン開催	509 名
2021.9.9～10	第23回国際ナショナルサマーシンポジウム若手技術者ワークショップ	土木会館役員会議室およびオンライン開催	41 名
2021.9.15	第24回橋に関するシンポジウム	オンライン開催	214 名
2021.9.15	応用力学フォーラム（関西地区）	オンライン開催	155 名
2021.9.16	第41回地震工学研究発表会	オンライン開催	159 名
2021.9.16	「連続合成桁橋における床版取替え技術の現状と展開」講習会	オンライン開催	174 名
2021.9.17	D & I カフェトーク「研究を仕事にする、その苦勞と可能性は？」	オンライン開催	76 名
2021.9.21	エネルギー委員会講演会「カーボンリサイクルの展望と課題～カーボンリサイクルを日本の成長産業に～」	オンライン開催	447 名
2021.9.26	「グリーンインフラの最前線～現場実装とグレーインフラとの協働に向けて～」講習会	オンライン開催	528 名
2021.9.27～28	第46回土木情報学シンポジウム	オンライン開催	287 名
2021.9.27～29	第29回地球環境シンポジウム	オンライン開催	501 名
2021.9.28	地球環境委員会一般公開シンポジウム	オンライン開催	255 名
2021.9.29	次世代構造技術者の Work in Progress 2021	オンライン開催	137 名
2021.9.29～30	第20回木材工学研究発表会	オンライン開催	202 名
2021.9.30	第4回土木偉人イブニングトーク『土木偉人かたるた』に私の土木偉人がいない！	オンライン開催	42 名
2021.10.1	D & I カフェトーク「働き盛りビジネスマンの意外と自然な人生観」	オンライン開催	86 名
2021.10.8	「コンクリート構造物の耐凍害性確保に関する調査研究小委員会」成果報告会およびシンポジウム	オンライン開催	134 名

2021.10.13	新書『地盤は悪夢を知っていた』に込めた思い ～地震痕跡・過去の記録の解説と防災戦略への反映～	オンライン開催	418 名
2021.10.13	岩盤力学イブニングセミナー（第 15 回）	オンライン開催	166 名
2021.10.14	日常をつくるプロたちのリアル！土木の仕事座談会第 2 弾若手編	オンライン開催	101 名
2021.10.15	鋼橋の環境振動・騒音に関する予測、評価および対策技術に関する講習会	オンライン開催	133 名
2021.10.15	第 40 回鋼構造基礎講座	オンライン開催	83 名
2021.10.15	D & I カフェトーク「外国出身の仲間とともにある土木の世界」	オンライン開催	95 名
2021.10.18	地盤の地震応答解析～秋の講習会 2021～	オンライン開催	66 名
2021.10.19	第 1 回構造工学 DX セミナー	オンライン開催	488 名
2021.10.23～24	第 49 回環境システム研究論文発表会	オンライン開催	284 名
2021.10.20～21	第 3 回 JSCE-CCES ジョイントシンポジウム	土木会館 C 会議室および オンライン開催	298 名
2021.10.25	2021 年度セミナー「土木学会による実務者のための耐震設計入門：基礎編」（再開講）	オンライン開催	90 名
2021.10.26	第 5 回土木偉人イブニングトーク「瀬戸内海周辺の土木偉人」	オンライン開催	37 名
2021.10.28	インフラデータチャレンジ 2021 ウェビナー第 1 回	オンライン開催	100 名
2021.10.28	「鉄筋コンクリート製地中構造物の耐震性能照査技術」拡充に関する講習会	オンライン開催	457 名
2021.10.29	「津波に対する海岸保全施設整備計画のための技術ガイドライン」 セミナー	オンライン開催	337 名
2021.10.29	D & I カフェトーク「土木を辞めたい人にこそ届けたい、「土木辞めた人、戻ってきた人インタビュー」	オンライン開催	73 名
2021.11.9	第 19 回世界で活躍する日本の土木技術者シリーズ シンポジウム「海外交通インフラ運営の展開に向けて」	土木会館講堂およびオン ライン開催	359 名
2021.11.10～12	第 68 回海岸工学講演会	オンライン開催	945 名
2021.11.10	第 68 回海岸工学講演会～海岸工学企画セッション 1	オンライン開催	440 名
2021.11.10	「ビッグピクチャー・イブニングトーク」「コロナ後の“土木”のビッグピクチャーと SF プロトタイピング」	オンライン開催	58 名
2021.11.11	第 68 回海岸工学講演会～海岸工学企画セッション 2	オンライン開催	460 名
2021.11.11	土木建設技術発表会 2021	土木会館講堂他およびオン ライン開催	489 名
2021.11.12	第 41 回鋼構造基礎講座	オンライン開催	136 名
2021.11.12	D & I カフェトーク「PTA から見た社会」	オンライン開催	
2021.11.12	留学生対象現場見学会（国際センター）	新阪神高速道路宇治田 原トンネル、他	17 名
2021.11.14	土木の日シンポジウム 2021	オンライン開催	492 名
2021.11.15	断層変位を考慮した橋梁等構造物の耐震設計に関する研究成果報告会	オンライン開催	39 名
2021.11.15	応用力学フォーラム（東北地区）	オンライン開催	100 名
2021.11.16～18	第 58 回環境工学研究フォーラム	オンライン開催	576 名
2021.11.16	耐震性評価のための地盤調査・土質試験の運用事例ワークショップ	オンライン開催	209 名
2021.11.17	環境工学委員会一般公開シンポジウム	オンライン開催	143 名
2021.11.17～18	第 2 回「A I ・データサイエンスシンポジウム」オン ライン開催	698 名	
2021.11.17	人にやさしい地下空間セミナー（第 9 回）「魅力感じる地下空間－東京の地下鉄をデザインする－」	オンライン開催	177 名
2021.11.18	インフラデータチャレンジ～ウェビナー & アイディアソン～	オンライン開催	65 名
2021.11.18	第 13 回水工学オンライン連続講演会	オンライン開催	302 名
2021.11.18	第 21 回地震災害マネジメントセミナー	オンライン開催	64 名

2021.11.22	既設コンクリート構造物の構造性能評価研究小委員会(355 委員会) (第 2 期) 成果報告会	土木会館講堂およびオンライン開催	73 名
2021.11.22～29	2021 年度『施工計画講習会「地盤の基礎知識と土留め工の計画と施工」』	オンライン開催	79 名
2021.11.24	土木学会デザイン賞 20 周年記念 Talk sessions「土木発・デザイン実践の現場から」第 9 回「中小河川からはじまるかわまちづくり」	オンライン開催	188 名
2021.11.24	安全問題討論会'21	オンライン開催	81 名
2021.11.24	「若手パワーアップ塾」オープンセミナー【パワポっぽさを脱却して土木の発信力をアップする！】	オンライン開催	112 名
2021.11.25～26	第 31 回トンネル工学研究発表会	オンライン開催	484 名
2021.11.25,12.23	出前講座(国際センター)	芝浦工業大学工学部およびオンライン開催	26 名
2021.11.26	D & I カフェトーク「暮らしやすい社会のキーワードは「寛容さ」？」	オンライン開催	67 名
2021.11.29	「高炉スラグ微粉末を用いたコンクリートの品質・性能評価に関する調査研究小委員会」成果報告会	オンライン開催	100 名
2021.11.29	2021 年度セミナー「土木学会による実務者のための耐震設計入門：実践編」	オンライン開催	94 名
2021.11.30	第 6 回土木偉人イブニングトーク「お雇い外国人」	オンライン開催	34 名
2021.11.30	土木学会デザイン賞 20 周年記念 Talk sessions「土木発・デザイン実践の現場から」第 10 回「豊かな海辺の創造～暮らし・癒し・守りのデザイン～」	オンライン開催	146 名
2021.12.1～17	2021 年度構造工学における有限要素法の基礎と応用講習会	オンライン開催	65 名
2021.12.2～3	第 26 回舗装工学講演会	オンライン開催	91 名
2021.12.2	【Klaus Hasselmann 博士ノーベル物理学賞受賞記念】解説：Hasselmann と日本における波浪研究の歴史	オンライン開催	257 名
2021.12.3～5	第 64 回土木計画学研究発表会・秋大会	オンライン開催	1,288 名
2021.12.4	International Joint Seminar on Advances in Civil Engineering (国際センター)	日越大学(ベトナム)およびオンライン開催	41 名
2021.12.7	第 39 回建設マネジメント問題に関する研究発表・討論会	オンライン開催	67 名
2021.12.8～10	第 66 回水工学講演会	オンライン開催	893 名
2021.12.9	「補修・補強のための高力ボルト摩擦接合技術」に関する講習会	オンライン開催	182 名
2021.12.10	景観・デザイン委員会令和 3 年シンポジウム	オンライン開催	488 名
2021.12.10	D & I カフェトーク「働く母友と SNS で一緒に歩んだ道」	オンライン開催	49 名
2021.12.11～12	第 17 回景観・デザイン研究発表会	オンライン開催	457 名
2021.12.11	留学生対象企業説明会(国際センター)	土木会館 B 会議室およびオンライン開催	80 名
2021.12.13	応用力学講演会 2021	オンライン開催	179 名
2021.12.13 ～ 2022.1.10	第 1 回インフラメンテナンス特選講義「橋の臨床成人病学入門」	オンライン開催	2,225 名
2021.12.14	第 9 回河川堤防技術シンポジウム	オンライン開催	206 名
2021.12.14	第 5 回若手技術者のための複合構造セミナー～鋼とコンクリート～	土木会館講堂およびオンライン開催	250 名
2021.12.15	岩盤力学イブニングセミナー(第 16 回)	土木会館講堂およびオンライン開催	133 名
2021.12.16	第 9 回鋼構造技術継承講演会～経験豊富な先人に学ぶ次世代への承継技術～	土木会館講堂およびオンライン開催	487 名
2021.12.16	第 22 回異分野技術者との交流会「建設産業の水素・燃料電池を活用した脱炭素化」	オンライン開催	59 名
2021.12.17	第 109 回土木学会イブニングシアター	土木会館講堂およびオンライン開催	96 名

2021.12.20	土木学会デザイン賞 20 周年記念 Talk sessions「土木発・デザイン実践の現場から」第 11 回「風景をつくる水門」そのスペックはいかにデザインできるか	オンライン開催	186 名
2021.12.21	JSCE/JICA online seminar on Maintenance and Management of Road Infrastructure	オンライン開催	187 名
2021.12.22	原子力土木委員会 公開講演会	オンライン開催	214 名
2021.12.22	令和 3 年度構造工学第 2 回研究会「我が国の質の高いインフラ海外展開の現状と課題」	オンライン開催	194 名
2021.12.23	第 7 回土木偉人イブニングトーク「海外で活躍した土木技術者」	オンライン開催	39 名
2021.12.24	トンネル工学セミナー2021	オンライン開催	120 名
2022.1.6	第 12 回インフラ・ライフライン減災対策シンポジウム	オンライン開催	90 名
2022.1.7,14	出前講座（国際センター）	京都大学大学院工学研究科およびオンライン開催	21 名
2022.1.12～13	第 48 回岩盤力学に関するシンポジウム	オンライン開催	145 名
2022.1.12～13	第 13 回構造物の衝撃問題に関するシンポジウム	オンライン開催	102 名
2022.1.13	令和 3 年度 環境水理部会研究集会 2021	オンライン開催	87 名
2022.1.13	第 73 回環境システムシンポジウム	オンライン開催	390 名
2022.1.14～2.14	第 2 回インフラメンテナンス特選講義「地方自治体職員編」	オンライン開催	1,543 名
2022.1.14	D & I カフェトーク「こんな働き方もあります！～ライフとワーク、両方大切にしたい地方都市での働き方～」	オンライン開催	108 名
2022.1.17	土木学会デザイン賞 20 周年記念 Talk sessions「土木発・デザイン実践の現場から」第 12 回「これからの駅前広場の計画設計について」	オンライン開催	305 名
2022.1.18	応用力学フォーラム（関東地区）	オンライン開催	181 名
2022.1.19	第 2 回構造工学 DX セミナー	オンライン開催	381 名
2022.1.20	第 27 回地下空間シンポジウム	オンライン開催	234 名
2022.1.21	出前講座（国際センター）	北海道大学工学部およびオンライン開催	37 名
2022.1.22	土木学会デザイン賞 2021 受賞者プレゼンテーション	オンライン開催	130 名
2022.1.26	2021 トンネル技術史講演会	オンライン開催	337 名
2022.1.26	応用力学フォーラム（西部地区）	オンライン開催	162 名
2022.1.27	第 8 回 技術者ラウンジ DOBOKU（国際センター）	土木会館講堂およびオンライン開催	32 名
2022.1.28	『気候・豪雨予測に関する新技術と利水ダムの運用』に関する講演会	オンライン開催	421 名
2022.1.28	D & I カフェトーク「かせぎを離れた土木屋の活動エネルギーの源は」	オンライン開催	95 名
2022.1.31	将来の下水道をえがくー社会・技術・人材ー	オンライン開催	191 名
2022.2.3	土木学会デザイン賞 20 周年記念 Talk sessions「土木発・デザイン実践の現場から」第 13 回「社会に貢献するデザインのつくり方・選び方」	オンライン開催	186 名
2022.2.4	「地盤・構造物の非線形解析法の検証と妥当性確認の方法ーガイドラインとその実践事例ー」に関する報告会	オンライン開催	141 名
2022.2.4	令和三年度構造工学セミナー「構造工学におけるカーボンニュートラルへの取り組み」	オンライン開催	115 名
2022.2.7	北海道胆振東部地震の被害および復旧状況説明会	オンライン開催	35 名
2022.2.9	コンクリートのあと施工アンカー工法の設計・施工・維持管理指針(案)に関する講習会	オンライン開催	124 名
2022.2.9	2021 年度河川災害に関するシンポジウム	オンライン開催	462 名
2022.2.11	市民特別上映会 in 味の素スタジアム感謝デー	オンライン開催	41 名
2022.2.14～3.14	第 3 回インフラメンテナンス特選講義「トップエンジニアが語る橋梁診断・措置の要点」	オンライン開催	1,760 名
2022.2.14	令和 3 年度地盤工学セミナー	土木会館講堂およびオン	94 名

		ライン開催	
2022.2.15	設計変更ガイドラインと技術者倫理に関するセミナー	オンライン開催	738 名
2022.2.17	第 8 回土木偉人イブニングトーク「九州の土木偉人」	オンライン開催	44 名
2022.2.18	土木学会デザイン賞 20 周年記念 Talk sessions「土木発・デザイン実践の現場から」第 14 回「ローカリティーと橋梁デザイン」	オンライン開催	170 名
2022.2.22	城壁の耐震診断・補強に関するシンポジウム	オンライン開催	219 名
2022.2.22	応用力学フォーラム（中部地区）	オンライン開催	147 名
2022.2.24	第 14 回水工学オンライン連続講演会	オンライン開催	310 名
2022.2.28	若手構造工学セミナー	オンライン開催	208 名
2022.3.1	VIII 分野（分野横断）キックオフシンポジウム	オンライン開催	133 名
2022.3.5	ドボ博ナイト～鉄道×土木＝ドボ鉄の世界～	東京カルチャーカルチャー（渋谷）	70 名
2022.3.8	応用力学フォーラム（北海道地区）	オンライン開催	153 名
2022.3.8	第 5 回技術基準の国際化セミナー「国際航路協会（PIANC）の活動による基準の国際化」（国際センター）	土木会館講堂およびオンライン開催	167 名
2022.3.9	土木学会デザイン賞 20 周年記念 Talk sessions「土木発・デザイン実践の現場から」第 15 回「土木と建築の境界」	オンライン開催	181 名
2022.3.9	Frontiers of Concrete Technology, 3rd JSCE Concrete Committee Webinar	オンライン開催	167 名
2022.3.10	令和 4 年図書出版記念講演会「突発的な火山噴火と避難、火山工学から防災を考える」	土木会館講堂およびオンライン開催	76 名
2022.3.14～15	第 1 回インフラメンテナンス・シンポジウム	オンライン開催	852 名
2022.3.15	橋守サミット 2022	オンライン開催	258 名
2022.3.15	応用力学フォーラム（中国・四国地区）	オンライン開催	130 名
2022.3.16	2021 年度基礎水理シンポジウム	オンライン開催	512 名
2022.3.16～4.13	第 4 回インフラメンテナンス特選講義「最新技術編」	オンライン開催	2,579 名
2022.3.16	混相流、粒状体シミュレーションの最前線	オンライン開催	31 名
2022.3.16	第 10 回人にやさしい地下空間セミナー「魅力感じる地下空間-大阪の地下街を究める-」	オンライン開催	97 名
2022.3.22	第 9 回土木偉人イブニングトーク「鉄道の土木偉人」	オンライン開催	40 名
2022.3.22	岩盤力学イブニングセミナー（第 17 回）	オンライン開催	235 名
2022.3.23	第 9 回 技術者ラウンジ DOBOKU（国際センター）	土木会館講堂およびオンライン開催	37 名
2022.4.9	D & I カフェトーク「20 の対話が教えてくれたこと — アンカー 2 人が振り返る—」	オンライン開催	108 名
2022.4.14	土木の男性育休座談会	オンライン開催	68 名
2022.4.20	第 15 回水工学オンライン連続講演会	オンライン開催	593 名
2022.4.20	「シールドトンネル工事の安全・安心な施工に関するガイドライン」に関する講習会	オンライン開催	383 名
2022.4.22	D & I カフェトーク「私がさがす私のしごと」	オンライン開催	84 名
2022.4.28	第 10 回土木偉人イブニングトーク「お坊さん」	オンライン開催	61 名
2022.5.13	D & I カフェトーク「「おもろい」を追い求める旅の途中」	オンライン開催	97 名
2022.5.15	第 25 回土木学会応用力学シンポジウム 研究発表会	鹿児島大学およびオンライン開催	414 名
2022.5.16	第 12 回木材利用シンポジウム「SDGs 時代における木材利用～バリ協定とカーボンニュートラル～」	土木会館講堂およびオンライン開催	541 名
2022.5.17	放射性廃棄物処分技術の最新動向に関する総合シンポジウム	土木会館講堂およびオンライン開催	294 名
2022.5.20	原子力土木委員会 公開講演会	オンライン開催	226 名
2022.5.23	令和 4 年度第 1 回構造工学研究会「高速道路の大規模更新事業-日本およびドイツ-」	オンライン開催	483 名
2022.5.24	第 20 回「世界で活躍する日本の土木技術者シリーズ シ	土木会館 講堂	275 名

	ンポジウム：ミャンマーにおける沈下橋の建設」(対面, オンライン併用)		
2022.5.26	第 11 回土木偉人イブニングトーク「土木偉人かたるたのわくわくする作り方・遊び方!」	オンライン開催	44 名
2022.5.27	D & I カフェトーク「まちに暮らす私のシームレスな仕事・活動・子育て」	オンライン開催	81 名
2022.5.30	第 4 回土木技術者実践論文集研究発表会	オンライン開催	367 名
2022.6.2	地震工学委員会 2022 年度 第 1 回研究会	オンライン開催	315 名
2022.6.3	第 3 回構造工学 DX セミナー	オンライン開催	423 名
2022.6.4~5	第 65 回土木計画学研究発表会(春大会)	オンライン開催	2,610 名
2022.6.14	第 18 回岩盤力学イブニングセミナー	オンライン開催	230 名
2022.6.16~17	2022 年度河川技術に関するシンポジウム	オンライン開催	1,298 名
2022.6.17	全国土木弁論大会 2022「ことばの講座(第 1 回)」『音声言語入門：はなしことばへの意識』	土木会館 AB 会議室	3 名
2022.6.18~19	第 42 回土木史研究発表会	土木学会 講堂およびオンライン開催	212 名
2022.6.18	第 42 回土木史研究発表会 シンポジウム	オンライン開催	362 名
2022.6.21	第 14 回公共調達シンポジウム	オンライン開催	132 名
2022.6.22	「根拠に基づく構造的評価のための点検・解析の技術体系を目指して一点検を目的とした維持管理へ導かれた技術者へのメッセージ」講習会	オンライン開催	130 名
2022.6.24	全国土木弁論大会 2022「ことばの講座(第 2 回)」『修辞技法入門：はなしことばの洗練』	土木会館 AB 会議室	6 名
2022.6.24	D & I カフェトーク「土木の意外な就職先～国際機関で働く土木技術者～」	オンライン開催	161 名
2022.6.29	土木・建築におけるデータ駆動科学の適用と実装 土木学会応用力学委員会東北地区講演会・計算工学会多元災害シミュレーション研究会	オンライン開催	68 名
2022.6.29~7.1	第 47 回海洋開発シンポジウム	オンライン開催	2,778 名
2022.7.1	全国土木弁論大会 2022「ことばの講座(第 3 回)」『弁論原稿作法：語られざるものを語る』	土木会館 EF 会議室	4 名
2022.7.5	第 16 回水工学オンライン連続講演会	オンライン開催	592 名
2022.7.6	「モニタリング技術活用のための指針(案)」に関する講習会	土木会館講堂	50 名
2022.7.8	第 4 回 i-Construction の推進に関するシンポジウム	オンライン開催	231 名
2022.7.8	D & I カフェトーク「私って、マイノリティ?—多様性は私の中に—」	オンライン開催	64 名
2022.7.8	防災・心理小委員会ジョイントセミナー「地表や地下に残る災害痕跡を知り、備えておくべきこと」	オンライン開催	402 名
2022.7.19-20	第 25 回橋梁等の耐震設計シンポジウム	オンライン開催	60 名
2022.7.21	Beyond コロナの日本創生と土木のビッグピクチャー【第一部】	オンライン開催	429 名
2022.7.21	Beyond コロナの日本創生と土木のビッグピクチャー【第二部】	オンライン開催	370 名
2022.7.22	D & I カフェトーク「ライフイベントに合わせて働く～就職・子育て・管理職～」	オンライン開催	93 名
2022.7.22	第 10 回 技術者ラウンジ DOBOKU (対面, オンライン併用)	土木会館 講堂会	16 名
2022.7.23	「今年の夏は、おうちで土木 2022 ～めざせ! 未来のどばく博士!!～」A コース	オンライン開催	19 名
2022.7.25~26	第 26 回鉄道工学シンポジウム	オンライン開催	91 名
2022.7.25	第 4 回構造工学 DX セミナー	オンライン開催	646 名

2022.7.26	土木工事で使われるロボット展	関東技術事務所	243 名
2022.8.3	建設マネジメント委員会研究成果発表会及び表彰式	土木会館講堂およびオンライン開催	297 名
2022.8.4	第 25 回橋に関するシンポジウム	法政大学およびオンライン開催	151 名
2022.8.4	衛星によるインフラマネジメントシンポジウム	オンライン開催	880 名
2022.8.5	「海外事業における長大橋技術・ヒトの継承と発展」シンポジウム（対面、オンライン併用）	土木会館 講堂室	336 名
2022.8.8	地震工学委員会 2022 年度 第 2 回研究会	オンライン開催	312 名
2022.8.8	「モニタリング技術活用のための指針（案）」に関する講習会（オンライン）	オンライン開催	32 名
2022.8.20	「今年の夏は、おうちで土木 2022 ～めざせ！未来のどばく博士!!～」B コース	オンライン開催	31 名
2022.8.22	第 21 回木材工学研究発表会	土木学会 講堂およびオンライン開催	234 名
2022.8.22	トンネル工学委員会 60 周年記念事業	オンライン開催	241 名
2022.8.22	トンネル工学セミナー2022	オンライン開催	205 名
2022.8.23	第 1 回継続的契約管理セミナー（8 回シリーズ）	オンライン開催	396 名
2022.8.25～26	第 27 回舗装工学講演会	北海道科学大学開催	158 名
2022.8.26	情報の潜在的価値を具現化する技術（2022 年度関東地区応用力学フォーラム）	オンライン開催	186 名
2022.8.27	「モニタリング技術活用のための指針（案）」に関する講習会（オンライン）	オンライン開催	45 名
2022.8.29	原子力土木委員会 公開講演会	オンライン開催	240 名
2022.8.30	「モニタリング技術活用のための指針（案）」に関する講習会（オンライン）	オンライン開催	32 名
2022.8.30	下水道を未来する	土木会館講堂およびオンライン開催	304 名
2022.8.31～9.1	第 30 回地球環境シンポジウム	北海道大学工学部	360 名
2022.8.31	インフラ学際研究シンポジウム	オンライン開催	978 名
2022.9.1	地球環境委員会一般公開シンポジウム	オンライン開催	120 名
2022.9.4	第 14 回 土木と学校教育フォーラム『「ICT を活用した学校教育」への土木学会からの提案』	ハイブリッド開催	95 名
2022.9.5～6	第 57 回水工学に関する夏期研修会 A コース	東京大学及びオンライン開催	206 名
2022.9.5～6	第 57 回水工学に関する夏期研修会 B コース	東京大学及びオンライン開催	152 名
2022.9.13	2022 年度全国大会 研究討論会「土木 D&I 2.0：考えよう、ルーツの多様性で土木界を元気に」	オンライン	90 名
2022.9.15-16	第 24 回国際ナショナルサマーシンポジウム&若手技術者ワークショップ	京都大学	40 名
2022.9.21	全国土木弁論大会 2022「有馬優杯」	土木会館 講堂およびオンライン開催	158 名
2022.9.21	第 110 回土木学会イブニングシアター	土木会館講堂	46 名
2022.9.21	「複合構造におけるコンクリートの収縮・クリープの影響に関する最新動向」講習会	東京工業大学およびオンライン開催	53 名
2022.9.26	第 17 回水工学オンライン連続講演会	オンライン開催	522 名
2022.9.26	国際関連小委員会オンラインジョイントセミナー	オンライン開催	100 名
2022.9.26～27	第 44 回土木情報学シンポジウム	オンライン開催	542 名
2022.9.27	第 2 回継続的契約管理セミナー（8 回シリーズ）	オンライン開催	268 名
2022.9.29	第 6 回技術基準の国際化セミナー（対面、オンライン併用）「道路・橋梁アセットマネジメントの海外展開について～ラオス国の事例～」	JICA 地球ひろば	254 名
2022.9.30	D & I カフェトーク「業界にブレークスルーは起こせるか？」	オンライン開催	76 名

2022.10.18&11.1	留学生対象現場見学会&事前勉強会（関東）	土木会館，神流川揚水発電所	14 名
2022.10.3	地盤工学 斜面工学研究小委員会・火山工学研究小委員会 図書出版記念合同講演会	土木会館講堂およびオンライン開催	44 名
2022.10.4～5	第 42 回地震工学研究発表会	オンライン開催	226 名
2022.10.4～5	2022 年度構造工学における有限要素法の基礎と応用講習会	オンライン開催	92 名
2022.10.6	「構造ヘルスマモニタリングと目視点検の融合」に関する講習会	土木学会講堂およびオンライン開催	78 名
2022.10.8	エネルギー委員会主催講演会「水素産業の現状と課題」	土木学会 講堂およびオンライン開催	367 名
2022.10.14	D & I カフェトーク「多様なコミュニティと繋がると「ごきげんママプロジェクト」とは」	オンライン開催	70 名
2022.10.19	第 11 回人にやさしい地下空間セミナー「災害と地下空間-災害時における人の行動を捉える-」	オンライン開催	166 名
2022.10.19	第 19 回岩盤力学イブニングセミナー	オンライン開催	133 名
2022.10.20	「地盤・構造物の非線形解析法の検証と妥当性確認の方法-ガイドラインとその実践事例-」に関する講習会	オンライン開催	77 名
2022.10.22～23	第 50 回環境システム研究論文発表会	オンライン開催	294 名
2022.10.24	第 12 回道路橋床版シンポジウム	オンライン開催	320 名
2022.10.24	第 42 回鋼構造基礎講座	オンライン開催	64 名
2022.10.27	AI・データサイエンスセミナー	オンライン開催	583 名
2022.10.28	D & I カフェトーク「当事者とは、「違い」に目を向けるものの見方」	オンライン開催	87 名
2022.11.1	2022 トンネル技術史講演会	オンライン開催	120 名
2022.11.1	第 43 回鋼構造基礎講座	オンライン開催	120 名
2022.11.1～2	第 9 回 FRP 複合構造・橋梁に関するシンポジウム	土木会館講堂他およびオンライン開催	65 名
2022.11.4	第 22 回地震災害マネジメントセミナー	土木学会およびオンライン開催	182 名
2022.11.4	第 11 回 技術者ラウンジ DOBOKU（対面，オンライン併用）	土木会館 B 会議室	23 名
2022.11.8	土木建設技術発表会 2022	土木会館講堂他およびオンライン開催	568 名
2022.11.8～11	第 69 回海岸工学講演会	ハイブリッド開催	4,296 名
2022.11.8	海岸工学企画セッション	オンライン開催	254 名
2022.11.8	海岸工学見学会	オンサイト開催	40 名
2022.11.10	安全問題討論会'22	オンライン開催	79 名
2022.11.10	第 66 回土木計画学研究発表会・秋大会《委員会報告・招待講演》	那覇市ぶんかテンブス館 4F テンブスホールおよびオンライン開催	237 名
2022.11.11	地盤の地震応答解析～秋の講習会 2022～	土木学会およびオンライン開催	71 名
2022.11.11	D & I カフェトーク「地方公務員そして起業，そして途上国支援，そして？」	オンライン開催	70 名
2022.11.12～13	第 66 回土木計画学研究発表会・秋大会	オンライン開催	2,060 名
2022.11.15	構造工学委員会 三井物産委託研究小委員会 成果報告会	オンライン開催	192 名
2022.11.16～17	第 3 回「A I・データサイエンスシンポジウム」	オンライン開催	857 名
2022.11.18	第 111 回土木学会イブニングシアター	土木会館講堂	50 名
2022.11.18	2016 年熊本地震の被害および復旧状況説明会	オンライン開催	35 名
2022.11.19	アプトの道 ウォーキングイベント	群馬県安中市松井田町およびオンライン開催	600 名
2022.11.21	第 7 回土木史サロン 伝えたい「土木のこころ」がある！	土木会館講堂他およびオンライン開催	286 名

		ンライン開催	
2022.11.21	第3回継続的契約管理セミナー（8回シリーズ）	オンライン開催	302名
2022.11.23～25	第67回水工学講演会	オンサイト開催	1,482名
2022.11.24	第67回水工学講演会特別講演	オンサイト開催	239名
2022.11.24	第12回維持管理セミナー ～道路トンネル維持管理の課題と今後の展望～	フェニックス・プラザ（福井市民福祉会館）多目的ルーム	62名
2022.11.24～25	第32回トンネル工学研究発表会	オンライン開催	238名
2022.11.25	アゲールシンポジウム	オンサイト開催	186名
2022.11.25	D&I カフェトーク「旅するプジはどこへ行く？」	オンライン開催	73名
2022.11.25	International Joint Seminar of VJU and NILIM	日越大学(オンライン)	94名
2022.11.28	土木学会デザイン賞 20周年記念 Talk sessions「土木発・デザイン実践の現場から」第16回 今求められる道路のデザイン	オンライン開催	183名
2022.11.28	「コンクリート中への水分浸透評価とその活用に関する研究小委員会(362委員会)」成果報告会およびシンポジウム	東京大学生産技術研究所 およびオンライン開催	128名
2022.11.28	第6回若手技術者のための複合構造セミナー～複合構造の基礎講座～	土木会館講堂	20名
2022.11.29	「未来の土木コンテスト 2022」技術検討会	日本科学未来館	80名
2022.11.29	第21回「世界で活躍する日本の土木技術者シリーズ シンポジウム:カンボジア・シハヌークビル港プロジェクト」(対面, オンライン併用)	土木会館 講堂	359名
2022.11.29	第12回 技術者ラウンジ DOBOKU (対面, オンライン併用)	土木会館 講堂	18名
2022.11.29～12.1	第59回環境工学研究フォーラム	岩手県民情報センター	615名
2022.12.1	環境工学委員会一般公開シンポジウム	岩手県民情報センター	159名
2022.12.2	2022年度第1回「岩盤工学基礎講座:若手技術者のための岩盤力学」	オンライン開催	69名
2022.12.8&15	出前講座	芝浦工業大学工学部	17名
2022.12.9	景観・デザイン委員会 令和4年シンポジウム	ロイヤル劇場	124名
2022.12.9	土木と建築-連携への期待と展望	オンライン開催	448名
2022.12.9	2022年度第2回「岩盤工学基礎講座:若手技術者のための岩盤力学」	オンライン開催	69名
2022.12.9	D&I カフェトーク「鉄道の安全を支え続けて46年～地元富山で分岐器をつくり続ける」	オンライン開催	70名
2022.12.10	留学生対象企業説明会(オンライン)	土木会館 B会議室	129名
2022.12.10～11	第18回景観・デザイン研究発表会	岐阜大学	318名
2022.12.13	2022年度 関西地区・応用力学フォーラム(環境・防災・エネルギーの流体力学小委員会との合同開催)～災害時における流体と構造物の干渉メカニズム～	オンライン開催	78名
2022.12.13	土木学会デザイン賞 20周年記念 Talk sessions「土木発・デザイン実践の現場から」第17回 タバーにとらわれないダム of デザイン	オンライン開催	106名
2022.12.13	第10回鋼構造技術継承講演会～経験豊富な先人に学ぶ次世代への承継技術～	土木会館講堂およびオンライン開催	760名
2022.12.14	第40回建設マネジメント問題に関する研究発表・討論会	土木学会講堂およびオンライン開催	61名
2022.12.14	第18回水工学オンライン連続講演会	オンライン開催	239名
2022.12.14	第10回河川堤防技術シンポジウム	TKP 市ヶ谷およびオンライン開催	180名
2022.12.14	「土木分野におけるジオポリマー技術の実用化推進のための研究小委員会」成果報告会	オンライン開催	116名

2022.12.15	第 13 回維持管理セミナー―道路トンネル維持管理の現状と課題―	島根県立産業交流会館	74 名
2022.12.16	わたしたちのブレイクスルーストーリー～育児×セコカン両立座談会～	オンライン開催	103 名
2022.12.16	第 20 回岩盤力学イブニングセミナー	オンライン開催	123 名
2022.12.16	2022 年度第 3 回「岩盤工学基礎講座：若手技術者のための岩盤力学」	オンライン開催	58 名
2022.12.16	令和 4 年度構造工学第 2 回研究会「持論：構造工学の来し方・行く末」	オンライン開催	242 名
2022.12.20	第 4 回継続的契約管理セミナー（8 回シリーズ）	オンライン開催	260 名
2022.12.21	異分野技術者との交流会（第 23 回）	オンライン開催	76 名
2022.12.21	2022 年 9 月台湾東部の地震（M6.5, M6.9）に関する被害調査報告会	オンライン開催	173 名
2022.12.23	2022 年度第 4 回「岩盤工学基礎講座：若手技術者のための岩盤力学」	オンライン開催	69 名
2022.12.23	D & I カフェトーク「お母さんと手押し車 ～その先に見える風景～」	オンライン開催	56 名
2023.1.10	第 6 回 土木学会コンサルタント委員会 地方創生シンポジウム	鎌倉旧村上邸およびオンライン開催	234 名
2023.1.10	第 5 回継続的契約管理セミナー（8 回シリーズ）	オンライン開催	252 名
2023.1.11～12	第 49 回岩盤力学に関するシンポジウム	土木会館講堂他およびオンライン開催	121 名
2023.1.12	土木学会デザイン賞 20 周年記念 Talk sessions「土木発・デザイン実践の現場から」第 18 回 土木のデザインマネジメント	オンライン開催	162 名
2023.1.13	2022 年度第 5 回「岩盤工学基礎講座：若手技術者のための岩盤力学」	オンライン開催	67 名
2023.1.13	D & I カフェトーク「土木工事の現場監督を夢見て 25 年」	オンライン開催	75 名
2023.1.13&20	出前講座	京都大学大学院工学研究科	21 名
2023.1.16～23	2022 年度施工計画講習会「施工計画のポイントと最近の ICT 技術について」	オンライン開催	123 名
2023.1.17	JSCE2020 防災プロジェクト災害医療ワークショップ	TKP 四谷開催	25 名
2023.1.18	第 10 回流域管理と地域計画の連携に関するワークショップ	オンライン開催	605 名
2023.1.19	地震工学委員会 2022 年度 第 3 回研究会	土木学会開催	11 名
2023.1.20	「未来の土木コンテスト 2022」最終選考会・表彰式	日本科学未来館	120 名
2023.1.21	土木学会デザイン賞 2022 受賞者プレゼンテーション	オンライン開催	160 名
2023.1.23	応用力学講演会 2022	オンライン開催	76 名
2023.1.23～3.3	第 1 回インフラメンテナンス特選講義「インフラメンテナンスを通じて未来を目指す」	オンライン開催	863 名
2023.1.24	環境水理部会研究集会 2022（オンライン）	オンライン開催	59 名
2023.1.24	医療・防災分野と下水道が連携した未来のサニテーションに向けて	土木会館講堂およびオンライン開催	167 名
2023.1.24	土木学会応用力学委員会「計算力学×α小委員会」および(公財)科学技術交流財団第 3 回「建設技術のデジタル革新の活用に関する研究会」の合同セミナー	あいち産業科学技術総合センターおよびオンライン開催	156 名
2023.1.24	出前講座	北海道大学工学部	24 名
2023.1.25	土木学会デザイン賞 20 周年記念 Talk sessions「土木発・デザイン実践の現場から」第 19 回 マチの用水、ムラの用水	オンライン開催	165 名
2023.1.26	第 28 回地下空間シンポジウム	土木会館講堂他およびオンライン開催	270 名
2023.1.27	原子力土木委員会 公開講演会	オンライン開催	143 名

2023.1.27	D & I カフェトーク「土木な街歩きと地図」	オンライン開催	80 名
2023.1.31	土木学会デザイン賞 20 周年記念 Talk sessions「土木発・デザイン実践の現場から」第 20 回 美しい高架橋のデザイン	オンライン開催	230 名
2023.2.1	第 2 回 AI・データサイエンスセミナー	オンライン開催	432 名
2023.2.2	土木学会デザイン賞 20 周年記念 Talk sessions「土木発・デザイン実践の現場から」第 21 回 まちづくりと公共空間の再構築	オンライン開催	152 名
2023.2.7	令和 4 年度地盤工学セミナー	土木会館講堂およびオンライン開催	202 名
2023.2.10	第 12 回人にやさしい地下空間セミナー「特集：東日本大震災を捉えて－災害時における人の心をつかみ薄れゆく震災の記憶を呼び覚ます－」	オンライン開催	210 名
2023.2.10	D & I カフェトーク「D&I に満ちた土木業界を目指す！挑戦し続けるグローバルエンジニア」	オンライン開催	72 名
2023.2.15	第 6 回継続的契約管理セミナー（8 回シリーズ）	オンライン開催	259 名
2023.2.20～3.31	第 2 回インフラメンテナンス特選講義「道路橋のメンテナンス ～現場に学んだ経験より～」	オンライン開催	643 名
2023.2.20	令和四年度構造工学セミナー「構造工学の視点から見た建設 3D プリンティング技術の現状と課題」	オンライン開催	101 名
2023.2.20	JSCE2020 防災プロジェクト交通分野ワークショップ	土木学会開催	19 名
2023.2.20	2022 年度中四国地区応用力学フォーラム「広域斜面動態・安定シミュレーションの最前線」	広島大学およびオンライン開催	102 名
2023.2.21	「舗装工学ライブラリー18 ブロック系舗装入門」講習会	オンライン開催	40 名
2023.2.21	第 3 回 建設用ロボット技術セミナー	オンライン開催	169 名
2023.2.22	「締固めを必要とする高流動コンクリートの配合設計・施工指針（案）」に関する講習会	土木学会およびオンライン開催	161 名
2023.2.24	2021 年度河川災害に関するシンポジウム	オンライン開催	552 名
2023.2.24	D & I カフェトーク「「おうちで学ぶ土のはたらき」の先にめざすもの…」	オンライン開催	74 名
2023.2.27～28	第 2 回インフラメンテナンス・シンポジウム	オンライン開催	617 名
2023.2.28	橋守サミット 2023	オンライン開催	170 名
2023.2.28	第 19 回水工学オンライン連続講演会	オンライン開催	257 名
2023.2.28	第 3 回 AI・データサイエンスセミナー	オンライン開催	269 名
2023.3.2	土木学会全国大会 国際関連特別講演会フォローアップセミナー	土木会館 D 会議室(オンライン)	16 名
2023.3.3	土木学会応用力学委員会「計算力学× α 小委員会」NDE4.0 維持管理-これからの非破壊検査と構造モニタリング-	東京工業大学	102 名
2023.3.8	中部地区応用力学フォーラム「河川堤防の浸透・越水時挙動の数値解析に関するフォーラム」	オンライン開催	165 名
2023.3.8	第 112 回土木学会イブニングシアター	土木会館講堂	51 名
2023.3.9	2022 年度北海道地区・応用力学フォーラム～構造モニタリングの研究と動向、将来へのホンネ～	オンライン開催	185 名
2023.3.10	D & I カフェトーク「肉体労働のススメ」	オンライン開催	71 名
2023.3.13	令和 4 年度西部地区応用力学フォーラム「スパコンとデータサイエンスを援用したあたらしい物理エンジン」	九州大学およびオンライン開催	126 名
2023.3.14	第 21 回岩盤力学イブニングセミナー	オンライン開催	117 名
2023.3.15	第 7 回継続的契約管理セミナー（8 回シリーズ）	オンライン開催	225 名
2023.3.16	月面建設技術シンポジウム「宇宙開発における土木の役割」	土木学会講堂およびオンライン開催	710 名
2023.3.16	「衝撃作用に対する構造的照査法の基礎と応用」に関する講習会	オンラインおよび金沢商工会議所開催	139 名
2023.3.16	土木計画学ワンデイセミナー#105 地域公共交通ブラisingの新提案－運賃設定にまつわる固定観念を越えて	東京理科大学およびオンライン開催	260 名

	ー		
2023.3.16	第6回日台技術者座談会（オンライン）「台湾建設事情 こんなに違う日本と台湾」	土木会館 F 会議室	41 名
2023.3.20～4.14	第3回インフラメンテナンス特選講義「舗装のメンテナンス」	オンライン開催	890 名
2023.3.22～23	アプトの道イベント フォローアップセミナー	オンライン開催	292 名
2023.3.22	「橋梁の耐風設計のための数値流体解析ガイドライン」講習会	オンライン開催	53 名
2023.3.23	グリーントランスフォーメーション（GX）実現に向けた基本方針	土木学会 講堂およびオンライン開催	214 名
2023.3.27	土木計画学ワンデイセミナー#106 権利と効率のストック効果の理論と実践	土木学会 講堂およびオンライン開催	224 名
2023.3.27～28	2022 年制定コンクリート標準示方書講習会	一ツ橋ホール開催	358 名
2023.3.29	第4回 建設用ロボット技術セミナー	オンライン開催	171 名
2023.4.13	Frontiers of Concrete Technology, 5th JSCE Concrete Committee Webinar	オンライン開催	
2023.4.21	D & I カフェトーク「国際経験で広がった人生観」	オンライン開催	104 名
2023.4.21	第4回 AI・データサイエンスセミナー	オンライン開催	535 名
2023.4.24～25	2022 年制定 コンクリート標準示方書 発刊に伴う講習会（大阪会場）	大阪国際交流センター	232 名
2023.4.25	『鉄道高架橋デザイン』 出版記念トークセッションズ	土木会館講堂およびオンライン開催	654 名
2023.4.27	【対面参加】International Symposium on Extreme Precipitation and Floods／極端降水・極端洪水に関する国際シンポジウム	土木会館講堂およびオンライン開催	424 名
2023.4.27	地震工学委員会 2023 年度 第1回研究会～SDGs X 地震工学～	オンライン開催	763 名
2023.4.28	第20回水工学オンライン連続講演会	オンライン開催	472 名
2023.5.13	Salon on International Civil Engineers and Students in Japan: Job Hunting in Japan as a Foreign Engineer	土木会館講堂	63 名
2023.5.17	第13回木材利用シンポジウム～大手デベロッパーが始めた「まち」と「もり」とをつなぐ取組～	土木会館講堂およびオンライン開催	470 名
2023.5.19	全国土木弁論大会 2023「ことばの講座(第1回)」『音声言語入門：はなしことばへの意識』	オンライン開催	10 名
2023.5.19	第23回地震災害マネジメントセミナー	土木会館講堂およびオンライン開催	140 名
2023.5.22	「低炭素社会に向けたインフラのチャレンジ」(ハイブリッド形式)	土木会館 講堂	379 名
2023.5.22～23	2023 年度河川技術に関するシンポジウム	土木会館講堂およびオンライン開催	1170 名
2023.5.26	全国土木弁論大会 2023「ことばの講座(第2回)」『修辞技法入門：はなしことばの洗練』	オンライン開催	10 名
2023.5.27～28	第26回応用力学シンポジウム	中央大学後楽園キャンパス	426 名
2023.5.29	AI・データサイエンス特別シンポジウム「デジタルツイン」2023	オンライン開催	1000 名
2023.5.30	地震工学委員会 2023 年度 第2回研究会～小委員会活動報告～	土木学会講堂およびオンライン開催	313 名
2023.6.2	D & I カフェトーク「巣立ちの時…在籍していたことを誇れる会社に！」	オンライン開催	74 名
2023.6.2	「舗装工学ライブラリー18 ブロック系舗装入門」講習会	土木学会開催	38 名
2023.6.3～4	第67回土木計画学研究発表会（春大会）	オンライン開催	1456 名
2023.6.6	これだけは知っておきたい橋梁メンテナンスのための構造工学入門（実践編）講習会	土木学会開催	50 名
2023.6.7	トンネル・ライブラリー第33号「トンネルの地震被害と	土木学会 講堂およびオン	114 名

	耐震設計－山岳・シールド・開削トンネル－講習会	ライン開催	
2023.6.7	トンネル工学セミナー2023	オンライン開催	99 名
2023.6.8	令和 5 年度第 1 回構造工学研究会「AI と構造工学_40 年の変遷」	オンライン開催	303 名
2023.6.14	2023 年度建設業の働き方改革に関するシンポジウム	土木学会講堂およびオンライン開催	193 名
2023.6.16	D & I カフェトーク「土木界は写真家にとってブルーオーシャン」	オンライン開催	91 名
2023.6.23	第 13 回 技術者ラウンジ DOBOKU	土木会館講堂	7 名
2023.6.24	令和 5 年度土木史研究発表会シンポジウム「廣井勇と北海道の築港」	北海道大学およびオンライン開催	433 名
2023.6.24～25	第 43 回土木史研究発表会	北海道大学およびオンライン開催	372 名
2023.6.26	第 21 回水工学オンライン連続講演会	オンライン開催	427 名
2023.6.28	第 113 回土木学会イブニングシアター	文京シビックホール 小ホール	113 名
2023.6.28～30	第 48 回海洋開発シンポジウム	網走オホーツク・文化交流センター及びオンライン開催	2442 名
2023.6.30	第 48 回海洋開発シンポジウム	見学会 網走港・能取漁港湖口地区	27 名
2023.6.30	D & I カフェトーク「行く？帰る？大学教員の二拠点ライフ」	オンライン開催	80 名
2023.7.4	第 1 回 AI 先端技術 講演会	オンライン開催	174 名
2023.7.4	土木学会地下空間研究委員会第 9 期研究活動報告会	土木会館講堂およびオンライン開催	228 名
2023.7.7	全国土木弁論大会 2023「有馬優杯」	土木会館 講堂およびオンライン開催	33 名
2023.7.10	コンクリートライブラリー第 163 号 石炭ガス化スラグ細骨材を用いたコンクリートの設計・施工指針に関する講習会	土木学会講堂およびオンライン開催	93 名
2023.7.11	第 5 回 AI・データサイエンスセミナー	オンライン開催	682 名
2023.7.14	D & I カフェトーク「日本生まれ、日本育ち、ペルー人の女性土木技術者」	オンライン開催	98 名
2023.7.19	第 5 回 i-Construction の推進に関するシンポジウム	オンライン開催	219 名
2023.7.20	第 8 回土木史サロン 宝ものは土木の歴史にある	土木会館講堂開催	68 名
2023.7.22	オープンキャンパス土木学会 2023	土木学会 全館	357 名
2023.7.24～25	第 27 回鉄道工学シンポジウム	土木学会およびオンライン開催	77 名
2023.7.26～27	第 26 回橋梁等の耐震設計シンポジウム	土木学会およびオンライン開催	107 名
2023.7.28	D & I カフェトーク「みんな違うからみんないい。-高専で目指す D&I-」	オンライン開催	84 名
2023.8.1～9.30	セミナー「防災・減災への AI・IoT 技術の利活用入門講習会」(オンデマンド)	オンライン開催	136 名
2023.8.2	建設マネジメント委員会研究成果発表会及び表彰式	土木会館講堂およびオンライン開催	477 名
2023.8.3	セミナー「防災・減災への AI・IoT 技術の利活用入門講習会」(滋賀会場)	立命館大学	15 名
2023.8.4	第 26 回橋に関するシンポジウム	法政大学およびオンライン開催	172 名
2023.8.6	第 15 回土木と学校教育フォーラム	土木学会講堂	55 名
2023.8.7	「未来の土木コンテスト 2022」副賞	現場見学会 新東名高速道路 河内川橋工事	26 名
2023.8.8	「鋼橋の維持管理性・景観を向上させる技術」講習会	土木会館講堂およびオン	89 名

		ライン開催	
2023.8.9	セミナー「防災・減災への AI・IoT 技術の利活用入門講習会」(東京会場)	土木学会講堂	16 名
2023.8.10	第 22 回水工学オンライン連続講演会	土木会館講堂およびオンライン開催	647 名
2023.8.22	第 22 回「世界で活躍する日本の土木技術者シリーズ シンポジウム：バングラデシュ国カチプール・メグナ・グムティ橋梁およびジャムナ鉄道橋プロジェクト」	(ハイブリッド形式) 土木会館 講堂	421 名
2023.8.22	第 54 回夏期講習会	名古屋工学院専門学校	55 名
2023.8.23	第 114 回土木学会イブニングシアター	土木会館講堂	97 名
2023.8.28	地震工学委員会 2023 年度 第 3 回研究会～土木学会功績賞、論文奨励賞 受賞講演 および次世代地震工学融合研究チーム 活動報告～	土木学会講堂およびオンライン開催	355 名
2023.8.29	2023 年セミナー「土木学会による実務者のための耐震設計入門：基礎編」	土木学会講堂およびオンライン開催	71 名
2023.8.30～31	第 22 回木材工学研究発表会	土木会館講堂およびオンライン開催	882 名
2023.8.31～9.1	第 28 回舗装工学講演会	北海道科学大学開催	172 名
2023.8.31～9.1	環境水理部会研究集会 2023 in 気仙沼	気仙沼中央公民館	66 名
2023.8.31～9.1	第 58 回水工学に関する夏期研修会 A コース (河川・水文)	北海道大学開催	106 名
2023.8.31～9.1	第 58 回水工学に関する夏期研修会 B コース (海岸・港湾)	北海道大学開催	118 名
2023.9.5	第 22 回岩盤力学イブニングセミナー	オンライン開催	215 名
2023.9.7	シンポジウム「2023 年トルコ・シリア地震から学ぶ」	オンライン開催	49 名
2023.9.7～8	第 43 回地震工学研究発表会	沖縄県市町村自治会館およびオンライン開催	240 名
2023.9.8	D & I カフェトーク「ミッションは「彩と希望に満ちた世界をつくる」」	オンライン開催	76 名
2023.9.19～21	第 31 回地球環境シンポジウム	滋賀県立大学	339 名
2023.9.19～21	第 31 回地球環境シンポジウム 若手勉強会	滋賀県立大学	38 名
2023.9.19～21	第 31 回地球環境シンポジウム 一般公開シンポジウム	滋賀県立大学およびオンライン	196 名
2023.9.22	D & I カフェトーク「地方公務員ドボジョが思う楽しい仕事の進め方」	オンライン開催	85 名
2023.9.26～27	2023 年制定 コンクリート標準示方書 発刊に伴う講習会 (東京会場) 一ツ橋ホール	512 名	
2023.9.28～29	第 48 回土木情報学シンポジウム	土木学会講堂・AB 会議室 およびオンライン開催	386 名
2023.9.28	Joint Seminar on "Fly Ash and Blast Furnace Slag Blended Cement Concrete"	オンライン開催	
2023.10.2	カーボンニュートラル に向けたコンクリート分野の新技術活用に関する研究小委員会(234 委員会)の成果報告会、「コンクリート技術を活用したカーボンニュートラルの実現に向けて」に関する講習会	土木学会講堂およびオンライン開催	155 名
2023.10.3	土木計画学ワンデイセミナー#107 30 年先を見据えた交通計画 PART I : 30 年先を見据えた交通計画 30 年先に今の交通は何が変わるのか?	中央大学開催	19 名
2023.10.4	「FRP 複合構造の設計・維持管理に関する最新の調査報告」講習会	土木学会およびオンライン開催	38 名
2023.10.5～6	2023 年度構造工学における有限要素法の基礎と応用講習会	オンライン開催	74 名
2023.10.6	D & I カフェトーク「子どもたちが健やかに育つ社会を目指して」	オンライン開催	68 名
2023.10.10～11	2023 年制定 コンクリート標準示方書 発刊に伴う講習会 (大阪会場)	グランキューブ大阪	354 名

2023.10.13	GX 実現に向けての課題と解決策ーエネルギー産業の変革ー	土木学会 講堂およびオンライン開催	442 名
2023.10.13	第 115 回土木学会イブニングシアター	土木会館講堂	73 名
2023.10.17	第 14 回 技術者ラウンジ DOBOKU (対面, オンライン併用)	土木会館講堂	32 名
2023.10.17	第 44 回鋼構造基礎講座	土木学会講堂およびオンライン	74 名
2023.10.18	「斜面の災害に備える調査・対策」講習会	土木学会 講堂およびオンライン開催	53 名
2023.10.18,11.8,12.12	出前講座	北海道大学工学部	140 名
2023.10.19	第 6 回 AI・データサイエンスセミナー	オンライン開催	649 名
2023.10.19	「地盤・構造物の非線形解析法の検証と妥当性確認の方法-ガイドラインとその実践事例-」に関する講習会	オンライン開催	70 名
2023.10.20	2023 トンネル技術史講演会	土木学会講堂開催	34 名
2023.10.20	「3D プリンティング技術の土木構造物への適用に関する研究小委員会 (364 委員会)」成果報告会	土木学会講堂およびオンライン開催	62 名
2023.10.20	D & I カフェトーク「広がる仕事, 建設コンサルタントのこれから」	オンライン開催	79 名
2023.10.21	第 80 回環境システムシンポジウム	郡山市中央公民館	209 名
2023.10.21~22	第 51 回環境システム研究論文発表会	郡山市中央公民館	256 名
2023.10.23~24	地盤の地震応答解析-秋の講習会 2023-	土木学会講堂およびオンライン開催	41 名
2023.10.26	土木計画学ワンデイセミナー#107 30 年先を見据えた交通計画 PART II : 30 年先の交通はどのようなになるのか? (これから進むべき課題を議論)	中央大学開催	19 名
2023.10.27	第 23 回水工学オンライン連続講演会	オンライン開催	302 名
2023.11.1	第 1 期 連続レクチャーシリーズ「土木遺産修復技術の最前線」第 3 回レクチャー 千本ダムの堤体補強	土木会館講堂およびオンライン開催	533 名
2023.11.7	土木建設技術発表会 2023	土木会館講堂他およびオンライン開催	511 名
2023.11.14	海岸工学企画セッション 1	京都テルサ及びオンライン開催	149 名
2023.11.14	海岸工学企画セッション 2	京都テルサ及びオンライン開催	227 名
2023.11.14	海岸工学企画セッション 3	京都テルサ開催	49 名
2023.11.14	地球環境委員会・福島 WG 研究会	いわき産業創造館	128 名
2023.11.15	【交流会】第 4 回 A I・データサイエンスシンポジウム	KKR ホテル金沢開催	51 名
2023.11.15~16	第 4 回「A I・データサイエンスシンポジウム」	金沢大学およびオンライン開催	951 名
2023.11.15~17	第 70 回海岸工学講演会	京都テルサ及びオンライン開催	2352 名
2023.11.15~17	APAC2023, International Conference on Asia and Pacific Coasts	京都テルサ及びオンライン開催	1160 名
2023.11.16	第 45 回鋼構造基礎講座	土木学会講堂およびオンライン	64 名
2023.11.17	D & I カフェトーク「地方大学職員のホンネ, 語ります。」	オンライン開催	85 名
2023.11.17	水循環施設の合理的な地震・津波対策研究小委員会活動報告会	ブリーゼプラザおよびオンライン開催	236 名
2023.11.19	第 1 回「気象×土木の防災」	オンライン開催	20 名
2023.11.21~22	第 33 回トンネル工学研究発表会	土木学会講堂およびオンライン開催	372 名
2023.11.22&29	出前講座	芝浦工業大学工学部	46 名
2023.11.24	第 68 回土木計画学研究発表会・秋大会【委員会報告・招待講演】	ベルサール西新宿およびオンライン開催	124 名

2023.11.25～26	第 68 回土木計画学研究発表会・秋大会	東京都立大学	2,202 名
2023.11.27	「養生および混和材料技術に着目したコンクリート構造物の品質・耐久性確保システム研究小委員会」成果報告会	土木学会講堂およびオンライン開催	80 名
2023.11.27	コンクリート構造物の品質確保の試行工事に関する講習会	オンライン開催	279 名
2023.11.29 ～ 12.1	第 59 回環境工学研究フォーラム	KDDI 維新ホール	214 名
2023.11.30	環境工学委員会一般公開シンポジウム	KDDI 維新ホール	274 名
2023.11.30	留学生対象現場見学会（関西）	新名神高速道路高槻 JCT/IC- 八幡京田辺神 JCT/IC	14 名
2023.12.1	第 7 回若手技術者のための複合構造セミナー ～鋼とコンクリート～	土木会館およびオンライン	269 名
2023.12.1	【北海道】2023 年改訂 舗装標準示方書の改訂に関する講習会	北海道科学大学サテライトキャンパス	26 名
2023.12.1	D & I カフェトーク「「いい仕事してるぜ」と言えるドボク屋を増やしたい」	オンライン開催	84 名
2023.12.1&15	出前講座	京都大学大学院工学研究科	17 名
2023.12.4	「橋の計画と形式選定の手引き」講習会	オンライン開催	469 名
2023.12.6	2023 年セミナー「土木学会による実務者のための耐震設計入門：実践編」	土木学会 A 会議室およびオンライン開催	66 名
2023.12.7	応用力学講演会 2023	土木学会講堂及びオンライン開催	241 名
2023.12.8	土木学会景観・デザイン委員会 2023 年シンポジウム～生きられる地域の風景の実現に向けて～	東京大学 伊藤謝恩ホール	192 名
2023.12.9～10	第 19 回景観・デザイン研究発表会	中央大学	528 名
2023.12.9	留学生対象企業説明会（オンライン）	土木会館講堂他	83 名
2023.12.11	アゲールシンポジウム	大阪中之島美術館ホール	181 名
2023.12.11	第 23 回岩盤力学イブニングセミナー	オンライン開催	211 名
2023.12.12	水工学講演会 特別講演会	大阪中之島美術館ホール	181 名
2023.12.12～14	第 30 回鉄道技術・政策連合シンポジウム (J-RAIL2023)	国立オリンピック記念青少年総合センター	972 名
2023.12.13	令和 5 年度第 2 回構造工学研究会「P C 橋の変遷－つくる時代から魅力ある維持管理の時代へ－」	土木学会およびオンライン開催	505 名
2023.12.14	第 41 回建設マネジメント問題に関する研究発表・討論会	土木学会講堂およびオンライン開催	104 名
2023.12.14	【東京】2023 年改訂 舗装標準示方書の改訂に関する講習会	土木学会	38 名
2023.12.15	D & I カフェトーク「風土が育む個人のプロフェッション」	オンライン開催	78 名
2023.12.17	Host Senpai キックオフミーティング	土木会館講堂	22 名
2023.12.18	関西地区・応用力学フォーラム～データ科学を利用した災害予測～	オンライン開催	178 名
2023.12.18	安全問題討論会'23	土木学会開催	65 名
2023.12.19	第 11 回鋼構造技術継承講演会～経験豊富な先人に学ぶ次世代への承継技術～	土木会館講堂およびオンライン開催	632 名
2023.12.21	第 82 回環境システムシンポジウム	郡山市中央公民館	309 名
2024.1.9	令和 6 年能登半島地震（M7.6）に関する速報会	オンライン開催	918 名
2024.1.9～15	令和 6 年能登半島地震（M7.6）に関する速報会（後日配信）	オンライン開催	4846 名
2024.1.11	第 14 回「インフラ・ライフライン減災対策シンポジウム」	九州大学学医学部百年記念講堂	51 名

2024.1.12	D & I カフェトーク「育児休暇を経験したパパのミッション」	オンライン開催	69 名
2024.1.15～29	2023 年度施工計画講習会「施工計画のポイントと最近の ICT の動向について」	オンライン開催	
2024.1.17	第 116 回土木学会イブニングシアター	土木会館講堂	73 名
2024.1.18	第 7 回 AI・データサイエンスセミナー	オンライン開催	571 名
2024.1.19	第 11 回河川堤防技術シンポジウム	TKP ガーデンシティ PREMIUM 品川高輪口	170 名
2024.1.19	出前講座	九州大学工学部	80 名
2024.1.20	土木学会デザイン賞 2023 受賞者プレゼンテーション・講評	土木学会講堂およびオンライン開催	170 名
2024.1.20	日本語サロンキックオフ	土木会館講堂	17 名
2024.1.23	気候変動問題の解決に向けた下水道の果たす役割	土木会館講堂およびオンライン開催	272 名
2024.1.23	第 29 回地下空間シンポジウム 現場見学会	神田川・環状七号線地下調節池	14 名
2024.1.24	第 29 回地下空間シンポジウム	土木学会講堂およびオンライン	155 名
2024.1.25	【大阪】2023 年改訂 舗装標準示方書の改訂に関する講習会	ドーンセンター大阪	15 名
2024.1.26	土木グローバル化総合委員会座談会「土木界のグローバル化への取り組み」	(対面, オンライン)	371 名
2024.1.26	D & I カフェトーク「Lean In で行こう 坑内労働規制緩和後世代の私のこれから」	オンライン開催	72 名
2024.1.27	令和 6 年能登半島地震津波に関する調査報告会	TKP ガーデンシティ PREMIUM 金沢駅西口及びオンライン	975 名
2024.1.31～2.1	第 14 回構造物の衝撃問題に関するシンポジウム	土木学会	106 名
2024.2.2	広報のあり方に関する調査研究報告会～次世代に届く土木広報～	土木学会講堂およびオンライン	
2024.2.5	建設 DX -ダム本体建設における CIM の設計・施工・維持管理への一貫利用-	土木学会講堂およびオンライン開催	412 名
2024.2.9	D & I カフェトーク「必要とされること「カレタス」,「彼助」になる」	オンライン開催	68 名
2024.2.13	第 23 回「世界で活躍する日本の土木技術者シリーズ シンポジウム:アフリカのインフラプロジェクトとその事業効果」	(対面, オンライン併用) 土木会館 講堂	380 名
2024.2.15	第 14 回維持管理セミナー淀川左岸線	関西大学 梅田キャンパス KND AI Me RISE 701 教室 開催	81 名
2024.2.16	下水の道を極める一序ー	土木会館講堂およびオンライン開催	287 名
2024.2.16	土木偉人フォトウォーク in 横浜	日本大通り駅～横浜公園など関内・桜木町近辺	10 名
2024.2.26	「土木広報大賞 2023」表彰式	土木学会 講堂	71 名
2024.2.27	令和五年度構造工学セミナー「次世代エネルギーに向けたインフラ整備への期待」	東京大学およびオンライン開催	128 名
2024.2.28～29	第 3 回インフラメンテナンス・シンポジウム	オンライン開催	1,320 名
2024.2.29	橋守サミット 2024	オンライン開催	321 名
2024.3.1	第 2 回「気象×土木の防災」	オンライン開催	
2024.3.1	地震工学委員会 2023 年度 第 4 回研究会～建築耐震研究の最先端～	土木学会講堂およびオンライン開催	
2024.3.1	第 21 回地震防災技術懇話会	土木学会講堂	
2024.3.4	第 24 回岩盤力学イブニングセミナー	オンライン開催	183 名
2024.3.8	D & I カフェトーク「土木技術者、町長になる」	オンライン開催	

2024.3.13	土木計画学ワンデイセミナー#108 インフラ PPP 事業における金融の果たす役割	土木学会講堂およびオンライン開催	300 名
2024.3.18	「火力発電所由来 CO2 の利用に関する技術動向と土木分野における課題」成果報告会	土木学会講堂およびオンライン開催	228 名
2024.3.23	連続シンポジウム「近世オランダ治水史」にみる土木工学と歴史学の接点	土木学会講堂およびオンライン開催	344 名
2024.3.23	【オンライン参加】2023 年度 地下空間の防災・減災セミナー	オンライン開催	232 名
2024.3.24	「土工ってなんだ？」～“あたりまえ”と土木～ プログラミングでロボットを動かそう	豊洲文化センター	

10. 論説・オピニオンの執筆者と題名の一覧（2014/7～2024/8）

回・公開月		種類	題 名	執筆者
第86回(1)	2014年7月	委員論説	【シリーズ】「50年後の国土への戦略」 将来に向けての学会活動のあり方 ―ひとつの提案―	藤野 陽三
第86回(2)	2014年7月	委員論説	「あるべき論」と「実践活動」のバランスを	山本 卓朗
第87回(1)	2014年8月	委員論説	【シリーズ】「50年後の国土への戦略」 人員削減などの発注者体制の変化に応じた制度の変革を 発注者は意志を示せ	田崎 忠行
第87回(2)	2014年8月	委員論説	相思相愛の地方空港間連携	田村 亨
第88回(1)	2014年9月	委員論説	【シリーズ】「50年後の国土への戦略」 地域活性化に向けて	野崎 秀則
第88回(2)	2014年9月	委員論説	自治体土木技術者の奮起を	奥田 剛章
第89回(1)	2014年10月	委員論説	【シリーズ】「50年後の国土への戦略」 治水計画のイノベーション	村田 和夫
第89回(2)	2014年10月	委員論説	「当たり前」を疑うことは問題解決の第一歩	岡村 美好
第90回(1)	2014年11月	委員論説	【シリーズ】「50年後の国土への戦略」 グローバル化時代を担う技術者育成に求められる大学教育	日野 伸一
第90回(2)	2014年11月	委員論説	現場第一主義の技術者を如何に育てるか	國生 剛治
第91回(1)	2014年12月	委員論説	【シリーズ】「50年後の国土への戦略」 地域経営による場所の確立	竹内 直文
第91回(2)	2014年12月	委員論説	インフラ研究所技術者は問題解決まで主導を	濃添 元宏
第92回(1)	2015年1月	委員論説	【シリーズ】「50年後の国土への戦略」 駅のリノベーションに立体鉄道制度を	山崎 隆司
第92回(2)	2015年1月	委員論説	官と民の関係はどう変わるのか？	望月常好
第93回(1)	2015年2月	委員論説	【シリーズ】「50年後の国土への戦略」 待ったなし！地籍調査	清水 英範
第93回(2)	2015年2月	委員論説	海を守る ―我が国の海洋管理―	藤田 武彦
第94回(1)	2015年3月	委員論説	【シリーズ】「50年後の国土への戦略」 地方の将来を見通した道路ネットワークのあり方	宮田 年耕
第94回(2)	2015年3月	委員論説	NPOの活動には経営感覚が必要だ	木村 亮
第95回(1)	2015年4月	委員論説	【シリーズ】「50年後の国土への戦略」 人材育成と大学教育私論	二羽 淳一郎
第95回(2)	2015年4月	依頼論説	「饒舌なサムライであれ」～若き日本の土木技術者たちへ～	松岡 孝哉
第96回(1)	2015年5月	委員論説	【シリーズ】「50年後の国土への戦略」 プロダクトの時代からプロセスの時代への制度設計	田村 亨
第96回(2)	2015年5月	依頼論説	日本再構築、四つの階層で ―成熟社会でとる針路―	大西 博文
第97回(1)	2015年6月	委員論説	港湾と都市―今後の協働のあり方	奥田 剛章
第97回(2)	2015年6月	依頼論説	I C T技術の将来の可能性と日本の問題	坂根 正弘
第98回(1)	2015年7月	委員論説	ダイバーシティ&インクルージョンは持続可能な社会の礎である	岡村 美好
第98回(2)	2015年7月	依頼論説	これからの市民交流のあり方を考える	樋口 明彦
第99回(1)	2015年8月	委員論説	“担い手3法”を理解して建設業の広報活動強化を	山本 卓朗
第99回(2)	2015年8月	委員論説	公共事業の担い手確保と育成について	村田 和夫
第100回(1)	2015年9月	委員論説	大学入試制度改革と土木工学教育について	日野 伸一
第100回(2)	2015年9月	委員論説	建設業を取り巻く環境について現場目線で考えたこと	柿谷 達雄

回・公開月		種類	題 名	執筆者
第101回(1)	2015年10月	委員論説	災害リスク評価の徹底と社会的共有による防災・減災の強化 ー水害から見るー	関 克己
第101回(2)	2015年10月	委員論説	学問の世界における社会実装の価値	福士 謙介
第102回(1)	2015年11月	委員論説	公共インフラへのコンセッション方式導入における課題と土木分野の役割	大川 尚哉
第102回(2)	2015年11月	委員論説	このままでよいのか、中央官庁街 ー二人の外国人建築家に思いを馳せて	清水 英範
第103回(1)	2015年12月	委員論説	コンサルタント技術者の育成について思うこと	松井 弘
第103回(2)	2015年12月	委員論説	交通インフラの海外展開	岡田 光彦
第104回(1)	2016年1月	委員論説	土木・建築の境界領域の再考	山崎 隆司
第104回(2)	2016年1月	委員論説	ネパール・ゴルカ地震後の混乱に想うこと	小長井 一男
第105回(1)	2016年2月	委員論説	地方都市中心部の再生にむけて	望月 明彦
第105回(2)	2016年2月	委員論説	土木界の広報について	依田 照彦
第106回(1)	2016年3月	委員論説	現場の魅力はここにあり	柿谷 達雄
第106回(2)	2016年3月	委員論説	次世代育成は土木技術者の仕事	須田 久美子
第107回(1)	2016年4月	委員論説	災害応急対策における意思決定機能の強化	関 克己
第107回(2)	2016年4月	委員論説	「2℃未満」目標と建設業	松岡 譲
第108回(1)	2016年5月	委員論説	点検の効率化と信頼性向上に向けた技術開発について	芝村 善治
第108回(2)	2016年5月	委員論説	日本経済の活性化と広域交通社会基盤の再整備について	横田 耕治
第109回(1)	2016年6月	委員論説	カリブ諸島と気候変動	岡田 光彦
第109回(2)	2016年6月	依頼論説	海の生物多様性の保全とグリーン・インフラ	清野 聡子
第110回(1)	2016年7月	委員論説	土木の学際性、国際性再考	小長井 一男
第110回(2)	2016年7月	委員論説	多様な学術連携による防災・減災への期待	塚田 幸広
第111回(1)	2016年8月	委員論説	まわり道のキャリアも支える土木学会に	山田 菊子
第111回(2)	2016年8月	委員論説	建設コンサルタント業務の効率化について	松井 弘
第112回(1)	2016年9月	委員論説	高齢者が健康的に生活できる東京都心部の街づくり	望月 明彦
第112回(2)	2016年9月	委員論説	シリーズ企画【若者へのメッセージ】エンジニアリングデザインのすすめ	依田 照彦
第113回(1)	2016年10月	委員論説	ダッカ・テロ事件犠牲者へのレクイエム	内村 好
第113回(2)	2016年10月	委員論説	社会インフラ関連事業における公益性と事業性との両立について	大川 尚哉
第114回(1)	2016年11月	委員論説	女性の坑内労働規制の緩和による更なる女性活躍推進	須田 久美子
第114回(2)	2016年11月	委員論説	高速道路の耐震補強の推進について（熊本地震を受けて）	芝村 善治
第115回(1)	2016年12月	依頼論説	2030年に向けたレジリエントな社会づくり	小池 俊雄
第115回(2)	2016年12月	委員論説	社会資本整備に理念と共感を	横田 耕治
第116回(1)	2017年1月	委員論説	廣井勇に学ぶ「憧れ」を持つことの大事さ	藤野 陽三
第116回(2)	2017年1月	依頼論説	豊かさを目標とするインフラ整備	馬奈木 俊介
第117回(1)	2017年2月	委員論説	土木と建築との統合	上田 多門

回・公開月		種類	題 名	執筆者
第117回(2)	2017年2月	委員論説	社会とともに歩む土木学会	栂木 洋子
第118回(1)	2017年3月	委員論説	「土木」と「土」	小松 登志子
第118回(2)	2017年3月	委員論説	神戸開港150年をむかえて	豊田 巖
第119回(1)	2017年4月	委員論説	日本人博士人材が不足しています	舘石 和雄
第119回(2)	2017年4月	依頼論説	「地」を大切に「克災」し「減災ルネサンス」で未来を拓く	福和伸夫
第120回(1)	2017年5月	委員論説	持続可能な開発目標（SDGs）の意味	福士 謙介
第120回(2)	2017年5月	委員論説	市町村の長寿命化修繕計画策定に関わって	山口 栄輝
第121回(1)	2017年6月	委員論説	これからを担う土木技術者は頼もしい	中村 光
第121回(2)	2017年6月	依頼論説	女性土木技術者のキャリア形成に共感し、応援しよう	岩熊まき
第122回(1)	2017年7月	委員論説	【若者へのメッセージ】技術者資格取得の“ススメ”	内村 好
第122回(2)	2017年7月	依頼論説	将来の変化に対応する治水適応策の早期実施・展開を	湧川 勝己
第123回(1)	2017年8月	委員論説	インフラの維持管理更新 ―将来世代への責任を果たそう―	藤野 陽三
第123回(2)	2017年8月	委員論説	日本建設技術の世界標準化	上田 多門
第124回(1)	2017年9月	委員論説	「土木の魅力」をもっと伝えよう！～担い手確保に本気の取り組みを～	栂木 洋子
第124回(2)	2017年9月	委員論説	「神戸港将来構想」について	豊田 巖
第125回(1)	2017年10月	委員論説	持続的なインフラの維持管理にむけて	舘石 和雄
第125回(2)	2017年10月	委員論説	第8回アジア土木技術国際会議（CECAR8）に向けて	茅野 正恭
第126回(1)	2017年11月	委員論説	学会名称を想う	山口 栄輝
第126回(2)	2017年11月	依頼論説	建築と土木をつなぐ愉しみ―学連携の意義	伊藤毅
第127回(1)	2017年12月	委員論説	今世デンマーク女子学生事情～オルボー大学土木工学科	小松 登志子
第127回(2)	2017年12月	委員論説	社会資本整備の意義 ～少子高齢化社会に再び考える～	清水 喜代志
第128回(1)	2018年1月	委員論説	社会資本維持管理はもはや国全体の課題～社会資本アセットマネジメントのすすめ～	赤木 寛一
第128回(2)	2018年1月	委員論説	多様性を力にする土木界へ	飯島 玲子
第129回(1)	2018年2月	委員論説	災害リスクと超高齢社会の防災	寶 馨
第129回(2)	2018年2月	委員論説	マニュアル万能主義を憂える	長尾 哲
第130回(1)	2018年3月	委員論説	災害の示唆に気づく感性を磨こう	常田 賢一
第130回(2)	2018年3月	依頼論説	国際建設契約の難しさ ―FIDIC約款の改訂と日本の紛争解決文化―	小泉 淑子
第131回(1)	2018年4月	委員論説	地方自治体の土木系職員の技術力 ―合意形成力―	難波 喬司
第131回(2)	2018年4月	委員論説	若者に防災を通じて土木をアピール	藤山 秀章
第132回(1)	2018年5月	委員論説	完全自動運転と事業評価手法	三浦 真紀
第132回(2)	2018年5月	委員論説	建設業における技術開発部門の生産性向上について	三島 徹也
第133回(1)	2018年6月	委員論説	「今日はこれで帰ります」～土木界から働き方改革を進めよう～	渡辺 弘子
第133回(2)	2018年6月	委員論説	科学技術ジャーナリズムと土木	赤木 寛一

回・公開月		種類	題 名	執筆者
第134回(1)	2018年7月	委員論説	無意識を意識する ～アンコンシャス・バイアスへの気付き～	飯島 玲子
第134回(2)	2018年7月	依頼論説	瀬戸の島々と神戸	加藤琢二
第135回(1)	2018年8月	委員論説	先端技術を取り入れた生産性向上で、建設業のさらなる魅力向上へ	茅野 正恭
第135回(2)	2018年8月	委員論説	浪江町の原子力災害、ふるさととしての復興	清水 喜代志
第136回(1)	2018年9月	委員論説	超過洪水への備えと河川整備	寶 馨
第136回(2)	2018年9月	委員論説	デジタル化情報社会で本質を見誤らない	常田 賢一
第137回(1)	2018年10月	委員論説	土砂災害について考える	長尾 哲
第137回(2)	2018年10月	委員論説	景観づくりにおける水平的協働	難波 喬司
第138回(1)	2018年11月	委員論説	中小建設業の重要性をもっと語ろう	藤山 秀章
第138回(2)	2018年11月	委員論説	長期保証制度と技術力評価	三浦 真紀
第139回(1)	2018年12月	委員論説	有料道路コンセッションにおけるリビングラボ ～愛知アクセラレートフィールド～	三島 徹也
第139回(2)	2018年12月	依頼論説	中国広東・香港・マカオ大湾区戦略及び日中インフラ建設領域における提携	戴 建国
第140回(1)	2019年1月	委員論説	未来をつくるもの ～土木×2+人～	渡辺 弘子
第140回(2)	2019年1月	委員論説	土木現場の映像を撮り、継承しよう	塚田 幸広
第141回(1)	2019年2月	委員論説	観光地域づくりと社会資本政策	石田 東生
第141回(2)	2019年2月	委員論説	防災学習と土木	浅沼 加代子
第142回(1)	2019年3月	委員論説	無限の可能性のある女性研究者のたまごの背中を押してください	池本 良子
第142回(2)	2019年3月	委員論説	災害現場におけるヒトとモノの輸送の意義	小野 憲司
第143回(1)	2019年4月	委員論説	先ずは利用者の目線で捉え、そして技術者目線でさらに腕を磨こう！～構造物のさらなる安全確保に向けて～	鎌田 敏郎
第143回(2)	2019年4月	委員論説	建設コンサルタントの働き方改革	中村 哲己
第144回(1)	2019年5月	委員論説	コンクリート構造物の建設に関わる生産性向上に思うこと	前川 宏一
第144回(2)	2019年5月	委員論説	人間が暮らす都市と土木工学	青山 彰久
第145回(1)	2019年6月	委員論説	提言「22世紀の国づくり」から考える22世紀に誇る土木	風間 聡
第145回(2)	2019年6月	委員論説	土木技術者の専門分野の多様性 一文系人材の活用ー	田中 真弓
第146回	2019年7月	依頼論説	脱炭素・気候変動適応社会を目指して	原澤 英夫
第147回(1)	2019年8月	依頼論説	水害のソフト対策における情報の縮約とユーザビリティの向上	松田 曜子
第147回(2)	2019年8月	依頼論説	色彩から考える土木景観	藤本 英子
第148回(1)	2019年9月	委員論説	土木工学と大学入試	小宮 一仁
第148回(2)	2019年9月	委員論説	「公園は誰のもの？」パークマネジメントからのまちづくり	岡野 郊子
第149回(1)	2019年10月	委員論説	これからの「働き方」を決めるのは君たちだ！	佐藤 健人
第149回(2)	2019年10月	委員論説	新技術が実装されるメカニズムが面白くて深い	藤田 光一
第150回(1)	2019年11月	委員論説	留学生受け入れの大競争時代の現状とその対応策	大津 宏康

回・公開月		種類	題 名	執筆者
第150回(2)	2019年11月	委員論説	改めて問いたい、「大学での国際化とかグローバル化とか」	山田 均
第151回(1)	2019年12月	委員論説	土木技術は夢を与えているか	高橋 知道
第151回(2)	2019年12月	委員論説	人口減少時代の経済発展と社会資本整備に必要な視点	丸山 隆英
第152回(1)	2020年1月	委員論説	Society5.0、スマートシティと都市計画	石田 東生
第152回(2)	2020年1月	委員論説	ICT活用におけるヒトと機械の協働 ? 港湾のデジタル化、スマート化を事例として -	小野 憲司
第153回(1)	2020年2月	委員論説	土木界のブランディング	浅沼 加代子
第153回(2)	2020年2月	委員論説	若者たちの力で再生可能エネルギーの利用推進を	池本 良子
第154回(1)	2020年3月	委員論説	道路とエネルギーインフラの融合	三浦 真紀
第154回(2)	2020年3月	委員論説	医療分野の治験制度に学ぼう! ～構造物点検への新技術導入に向けて～	鎌田 敏郎
第155回(1)	2020年4月	委員論説	情報化時代の道場と稽古を考える	前川 宏一
第155回(2)	2020年4月	委員論説	地震発生時における建設コンサルタントのリスク管理と危機管理	中村 哲己
第156回	2020年5月	委員論説	コロナウイルス感染拡大下での雑感	戸塚 奈津子
第157回(1)	2020年6月	委員論説	J R東日本の鉄道駅乗車人員から考える	浅見 郁樹
第157回(2)	2020年6月	委員論説	建設業においてインフラのデジタルトランスフォーメーション(DX)を実現するためには	手塚 広明
第158回(1)	2020年7月	委員論説	若者よ、イノベーションを起こせ	佐藤 健人
第158回(2)	2020年7月	委員論説	「新しい生活様式」を支え・導く、社会インフラの新たな活用に向けて	岡野 郊子
第159回(1)	2020年8月	委員論説	メンテナンスとロボット	小宮 一仁
第159回(2)	2020年8月	委員論説	流域治水に内包される「不利益配分問題」に土木の総合力を	藤田 光一
第160回(1)	2020年9月	委員論説	2040年-2050年のインフラ整備 -「塗り絵の世界」から「白地のキャンバスに絵を描く世界」へのパラダイムシフト	大津 宏康
第160回(2)	2020年9月	委員論説	超高齢化時代の社会資本の在り方	高橋 知道
第161回(1)	2020年10月	依頼論説	COVID-19と土木・建築—デジタルで代替されない空間をつくる—	牧紀男
第161回(2)	2020年10月	委員論説	グローバルサプライチェーンの再構築を後押しする物流インフラの整備	丸山 隆英
第162回(1)	2020年11月	委員論説	公平な負担という理念と道路利用のDX	三浦 真紀
第162回(2)	2020年11月	委員論説	山岳トンネル工事における女性技能者活躍の可能性	阿部 友美
第163回(1)	2020年12月	委員論説	スーパーシティ実現のために土木技術者のあるべき姿	手塚 広明
第163回(2)	2020年12月	委員論説	文系的知識習得の勧め	戸塚 奈津子
第164回(1)	2021年1月	委員論説	あらためて復旧と復興を考える	浅見 郁樹
第164回(2)	2021年1月	委員論説	東日本大震災と技術者～後世へ伝えていくことと土木の役割	島村 亜紀子
第165回(1)	2021年2月	委員論説	わたしが考える土木工学の50年の歩み ～闇夜の河川の水位予報～	山田 正
第165回(2)	2021年2月	委員論説	Society5.0時代における建設コンサルタント技術者の役割	秋葉 努
第166回(1)	2021年3月	委員論説	塩素消毒百年と二人の医師のこと	浅見 真理
第166回(2)	2021年3月	委員論説	橋梁の設計について	梶木 洋子

回・公開月		種類	題 名	執筆者
第167回(1)	2021年4月	委員論説	都市沿岸域の恵みと持続性を高めよう	佐々木 淳
第167回(2)	2021年4月	委員論説	近未来の建設現場の実現に向けて	坂田 昇
第168回(1)	2021年5月	委員論説	危機の中のインフラ	羽藤 英二
第168回(2)	2021年5月	委員論説	先人に学ぶ ～大阪港150年史から～	徳平 隆之
第169回(1)	2021年6月	依頼論説	熊本地震から5年 臨機の対応は広範な経験知・学習知から	森田 康夫
第169回(2)	2021年6月	委員論説	学び直しのすすめ	渦岡 良介
第170回(1)	2021年7月	委員論説	リスク、安全率、そして予防的アプローチ	浅見 真理
第170回(2)	2021年7月	委員論説	危機にあるレディーミクストコンクリートを考える	坂田 昇
第171回(1)	2021年8月	委員論説	人口減少下における留学生教育と高度外国人材の育成	佐々木 淳
第171回(2)	2021年8月	委員論説	土木の魅力を伝えたい	梶木 洋子
第172回(1)	2021年9月	委員論説	究極の危機管理と流域治水	山田 正
第172回(2)	2021年9月	委員論説	着実なインフラ整備・大阪港夢洲の場合	徳平 隆之
第173回(1)	2021年10月	依頼論説	高速道路は道路の無料公開原則の対象か？	中田 勉
第173回(2)	2021年10月	委員論説	テレワーク環境におけるコンプライアンス・技術者倫理について	秋葉 努
第174回(1)	2021年11月	委員論説	モネたちの復興	羽藤 英二
第174回(2)	2021年11月	委員論説	現場第一線に携わる土木技術者としてのインフラDXに対する心構え	伊藤 正秀
第175回(1)	2021年12月	委員論説	2024年の建設業に期待すること	阿部 友美
第175回(2)	2021年12月	委員論説	「スマートシティ」について考えてみよう	中野 信悟
第176回(1)	2022年1月	委員論説	大学における教育のDX化	吉田 秀典
第176回(2)	2022年1月	委員論説	社会インフラ整備・運営における価値創造の加速	上田 康浩
第177回(1)	2022年2月	委員論説	D&Iを支える都市インフラとは？	太田 雅史
第177回(2)	2022年2月	委員論説	ダイバーシティ&インクルージョンについて ～働き方の動向を交えて～	田中 茂義
第178回(1)	2022年3月	委員論説	名古屋大学の国際環境人材育成プログラム	永石 雅史
第178回(2)	2022年3月	委員論説	社会の変化に応じて進化する港湾	水谷 誠
第179回(1)	2022年4月	委員論説	流域治水が求める新しいガバナンス	多々納 裕一
第179回(2)	2022年4月	委員論説	流域治水とリスクの見える化	金尾 健司
第180回(1)	2022年5月	委員論説	地方圏における公共交通サービスの再構築を目指して	奥嶋 政嗣
第180回(2)	2022年5月	委員論説	土木現場におけるダイバーシティ&インクルージョン（D&I）の推進	阿部 友美
第181回(1)	2022年6月	委員論説	技術の伝承・人材の育成～先輩技術者としての責務	伊藤 正秀
第181回(2)	2022年6月	委員論説	建設コンサルタント業界における人材育成についての私見	中野 信悟
第182回(1)	2022年7月	委員論説	理工系分野におけるダイバーシティ&インクルージョンについて	吉田 秀典
第182回(2)	2022年7月	委員論説	サステナブル・デジタル田園都市	太田 雅史
第183回(1)	2022年8月	委員論説	イノベーションと人材育成	田中 茂義

回・公開月		種類	題 名	執筆者
第183回(2)	2022年8月	委員論説	道路インフラの将来について	上田 康浩
第184回(1)	2022年9月	委員論説	土木のビッグピクチャーに寄せて	水谷 誠
第185回(1)	2022年10月	委員論説	健康影響予測評価についてーコンクリートと人と環境とー	浅見 真理
第185回(2)	2022年10月	委員論説	ダム操作の高度化	金尾 健司
第186回(1)	2022年11月	依頼論説	土は資源であることの情報発信に向けて	高野 昇
第186回(2)	2022年11月	委員論説	日本の輸出振興と港湾	池田 薫
第187回(1)	2022年12月	委員論説	健全な水循環・水環境に向けて	古米 弘明
第187回(2)	2022年12月	委員論説	越境しあうインフラガバナンスへ向けて	多々納 裕一
第188回(1)	2023年1月	委員論説	建設材料におけるGXとDX	石田 哲也
第188回(2)	2023年1月	委員論説	2050年に向けて、長持ちする土木構造物を建設する意義を考える	岩城 一郎
第189回(1)	2023年2月	委員論説	環境に配慮した気候変動の新たな緩和策に向けて	中山 恵介
第189回(2)	2023年2月	委員論説	ITツールの活用が求められる建設コンサルタントの人材育成	上村 俊英
第190回(1)	2023年3月	依頼論説	若手へのラブレター	濱 慶子
第190回(2)	2023年3月	委員論説	「良いものを作ろう」という気持ち ～品質の確保と向上につなげて～	橋本 有美子
第191回(1)	2023年4月	委員論説	都市における賢い雨水管理へ	古米 弘明
第191回(2)	2023年4月	委員論説	人口減少時代の水道とフューチャーデザイン	浅見 真理
第192回(1)	2023年5月	依頼論説	メンテナンス技術の価値に適切な評価を	水口 和之
第192回(2)	2023年5月	委員論説	賃上げをするために	池田 薫
第193回(1)	2023年6月	依頼論説	地質リスクマネジメントと地質・地盤技術者の役割	田中 誠
第193回(2)	2023年6月	委員論説	カーボンニュートラル社会の実現に向けたコンクリート工学の挑戦	石田 哲也
第194回(1)	2023年7月	委員論説	地域のインフラメンテナンスは産学官民の総力戦で	岩城 一郎
第194回(2)	2023年7月	委員論説	河川堤防の構造物周りの強靱化に期待する	上村 俊英
第195回(1)	2023年8月	委員論説	カーボンニュートラルの加速と生物多様性の保全	中山 恵介
第195回(2)	2023年8月	委員論説	伝わるために大切なこと	橋本 有美子
第196回(1)	2023年9月	委員論説	大学教員が「橋の日」に感じたこと	穴見 健吾
第196回(2)	2023年9月	委員論説	複雑な問題の解決のために「総合的な力を発揮できる人と組織」をつくる	石井 一英
第197回(1)	2023年10月	依頼論説	進化する下水道	岡久 宏史
第197回(2)	2023年10月	委員論説	カーボンニュートラルに向けて鉄道の果たす役割と施策	今井 政人
第198回(1)	2023年11月	委員論説	インフラ建設DXに想うこと	井上 昭生
第198回(2)	2023年11月	委員論説	杉本昌隆八段の指導法	木村 嘉富
第199回(1)	2023年12月	依頼論説	学生は主体性がないのではなく、知らないだけだー学生小委員会設立から1年を振り返ってー	水谷 昂太郎
第199回(2)	2023年12月	委員論説	自然環境と再生可能エネルギー	楠見 晴重

回・公開月		種類	題 名	執筆者
第200回(1)	2024年1月	委員論説	技術者・研究者の研鑽の場としての土木学会	下村 匠
第200回(2)	2024年1月	委員論説	河川維持管理の高度化に向けて	田村 秀夫
第201回(1)	2024年2月	委員論説	フェーズフリーの発想	土橋 浩
第201回(2)	2024年2月	依頼論説	ノルウェー、透明な世界から日本の未来を考える	屋井鉄雄
第202回(1)	2024年3月	委員論説	ポルトランドセメントの200年とこれから	小林 孝一
第202回(2)	2024年3月	依頼論説	科学映像と土木	久米川正好
第203回(1)	2024年4月	依頼論説	スマートインフラマネジメントで未来を拓こう！	久田真
第203回(2)	2024年4月	依頼論説	働く女性の健康支援にかかわる要因	吉田穂波
第204回(1)	2024年5月	依頼論説	社会インフラとしての「スマートエネルギーマネジメントシステム」の構築に向けて	浅野浩志
第204回(2)	2024年5月	依頼論説	土木行政に関わり町長に	塚原隆昭
第205回(1)	2024年6月	委員論説	土木技術者の努力を学ぶ	穴見 健吾
第206回(1)	2024年7月	委員論説	サーキュラーエコノミーへの道 ～最終処分場の必要性～	石井 一英
第206回(2)	2024年7月	委員論説	建設DXのけん引役となる若手技術者の育成について	井上 昭生
第207回(1)	2024年8月	委員論説	青函トンネルの現状と課題	今井 政人
第207回(2)	2024年8月	依頼論説	総合的、複合的な地方インフラの探求	斉藤 親
第208回(1)	2024年9月	委員論説	突然の「来賓祝辞をお願いします」	木村 嘉富
第208回(2)	2024年9月	委員論説	危機的状況下にある博士課程人材の育成	楠見 晴重
第209回(1)	2024年10月	依頼論説	国際港湾協会（IAPH）の創立者 松本学の気概に学ぶ	篠原 正治
第209回(2)	2024年10月	委員論説	学生と土木遺産を訪ねる	下村 匠
第210回(1)	2024年11月	委員論説	スマートインフラネットワーク	土橋 浩
第210回(2)	2024年11月	委員論説	危機管理、災害対応力の向上に向けて	田村 秀夫
第211回(1)	2024年12月	依頼論説	ライフスタイル創造に繋がる土木デザインへ	山田 雄一

11. 宣言・提言

- 提言書「これからの流域治水の進め方『流域全体における水収支の把握と領域の垣根を越えた協働で進める流域治水～流域内の水量バランスを全住民が知り、考え、行動するために～』」 (2024.7.26)
- 地盤の課題と可能性に関する声明 (2022.9.20)
- Beyond コロナの日本創生と土木のビッグピクチャー～人々の Well-being と持続可能な社会に向けて～ (2022.6.6)
- インフラメンテナンスに関する土木学会声明 2021 ～今、そして未来に欠かせないインフラメンテナンス、直面する困難を乗り越えるための処方箋～ (2021.6.8)
- 土木学会声明 海外インフラ展開に向けた変革のための提言 (2021.5.28)
- COVID-19 災禍を踏まえた社会とインフラの転換に関する第 2 次声明-新しい技術と価値観による垂直展開 - (2021.5.24)
- 「豪雨激甚化と水害の実情を踏まえた流域治水の具体的推進に向けた土木学会声明」の公表について (2021.4.9)
- COVID-19 災禍を踏まえた社会とインフラの転換に関する声明 -新しい技術と価値観による垂直展開 - (2020.7.14)
- 2020 インフラ健康診断書 (2020.6.10)
- 鉄道インフラの健康診断と将来のメンテナンスに向けた提言 (2020.6.1)
- インフラメンテナンス分野の新技術適用推進に関する提言 (2020.4.23)
- JSCE2020-2024 ～地域・世代・価値をつなぎ、未来社会を創造する～ (2020.4.1)
- 台風第 19 号災害を踏まえた今後の防災・減災に関する提言～河川、水防、地域・都市が一体となった流域治水への転換～ (2020.1.23)
- 2019 インフラ健康診断書（試行版） (2019.6)
- ACECC Tokyo Declaration 2019（東京宣言 2019） (2019.4)
- 土木学会平成 29 年度会長特別委員会 「レジリエンスの確保に関する技術検討委員会」 治山・治水緊急提言 (2018.7)
- インフラ・国土管理における土木と ICT の融合に関する提言 (2018.5)
- 自然災害に強いしなやかな国土の創出のために－行動宣言と行動計画－ (2015.10.8)
- 土木学会ダイバーシティ & インクルージョン行動宣言 (2015.6.5)
- JSCE2015－あらゆる境界をひらき、市民生活の質向上を目指す－ (2014.12.1)
- 土木学会創立 100 周年宣言－あらゆる境界をひらき、持続可能な社会の礎を築く－ (2014.11.21)
- 社会と土木の 100 年ビジョン (2014.11.21)
- 東日本大震災後における津波対策に関する現状認識と今後の課題 (2014.9.26)